

高崎城遺跡 22

—独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター看護学校施設建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—

2015.3

高崎市教育委員会



高崎城遺跡第22次調査 調査区合成写真（北から）



3号溝 全景（南から）



5号溝 完掘（北西から）



基本層序VI - IX層（南西から）

序文

高崎市は、平成の市町村合併により人口 36 万都市となり、平成 23 年度には中核市となりました。交通結節点という地理環境を活かし、群馬県域の中核を担う地域として安定した成長を目指しています。さて、その都市計画の端緒は、今から 416 年前にさかのぼります。1590 年（天正 15）年におきた小田原の役後に関東入国を果たした徳川家康は、重臣の井伊直政を石 12 万石で「箕輪」に配置しました。その 8 年後の慶長 3（1598）年、直正は和田城跡地へ移城し、高崎藩を立藩しました。このとき計画整備したランドデザインが、現在の高崎市の礎となっているのです。

本書は、看護学校施設新築に伴い発掘調査された、高崎城遺跡の調査報告書です。城内の調査は昭和 60 年から始まり、今回で 22 次調査となります。この遺跡では、平安時代から近世の遺構・遺物が出土しました。なかでも、中世末期の遺構検出は、和田城の一端を知ることができ、また、近世初頭の高崎城築城を考えるうえで重要な資料となりそうです。

このほか、平安時代の竪穴住居跡や、平安時代後期の寺院跡に関係する遺物も重要です。これらの埋蔵文化財は、郷土の歴史や文化を知る上で欠かせない資料であり、調査成果に検討を加え、地域資料として学校教育・郷土学習の場で積極的に活用し、風土に根ざす未来の都市づくりに役立てるものと確信しております。

最後になりましたが、発掘調査にあたり、関係諸機関や地元関係者の皆様からのご指導・ご協力をいただきました。心より感謝の意を表すと同時に、現地調査や整理業務に携わった作業員の方々、調査担当者の労をねぎらい、序といたします。





平成 27 年 3 月

高崎市教育委員会
教育長 飯野 眞幸

例言

- 1 本書は独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター看護学校施設建設事業に伴う事前事業として発掘調査を実施した、高崎城遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告である。
- 2 遺跡名称等 高崎城遺跡（第22次）
- 3 遺跡の所在地 群馬県高崎市高松町20-1番地
- 4 発掘調査から報告書刊行にいたる業務は、高崎医療センターの委託を受け、高崎市教育委員会が実施した。
- 5 調査主体者 高崎市教育委員会事務局 文化財保護課 埋蔵文化財担当
- 6 調査期間と整理期間
発掘期間 平成26年1月7日～平成26年6月26日
整理期間 平成26年5月1日～平成27年3月31日
- 7 発掘調査体勢
高崎市教育委員会事務局
教育長 飯野眞幸
教育部長 上原正男
文化財保護課長 松本伸（平成25年度）
 富加津豊（平成26年度）
文化財保護課長補佐 田口一郎
庶務担当 神澤久幸・山田いづみ（平成25年度）
 針井修・加藤志津代（平成26年度）
調査担当 清水豊（平成25年度）・原田直人（平成26年度）・飯塚光生（行政嘱託員〔文化財専門〕）：
 平成26年度）
整理担当 大野義人・飯塚光生（行政嘱託員〔文化財専門〕）
- 8 本書の編集・執筆は第2章第7節を清水が、それ以外を飯塚が行った。
- 9 委託業務 調査・整理作業で実施した委託業務は下記の通り。
 - ・地盤調査を（株）富永調査事務所に委託した。
 - ・遺構平面測量・遺構断面測量を（株）測研に委託した。
 - ・遺構の空中写真撮影を株式会社シン技術コンサルに委託した。
 - ・出土遺物の自然化学分析は、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。
 - ・出土遺物の鉄製品保存処理は、（有）武蔵野文化財修復研究所に委託した。
- 10 遺構写真の撮影は、清水・飯塚が行った。
- 11 遺構の断面実測および遺物出土図は、担当者の指示のもと作業員が実施した。
- 12 出土遺物の写真撮影・観察表作成は、飯塚が行った。
- 13 調査の記録類・出土品について
調査で得られた各種原図や写真・出土品は高崎市教育委員会が管理し、足門文化財事務所で保管している。
- 14 発掘調査および本書作成にあたり、下記の機関・方々にご指導・ご協力いただきました。記して感謝の意を表します。（敬称略・順不同）。
高崎市医療センター・早田勉・若井明彦・佐々木満

凡例

- 1 挿図中の方位は、座標北を示す。座標は世界測地系を用いた。
- 2 遺構名称や番号は、原則発掘調査時に付したものをを使用した。
- 3 遺構略号は、竪穴住居 (SI)・土坑 (SK)・井戸 (SE)・溝 (SD) 等を用い、出土品の注記もこれと同様。
- 4 遺構図については、挿図中にスケールを添付したが、原則下記の縮尺で掲載した。
遺構平面図・断面図 1/60 竪穴住居カマド・ピット平面図・断面図 1/40
遺構全体図 1/300 1/500
- 5 出土遺物については、各挿図中にスケールを添付したが、原則下記の縮尺で掲載した。
土器・陶磁器類 1/3 瓦 1/4 滑石製品・銭貨 1/1 大型石製品 1/5
- 6 火山噴出物にかかわる表記・略号は下記のとおり。
AS-A (浅間 A 軽石 : 1783 [天明 3] 年) AS-B (浅間 B 軽石 : 1108 [嘉承 3・天仁元年])
- 7 本書内で使用したスクリーントーンは下記のとおり。
遺構  焼土  灰 遺物  漆  油煙
- 8 遺物観察表の法量中にある () は、復元による推定値や残存値を示す。

目次

巻頭写真 序文 例言 凡例

第 1 章 発掘調査と遺跡の概要	1 頁
第 1 節 発掘調査にいたる経緯	1 頁
第 2 節 遺跡の立地と環境	1 頁
第 3 節 周辺の遺跡と歴史的環境	1 頁
第 4 節 調査の方法	2 頁
第 5 節 基本層序	3 頁
第 6 節 遺跡の概要	3 頁
第 7 節 遺構と遺物	7 頁
(1) 竪穴建物跡	7 頁
(2) 土坑	9 頁
(3) ピット	12 頁
(4) 井戸	15 頁
(5) 溝跡	16 頁
遺物観察表	105 頁
第 2 章 成果と問題点	131 頁
第 1 節 古墳時代	131 頁
第 2 節 古代	131 頁
第 3 節 中世	131 頁
第 4 節 近世	131 頁
第 5 節 近代	132 頁
第 6 節 出土遺物について	133 頁
第 7 節 6 号溝出土の信濃型内耳土器について	135 頁
附節 1 高崎城遺跡 2 出土獣骨同定報告	139 頁
附節 2 平成 26 年度高崎城発掘調査区で採取した 泥流堆積物直下腐植質堆積物の放射性炭素 (C14) 年代測定	144 頁
写真図版・抄録・奥付	

第1章 発掘調査と遺跡の概要

第1節 発掘調査にいたる経緯

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センターでは、看護学校施設の老朽化に伴い新校舎建設を計画し、平成25年8月、高崎市教育委員会文化財保護課へ工事予定地の埋蔵文化財について照会があった。文化財保護課では、高崎城内に立地し周知の遺跡に登録される場所で、その保護措置が必要であると回答した。その後の協議では、確認調査を実施し遺構のあり方を把握した上で、遺跡の取り扱いについて再協議することとなった。平成25年9月26日付けで、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センターから試掘確認調査依頼があり、同年10月2・3日に、高崎市教育委員会が調査を行い、高崎城の堀跡等を検出した。これを受けて、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センターが文化財保護法第94条第1項に基づく届け出を行い、高崎市教育委員会では、試掘確認調査により、高崎城西郭堀が確認され遺構深度が5mと予測され、調査区の崩落を防止するため、堀に面する3か所で鋼鉄製矢板による土留め工事を行い、平成26年1月7日より調査に着手した。調査は排土置場を確保するため調査区を東西2区画に分け、はじめに調査区東側の調査を行い、4月23日から西側の調査を行った。6月26日調査を終了した。看護学校施設基礎工事に伴い、地表下2mから7mの埋戻しに関しては30cmごとに転圧を加えN値3を維持し、埋戻し終了時、東西調査区2か所でボーリング調査を行い、N値3を維持しているか確認調査を行った。現地調査終了後は、平成27年3月31日まで整理作業を行った。

第2節 遺跡の立地と環境

高崎市の地形は榛名山南東麓に広がる火山山麓扇状地（相馬が原扇状地）と、それに続く前橋台地となり、烏川から井野川までは井野川低地帯が続いている。前橋台地は約2.1万年前に発生した浅間山起源の前橋泥流層からなり、この上に砂層・泥炭層が堆積し、さらに約1.1万年前の高崎泥流層が堆積し、高崎台地を形成している。

高崎城遺跡は旧高崎市域中心部にあり、榛名山麓に源を発する烏川と碓氷川の合流する左岸台地上に立地する。本遺跡は東西400m、南北1000mの微高地にある。西側は烏川による浸食が進み、高低差約8mの崖になっている。

第3節 周辺の遺跡と歴史的環境

本遺跡地周辺は、微高地上に多くの遺構が営まれ、高崎城三ノ丸から東側は低湿地となり水田経営が行われた。以下、高崎城遺跡第22次調査までの遺跡相について記す。

旧石器時代 現在のところ検出例はない。

縄文時代 7・9・15・22次調査で、中期の遺物が少量出土。遺構の検出はない。

弥生時代 3・7・9・12次調査で南北に長い楕円形の環濠を検出した。上幅80cm程で、南北120m・東西100m規模を想定する。5次調査で環濠の中心部から一辺15mの方形周溝墓を調査している。これらは、弥生時代中期後半と遺跡群と捉えられる。

古墳時代 3～9・17次調査から前期土器が出土している。7次調査では出土遺物から中期～後期と考えられる、墳丘径約50mの古墳を確認している。江戸期の絵図等に「浅間山」として描かれている。19次調査では、墳丘径13～16mの円墳が調査され、高崎城南側に6～7世紀代の群集墳を形成している。5次調査で竪穴建物2軒検出している。16・18・20次で滑石製未製品が多く出土している。本調査区でも滑石製品が少量ながら出土している。周辺に石製品製作の工房跡があると思われる。

飛鳥・奈良・平安時代 18次調査で、7世紀末～8世紀前半と考えられる木棺墓を検出している。須恵

器蓋・鉄製釘が出土している。奈良期の竪穴建物は数軒確認されている。

奈良期の遺構分布は比較的希薄だったのに対して、平安期になると 80 軒以上の竪穴建物が確認され、9 次調査からは多量の布目瓦が出土し、20 次調査では鬼瓦が出土している。本遺跡でも多くの布目瓦や鬼瓦片を出土しており、周辺に古代寺院があったと考えられる。11 次調査では浅間 B 軽石下水田を検出している。

中世 絵図などから中世後期には、和田城・宿や興禅寺などの存在が考えられ、3・5・7 次調査で中世の溝を確認している。和田城は正長元(1428)年、和田義信築城と「和田記」に記されている。和田氏は、初め長野氏(箕輪城)の元、上杉方に属していた。1562(永禄 5)年 5 月以前に武田方に、1582(天正 10)年には滝川一益、1582 年神流川合戦後は小田原北条氏に属した。1590(天正 18)年、小田原の役の際、和田信業(当主)は小田原城に籠城している。このとき、和田城も廃城になった可能性がある。

近世 小田原の役後、豊臣秀吉の命により、徳川家康家臣の井伊直政は上野国箕輪に 12 万石で配された。1598 年、秀吉の死後、徳川家康の命で箕輪城を和田城跡地に移城し、高崎藩を立藩する。7 代藩主、安藤重博が 1667(寛文 7)年～1692(元禄 5)年に大手門・子の門の施工を行い、概ね竣工したといわれる。

近代以降 高崎城は 1871(明治 4)の廃藩置県以後、旧兵部省の管理下になり、1872(明治 5)年に城内の門・櫓など 6 箇所が払下げられた。1873(明治 6)年 5 月、「東京鎮台高崎分営」が設置され、翌 1874(明治 7)年三の丸・氏族屋敷等が取壊し整備している。1884(明治 17)年 5 月、歩兵 15 連隊が創設され、1945(昭和 20)年まで日本陸軍駐屯地となった。昭和 54 年日本たばこ宿舎として利用された。

第 4 節 調査の方法

(1) **事前の情報収集** 対象地周辺の調査履歴は、高崎城内で 21 次にわたる調査が行われている。縄文時代から近代にいたる遺物・弥生時代から近代の遺構を確認されている。また、近世・高崎城絵図によれば、調査対象地は西郭門南側に位置している。また、歩兵十五連隊営内図では、第三兵舎西側にあり、なんらかしらの建物が記載されている。

(2) **試掘確認調査** 調査前の状況は、平成 20 年の試掘(H20-49)状況で、概ねの遺跡相や密度を想定し調査期間・経費を算出した。また、調査区内に西郭堀が存在する事から、事前に西郭堀の範囲を確認するため試掘トレンチを設定し、確認調査を行った。

(3) **調査区の設定** 設計平面図を基に調査担当者が現地で測りだし、調査区を設定した。西郭堀に面する 3 か所で鋼鉄製矢板による土留め工事を行い、調査区周りにバリケード・表示等を設置し、安全対策を行った。5 月 9 日看護学校施設の設計変更にともない、調査区を拡幅した。

(4) **調査の方法** 発掘調査に伴う排土置き場確保のため調査区を東西 2 区画にわけ、東区→西区→拡幅区の順に調査を行った。表土掘削は、旧施設に伴う基礎・砕石敷等が厚いため重機を使用し、遺構確認面まで表土掘削を行った。その後、人力による遺構確認作業を経て、切り合い関係を確認した上で各遺構の精査を実施した。2・3・5 号溝は覆土厚 5 m を想定していたので、遺構を壊さない範囲で重機による掘削を行い、覆土内遺物は人力で確認した。精査は、地層断面観察・遺物出土状態から完掘まで段階的に各種記録を作成した。写真は、35 mm のモノクロとリバーサルフィルムを使用し調査担当者が撮影を行った。調査終了後は、地表下 2 m から 7 m の埋戻しに関しては 30 cm ごとに転圧を加え埋戻した。

(5) **整理作業の方法** 平成 26 年度調査終了後、基礎整理作業を行い、出土遺物の洗浄・注記・接合・復元作業を順次実施した。遺構・遺物図はデジタルトレースし、遺物写真はデジタルカメラによる撮影

を行い、編集作業を行った。

第5節 基本層序

調査区は、旧建物や通路として利用され、建物取壊し後も駐車場として使用されたため、地表約10cmの厚さで砕石が敷設されていた。8(Ⅱ層)～70cm(Ⅰ層)の厚みで、黒褐色土があり、Ⅲ～Ⅵ層は、高崎泥流と呼称され、1.1万年前に形成された。Ⅶ～Ⅸ層は、旧烏川河床面で粒子の細かい砂層が堆積している。表土掘削は、Ⅲ層上面で行った。

火山噴出物である浅間A軽石(As-A)については、2・5号溝において二次堆積が確認できた。浅間B軽石(As-B)、浅間C軽石(As-C)の堆積については確認出来なかった。

Ⅰ 暗灰(N3)しまり・粘性弱い。

Ⅱ 黒褐(10YR3/2)しまり強く、粘性弱い。鉄分をふくむ。

Ⅲ 明黄(10YR7/6)しまり・粘性あり。白色軽石・鉄分を含む。

Ⅳ 淡黄(2.5Y8/4)しまり強く、粘性あり。白色軽石を多く含む。

Ⅴ オリーブ褐(2.5Y4/3)しまり強く、粘性あり。白色軽石を非常に多く含み、礫(小)を含む。

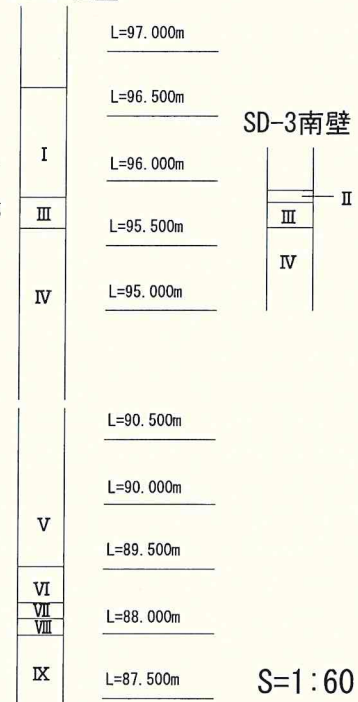
Ⅵ オリーブ黒(5Y3/1)しまり強く、粘性あり。礫(大～中)を非常に多く含み、白色軽石を含む。

Ⅶ 黒(N2)しまり強く、粘性弱い。白色粒子を少量含む。粒子の細かい層。

Ⅷ ぶい黄褐(10YR4/3)しまり非常に強い、粘性弱い。鉄分を多く含み、砂粒を含む。

Ⅸ しまり弱く、粘性なし。粒子の細かい砂層。

SD-5北壁



第1図 基本層序

第6節 遺跡の概要

(1) 古代

奈良・平安期の遺構は、1・2号住居、号土坑、ピットを検出している。住居は、高崎城土塁下に位置していたため壊されずに残っていたが、近・現代の建物によって床上10cm程残存しているのみである。また、9土坑など調査区中央南側にあることから、これらの遺構が南に延びていくと考えられる。

(2) 中世

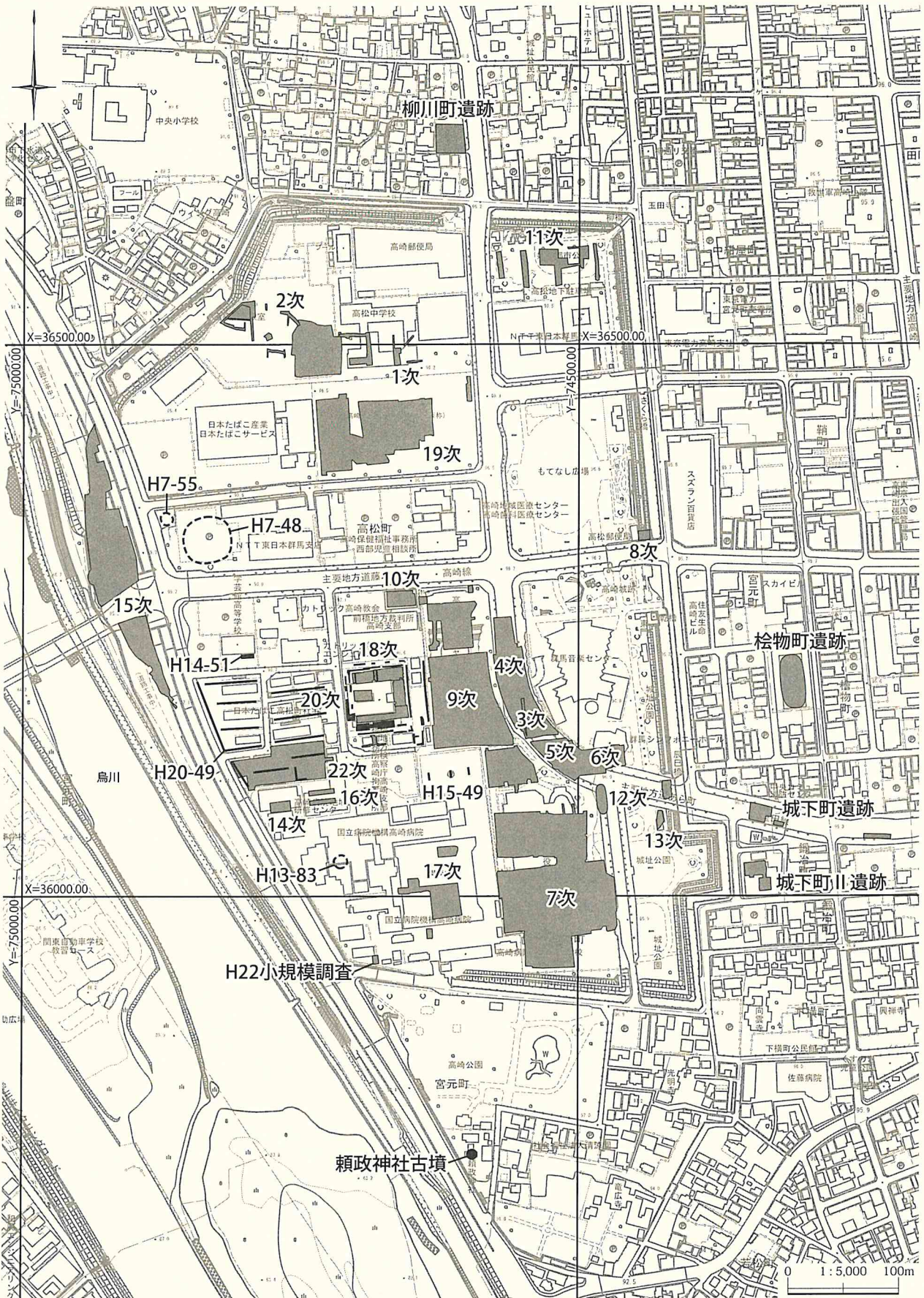
中世の遺構は、3・4号土坑、1～4号井戸、1・3・4・6号溝を検出している。3号井戸は、3号溝(和田城堀)に壊されていることから、中世でも古い時期に位置していると考えられる。3・4・6号溝は和田城堀(3号溝)と、それに伴う遺構(4・6号溝)で16世紀後半に位置づけられる。1・2・4号井戸は、1598年高崎城築城時の井戸と考えられる。3・4・8号土坑は、築城時に掘削され、不要品等を埋めている。3・4号土坑は、4号溝を埋め戻してすぐに掘削している。築城時に排出した土壌を利用して、3・4・6号溝を埋めている。特に、3号溝上層では、φ10～30cm程の礫が堆積している。これは2・5号溝(高崎城堀)掘削時に、旧烏川河床面まで掘り下げたことによる。

(3) 近世

近世の遺構は、2・5・8号溝、11号土坑を確認している。2号溝は、高崎城西郭門の東に位置し、5号溝は西郭門南西に位置している。2・5号溝は、高崎城西郭堀を形成している。8号溝は南中門西に位置しており、高崎城遺跡16次調査の1号堀に続く。5号溝、2号溝上部は近代まで利用された。11号土坑は、覆土中に礫を多く出土していることから、2号溝に伴う橋脚基礎の可能性も考えられる。

(4) 近代

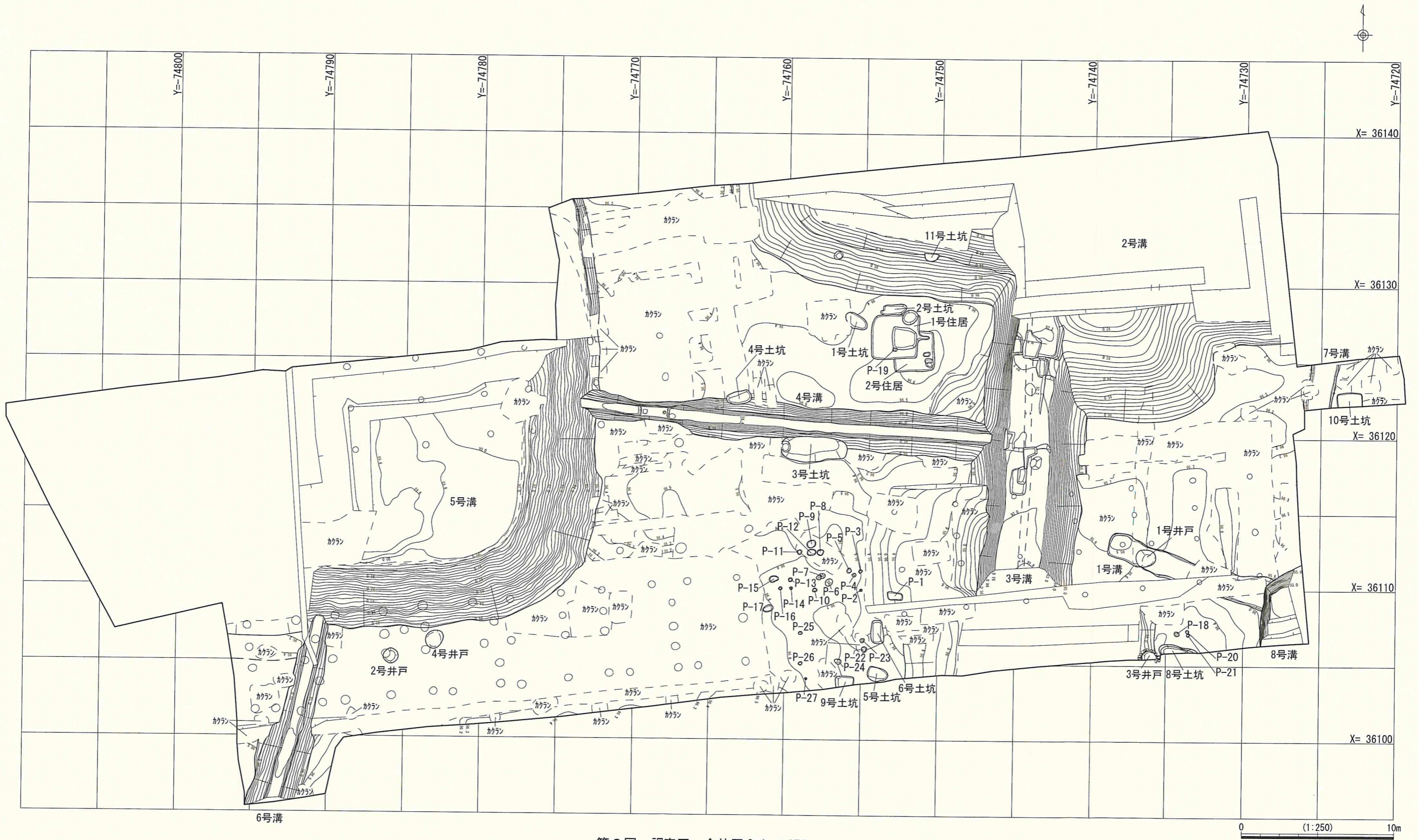
近代の遺構は、7号土坑・2号溝上部・5号溝があり、7号土坑は煉瓦製基礎跡で、3号兵舎に伴う便所・洗濯場・炊事施設の可能性が考えられる。2・5号溝は、弾薬庫に伴う堀として利用され、終戦後に埋め戻されている。覆土中(1層)から、十五連隊に伴う遺物を多く出土している。



2500分の1『高崎市都市計画基本図』を50%縮小し、これまでの調査区を合成した図である。調査区の座標が不明なものなどがあるため、8・11・12次調査、及び捨物町遺跡・柳川町遺跡試掘調査・小調査についてはおおむねの位置を示している。

凡例：H13の「H」は平成の略。続く数字は、当該年度の試掘確認調査番号で、市内遺跡発掘調査報告に掲載された情報に一致する。

第2図 高崎城遺跡周辺の発掘調査位置図



第3図 調査区 全体図 S=1 / 250

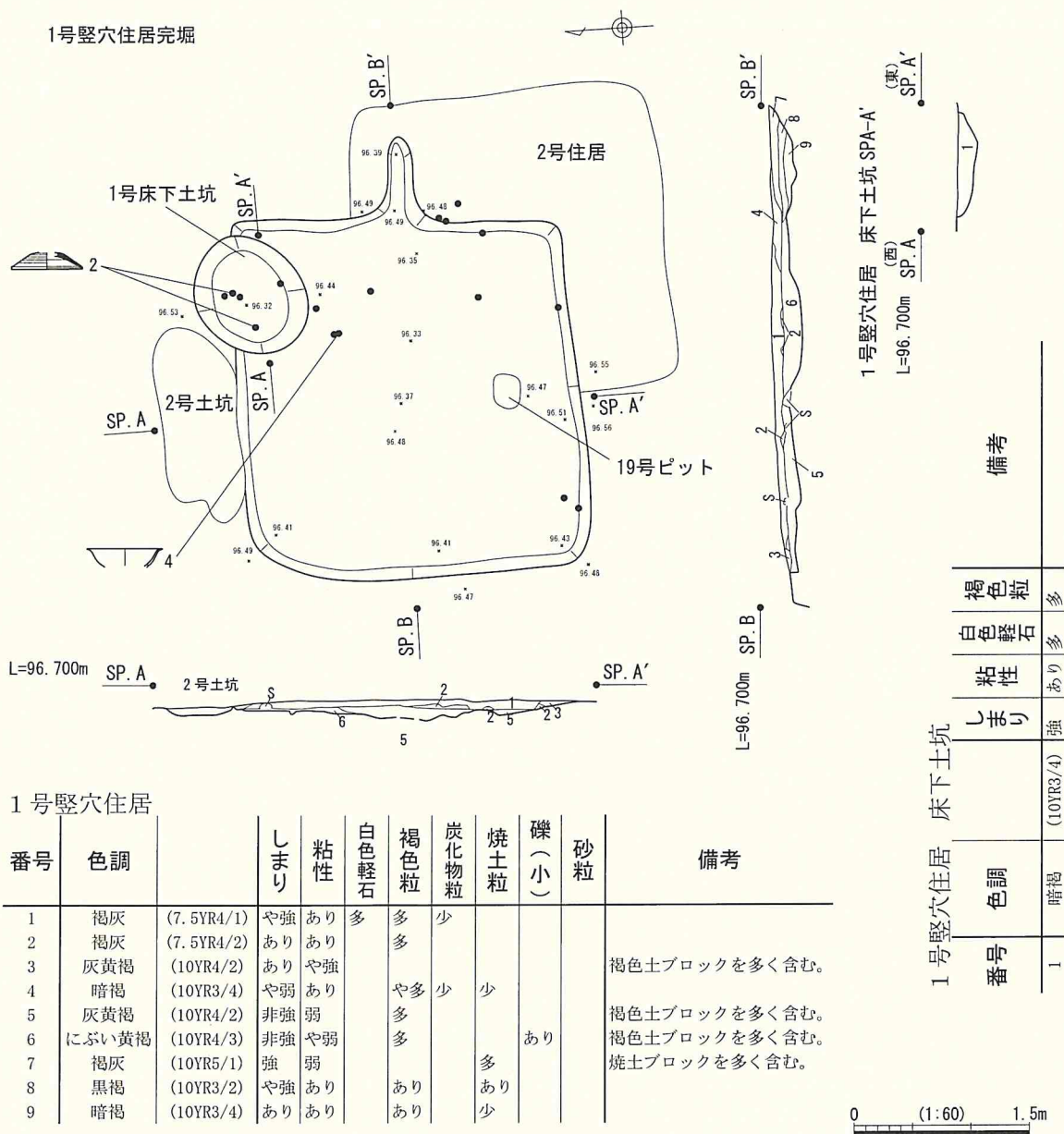
第7節 遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

1号竪穴住居跡（第4・5・55図 PL 2・15）

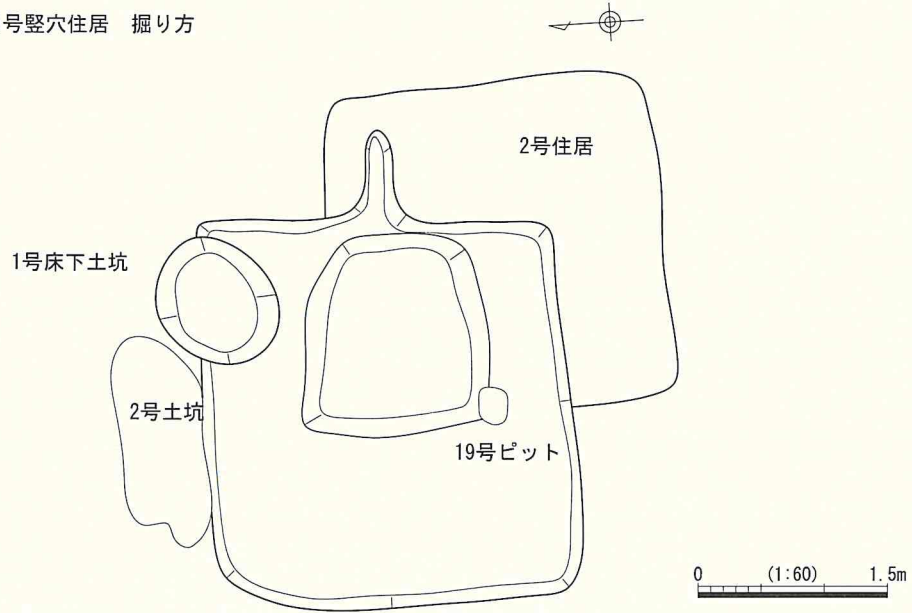
規模 東西 3.12 m、南北 2.93 m 測り、正方形を呈す。方位 N-93.5°-E 重複 2号竪穴住居・2号土坑・19号ピットと重複する。2竪穴住居→1号竪穴住居→2号土坑・19号ピットと新しい。

壁 残存壁高は 18 cm を測り、垂直に近く掘り込まれる。床面 全体が硬化し、黄白色土の混じる褐色土である。柱穴 確認できず。床下土坑 北東隅に径 108 cm × 90 cm、深さ 38 cm を測り、楕円形を呈す。竈 東に位置する。焚き口幅 30 cm、奥行き 70 cm を測る。壁外に造り出される。火床面に焼土を検出した。遺物出土状態 土師器の坏、須恵器坏蓋・坏、灰釉陶器碗が出土。このほか、床面・堀方土中から滑石製管玉・滑石片などが出土した。



第4図 1号住居 平面図・断面図

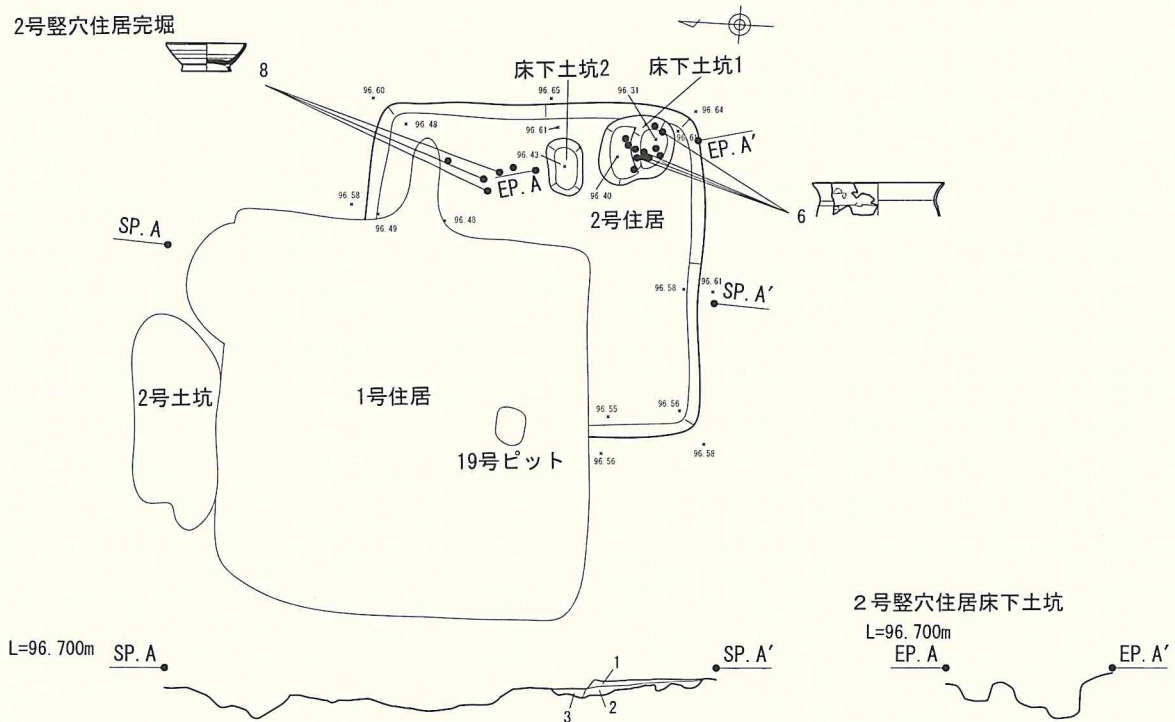
1号竪穴住居 掘り方



2号竪穴住居跡 (第5・55図 PL 2・15)

規模 東西 2.64 m、南北 2.68 m 測り、正方形を呈す。 **方位** N - 3° - W **重複** 1号竪穴住居と重複する。2号竪穴住居→1号竪穴住居と新しい。 **壁** 残存壁高は 12 cm を測り、垂直に近く掘り込まれる。 **床面** 全体が硬化し、黄白色土の混じる褐色土である。 **柱穴** 確認できず。 **床下土坑** 南東隅に 2 基検出。1号床下土坑 径 65 cm × 55 cm、深さ 38 cm を測り、正方形を呈す。2号床下土坑 径 45 cm × 28 cm を測り、楕円形を呈す。 **遺物出土状態** 土師器甕、須恵器坏蓋・坏が出土。

2号竪穴住居完掘



2号住居

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	焼土粒	礫(小)	砂粒	備考
1	褐灰	(7.5YR4/1)	や強	あり	多	多	少				
2	にぶい黄褐	(10YR4/3)	非強	や弱	多	多			あり		褐色土ブロックを多く含む。
3	灰黄褐	(10YR4/2)	非強	弱	多	多					褐色土ブロックを多く含む。

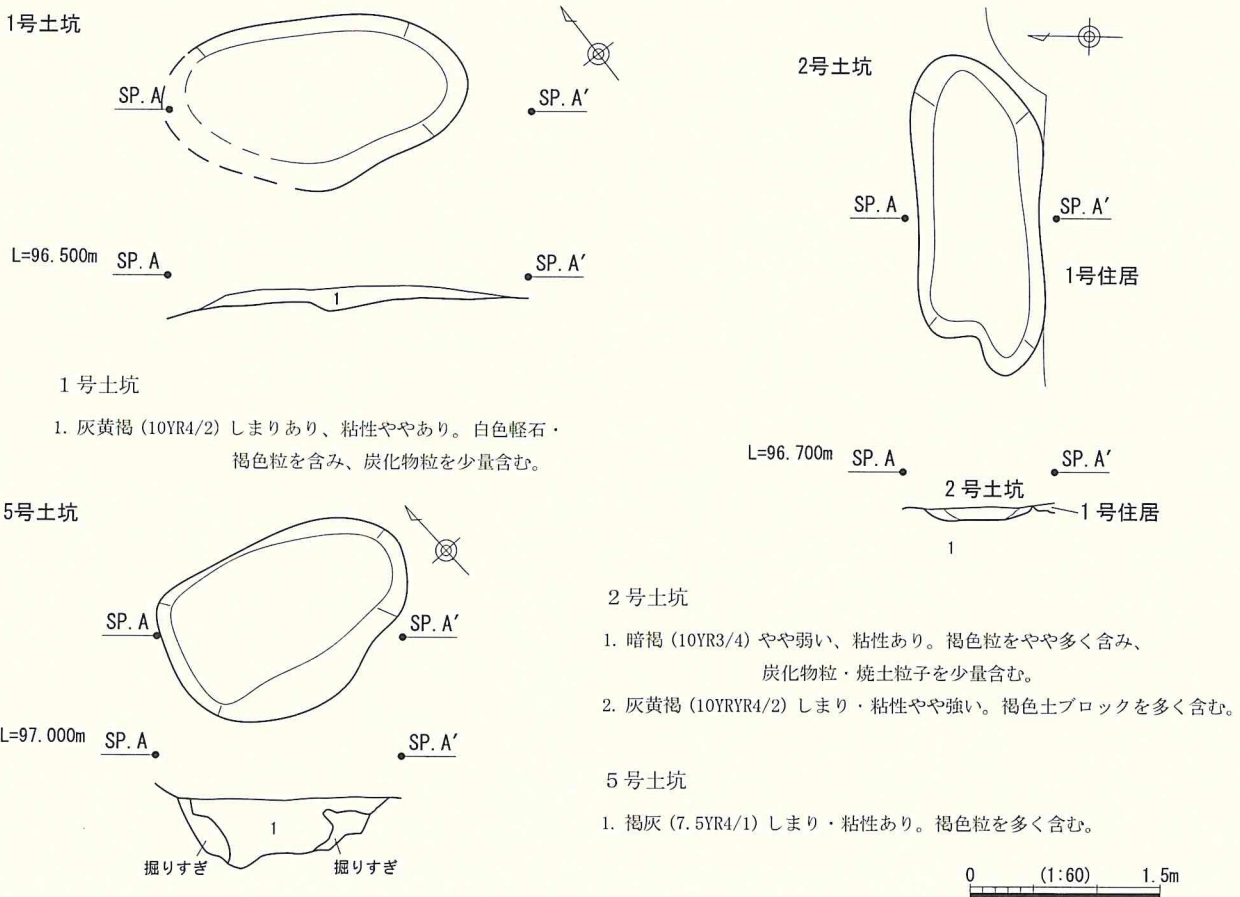
第5図 1・2号住居 平面図・断面図

(2) 土坑

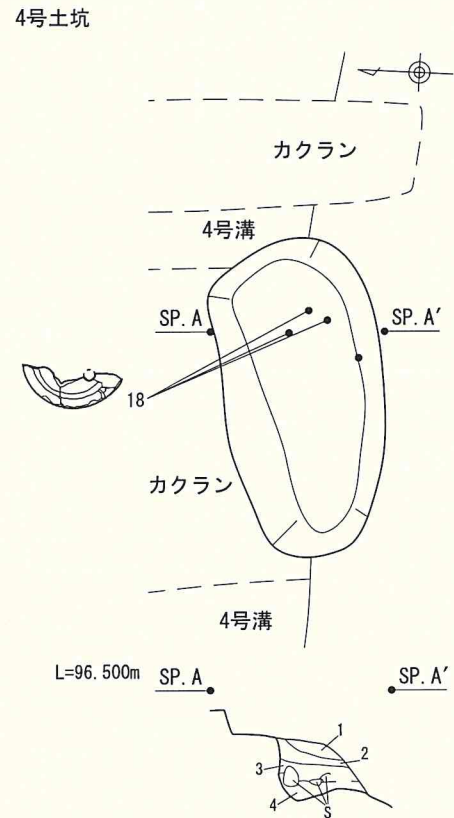
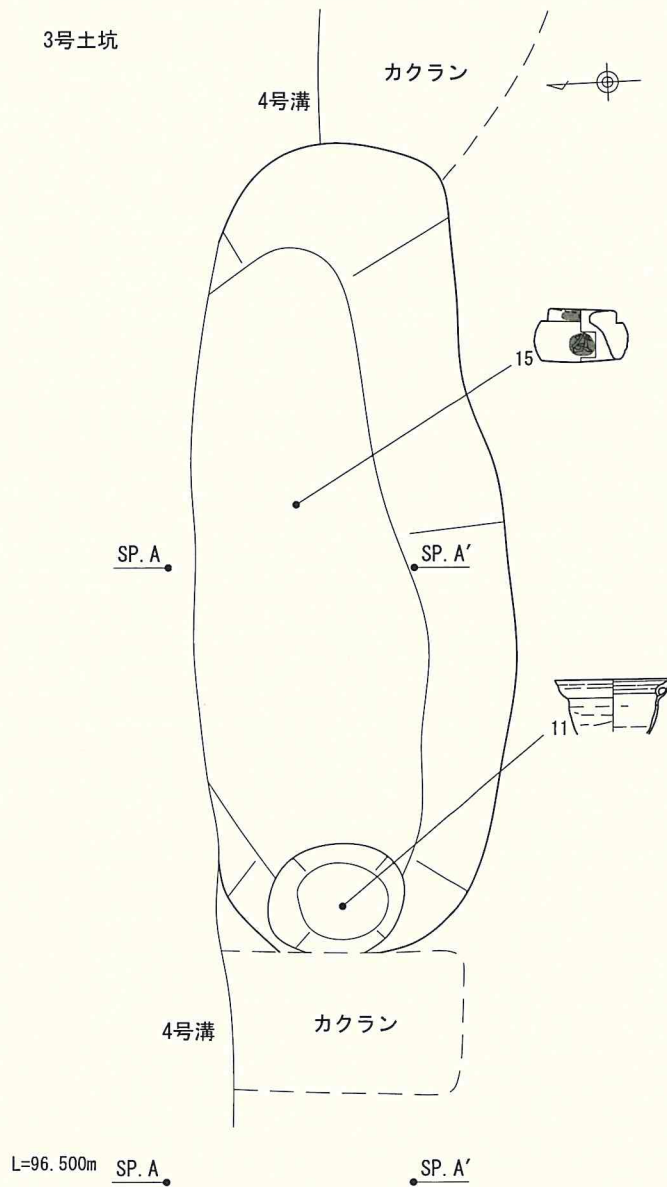
土坑跡は、11基検出した。3・4・8号土坑は、高崎城築城に伴って掘削されていると考えられ、3・4号土坑は、4号溝を埋め戻した直後に掘削している。以下、表1で一覧する。(第6～9・55～57図 PL 2～4・6・15・16)

第1表 土坑 一覧表

SK 1	確認長 (m)	1.6	幅 (cm)	92	深さ (cm)	14	重複関係	
	所見							
SK 2	確認長 (m)	1.73	幅 (cm)	69	深さ (cm)	7	重複関係	
	所見							
SK 3	確認長 (m)	4.28	幅 (cm)	(164)	深さ (cm)	91 ~ 136	重複関係	SD4 → SK3 と新しい
	所見							
SK 4	確認長 (m)	1.68	幅 (cm)	85	深さ (cm)	33 ~ 48	重複関係	SD4 → SK4 と新しい
	所見							
SK 5	確認長 (m)	1.36	幅 (cm)	92	深さ (cm)	37	重複関係	
	所見							
SK 6	確認長 (m)	1.53	幅 (cm)	81	深さ (cm)	31	重複関係	
	所見							
SK 7	確認長 (m)	—	幅 (cm)	—	深さ (cm)	—	重複関係	
	所見	SD 1 に変更						
SK 8	確認長 (m)	2.5	幅 (cm)	(64)	深さ (cm)	188	重複関係	
	所見							
SK 9	確認長 (m)	1.22	幅 (cm)	(67)	深さ (cm)	35	重複関係	
	所見							
SK10	確認長 (m)	1.67	幅 (cm)	(94)	深さ (cm)	43	重複関係	
	所見	十五連隊関連の建物基礎						
SK11	確認長 (m)	(0.97)	幅 (cm)	(50)	深さ (cm)	54	重複関係	
	所見	基底部に多数の円礫が出土。SD2に伴う柱穴の可能性が考えられる。						



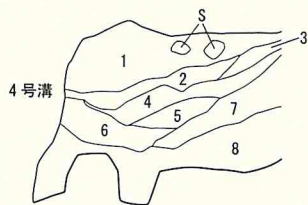
第6図 1・2・5号土坑 平面図・断面図



L=96.500m SP. A SP. A'

4号土坑

- 1~2 攪乱。
- 3. 暗褐 (10YR3/3) しまり・粘性あり。白色軽石を含む。
- 4. 褐 (7.5YR4/3) しまりあり、粘性強い。

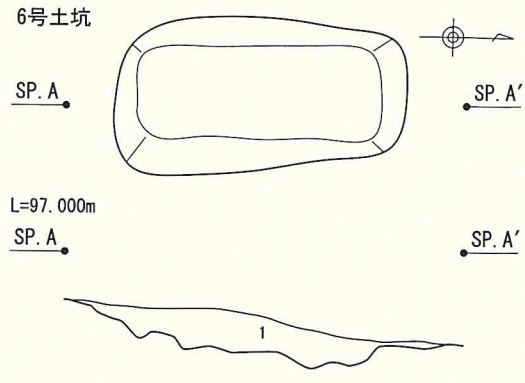


0 (1:40) 1m

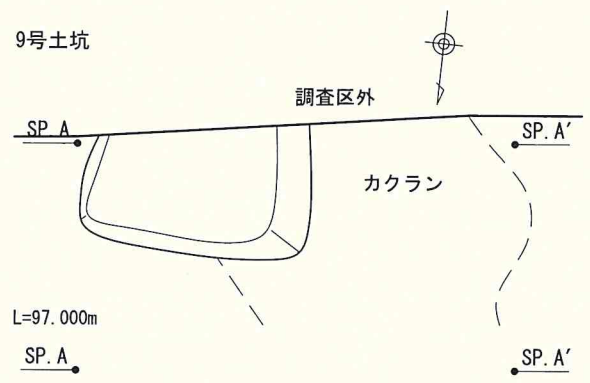
3号土坑

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	備考
1	黒褐	7.5YR3/2	強	あり	少			白色粘土ブロック多い。
2	褐	10YR4/4	や弱	なし				粒子の粗い砂層。
3	暗オリーブ褐	2.5Y3/3	弱	なし				粒子の細かい砂層。
4	灰褐	7.5YR4/2	や弱	あり	少		少	粒子の細かい砂層。
5	灰褐	7.5YR4/2	弱	あり			少	砂質土。
6	黒褐	5YR3/1	弱	あり		少		黒褐色土を少量含む。粒子の細かい砂層。
7	灰褐	5YR4/2	や弱	なし				黒褐色土を少量含む。粒子の細かい砂層。
8	灰褐	7.5YR4/2	弱	なし	あり			砂層(地山)。

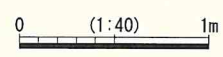
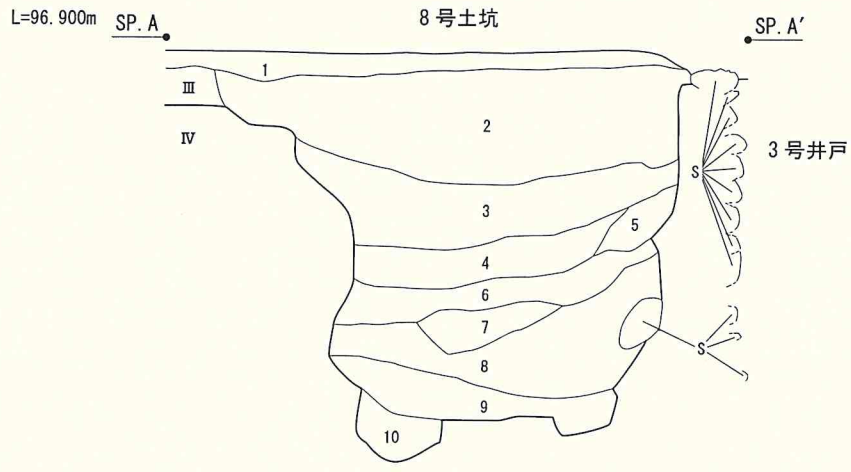
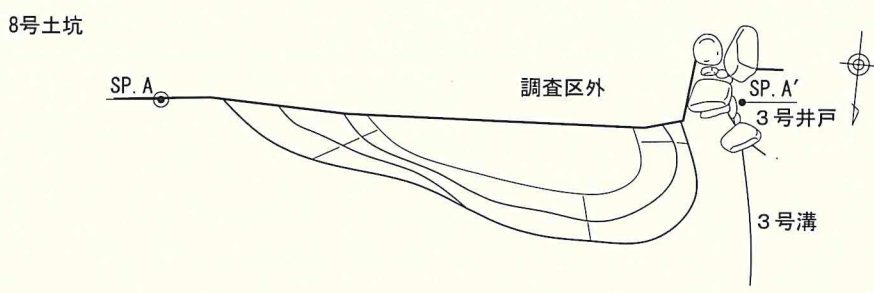
第7図 3・4号土坑 平面図・断面図



6号土坑
1. 褐灰 (7.5YR4/1) しまり強く、粘性あり。褐色粒・褐色土ブロックを多く含む。



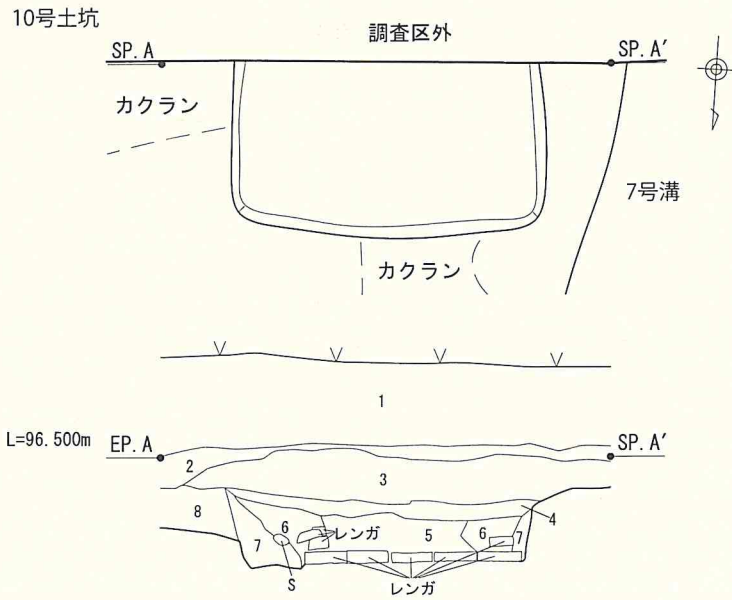
9号土坑
1. 暗赤灰 (2.5YR3/1) しまりやや強く、粘性あり。褐色粒子をやや多く含む。
2. オリーブ黒 (7.5Y3/1) しまり弱く、粘性あり。褐色土ブロックを多く含む。(攪乱)



8号土坑

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	礫(大)	礫(中)	礫(小)	砂粒	鉄分	備考
1	黒褐	(10YR3/2)	強	弱				多				As-Bを含む。 As-Bを含む。 褐色土ブロックを多く含む。 褐色土ブロックを少量含む。
2	黒褐	(10YR3/1)	あり	あり	あり	少						
3	黒褐	(2.5Y3/1)	や強	あり	少	あり						
4	黒褐	(10YR3/1)	あり	あり		多						
5	オリーブ黒	(5Y3/2)	や強	あり		多						
6	灰褐	(7.5YR4/2)	あり	あり		多						As-Bを多く含む。 As-Bを多く含む。
7	褐灰	(10YR4/1)	あり	や強		多		少				
8	褐灰	(10YR4/1)	や弱	弱				少				
9	褐灰	(10YR4/1)	弱	弱								
10	褐灰	(10YR5/1)	弱	あり	多							

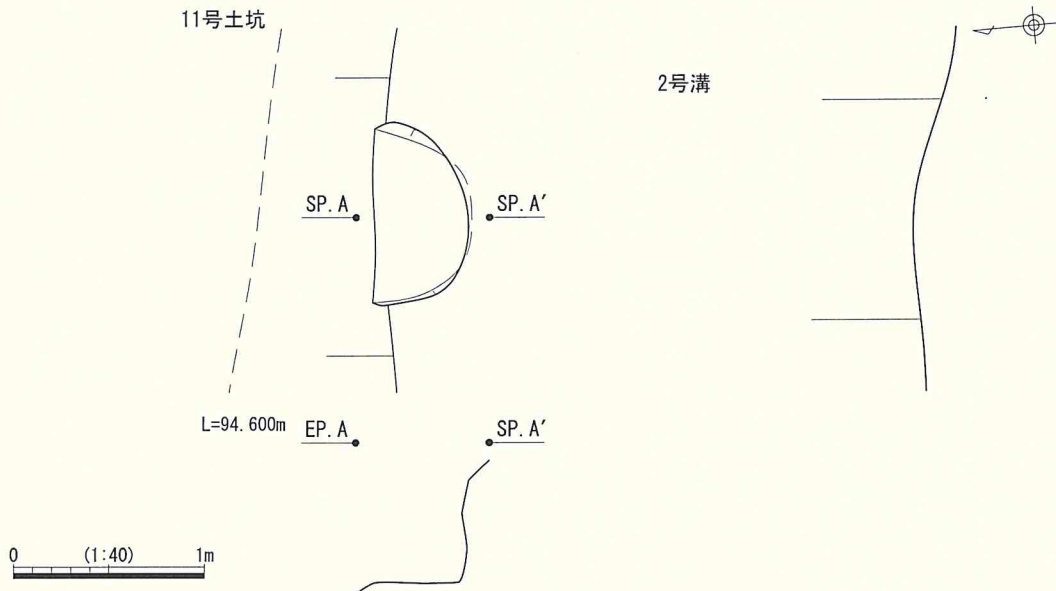
第8図 6・8・9号土坑 平面図・断面図



10号土坑

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	礫(小)	砂粒	備考
1	灰黄褐	10YR4/2	強	あり				多		
2	暗灰	N3	あり	あり			多	あり		上面1~2cm程砂層。
3	黒褐	10YR3/1	強	あり	少	多	多	少		
4	黒褐	10YR3/1	強	弱	多	多	多			
5	黒褐	10YR3/1	あり	なし				あり	あり	
6	黒褐	10YR3/1	や強	あり	少	多	少			褐色土ブロック多い。
7	灰褐	7.5YR4/2	強	弱	少	多				
8	灰褐	7.5YR4/2	強	あり	多	多				

11号土坑



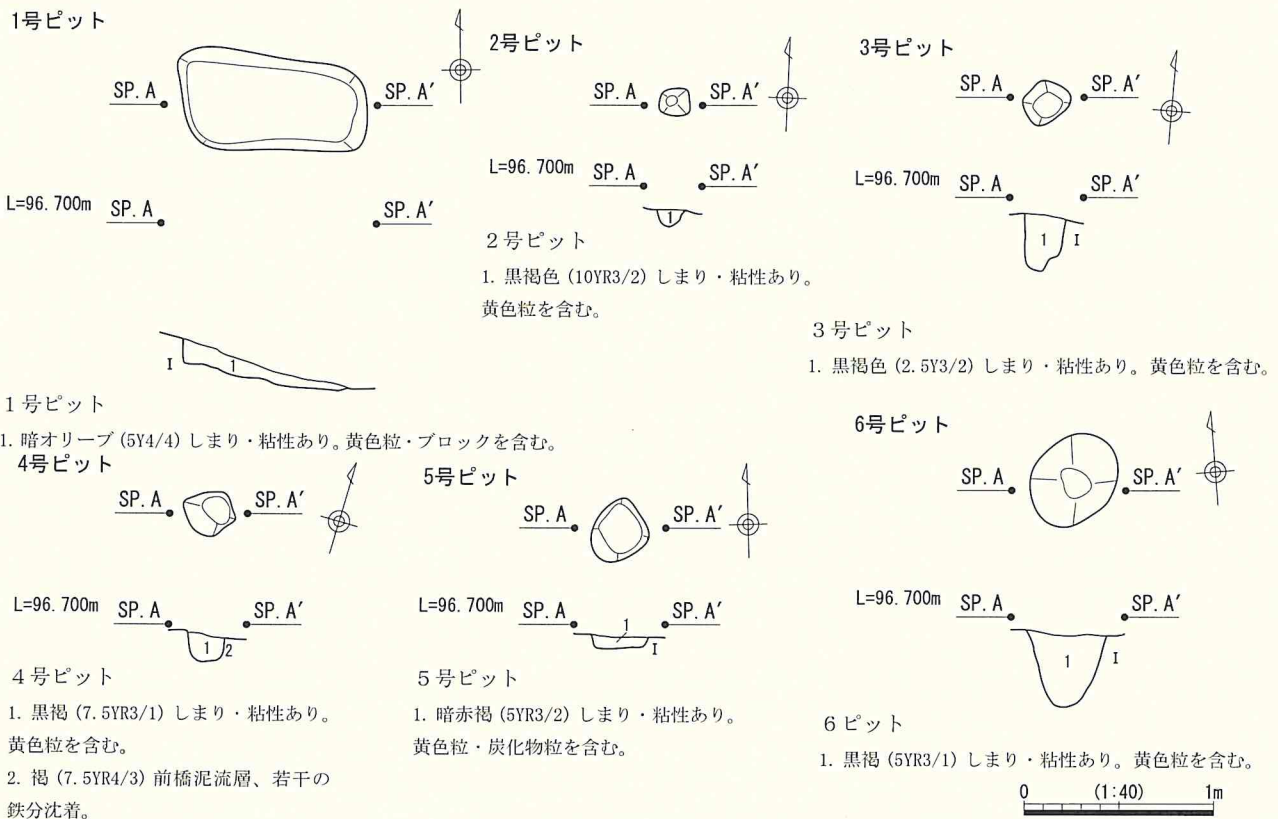
第9図 10・11号土坑 平面図・断面図

(3) ピット

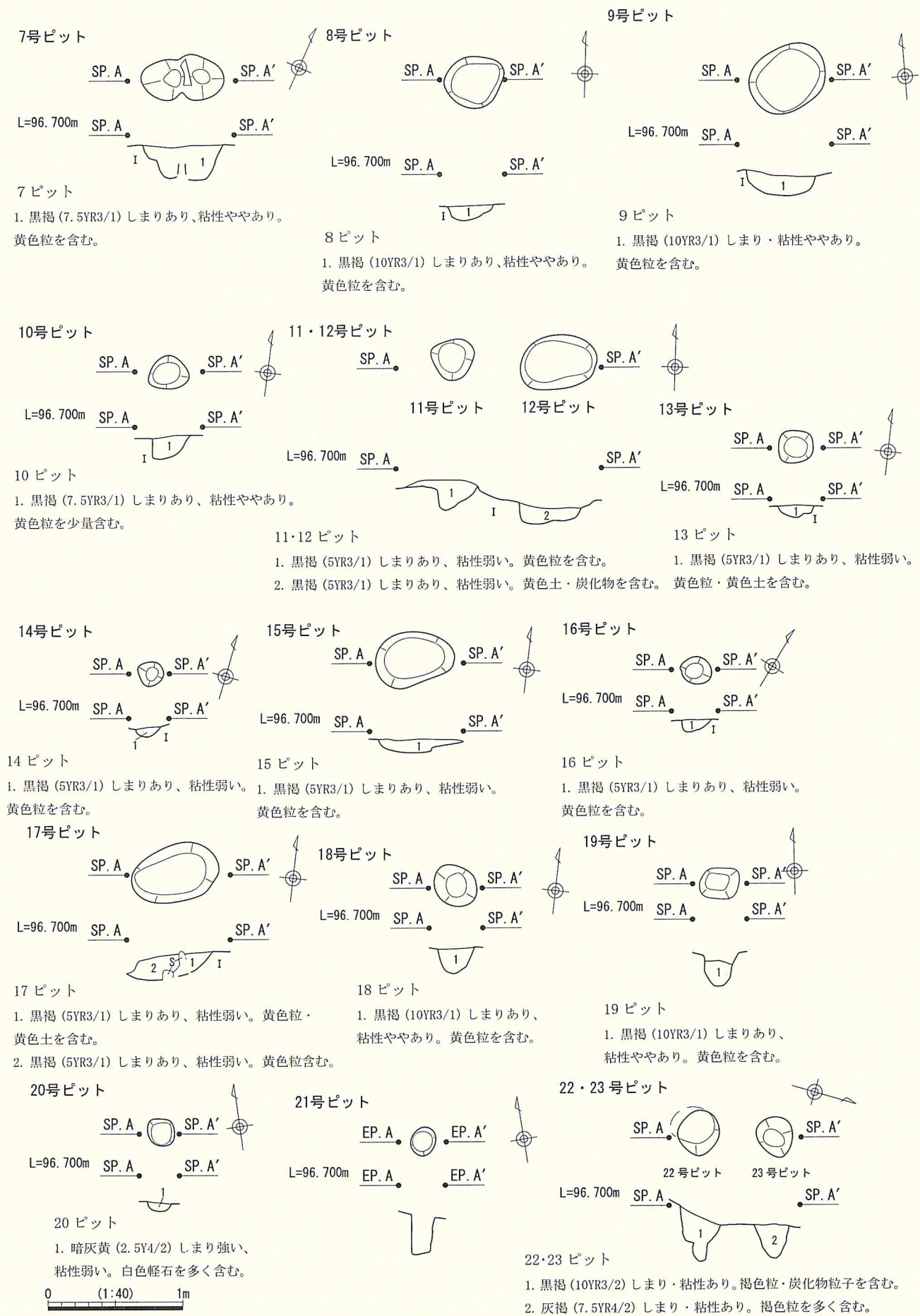
ピット跡は、27基検出した。1号ピットから土師器杯・高坏、9号ピットから石製模造品が出土している。19号ピットは掘立柱建物の柱穴と考えられるが、19号ピットに伴う柱穴は確認出来なかった。以下、表2で一覧する。(第10～12・57図 PL 4～6・16)

第2表 ピット 一覧表

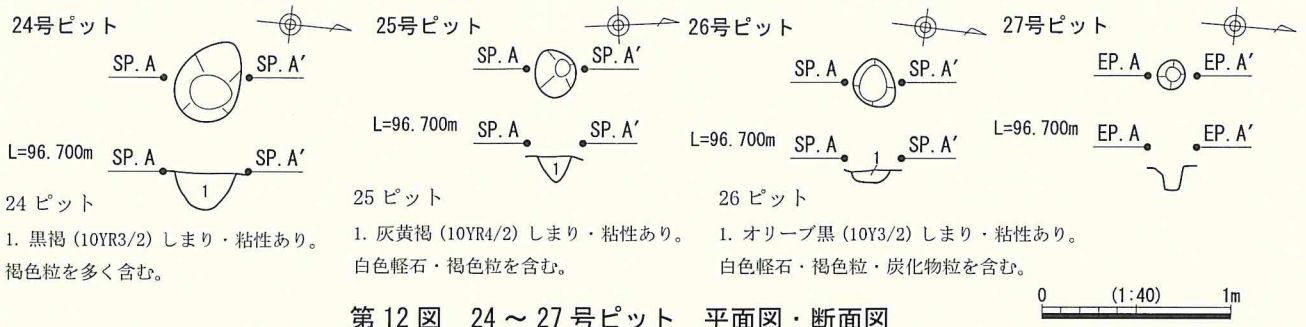
番号	平面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	備考
SP 1	長方形	97	49	28	土師器高坏・坏出土。
SP 2	橢円	17	17	9	
SP 3	橢円	25	20	30	
SP 4	橢円	25	22	16	
SP 5	橢円	35	30	7	
SP 6	橢円	53	42	41	
SP 7	瓢型	62	34	26	
SP 8	橢円	45	39	11	
SP 9	橢円	60	47	20	石製模造品出土。
SP10	橢円	30	25	17	
SP11	橢円	31	30	17	
SP12	橢円	58	41	14	
SP13	四角	26	24	9	
SP14	橢円	20	18	8	
SP15	橢円	60	40	11	
SP16	橢円	24	20	9	
SP17	橢円	66	42	2	1
SP18	橢円	35	29	20	
SP19	四角	29	23	24	掘立建物柱穴。
SP20	四角	24	21	7	
SP21	橢円	22	19	30	
SP22	橢円	32	30	42	
SP23	橢円	31	27	26	
SP24	橢円	45	33	20	
SP25	橢円	25	21	14	
SP26	橢円	26	22	7	
SP27	橢円	16	15	13	



第10図 1～6号ピット 平面図・断面図



第11図 7～23号ピット 平面図・断面図



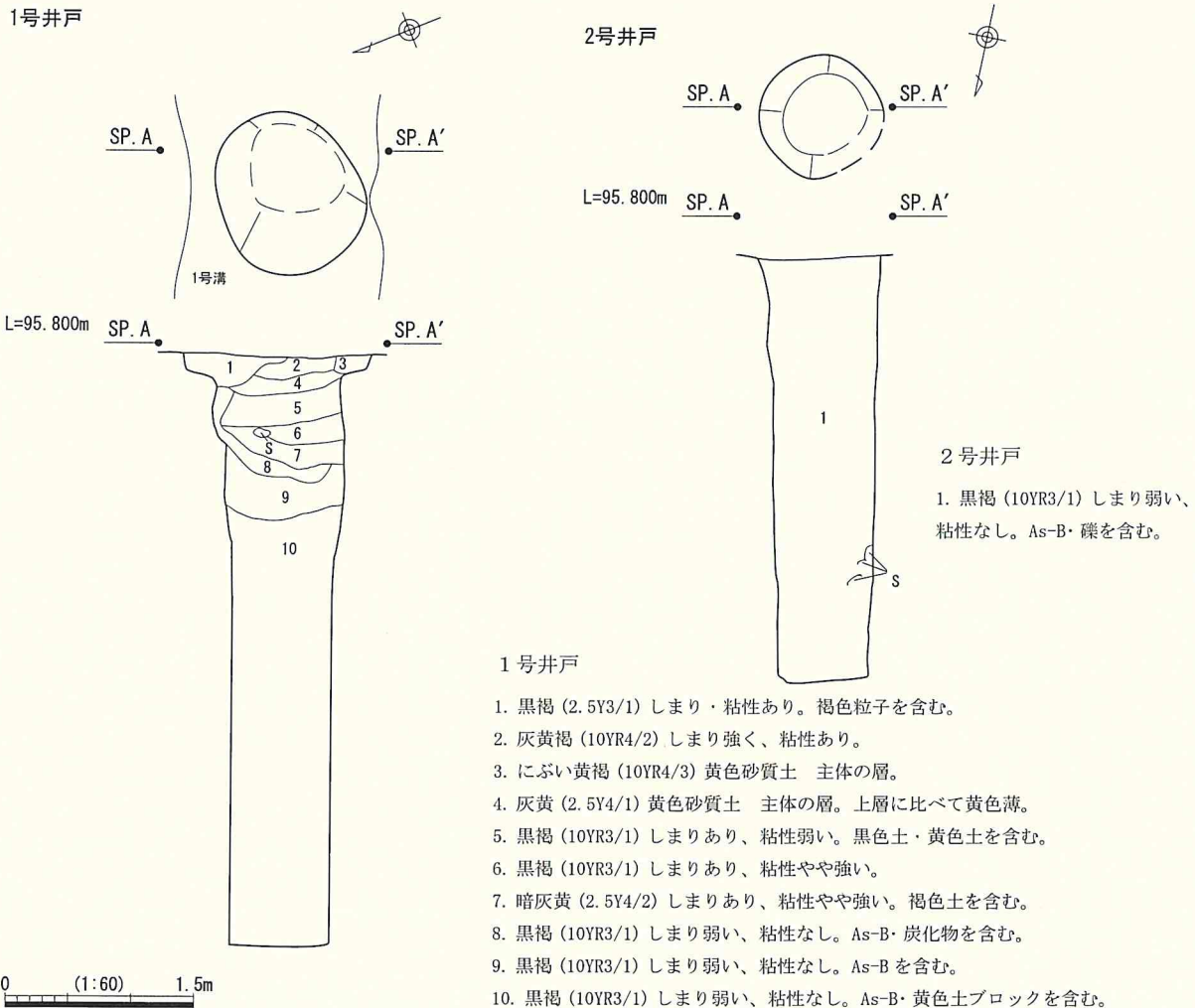
第12図 24～27号ピット 平面図・断面図

(4) 井戸

井戸跡は、4基検出した。検出した井戸は中世に掘削されている。3号井戸は、上部を石で囲われている。3号溝に壊されている事から、中世でも古い時期と考えられ、他の井戸は、高崎城築城時に掘削されたと考えられる。以下、表3で一覧する。(第12・13・57・58図 PL 7・16・17)

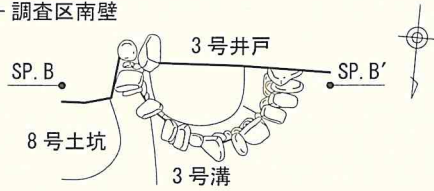
第3表 井戸 一覧表

SE	確認長 (m)	幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	深さ (m)	重複関係	所見
SE 1	1.3	1.12	1.12	4.81	4.81	重複関係	SD1 → SE1 と新しい
	所見	基石出土。					
SE 2	1.0	0.99	0.99	3.42	3.42	重複関係	
	所見	古代瓦出土。					
SE 3	1.48	0.77 ~ 1.17	0.77 ~ 1.17	3.57	3.57	重複関係	SE3 → SD3 と新しい
	所見	上部石囲い。土製鍋片・陶器片出土。					
SE 4	1.28	1.08	1.08	4.92	4.92	重複関係	
	所見	土師器坏、須恵器坏・埴・羽釜、播鉢、古代瓦、中層～下層から0.5～0.8mの礫多数出土。					

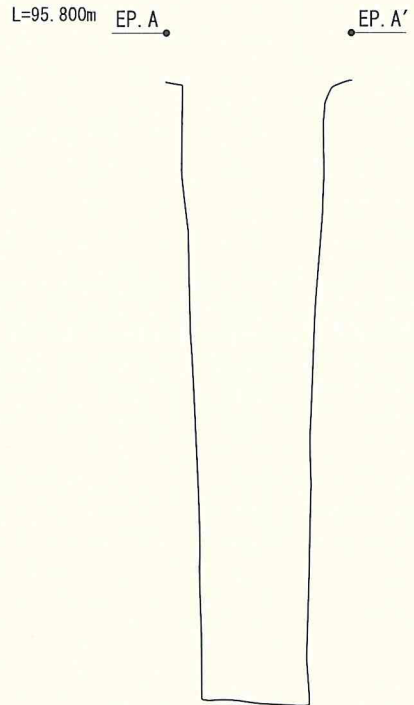
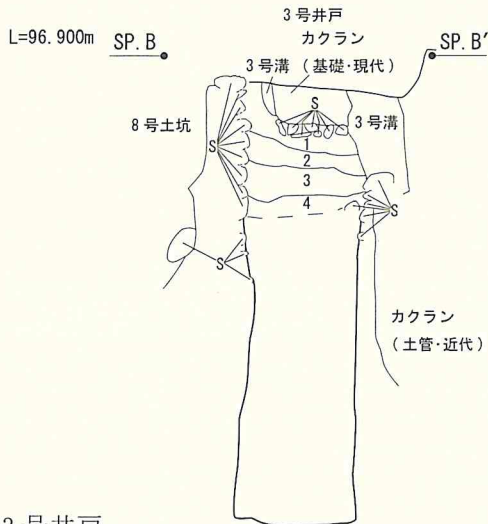
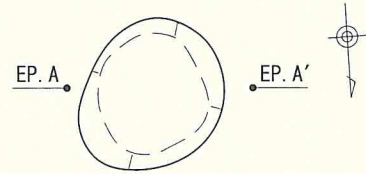


第13図 1・2号井戸 平面図・断面図

3号井戸 - 調査区南壁



4号井戸



3号井戸

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	備考
1	黒褐	(2.5Y3/2)	あり	や弱	あり		褐色土ブロックを含む。
2	黒褐	(2.5Y3/2)	や強	あり	少	多	
3	黄灰	(2.5Y4/1)	あり	あり		多	
4	黄灰	(2.5Y4/1)	あり	や強		あり	黒色土ブロックを含む。

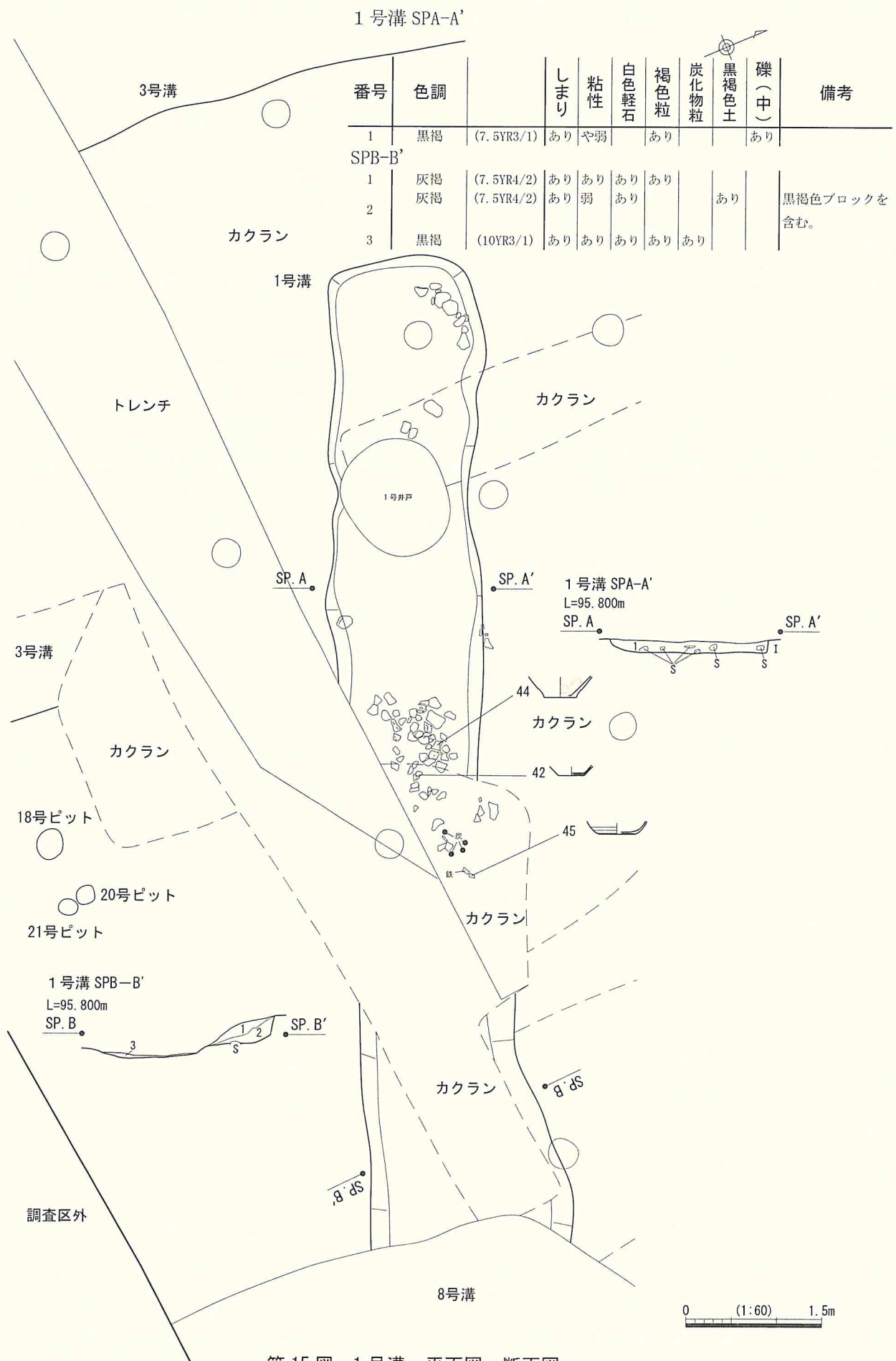
第14図 3・4号井戸 平面図・断面図

(4) 溝跡

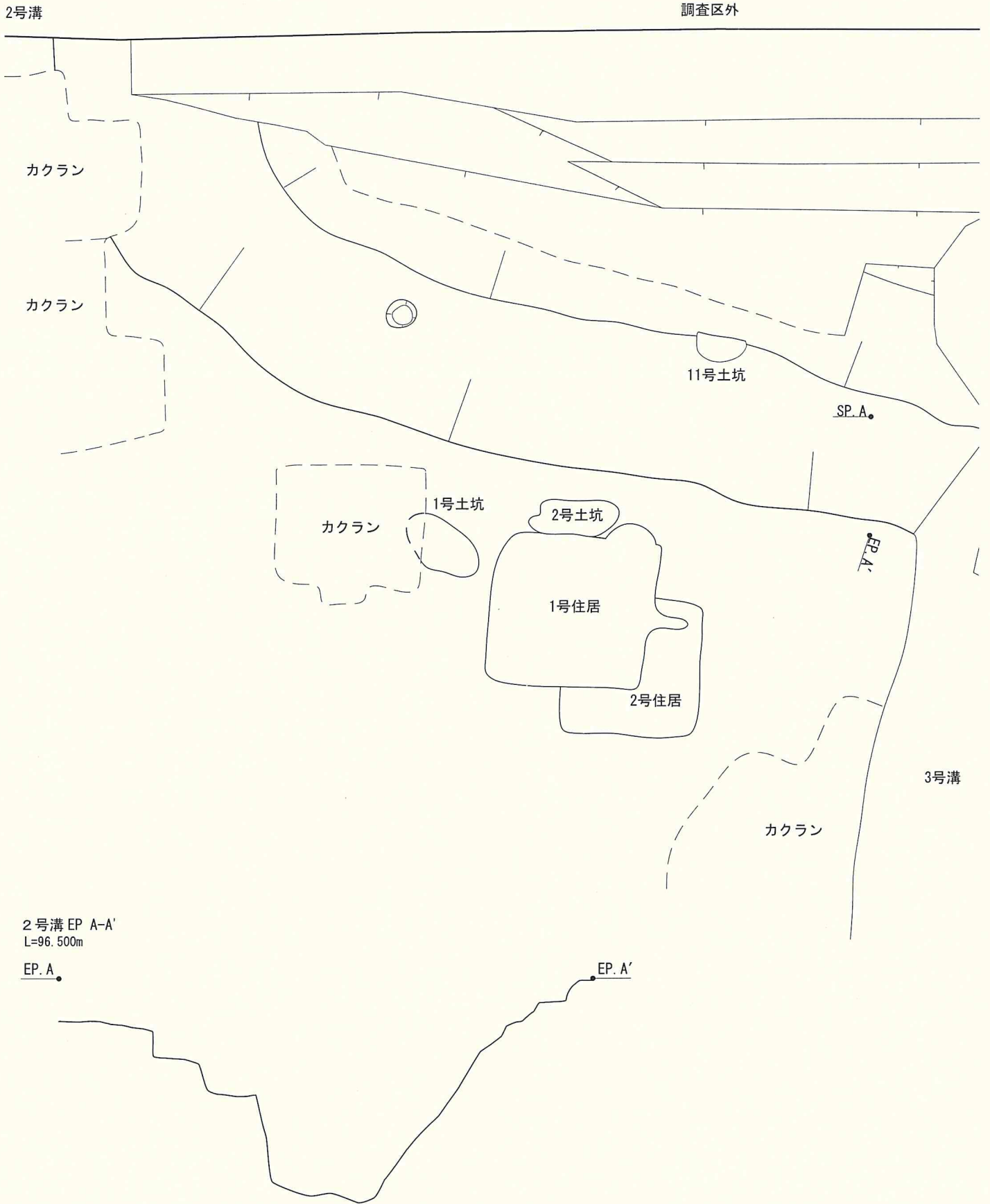
溝跡は、8条検出した。このうち、1・3・4・6・7号溝は中世の掘削と考えられ、1号溝は南東部でL字に曲がり7号溝に続く、2・5号溝は高崎城西郭堀、8号溝は、二ノ丸外堀である。2号溝上部と5号溝は、覆土の状況から近代まで埋没せず使用されていた。2号溝下部・8号溝は明治期に埋め戻して利用している。以下、表4で一覧する。(第14～54・58～97図 PL 7～14・17～38)

第4表 溝 一覧表

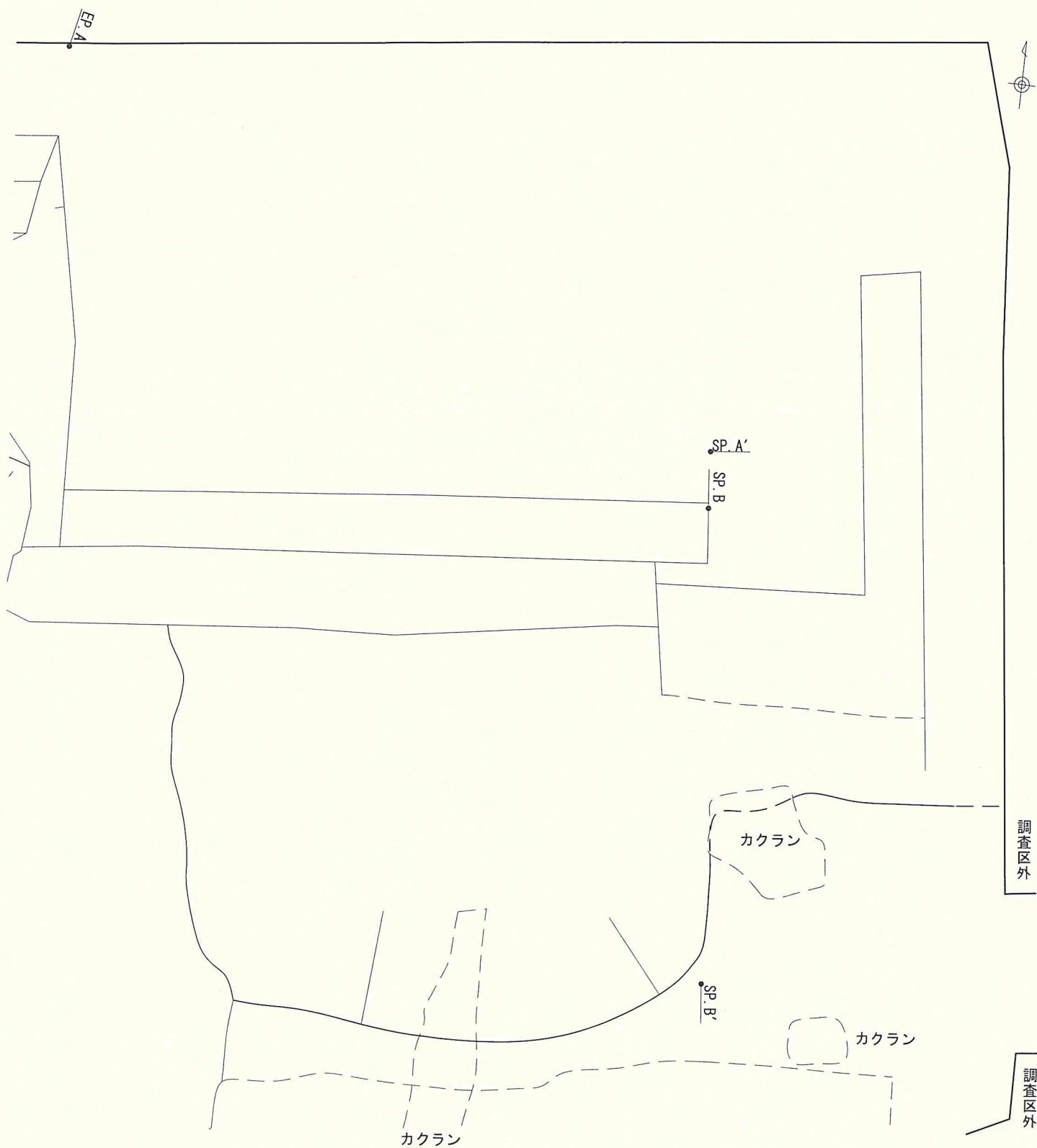
SD 1	確認長 (m)	10.9	幅 (m)	1.75	深さ (m)	0.16 ~ 0.48	重複関係	SD1 → SE1 → SD8
	所見	中世の溝 断面逆台形						
SD 2	確認長 (m)	35.6	幅 (cm)	14.1 ~ 18.3	深さ (m)	4.53 ~ 4.85	重複関係	SD3 → SD2 と新しい
	所見	高崎城西郭堀 断面逆台形						
SD 3	確認長 (m)	24.0	幅 (m)	6.6 ~ 6.7	深さ (m)	5.13 (地表)	重複関係	SD3・4 → SD2 と新しい
	所見	和田城堀 断面逆台形 基底部に幅40cmの溝あり。						
SD 4	確認長 (m)	25.2	幅 (m)	1.2 ~ 2.95	深さ (m)	1.38 ~ 1.95	重複関係	SD3・4 → SK3・4 → SD5
	所見	和田城堀 断面薬研形						
SD 5	確認長 (m)	39.3	幅 (m)	26.5	深さ (m)	7.18 (地表)	重複関係	SD4・6 → SD5 と新しい
	所見	高崎城西郭堀 断面逆台形						
SD 6	確認長 (m)	12.1	幅 (m)	3.6	深さ (m)	2.45 (地表)	重複関係	SD6 → SD5 と新しい
	所見	和田城に伴う堀 断面薬研形						
SD 7	確認長 (m)	3.15	幅 (m)	1.7	深さ (m)	1.05 (地表)	重複関係	SD7 → SD8 と新しい
	所見	中世溝 断面逆台形、SD1に続く						
SD 8	確認長 (m)	3.2	幅 (m)	5.2	深さ (m)	4.01 (地表)	重複関係	SD1・7 → SD8 と新しい
	所見	高崎城二ノ丸外堀 断面逆台形						



第15図 1号溝 平面図・断面図



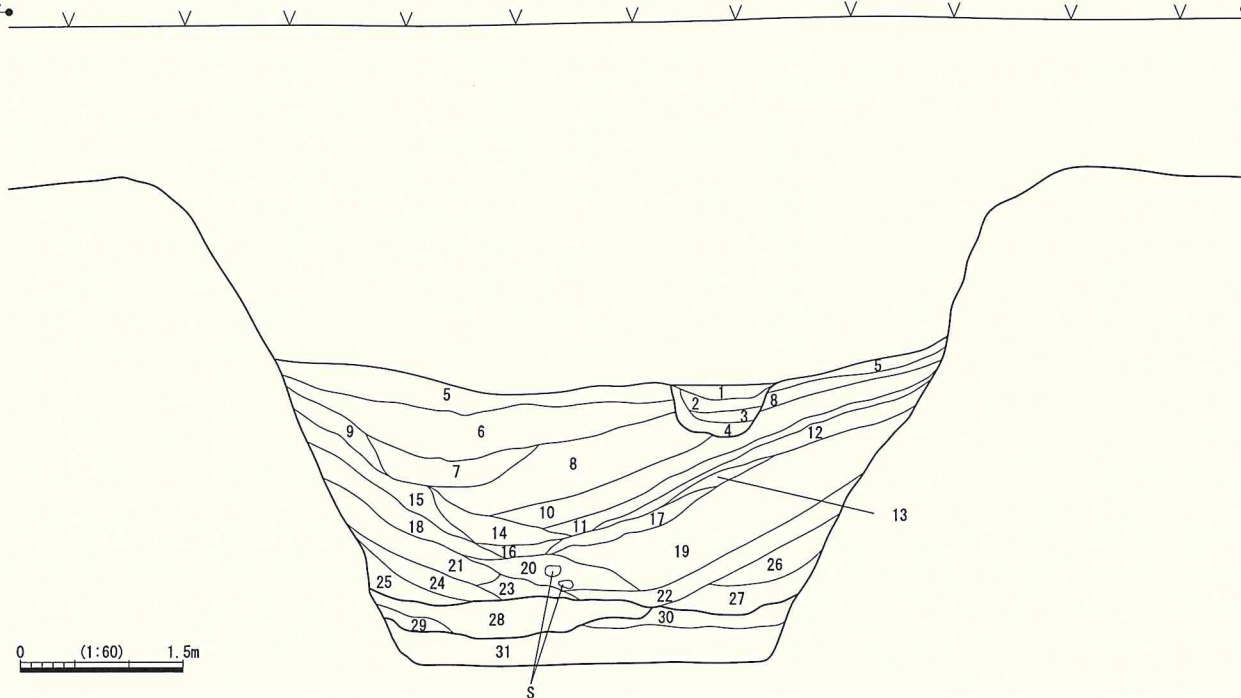
第16図 2号溝 平面図・断面図(1)



第17図 2号溝 平面図(2)

3号溝 SPA-A'
L=97.000m
SP. A

SP. A'

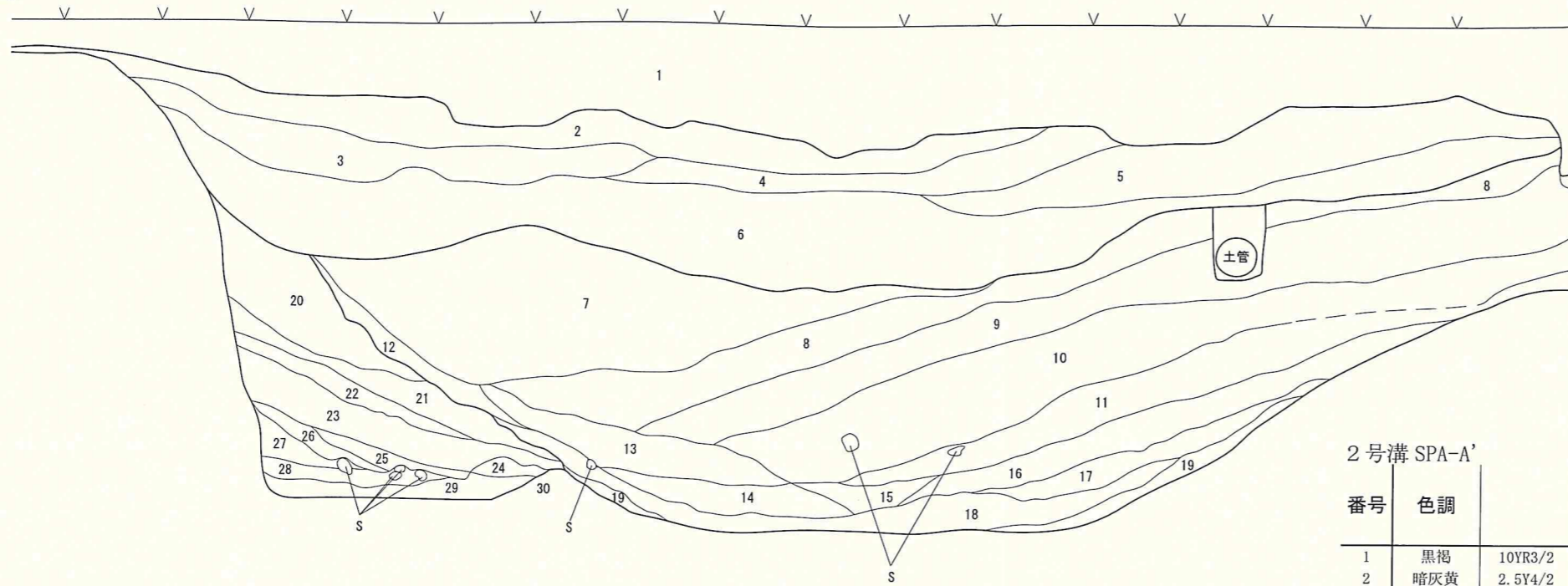


3号溝

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	炭化物	礫(小)	砂粒	シルト	鉄分	備考
1	灰黄褐	10YR5/2	あり	弱	あり						
2	褐灰	5YR4/1	強	あり	多						上面、粘土を層状に堆積。
3	灰褐	7.5YR5/2	強	弱	多						砂質土 1~4層近~現代
4	灰	5Y4/1	非強	弱	や多						
5	灰褐	7.5YR4/2	強	弱	や多						
6	黄褐	2.5Y4/1	強	や弱	多		少				
7	灰褐	7.5YR4/2	強	弱	多		あり				
8	灰黄褐	10YR4/2	非強	弱	多		少				
9	灰褐	7.5YR4/2	や強	あり	多						暗褐色土ブロックを含む。
10	黒褐	10YR3/1	強	あり	非多						褐色土ブロック非常に多い。
11	暗赤灰	5R4/1	や強	や強	多						褐色土ブロック多い。
12	黒褐	2.5Y3/1	強	あり	や多						
13	灰褐	7.5YR4/2	非強	弱	や多						褐色土ブロック多い。
14	黒褐	10YR3/1	強	あり	多						褐色土ブロック非常に多い。
15	灰褐	7.5YR4/2	強	や弱	非多						褐色土ブロックを含む。
16	黒褐	2.5Y3/1	あり	や弱							褐色土ブロックを含む。
17	黒褐	7.5YR3/1	や強	あり	少						褐色土ブロック少ない。
18	褐灰	7.5YR4/1	や弱	弱	非多						褐色土ブロック非常に多く、暗褐色土ブロック少量
19	黒褐	7.5YR3/1	強	弱	や多	少					褐色土ブロック少ない。
20	黒褐	2.5Y3/1	あり	あり							褐色土ブロック少ない。
21	暗オリーブ褐	2.5Y3/3	や強	あり	非多						褐色土ブロック非常に多い。
22	黒褐	10YR3/2	あり	あり	少				多		下面、白色軽石が層状に堆積。
23	黒褐	7.5YR3/1	や弱	あり	少						シルト層が何層にも堆積。
24	褐灰	5YR4/1	弱	弱	非多			少			褐色土ブロック非常に多く、暗褐色土ブロック少量
25	暗灰黄	2.5Y5/2	弱	強	多						土壘を壊したときの埋土。
26	褐灰	10YR5/2	弱	強	少						
27	黒褐	10YR3/1	弱	あり	あり			少		あり	
28	黒褐	2.5Y3/1	弱	なし	多					多	粒子の細かい砂層。
29	黒褐	2.5Y3/2	弱	なし	多					多	粒子の粗い砂層。
30	黒褐	10YR3/2	弱	や強							褐色土ブロック少ない。
31	褐灰	10YR4/1	弱	あり			多				褐色土ブロックを非常に多い。下層に小礫を多く含む。29~31層堀底埋土。流水あり。

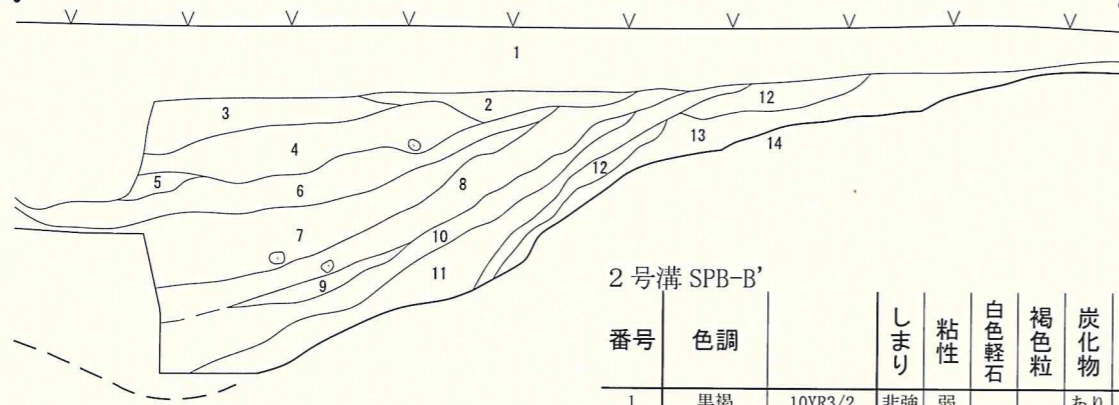
第18図 3号溝 断面図(1)

2号溝 SPA-A'
L=97.000m SP. A'



SP. A'

2号溝 SPB-B'
L=97.000m SP. B'



SP. B'

2号溝 SPB-B'

番号	色調	しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物	礫(中)	礫(小)	備考
1	黒褐	10YR3/2	非強	弱		あり			煉瓦・陶磁器を含む。
2	にぶい黄褐	10YR4/3	非強	弱	あり				褐色土ブロックを含む。
3	灰黄褐	10YR4/2	強	や弱	非多				
4	灰黄褐	10YR4/2	強	あり	多				褐色土ブロックを含む。
5	暗灰黄	2.5Y4/2	強	あり	多				褐色土ブロック少ない。
6	黄褐	2.5Y5/3	強	あり	非多		少	少	
7	灰黄褐	10YR4/2	あり	あり	非多				暗褐色土ブロックを層状に堆積。
8	灰褐	7.5YR4/2	あり	や強	あり	多			As-A・炭化物粒子を含む。
9	暗灰黄	2.5Y5/2	強	や弱	多				褐色土ブロック多い。
10	暗灰黄	2.5Y4/2	強	や強	あり				黄褐色粒子多く、層状に堆積。
11	灰黄褐	10YR4/2	や弱	あり	あり				褐色土ブロック多い。
12	暗赤灰	10R4/1	あり	あり	あり				As-A 多い。
13	黄灰	2.5Y4/1	強	あり	あり		あり		As-A を含む。
14	灰黄褐	10YR5/2	あり	あり	多				褐色軽石多い。(地山)

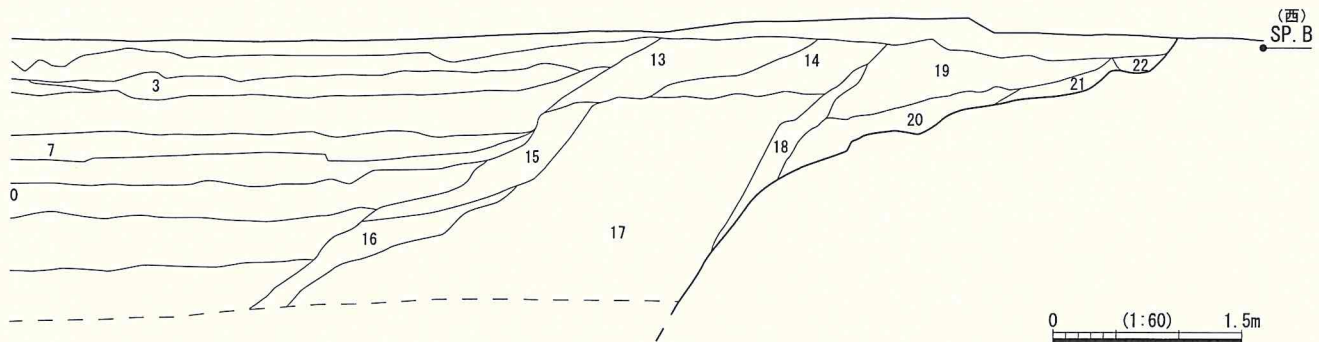
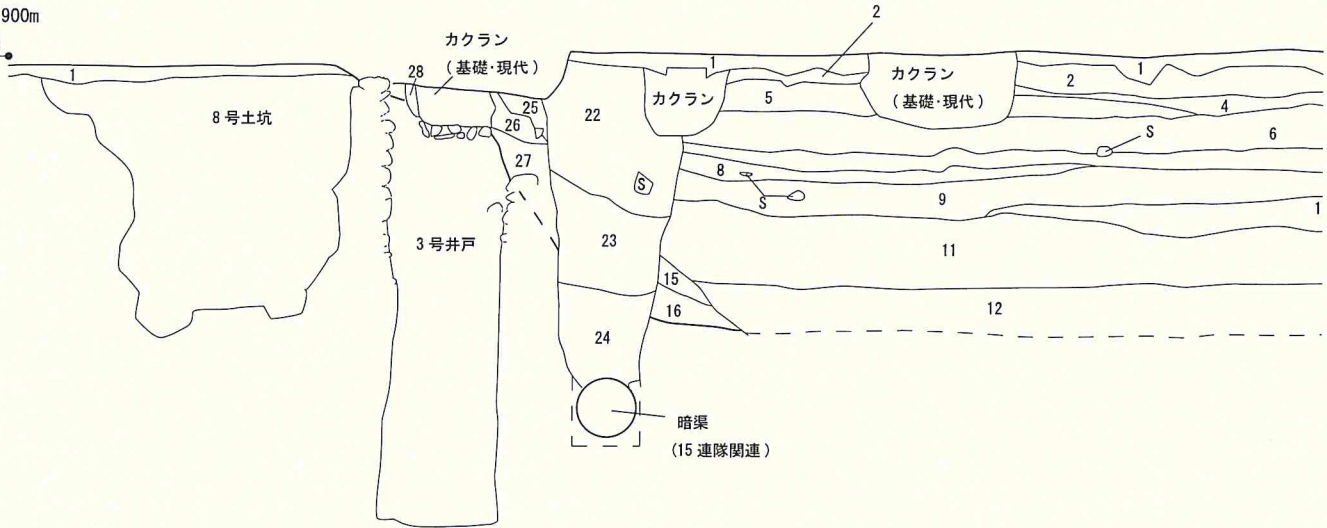
2号溝 SPA-A'

番号	色調	しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物	礫(大)	礫(中)	礫(小)	砂粒	シルト	鉄分	備考
1	黒褐	10YR3/2	非強	弱		あり							煉瓦・陶磁器を含む。
2	暗灰黄	2.5Y4/2	あり	あり	非多	多							As-A 多い。
3	オリーブ黒	10Y3/1	弱	微弱	非多	多							
4	暗灰黄	2.5Y4/2	弱	や弱	多								炭化物粒子多い。
5	黄灰	2.5Y4/1	弱	や弱	多				少	少			
6	オリーブ黒	5Y3/1	弱	弱	多				少	少			
7	暗灰	N3	や強	あり	多				少	少			褐色土ブロックを含む。
8	灰黄褐	10YR4/2	あり	あり	多				少	少			暗褐色土ブロックを層状に堆積。
9	灰黄褐	10YR4/2	あり	あり	多								As-A・炭化物粒子を含む。
10	灰褐	7.5YR4/2	あり	や強	多								黄褐色粒子多く、層状に堆積。
11	暗灰黄	2.5Y4/2	強	や強	あり								As-A 多い。
12	黒褐	7.5YR3/2	や強	弱	多								
13	オリーブ褐	2.5Y4/3	強	あり	多		多						
14	灰黄	2.5Y4/1	強	や強	多		少						
15	黒褐	7.5YR3/2	弱	強	多								暗・褐色土ブロック多い。
16	黄灰	2.5Y4/1	あり	や強	多						あり		暗褐色土ブロックを含む。
17	黒褐	10YR3/1	弱	あり	多								
18	黒褐	10YR3/2	弱	あり	多								As-A やや多い。
19	黒褐	10YR3/2	微弱	なし	非多								As-A 層
20	灰黄褐	10YR4/2	強	あり	少								3号溝 20~29層
21	褐灰	10YR4/1	強	あり	多								
22	暗灰黄	7.5YR4/2	強	や弱	多								
23	黒褐	10YR3/1	や強	弱	多					あり			多
24	暗灰黄	2.5YR4/2	弱	や弱	多					あり			褐色土ブロック多い。
25	黒褐	2.5Y3/2	弱	あり	少								や多 暗褐色土ブロック少量、砂質土
26	黒褐	7.5YR3/1	弱	や強	少						あり		あり シルト層。
27	暗灰黄	2.5Y4/2	弱	あり	多								地山土
28	黒褐	10YR3/2	弱	や弱	多			多			あり		あり シルト層。
29	黒褐	10YR3/2	弱	弱	多						あり		あり 底面に鉄分を含む。砂層。
30	灰黄褐	10YR4/2	強	あり	非多								地山

0 (1:60) 1.5m

第20図 2号溝 断面図(3)

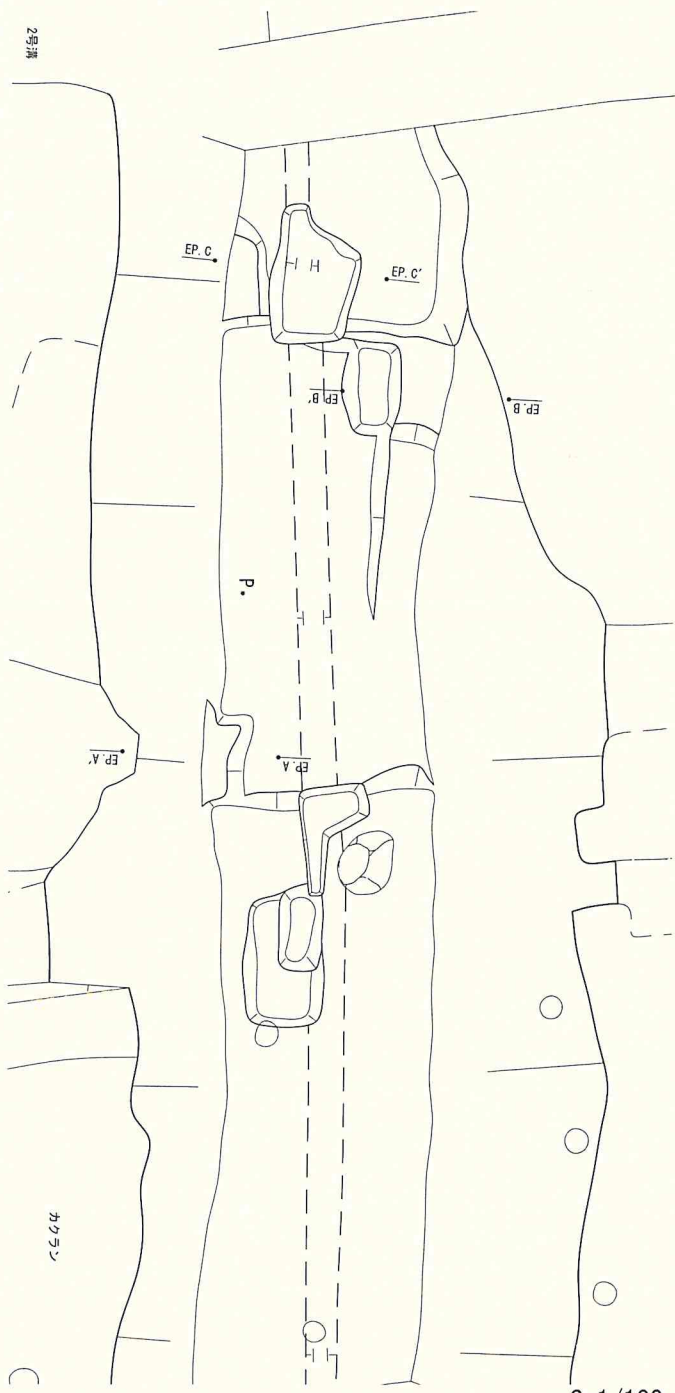
L=96.900m
SP. B



3号溝 SPB-B'

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	礫(大)	礫(中)	礫(小)	砂粒	鉄分	備考
1	黒褐	(10YR3/2)	強	弱				多				
2	暗褐	(10YR3/3)	や強	あり	多	多						黒色土・シルト質土を層状に含む。
3	灰褐	(7.5YR4/2)	あり	弱	非多	多			あり	非多		
4	黒褐	(10YR3/1)	強	あり	多	多				多		
5	暗灰黄	(2.5Y4/2)	や強	や強	多	多				多		シルトブロック(φ5cm)を含む。
6	黒褐	(10YR3/2)	あり	あり	あり	あり			あり	あり		炭化物(φ2.0cm)を少量含む。
7	灰黄褐	(10YR4/2)	や弱	強	多					多		シルト層。
8	褐灰	(7.5YR4/1)	強	弱								砂質層。
9	褐灰	(7.5YR4/1)	強	強					多			シルト層。
10	黒褐	(10YR3/2)	あり	弱	あり				多	あり	多	
11	暗灰黄	(2.5Y4/2)	強	あり			非多	非多	非多			礫層。
12	褐灰	(10YR4/1)	弱	弱					多			砂質層。
13	暗赤褐	(5YR3/2)	強	あり	多	多						
14	褐灰	(10YR4/1)	強	弱	多	多						褐色土ブロック(φ1.5cm)を多く含む。
15	灰黄褐	(10YR4/2)	強	あり	や多	多				や多		
16	黒褐	(7.5YR3/1)	弱	あり	多	多						
17	灰黄褐	(10YR4/2)	非強	弱	非多				非多			褐色土・黒色土ブロックを非常に多く含む。
18	にぶい黄褐	(10YR4/3)	強	あり								褐色土ブロックを多く含む。
19	黒褐	(10YR3/2)	あり	あり	あり	あり	少					
20	オリーブ黒	(5Y3/1)	あり	あり	や多	少	あり					1~20・25~27層 3号溝埋没土。
21	黒褐	(2.5Y3/1)	や強	あり		あり						攪乱
22	黒褐	(10YR3/3)	や弱	あり	非多							
23	黒褐	(10YR3/2)	や弱	弱	あり				少			
24	褐灰	(7.5YR4/1)	弱	あり	非多				非多			22~24層 十五連隊関連。
25	黒褐	(2.5Y3/1)	あり	あり	あり				非多	あり		
26	黒褐	(2.5Y3/2)	あり	弱	少				多			
27	黒褐	(10YR3/1)	強	あり	少	あり						25~27層 3号溝埋没土。
28	黄灰	(2.5Y4/1)	や強	あり	多							

第21図 3号溝 断面図(4)



3号溝 EP C-C'
L=94.500m EP.C

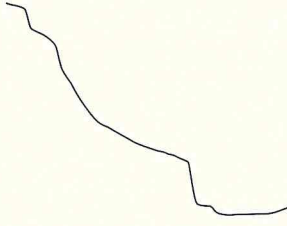
EP.C'



礫層 しまり強い。砂粒・礫(φ3~30cm程)を多く含む。

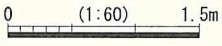
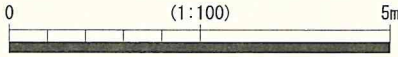
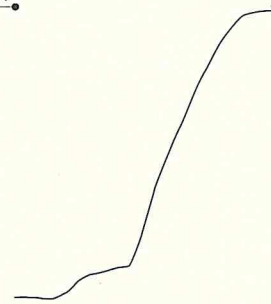
3号溝 EP B-B'
L=94.500m EP.B

EP.B'



3号溝 EP A-A'
L=94.500m EP.A

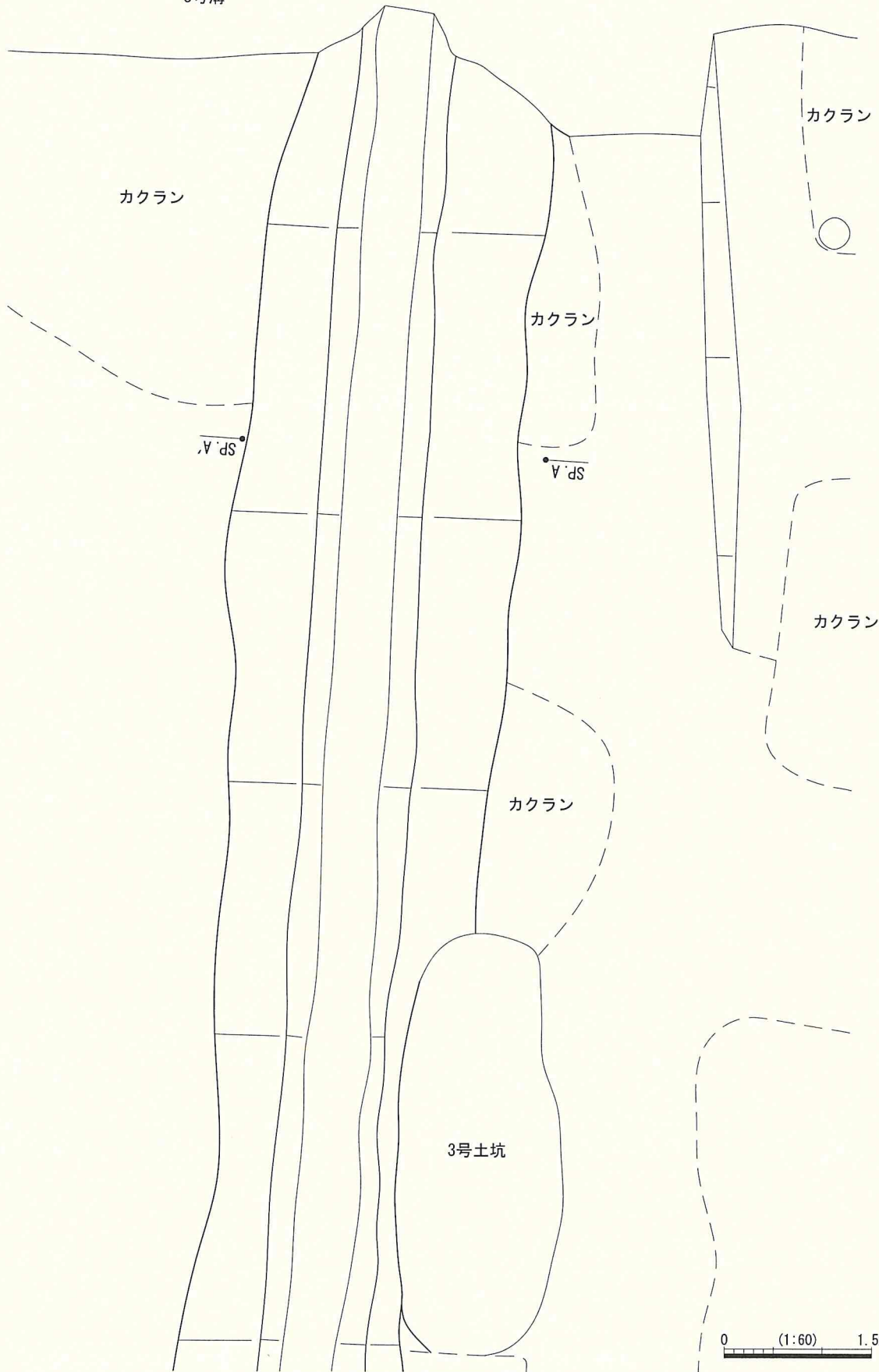
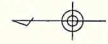
EP.A'



第22図 3号溝 断面図(4)

4号溝

3号溝



カクラン

カクラン

カクラン

SP.A

SP.A

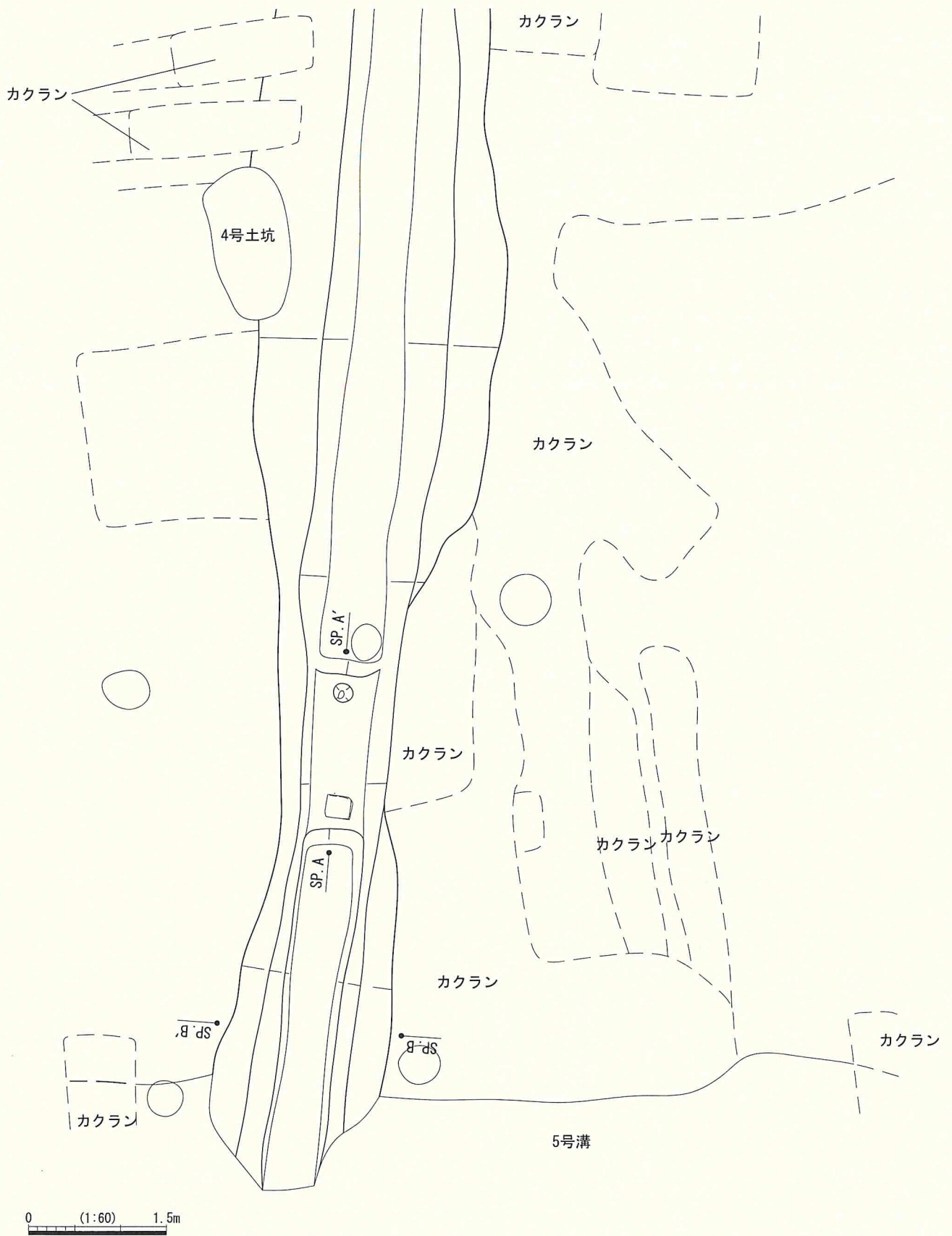
カクラン

カクラン

3号土坑

0 (1:60) 1.5m

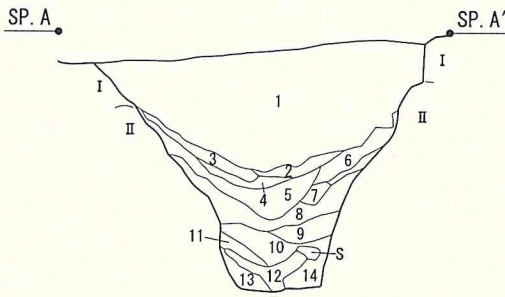
第 23 図 4号溝 平面図 (1)



第24図 4号溝 平面図(2)

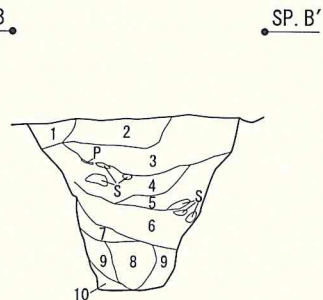
4号溝 SPA-A'

L=96.500m



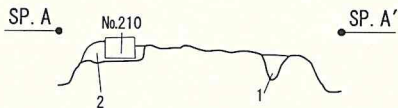
4号溝 SPB-B'

L=96.500m



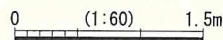
4号溝 1号ピット (橋の基礎)

L=94.600m



4号溝 1号ピット SPA-A'

- 1 灰黄褐 (10YR4/2) しまり強く、粘性あり。
- 2 暗灰黄 (2.5Y4/2) しまり・粘性強い。



4号溝 SPA-A'

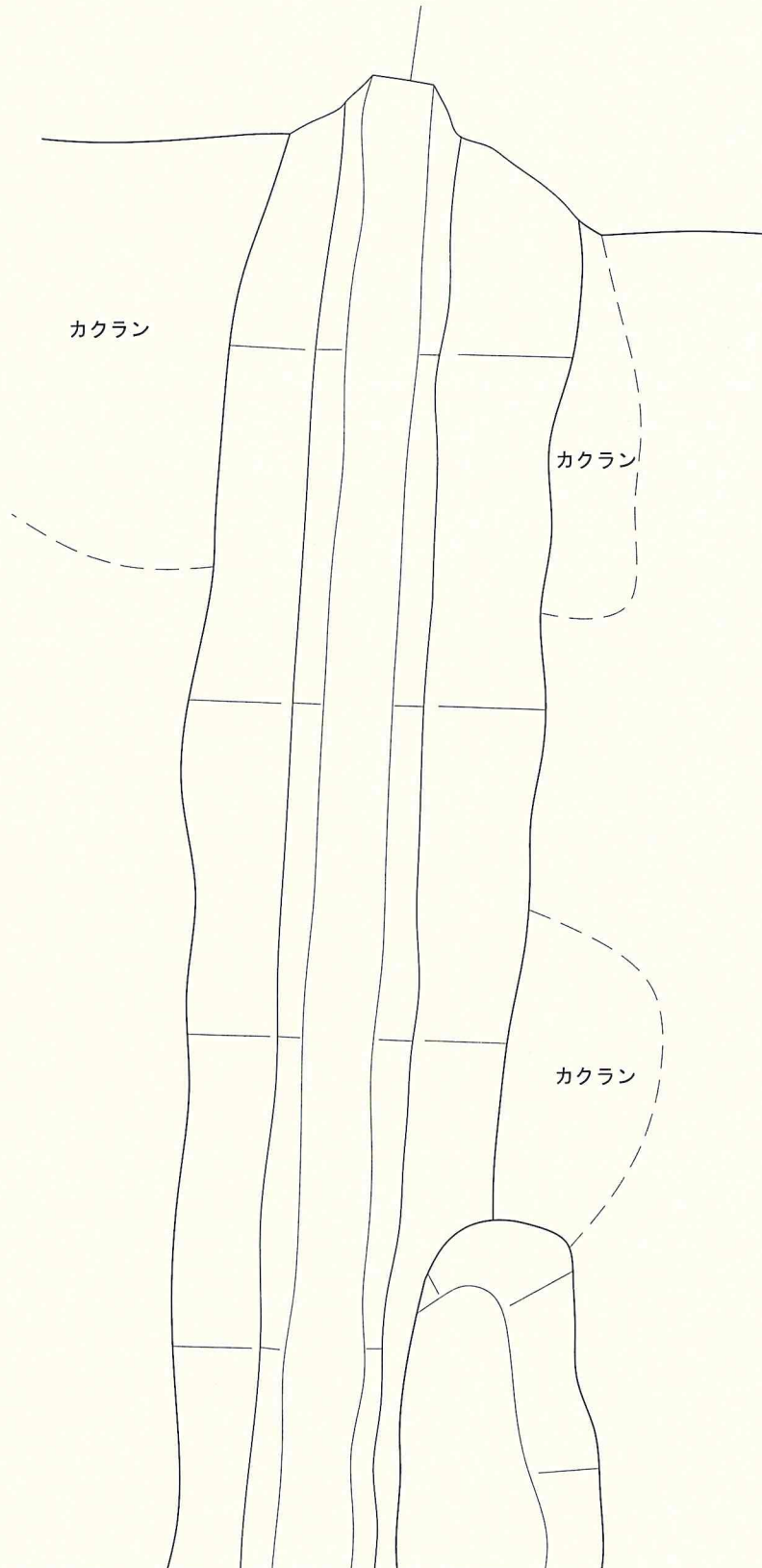
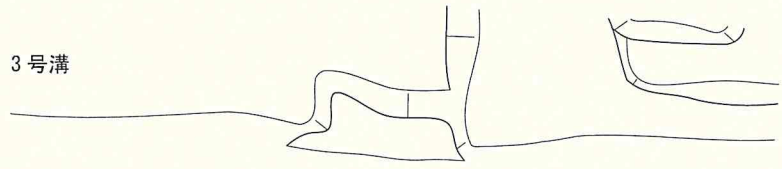
番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	黄色粒	黄色土	黒色土	炭化物	礫(中)	礫(小)	備考
1	灰黄褐	10YR4/2	強	弱	あり					あり	あり	II層主体。土塁崩落土。
2	黒褐	7.5YR3/1	あり	弱		あり						
3	黒褐	7.5YR3/1	あり	弱		あり			少			
4	黒褐	7.5YR3/1	あり	弱		や多			少			
5	黒褐	10YR3/2	あり	弱					少	あり		
6	黒褐	10YR3/2	あり	や強			や多					
7	黒褐	10YR3/2	あり	や強			あり					
8	黒褐	10YR3/2								あり		II層主体。
9	黒褐	7.5YR3/1	弱	弱		あり						
10	黒褐	10YR3/2	あり	や強			あり	あり				黄色土・黒色土の混和層。
11	にぶい黄褐	10YR4/3	強	や強								II層主体。
12	灰褐	7.5YR4/2	あり	や弱			あり	あり				黄色土・黒色土の混和層。
13	灰褐	7.5YR4/2	弱	や弱			多					黄色土主体の層。
14	灰褐	7.5YR4/2	強	弱			非多					黄色土主体の層。
I	褐	7.5YR4/3	強	あり							あり	地山
II	灰黄褐	10YR4/2	強	弱	あり					あり	あり	地山

4号溝 SPB-B'

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	白色粒	褐色粒	褐色土	炭化物粒	礫(中)	礫(小)	備考
1	オリーブ灰	10YR5/2	弱	弱	多							II層主体。
2	黒褐	2.5Y3/1	あり	あり				あり	少			
3	黒褐	7.5YR3/2	や強	あり		や多	や多		少	少	少	
4	黒褐	10YR3/2	あり	や弱		少	あり			少	少	炭化物粒少し。
5	黒褐	10YR3/2	あり	や強			少	少				
6	黒褐	10YR3/2	強	あり		多	多					炭化物粒少し。
7	暗オリーブ灰	2.5GY3/1	あり	あり	少	少	少					
8	黒褐	10YR3/2	強	や弱	少			多				
9	暗灰黄	2.5Y4/2	強	や強	あり			多				土塁を崩して埋土している。
10	暗灰黄	2.5Y4/2	弱	弱			非多	非多				土塁を崩して埋土している。

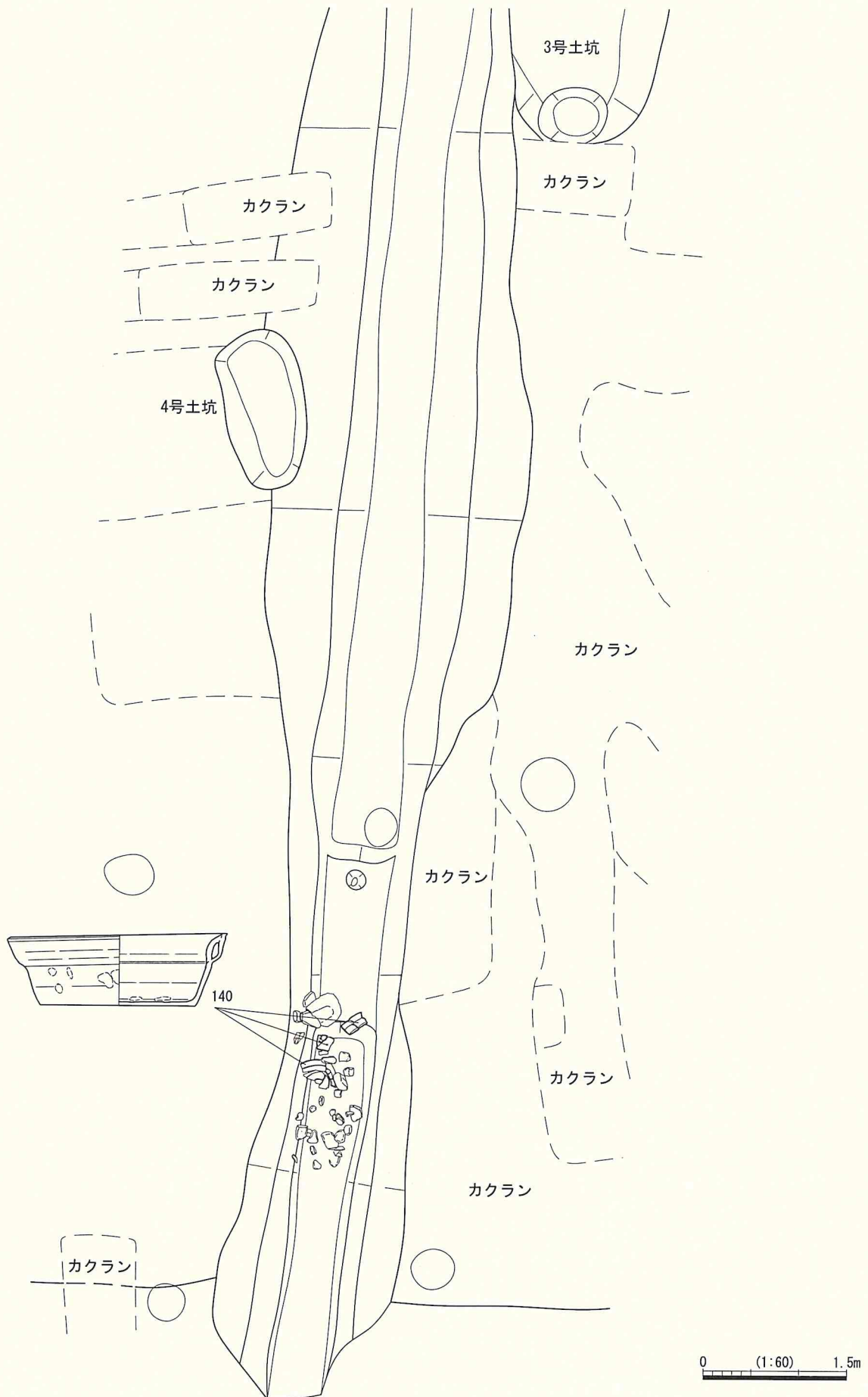
第25図 4号溝 断面図

3号溝

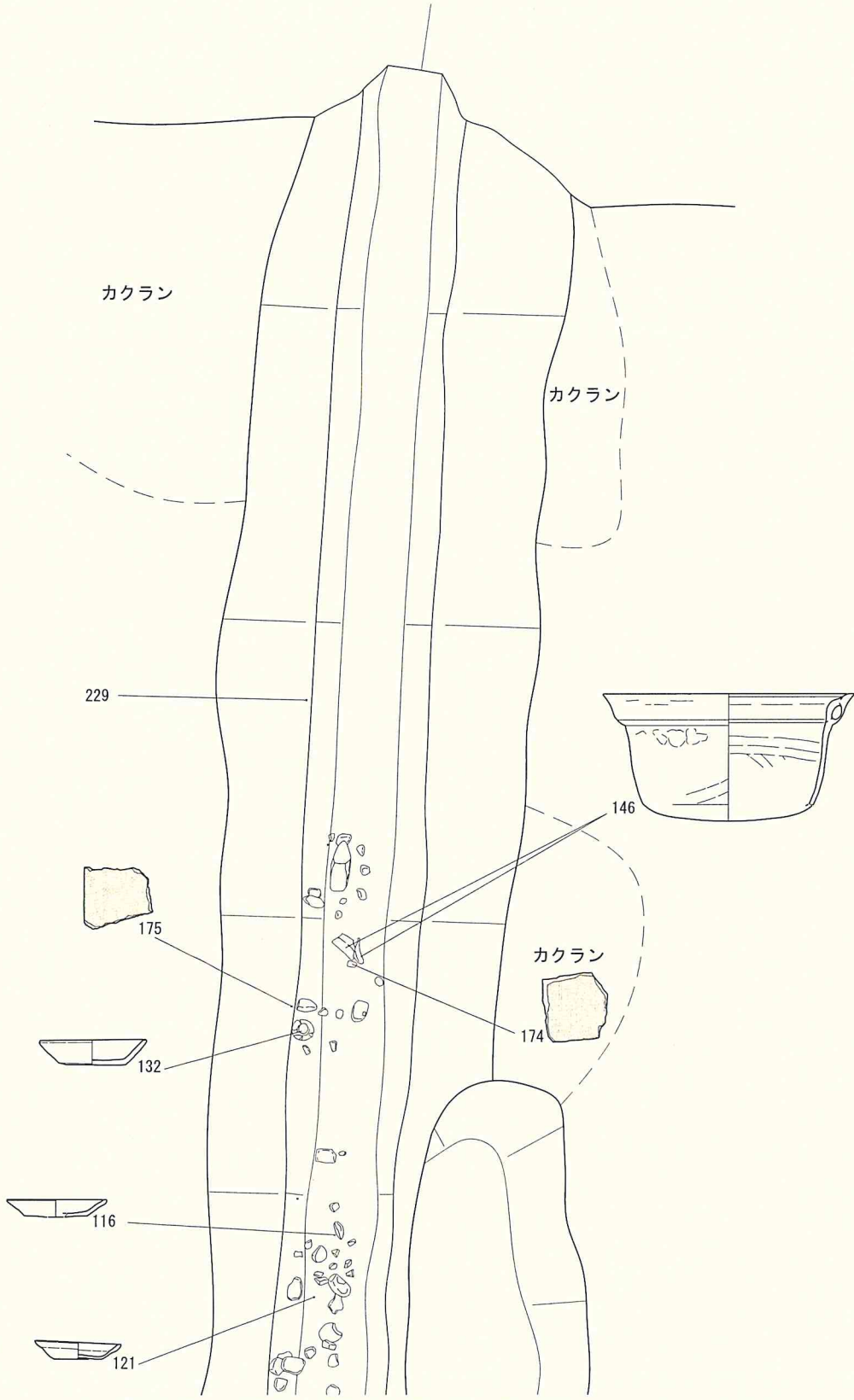
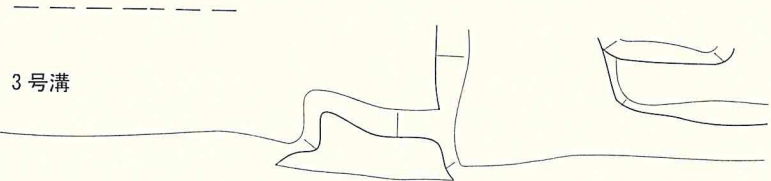
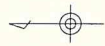


0 (1:60) 1.5m

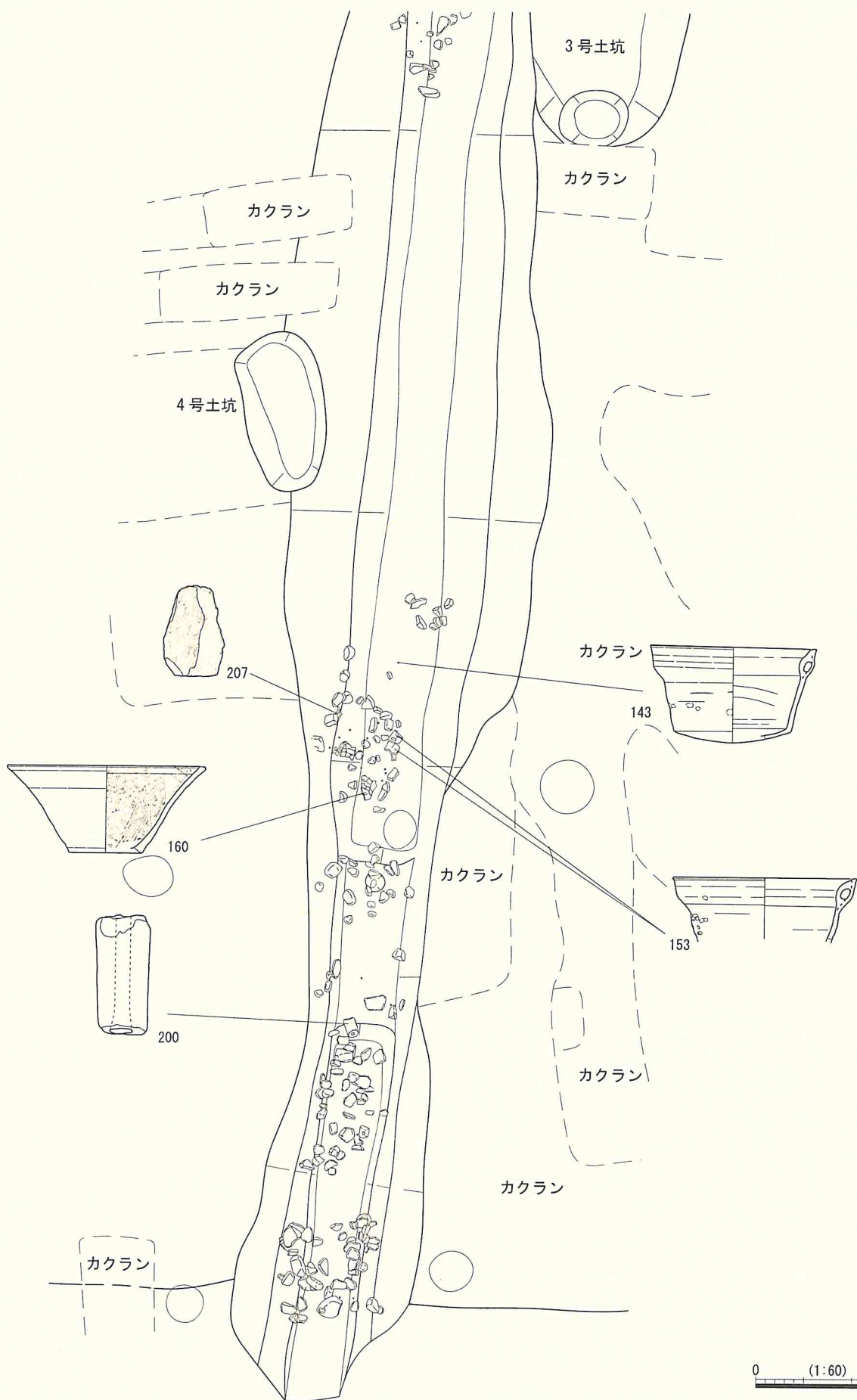
第26図 4号溝 遺物出土図 第1面(1)



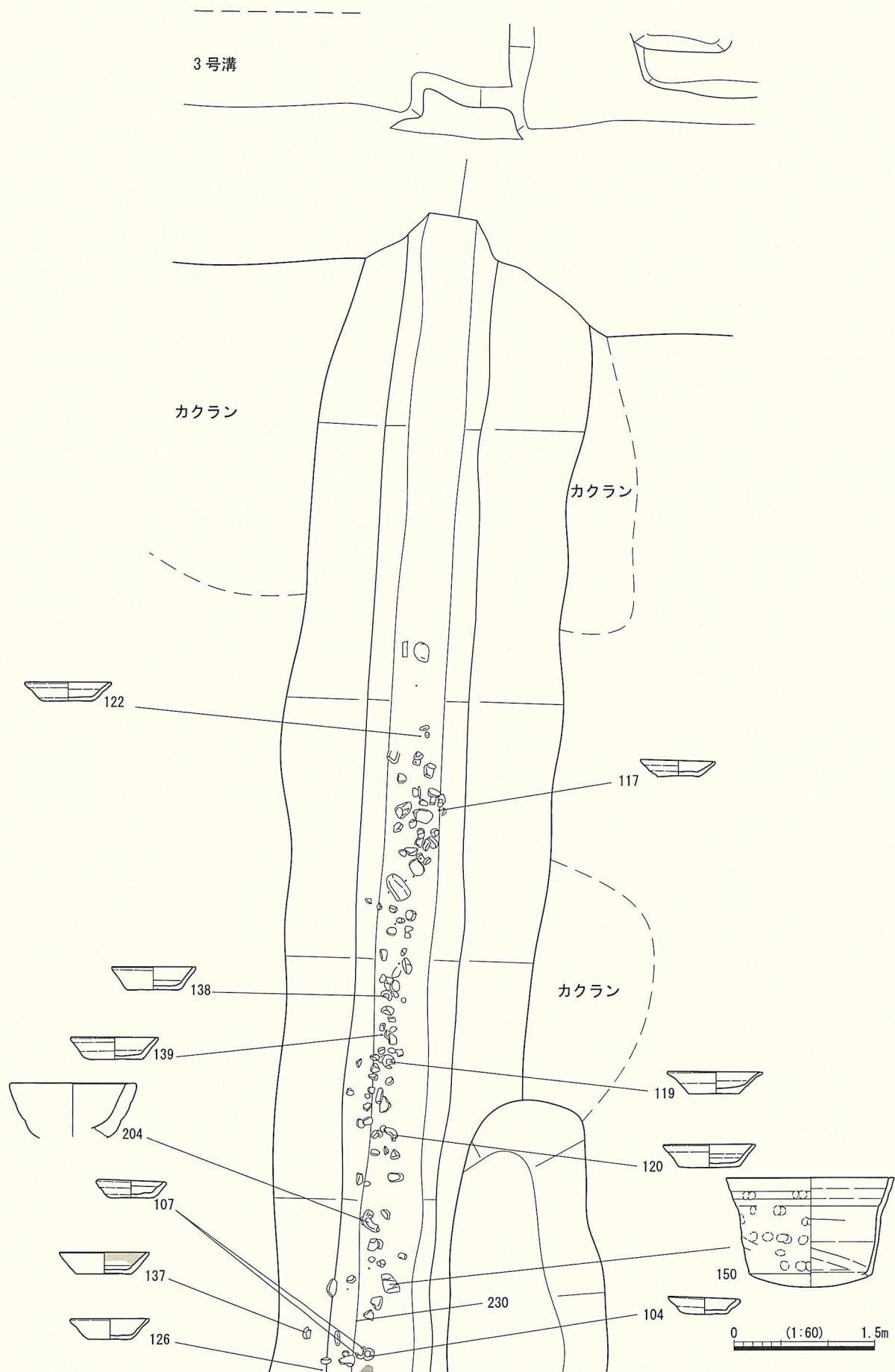
第 27 図 4号溝 遺物出土図 第 1 面 (2)



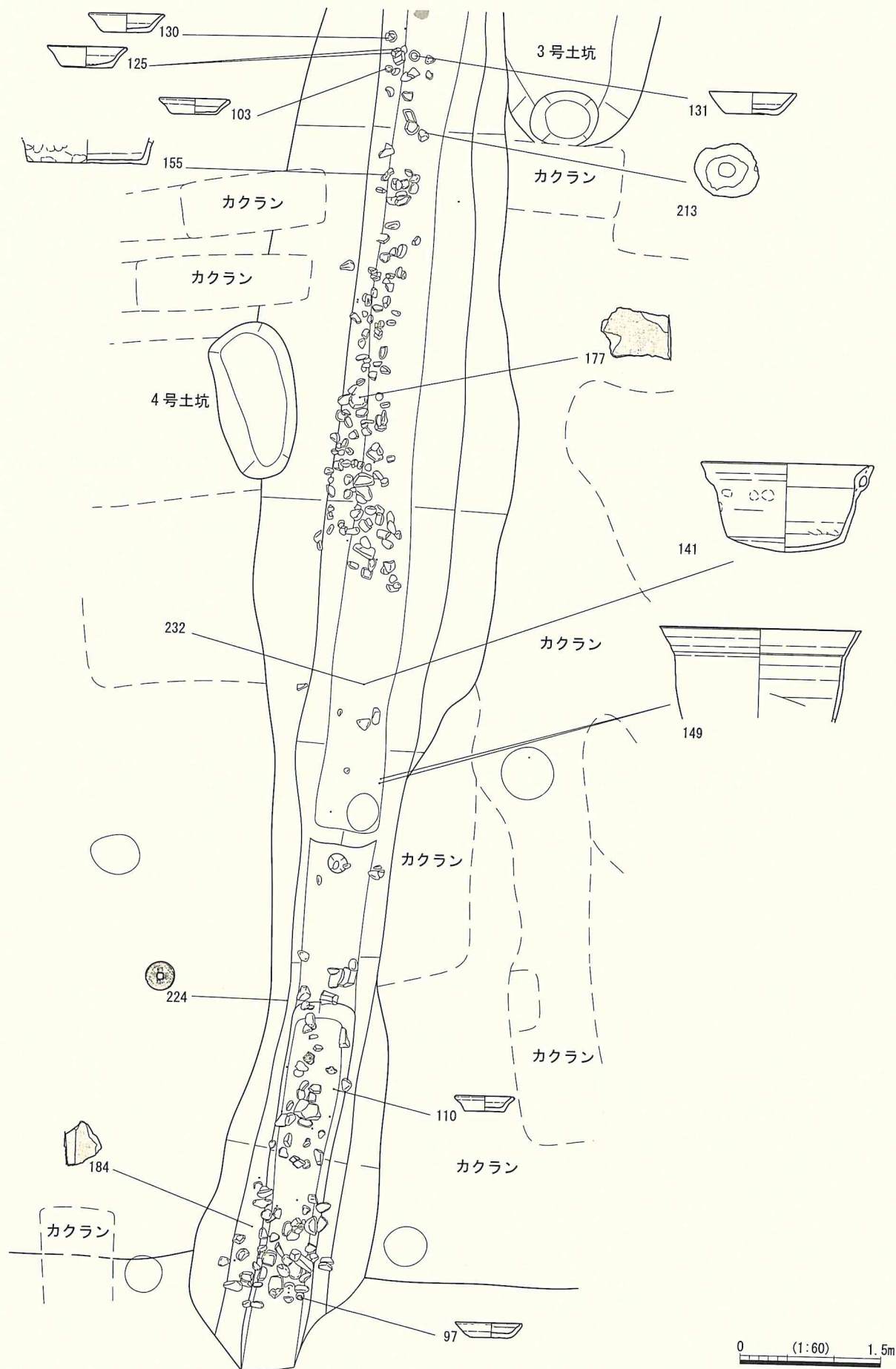
第28図 4号溝 遺物出土図 第2面(1)



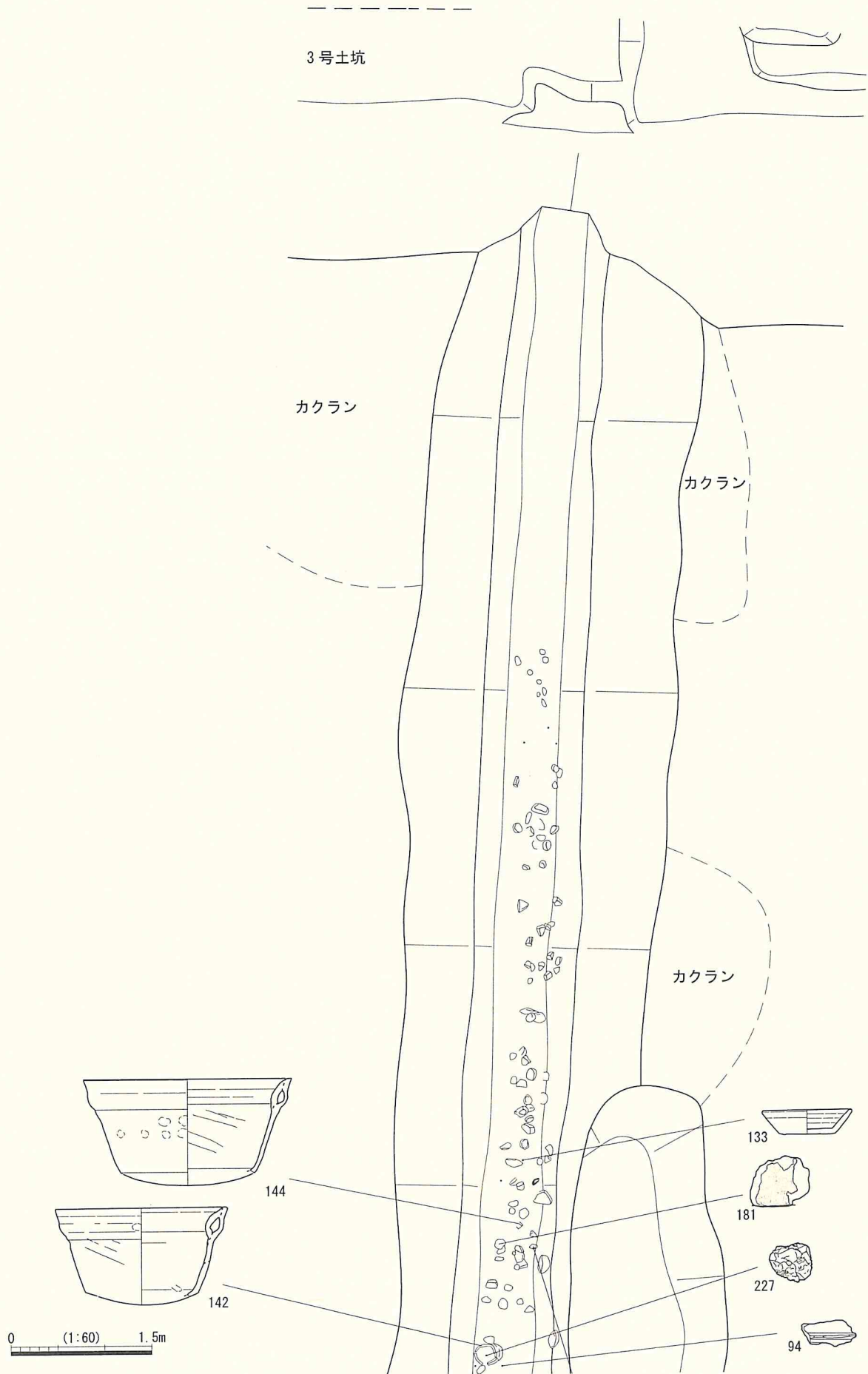
第29図 4号溝 遺物出土図 第2面(2)



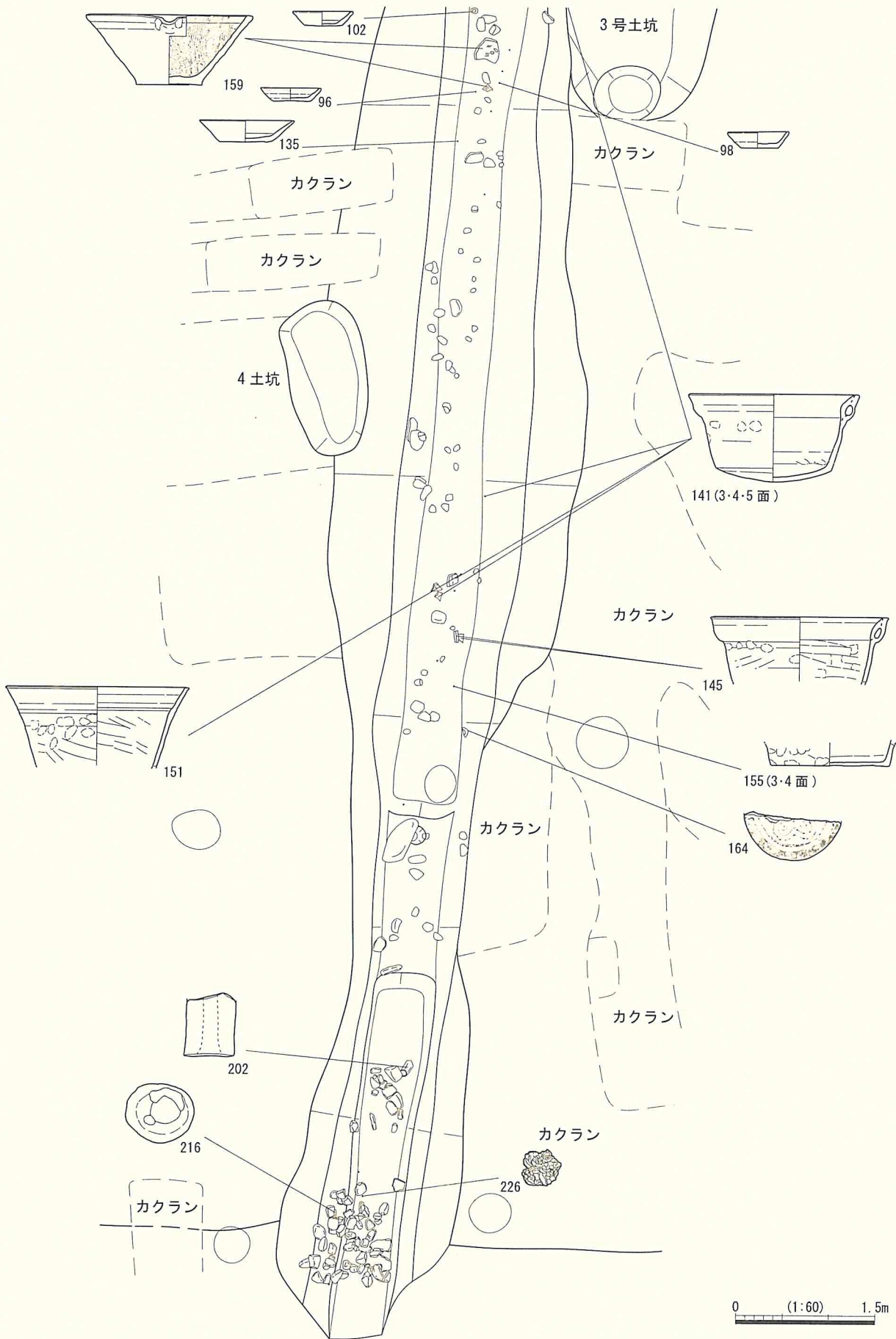
第30図 4号溝 遺物出土図 第3面(1)



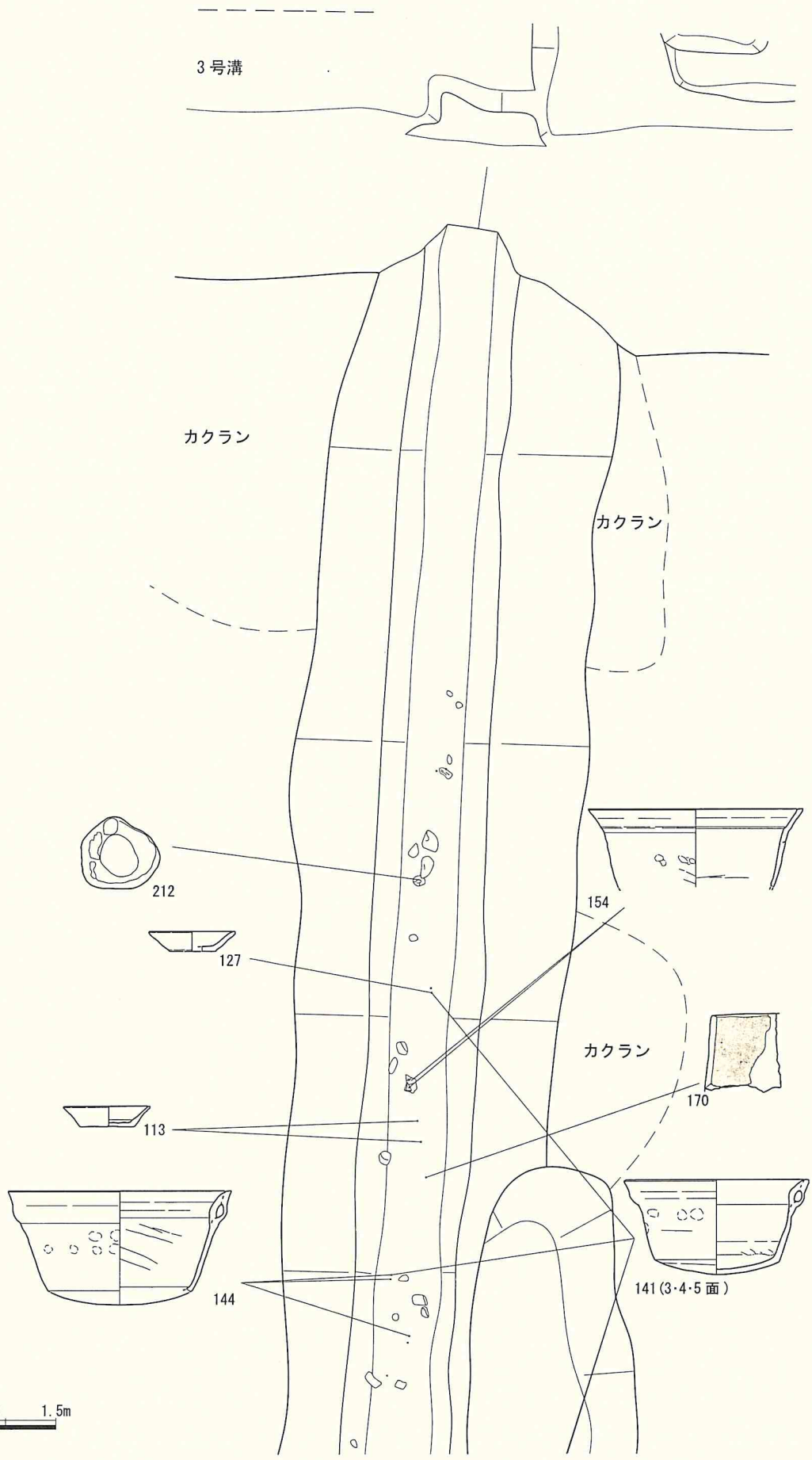
第31図 4号溝 遺物出土図 第3面(2)



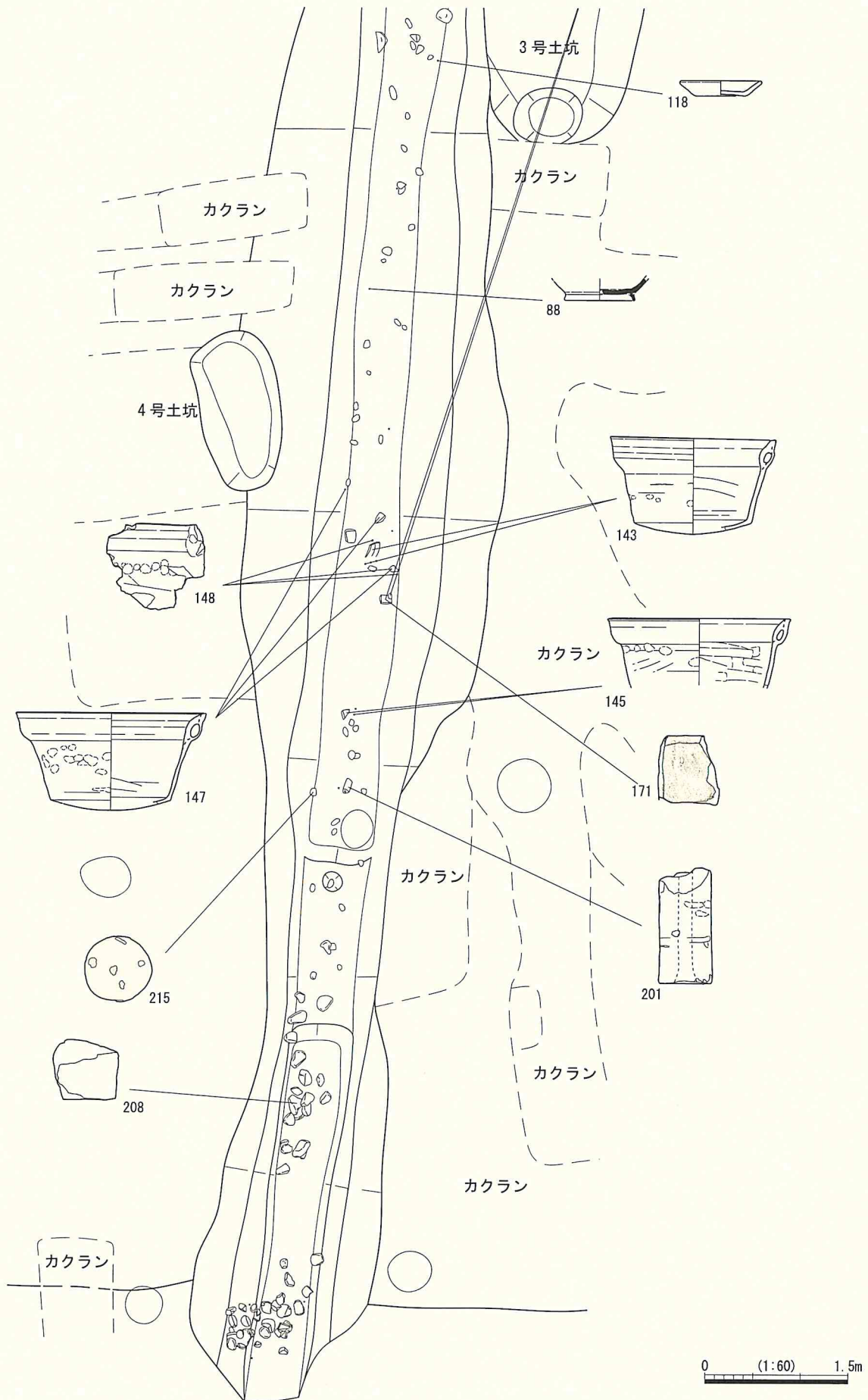
第 32 図 4号溝 遺物出土図 第4面(1)



第33図 4号溝 遺物出土図 第4面(2)



第34図 4号溝 遺物出土図 第5面(1)



第 35 図 4 号溝 遺物出土図 5 面 (2)



3号溝



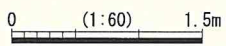
カクラン

カクラン

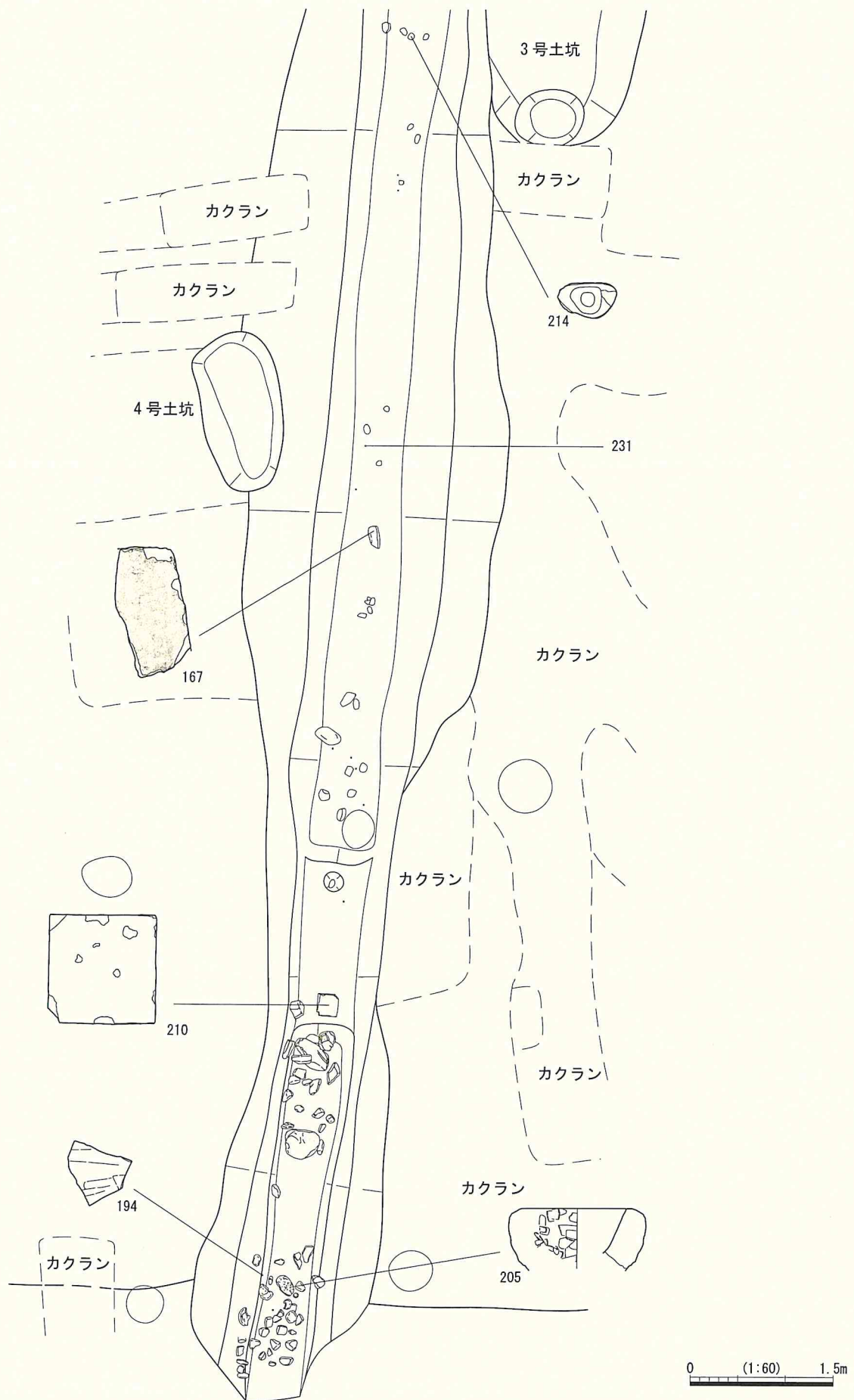
カクラン



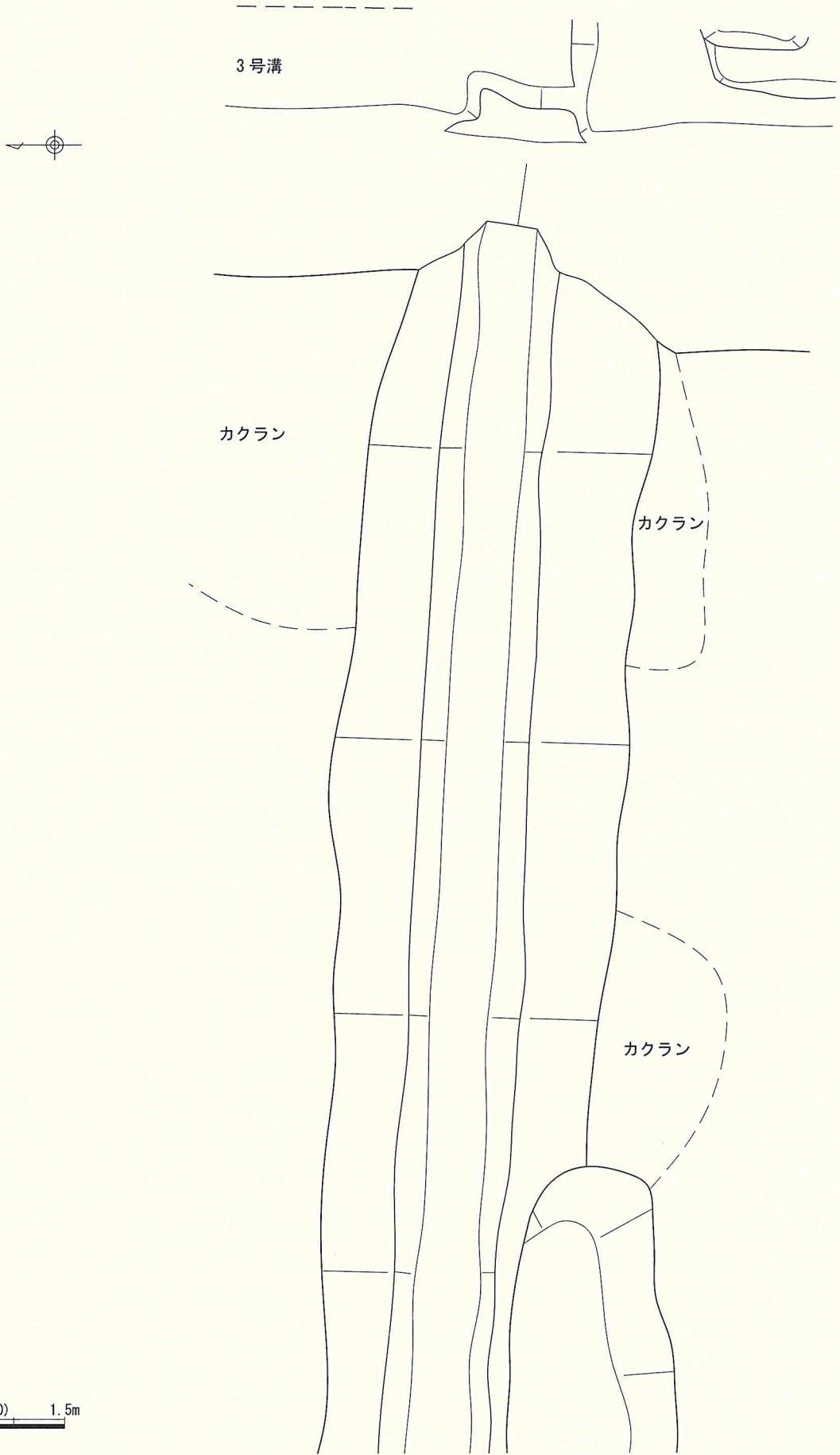
183



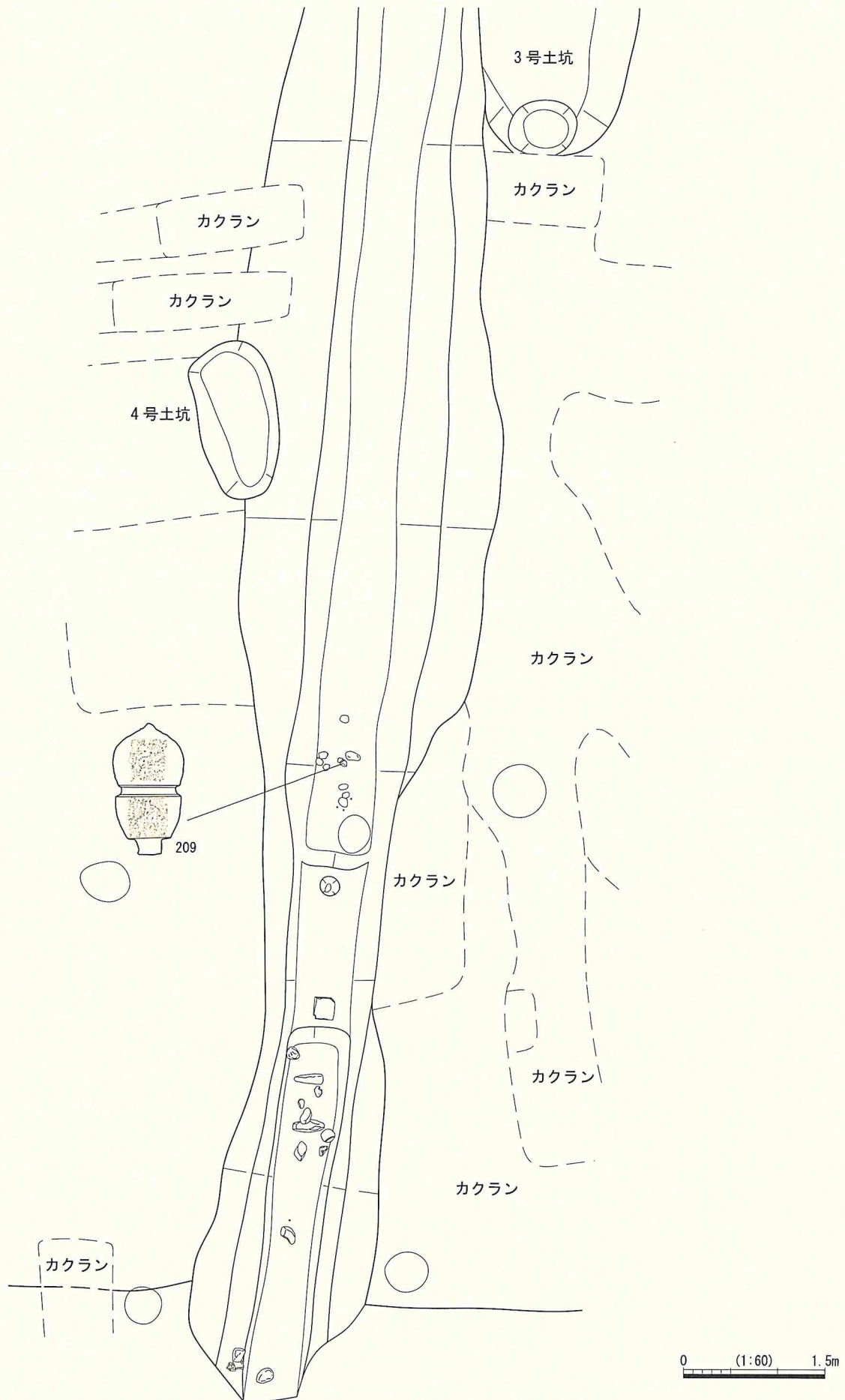
第36図 4号溝 遺物出土図 第6面(1)



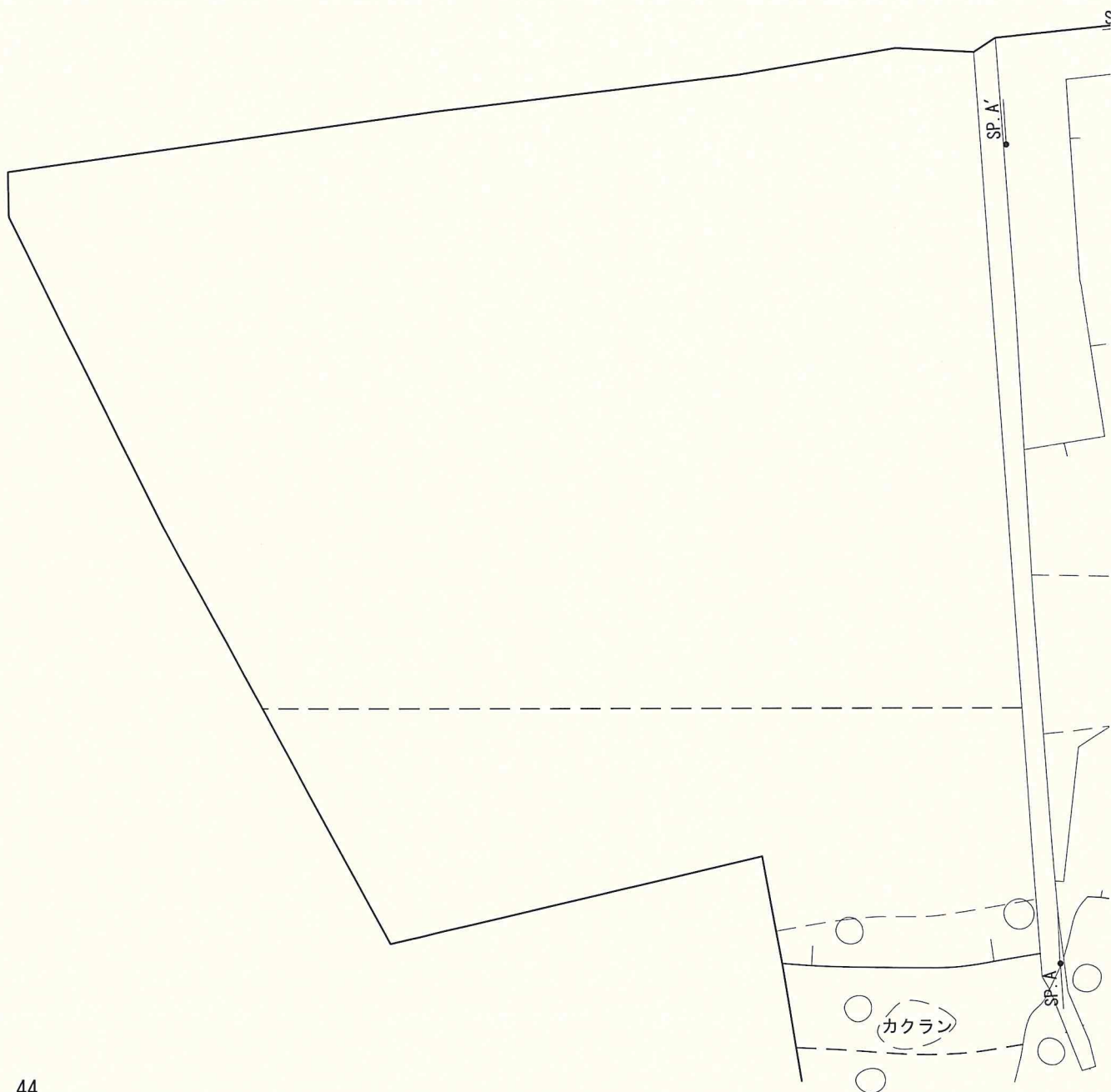
第37図 4号溝 遺物出土図 第6面(2)

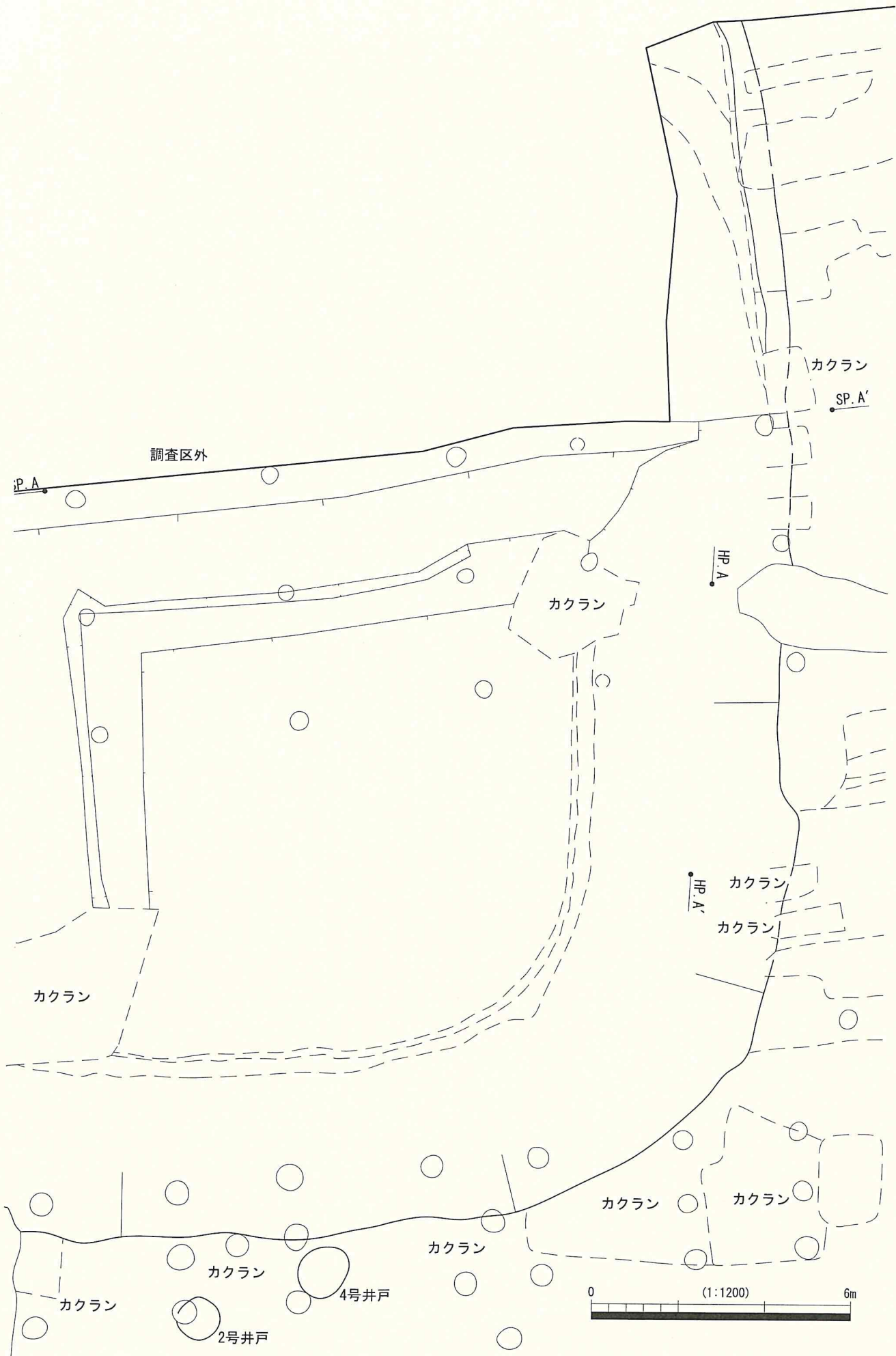


第38図 4号溝 遺物出土図 第7面(1)

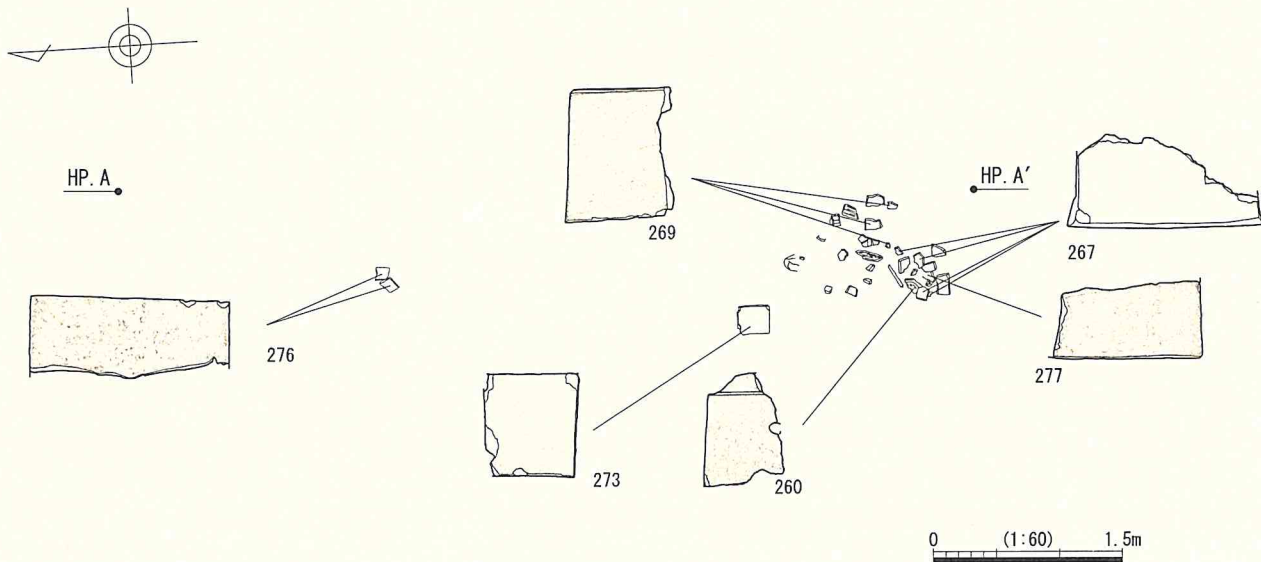


第39図 4号溝 遺物出土図 第7面(2)





第41図 5号溝 平面図(2)



第42図 5号溝 遺物出土図

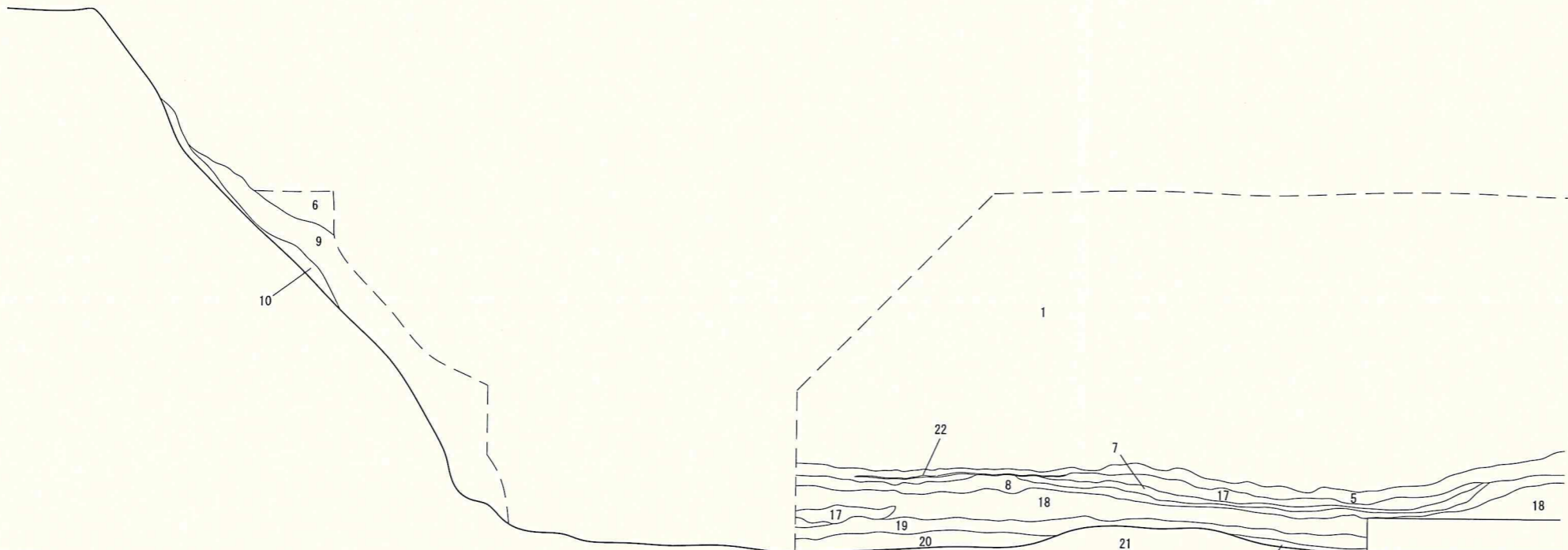
5号溝

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	白色粒	炭化物	礫(大)	礫(中)	礫(小)	砂粒	鉄分	備考
1	暗灰	N3	弱	弱									
2	黒褐	10YR3/1	あり	弱		少	少						シルト質
3	暗緑灰	7.5GY3/1	あり	弱									
4	黒褐	2.5Y3/2	や強	弱	多				多				褐色土ブロック少量。
5	オリーブ黒	5Y3/1	弱	弱	多								褐色土ブロック少量。
6	オリーブ黒	5Y3/2	あり	あり	多	粒少							木片少量
7	暗青灰	5PB3/1	あり	や強	多					多			
8	As-A 純層		弱	なし									
9	オリーブ灰	10Y4/2	弱	あり	あり							あり	
10	暗緑灰	7.5GY3/1	弱	あり	あり					少			
11	暗緑灰	10GY3/1	強	や弱									粒子の細かい砂層。 木片・竹・葉を含む。
12	暗青灰	5PB4/1	あり	あり	あり			あり	あり	あり			
13	黒褐	10YR3/2	強	あり	多							多	
14	黒褐	10YR3/2	あり	あり	多							多	黒色土ブロック少量。
15	黒褐	10YR3/1	あり	あり	多					あり		多	
16	灰黄褐	10YR4/2	あり	弱	多								白色軽石主体の層。
17	黒褐	7.5YR3/1	弱	弱	多						あり		
18	暗オリーブ灰	5GY3/1	強	あり			少						木片を含む、粒子の細かい層。
19	黒褐	10YR3/1	強	あり			少						粒子の細かい層。
20	オリーブ黒	5Y3/1	強	あり									粒子の細かい層。
21	暗オリーブ灰	5GY3/1	あり	あり	非多								黒色土ブロック少量。
22	灰	N6	弱	あり									粒子の細かい灰層。
23	オリーブ褐	2.5Y4/3	強	あり	非多								
24	オリーブ黒	5Y3/1	強	あり	あり			非多	非多				
25	黒	N2	強	弱		少							粒子の細かい層。
26	にぶい黄褐	10YR4/3	非強	弱							あり	多	
27			弱	なし									粒子の細かい砂層。

*や○=やや○ 非○=非常に○ 粒○=粒子○

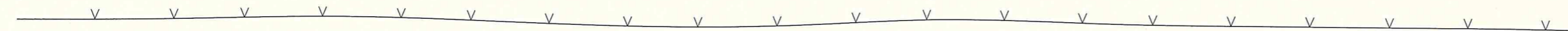
L=97.000m
SP. A

SP. A'



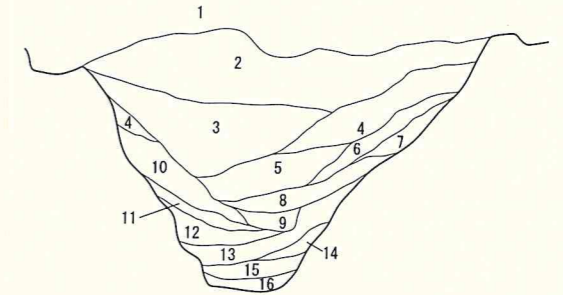
L=97.000m
SP. B

SP. B'



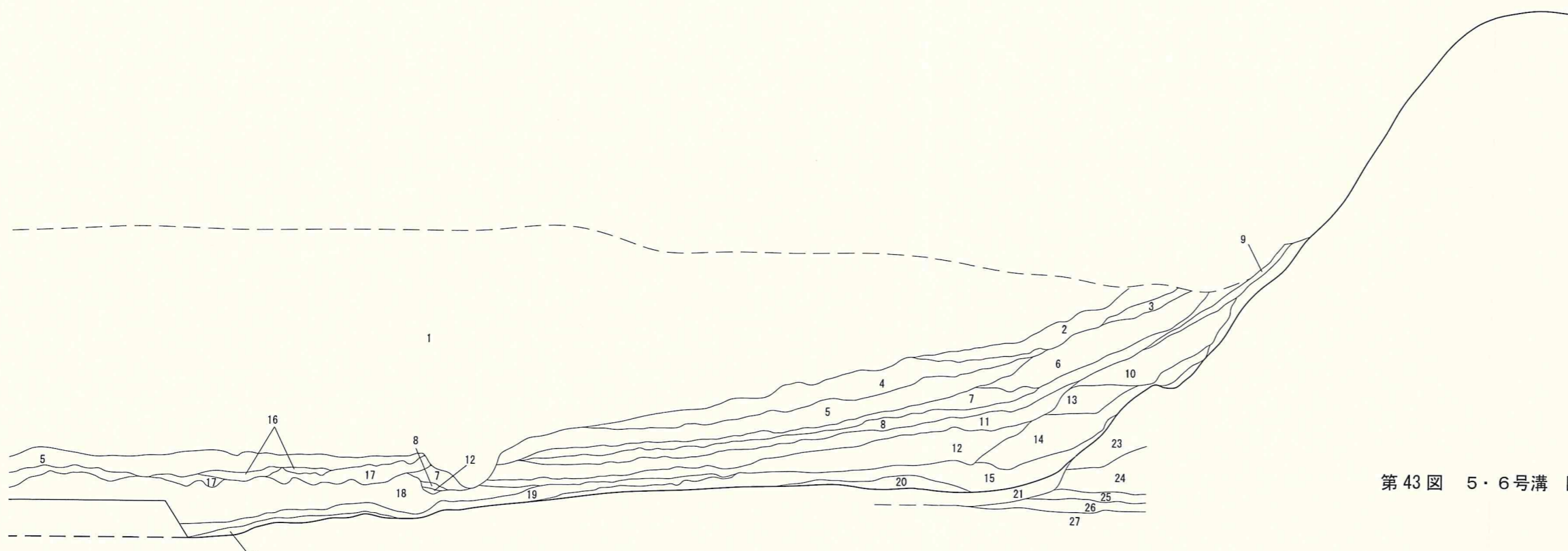
6号溝SPA-A'
L=97.000m
SP. A

SP. A'



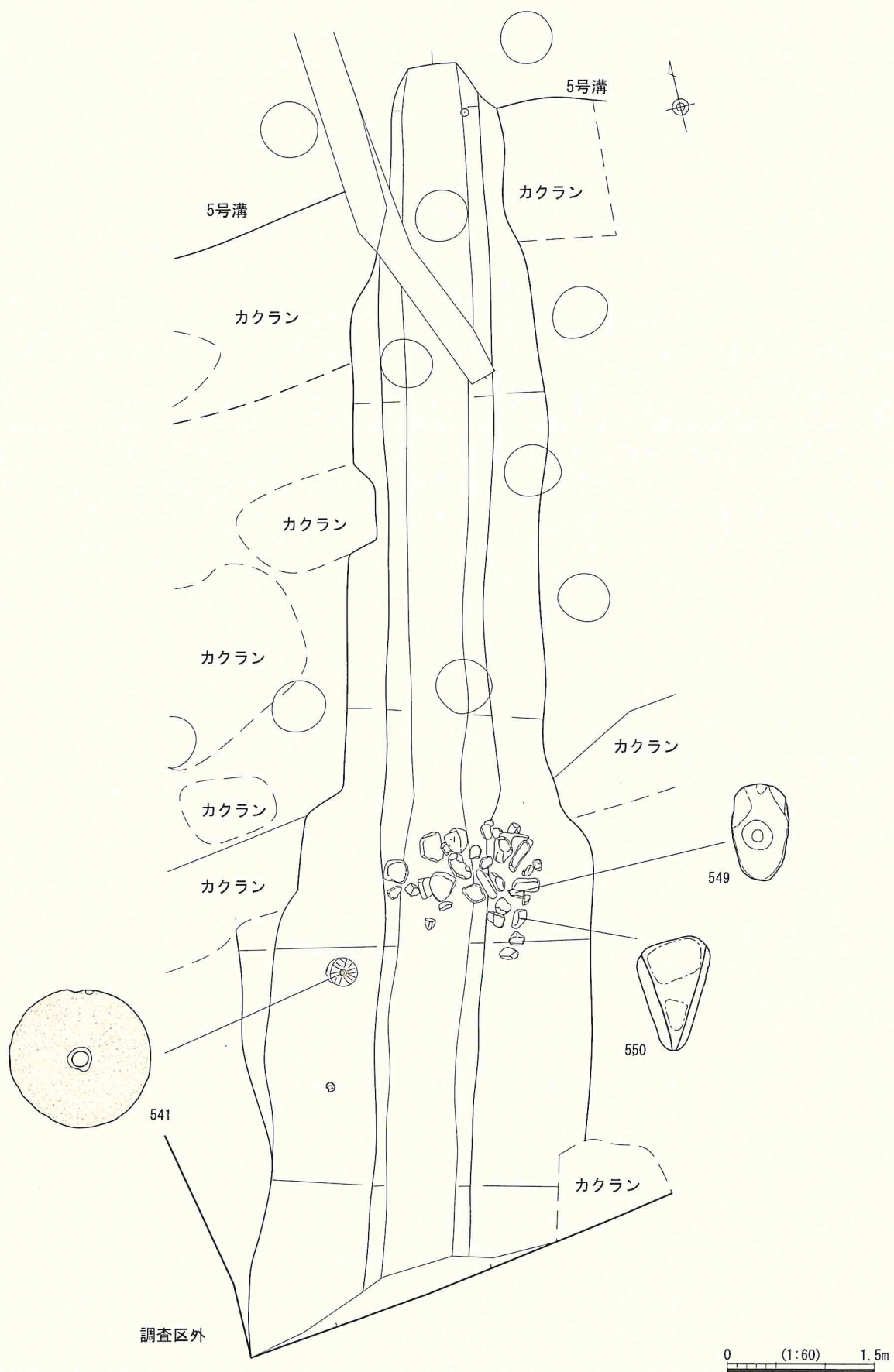
6号溝

番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	礫(大)	礫(中)	礫(小)	備考
1	黒褐	10YR3/1	弱	弱			あり				褐色土ブロック含む。
2	黒褐	5YR3/1	強	弱	あり	あり	あり		少		褐色土ブロック多い。 褐色土ブロック含む。 褐色土ブロックを非常に多い。
3	黒褐	10YR3/1	強	や弱		や多	少				
4	黒褐	10YR3/1	強	あり		あり					
5	黒褐	10YR3/1	あり	あり		あり	少	少			
6	黒褐	7.5YR3/2	や強	あり							
7	黒褐	10YR3/1	あり	あり		や多					
8	黒褐	10YR3/2	や弱	あり		あり					
9	黒褐	2.5Y3/1	あり	あり		あり				少	
10	暗灰	N3	あり	あり		非多	少				
11	黒褐	2.5Y3/2	弱	あり	あり	あり					
12	黒褐	10YR3/1	強	あり	あり	や多					
13	オリーブ黒	5Y3/1	弱	あり	あり	多					
14	黄灰	2.5Y4/1	弱	や弱	非多	非多					
15	オリーブ黒	5Y3/1	弱	弱	多	多	少				
16	暗赤灰	10R3/1	あり	弱	非多	非多					

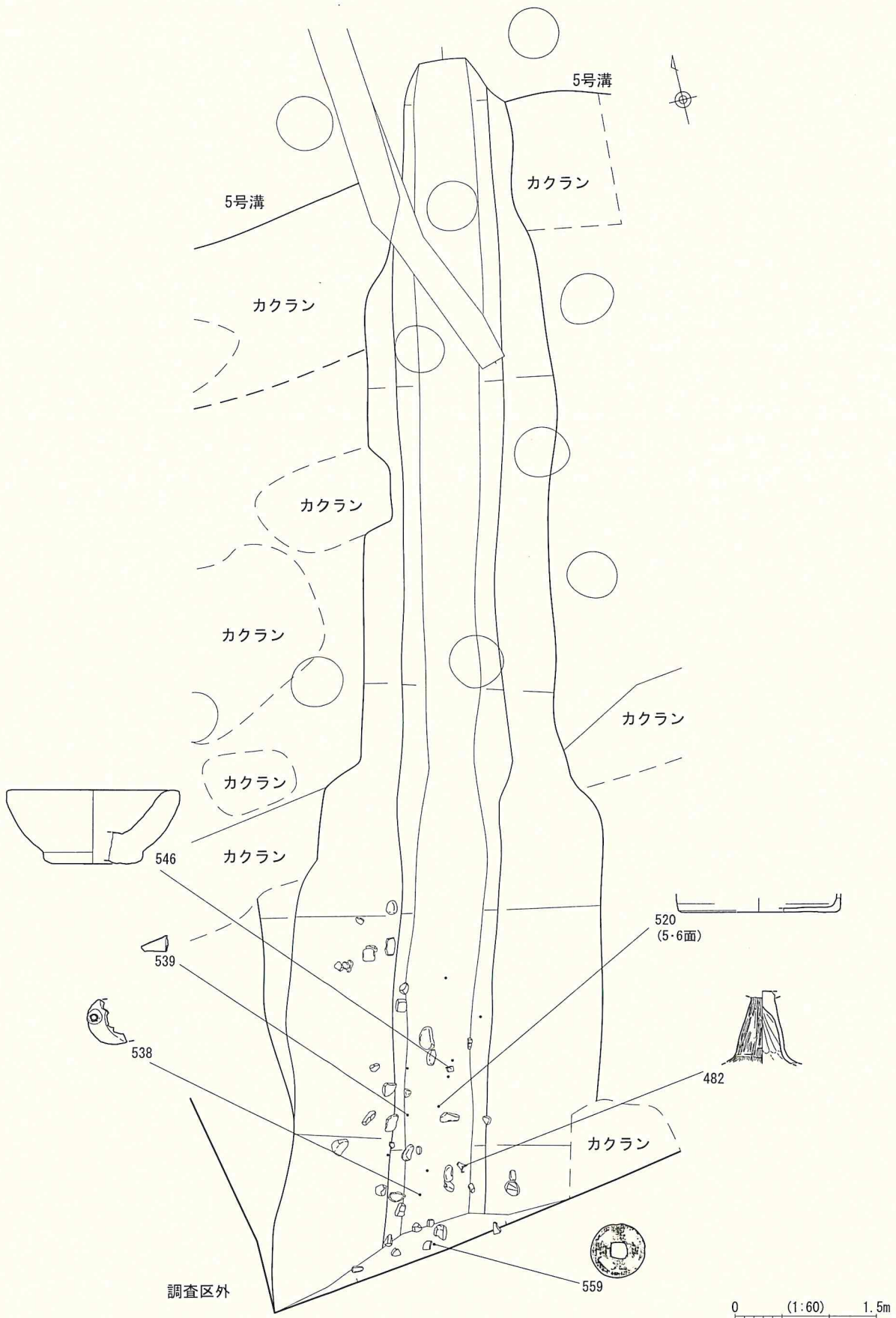


第43図 5・6号溝 断面図

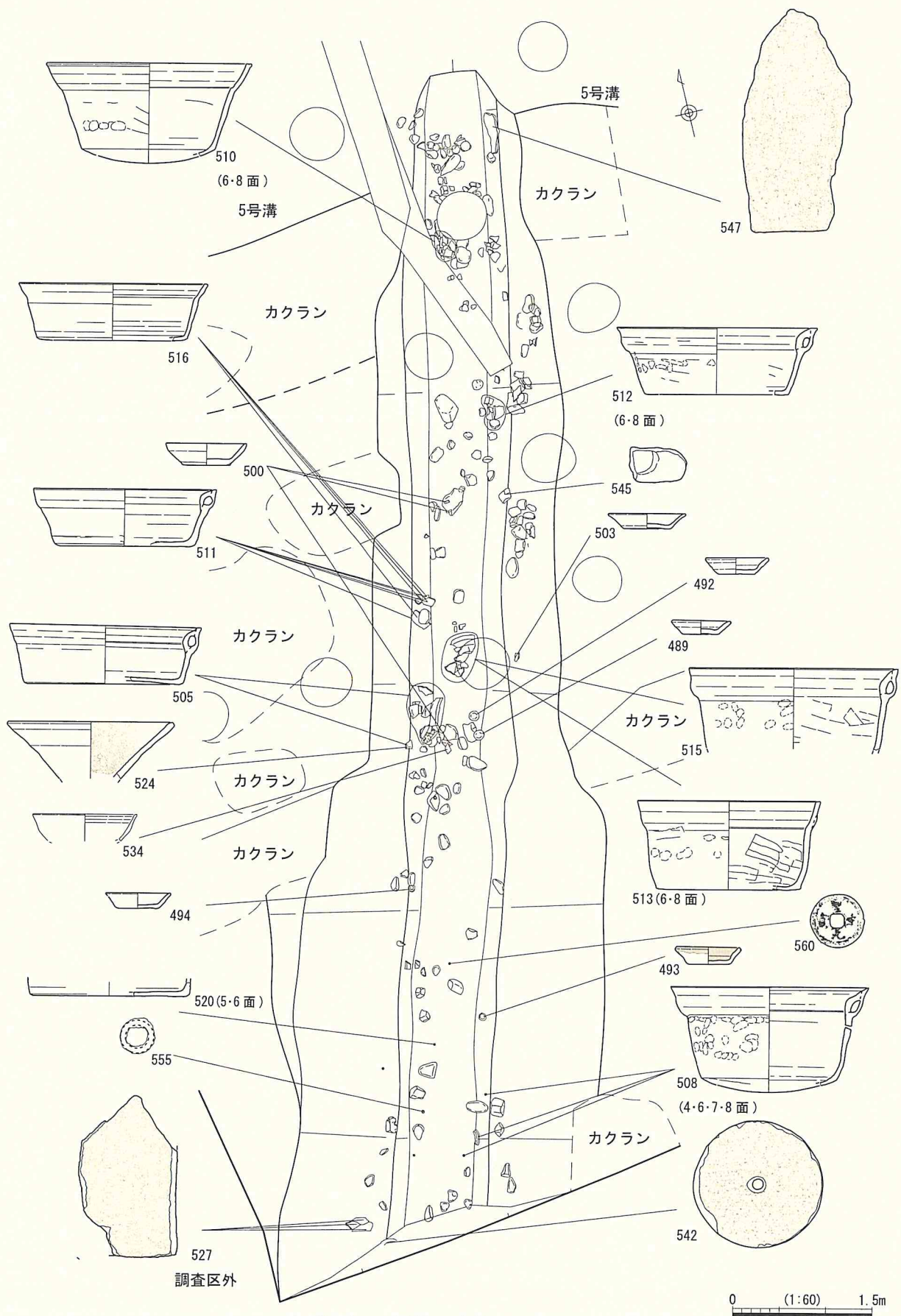
0 (1:60) 1.5m



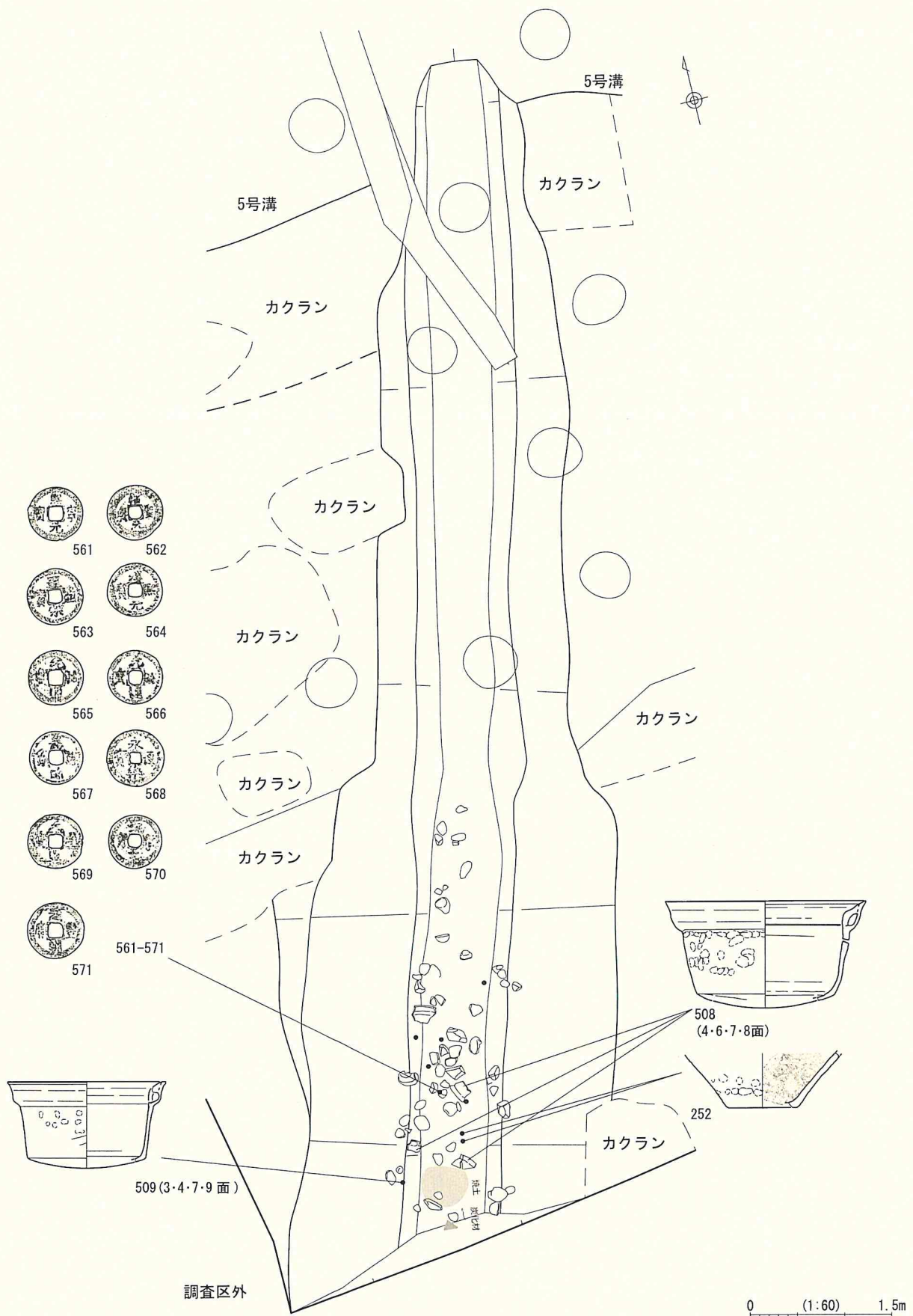
第 46 図 6 号溝 遺物出土図第 2 面



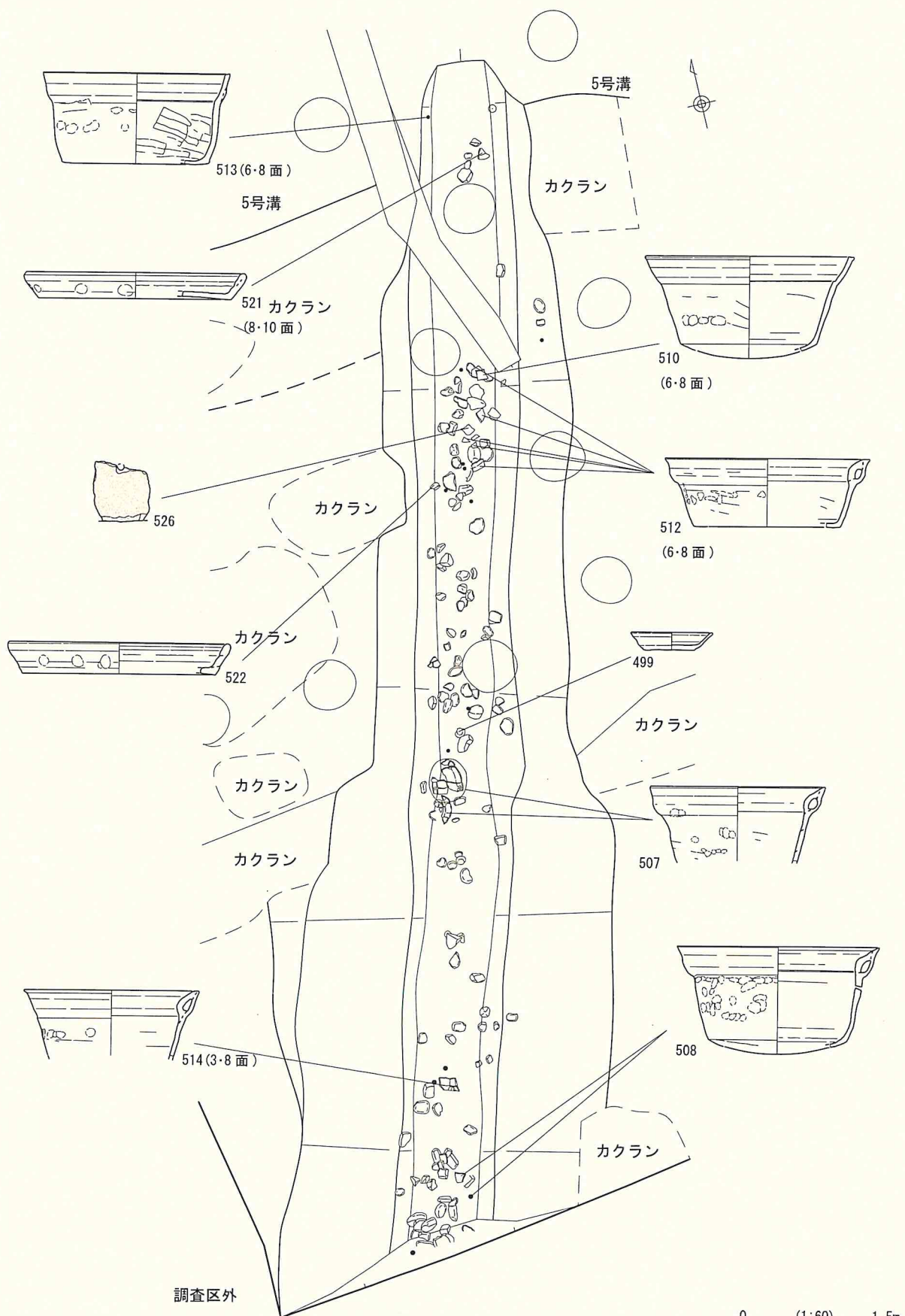
第 49 図 6号溝 遺物出土図第5面



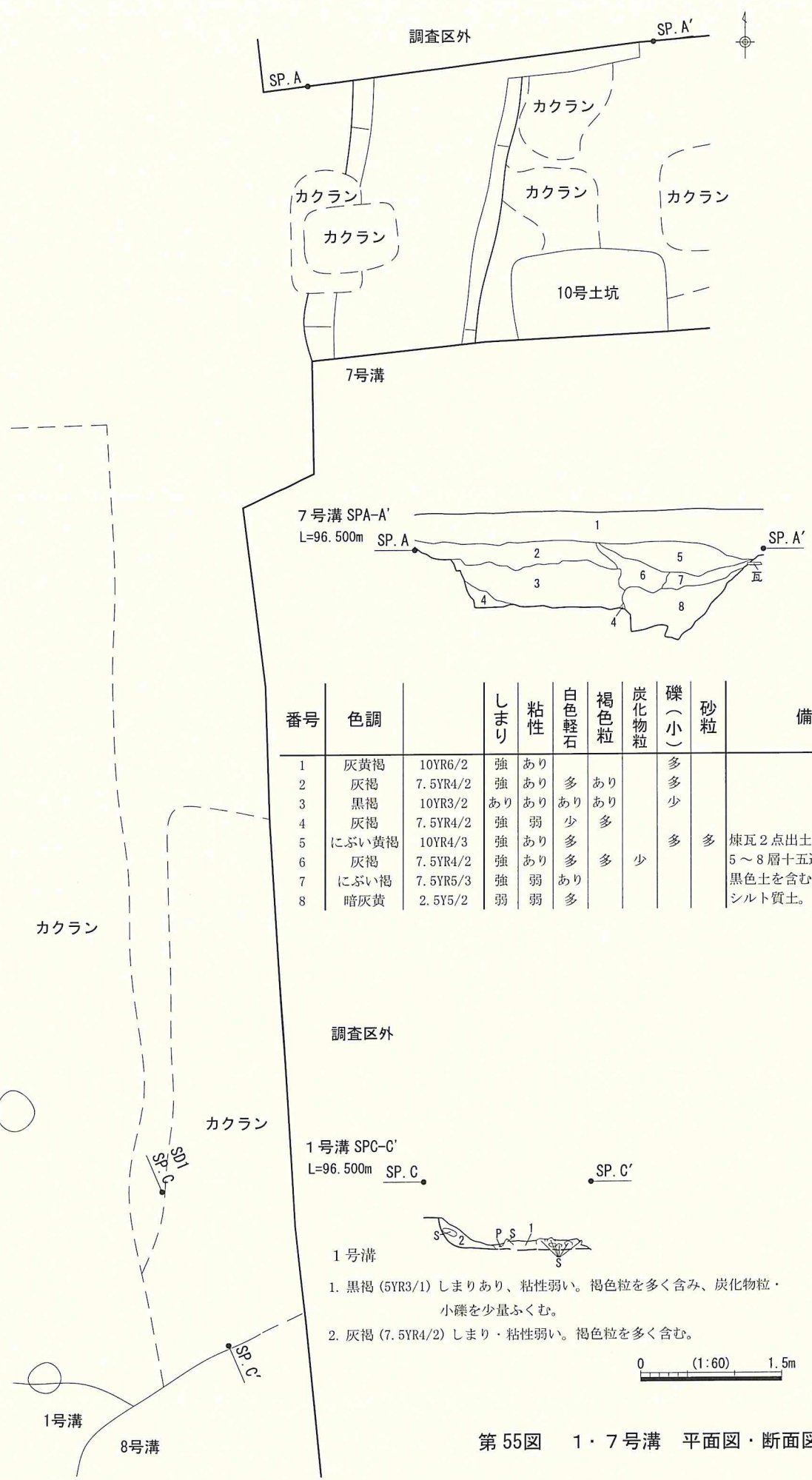
第50図 6号溝 遺物出土図第6面



第51図 6号溝 遺物出土図第7面

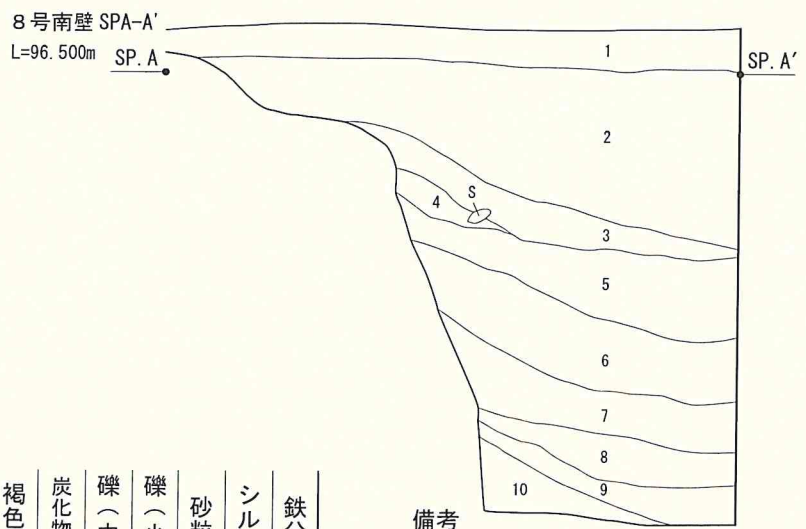
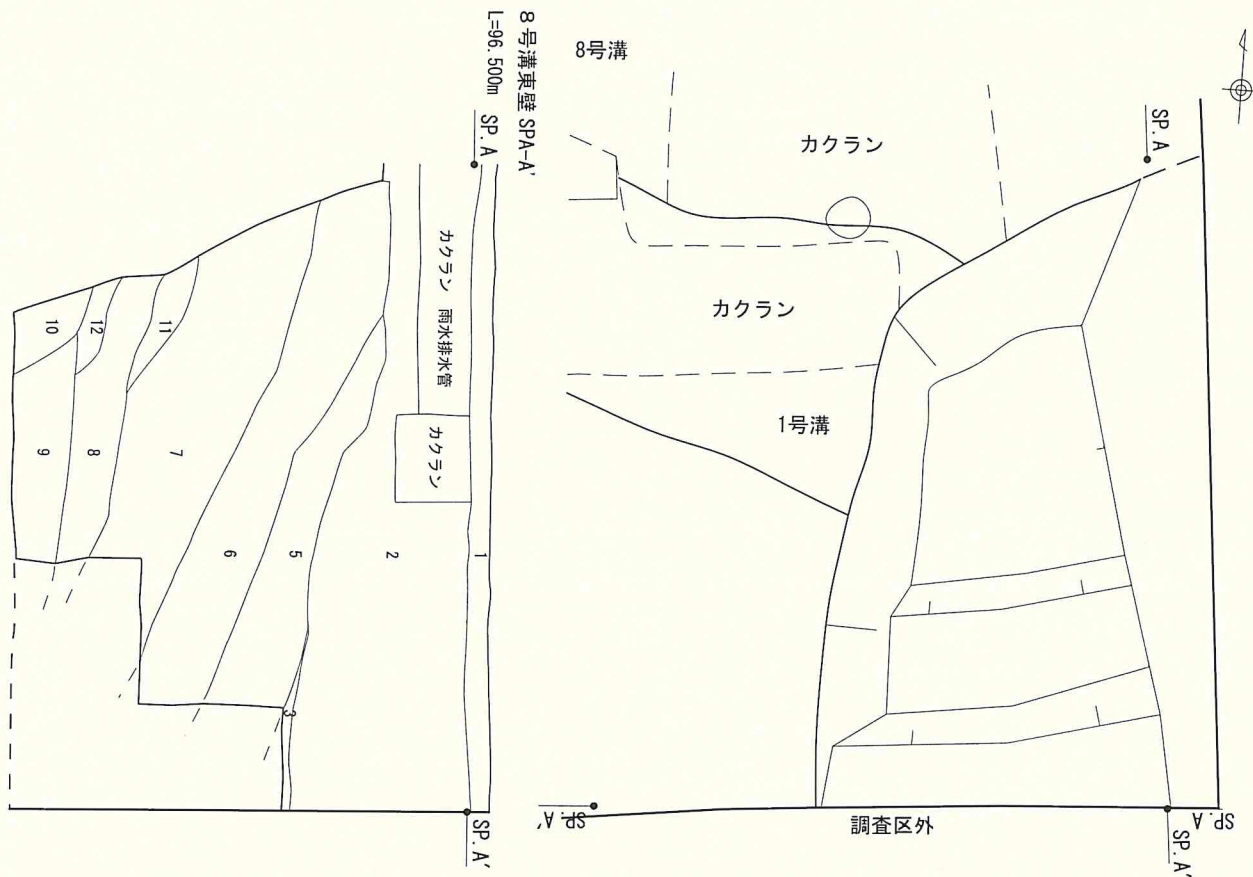


第52図 6号溝 遺物出土図第8面



番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	礫(小)	砂粒	備考
1	灰黄褐	10YR6/2	強	あり				多		
2	灰褐	7.5YR4/2	強	あり	多	あり		多		
3	黒褐	10YR3/2	あり	あり	あり	あり		少		
4	灰褐	7.5YR4/2	強	弱	少	多				
5	にぶい黄褐	10YR4/3	強	あり	多			多	多	煉瓦2点出土。
6	灰褐	7.5YR4/2	強	あり	多	多	少			5~8層十五連隊関連
7	にぶい褐	7.5YR5/3	強	弱	あり					黒色土を含む。
8	暗灰黄	2.5Y5/2	弱	弱	多					シルト質土。

第55図 1・7号溝 平面図・断面図

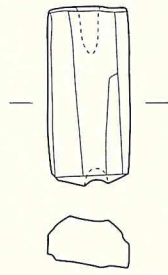
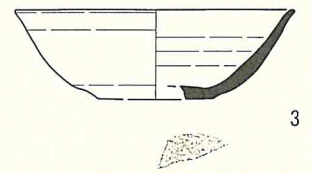
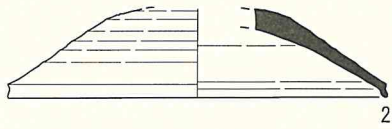
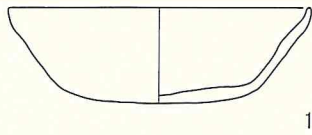


8号溝

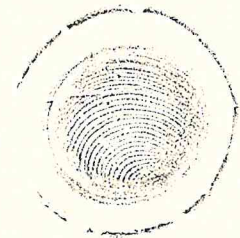
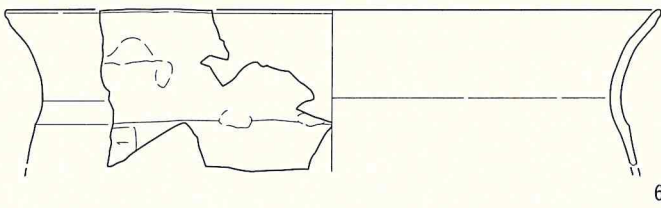
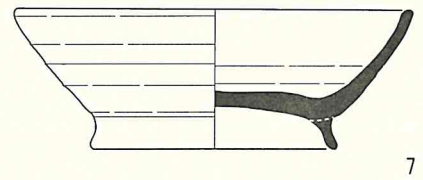
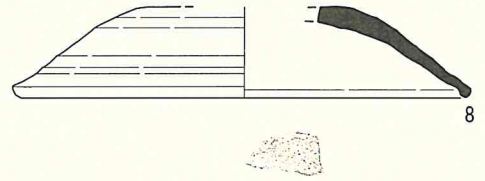
番号	色調		しまり	粘性	白色軽石	褐色粒	炭化物粒	礫(中)	礫(小)	砂粒	シルト	鉄分	備考
1	黒褐	10YR3/1	あり	あり					多				褐色土ブロック多い。
2	黒褐	7.5YR3/1	や強	あり	多			あり	あり			あり	褐色土ブロック多い。
3	褐灰	7.5YR4/1	あり	あり	多	少							褐色土ブロック多い。
4	にぶい黄褐	10YR4/3	や弱	あり						多			黒色土多い。
5	黄灰	2.5Y4/1	弱	あり	多								黒色土ブロック少し。
6	黄灰	2.5Y4/1	や強	弱	非多								
7	黄灰	2.5Y4/1	弱	弱	非多								
8	灰黄褐	10YR4/2	や強	あり	非多						少		黒色土・シルトブロック少し。
9	灰黄褐	10YR5/2	や強	あり	多								黒色土・シルトブロックを含む。
10	にぶい黄褐	10YR4/3	強	や弱	多								
11	灰黄褐	10YR5/2	や強	弱	非多								
12	灰黄褐	10YR4/2	や強	あり	多								黒色土ブロック少し。

第56図 8号溝 平面図・断面図

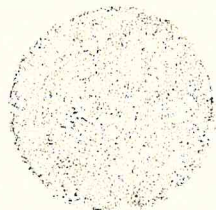
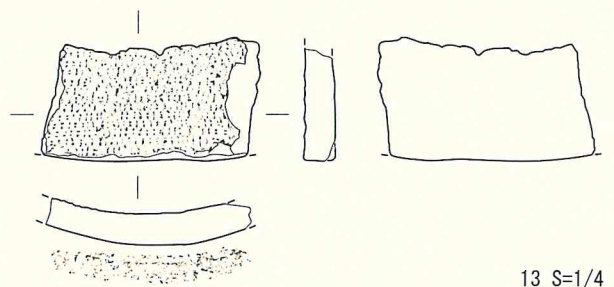
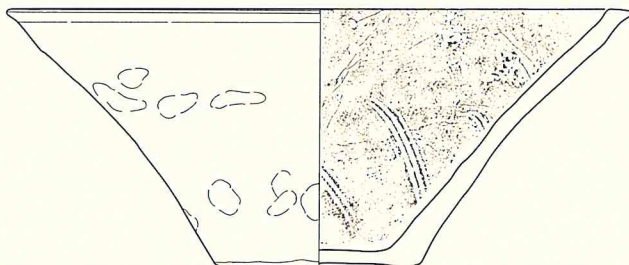
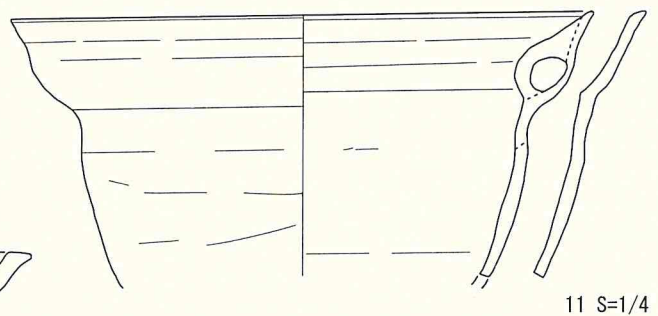
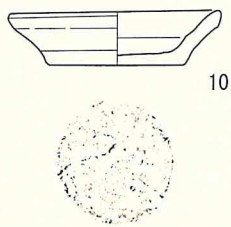
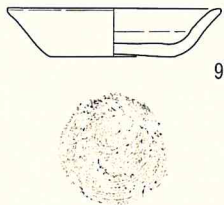
1号住居



2号住居



3号土坑

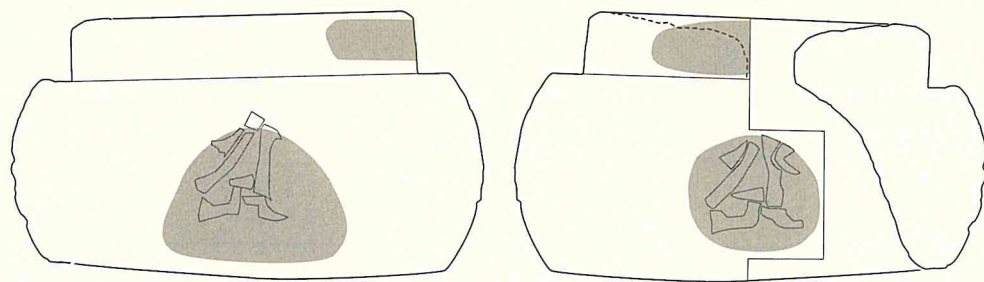
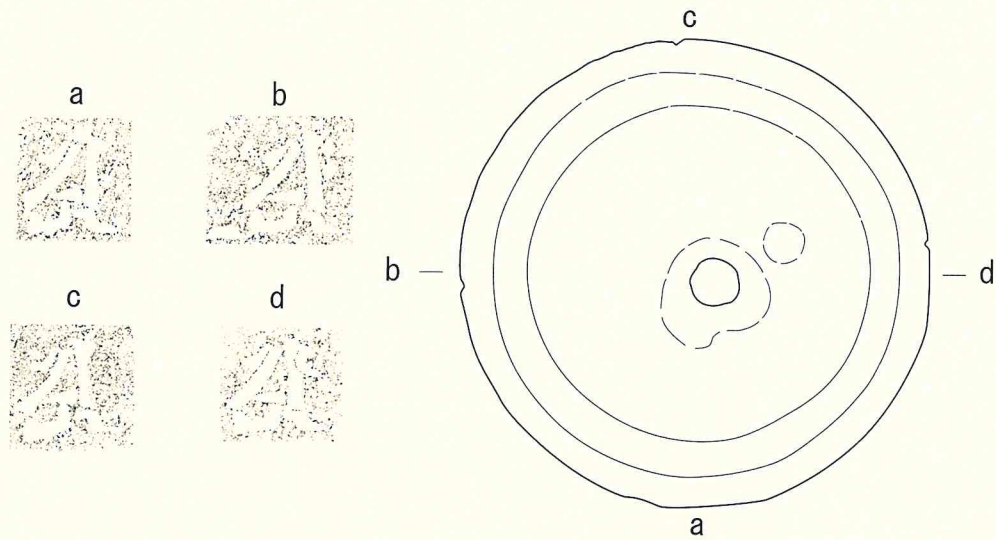


0 (1:1) 5cm

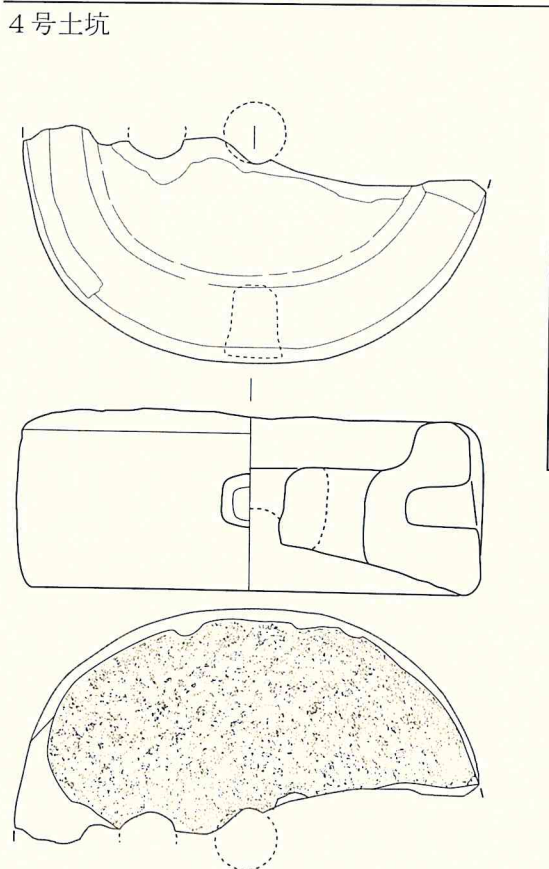
0 (1:3) 5cm

0 (1:4) 10cm

第57图 1·2号住居、3号土坑 遺物実測図

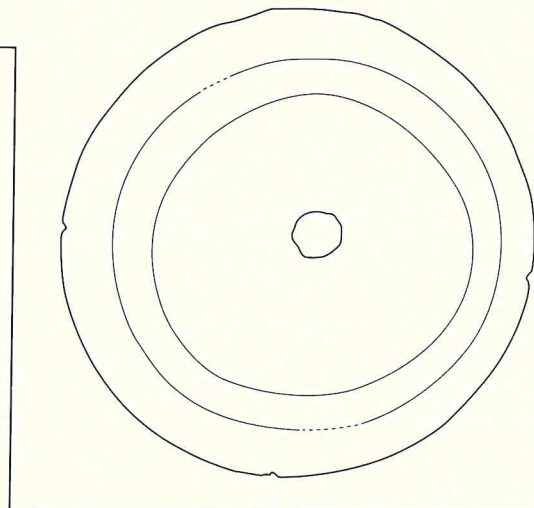


4号土坑

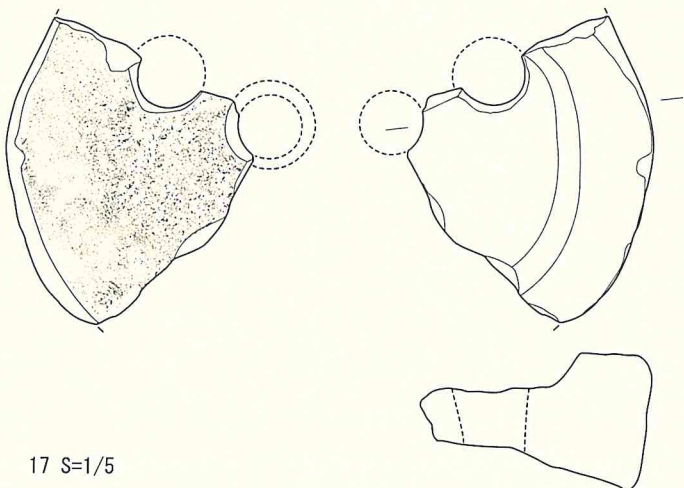


16 S=1/5

0 (1:5) 10cm

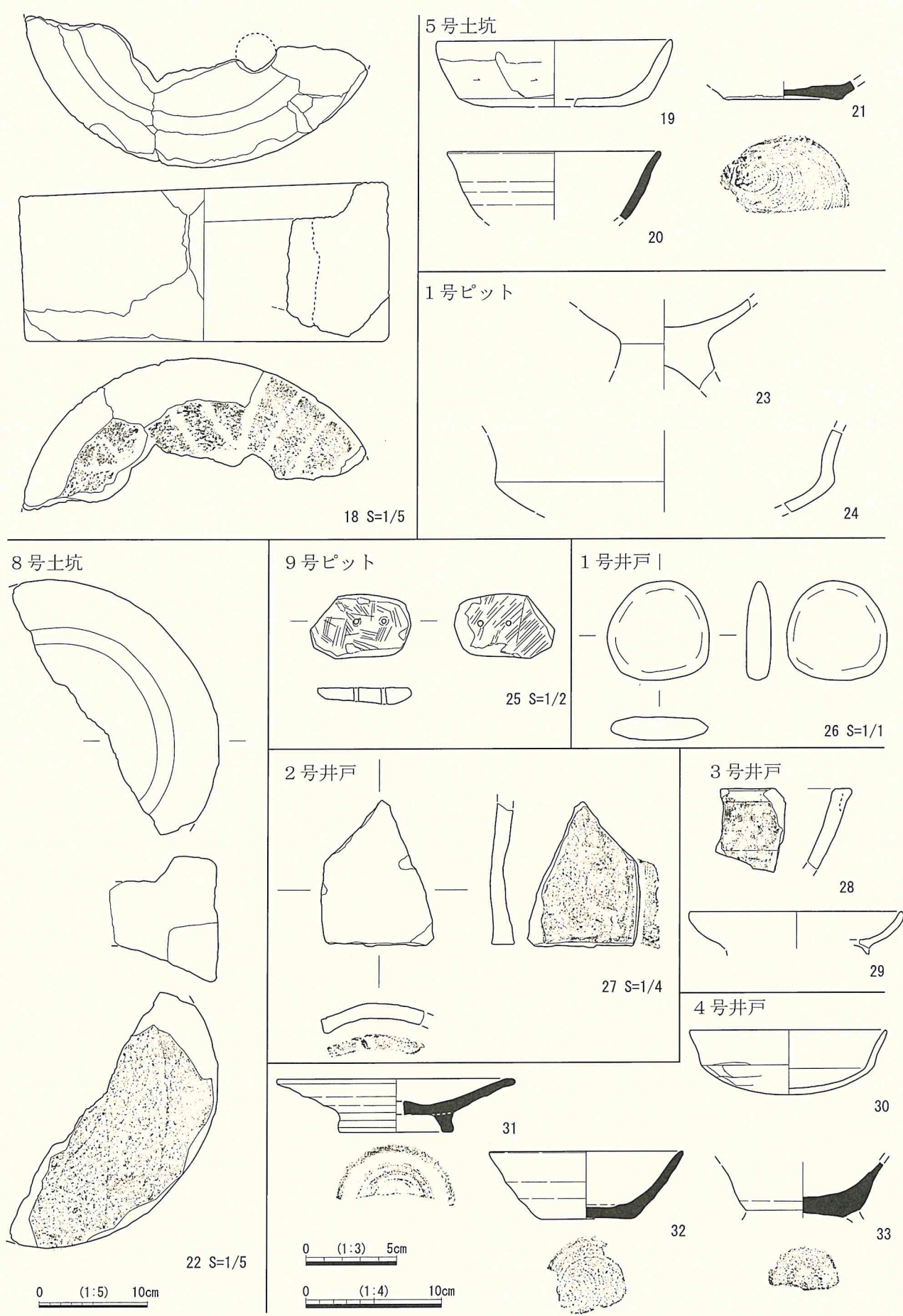


15 S=1/5

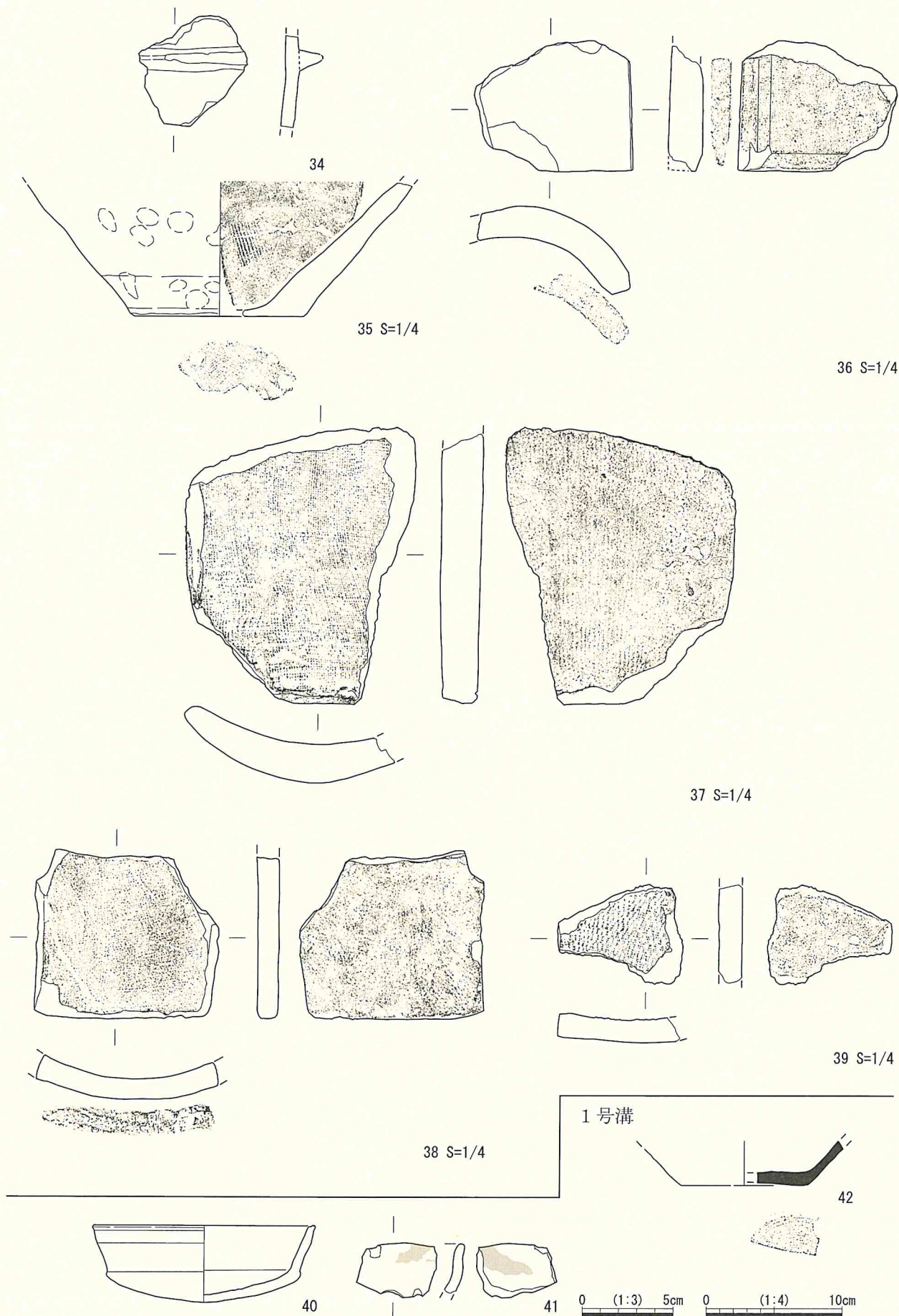


17 S=1/5

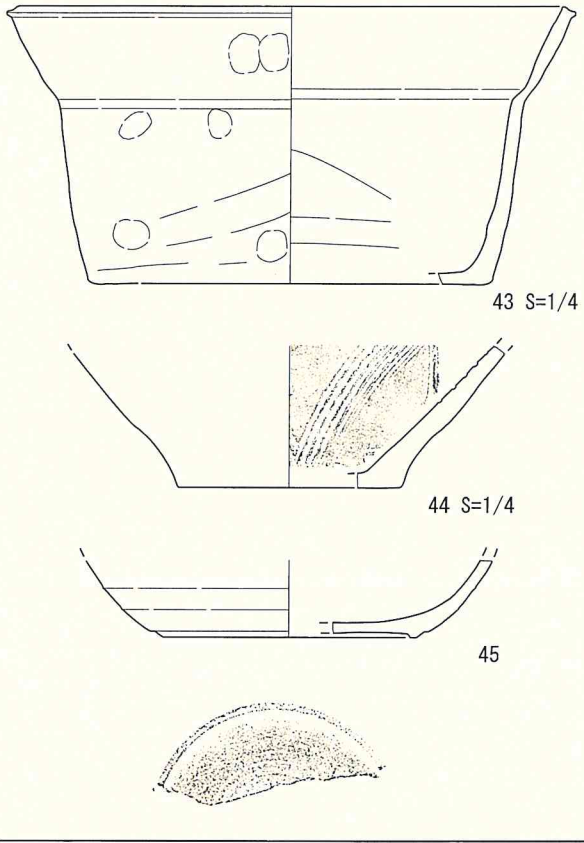
第58图 3·4号土坑 遗物实测图



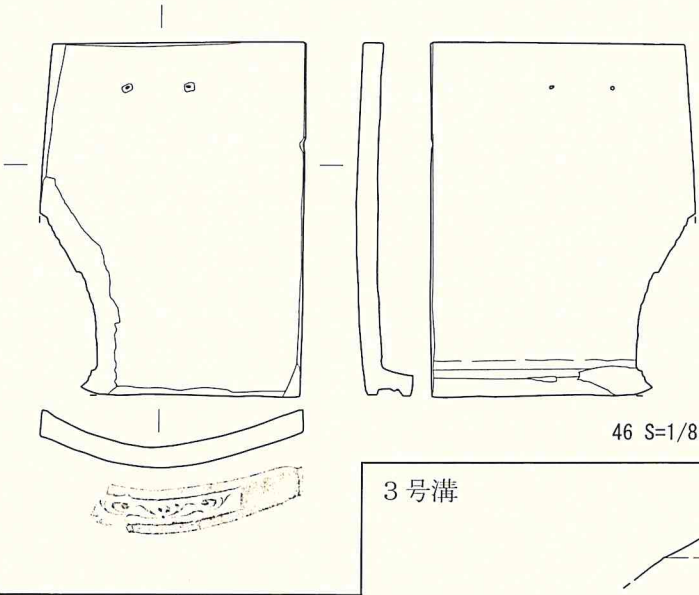
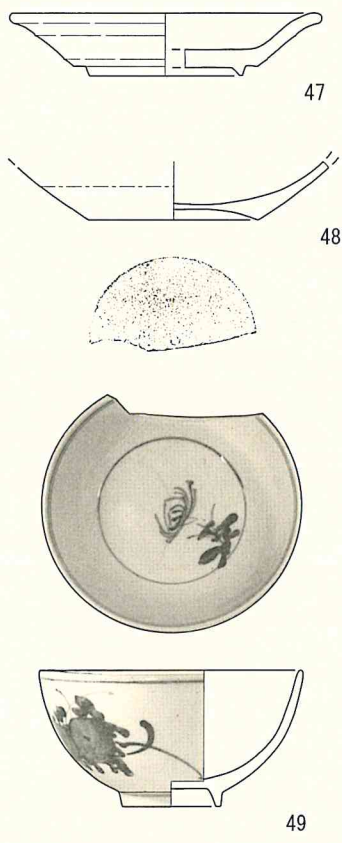
第59図 4・5・8号土坑、1・9号ピット、1～4号井戸 遺物実測図



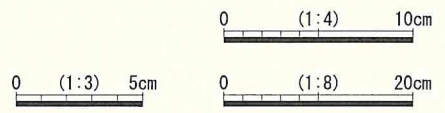
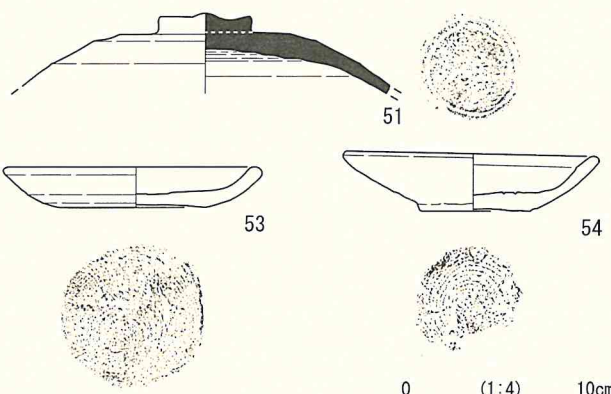
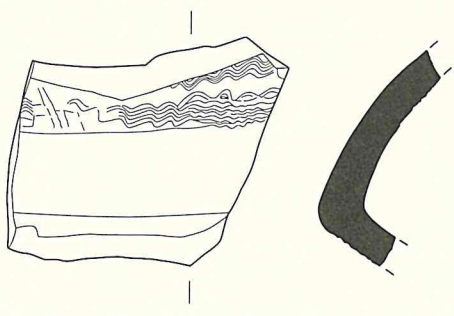
第 60 図 4号井戸、1号溝 遺物実測図



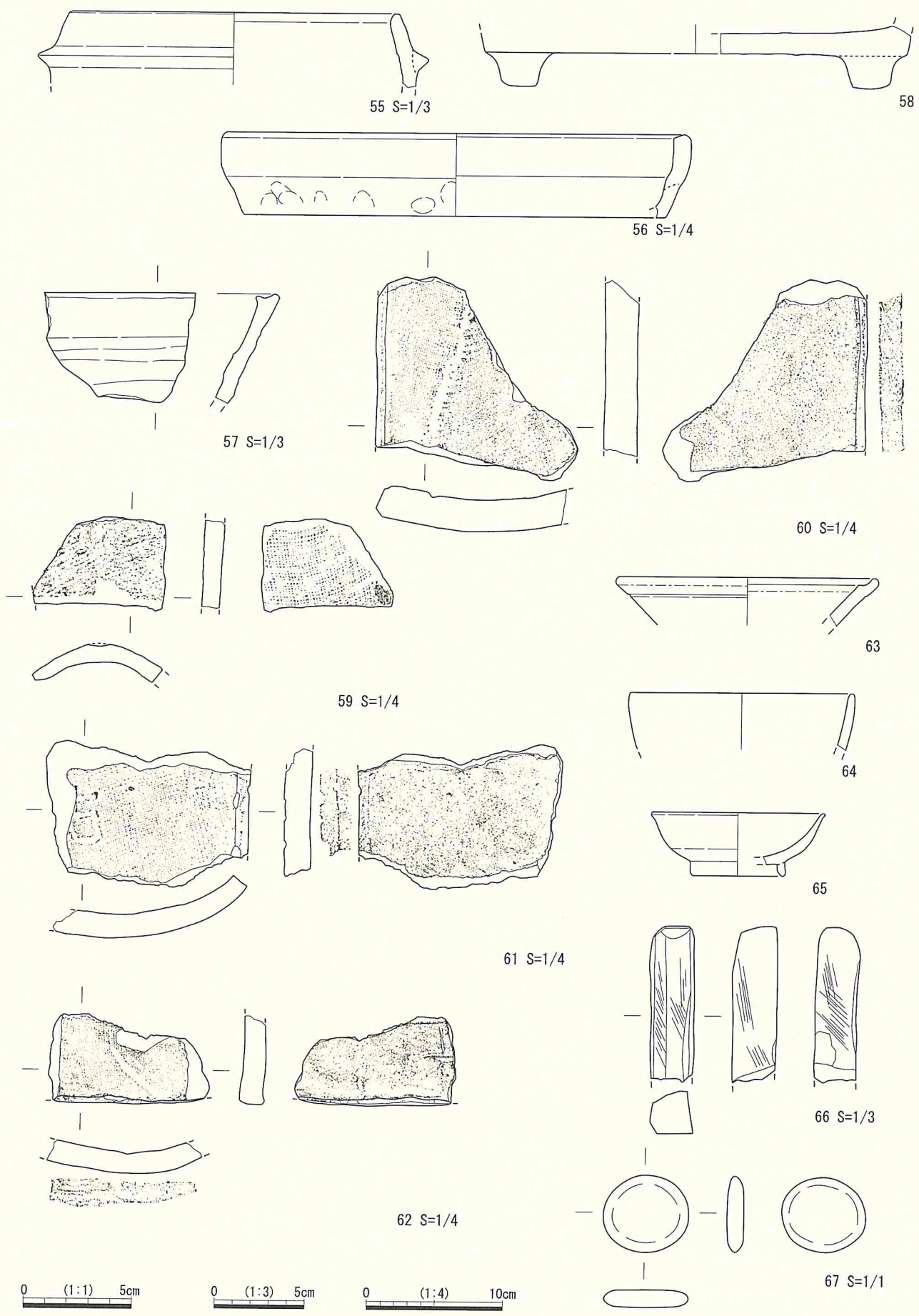
2号溝



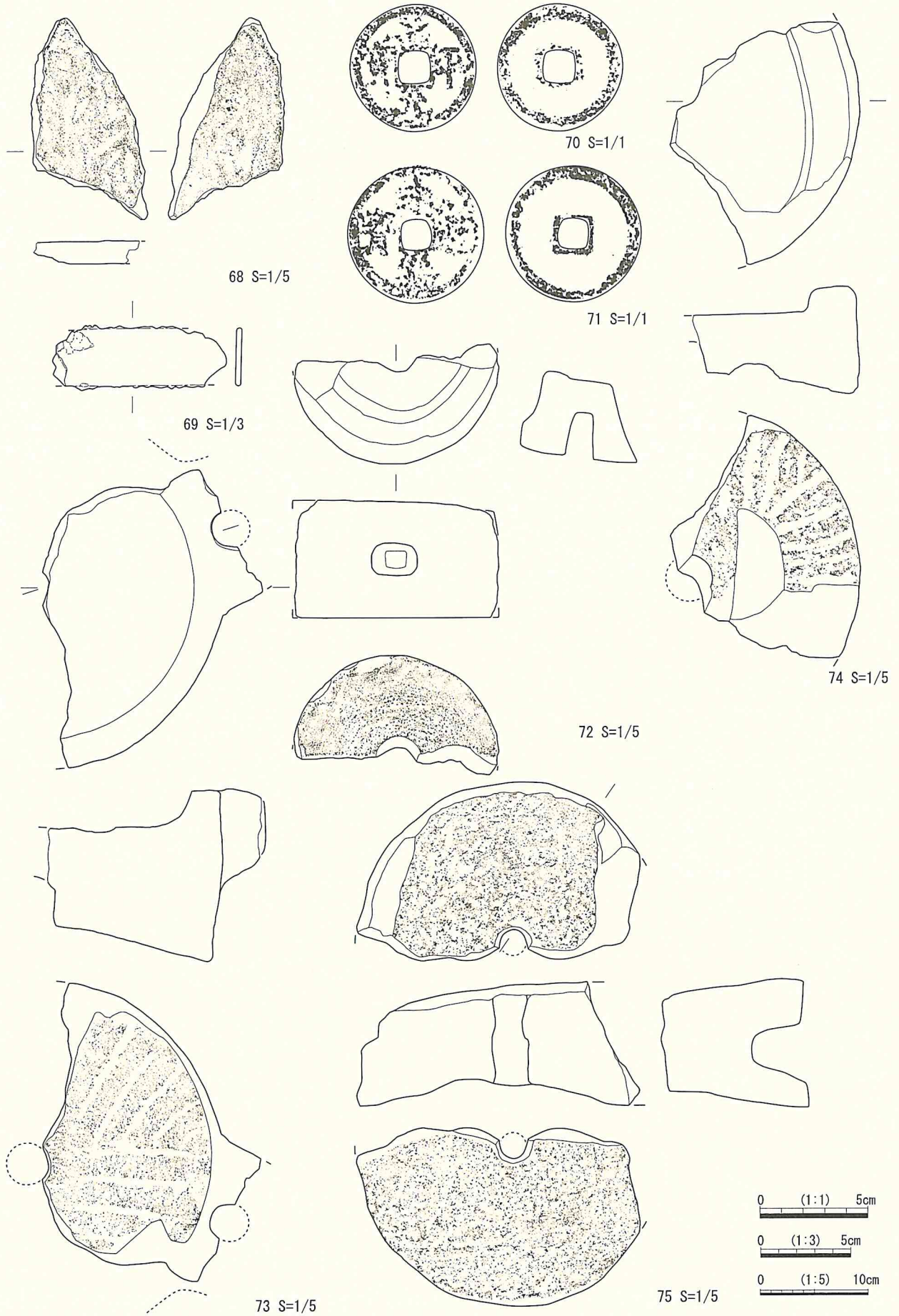
3号溝



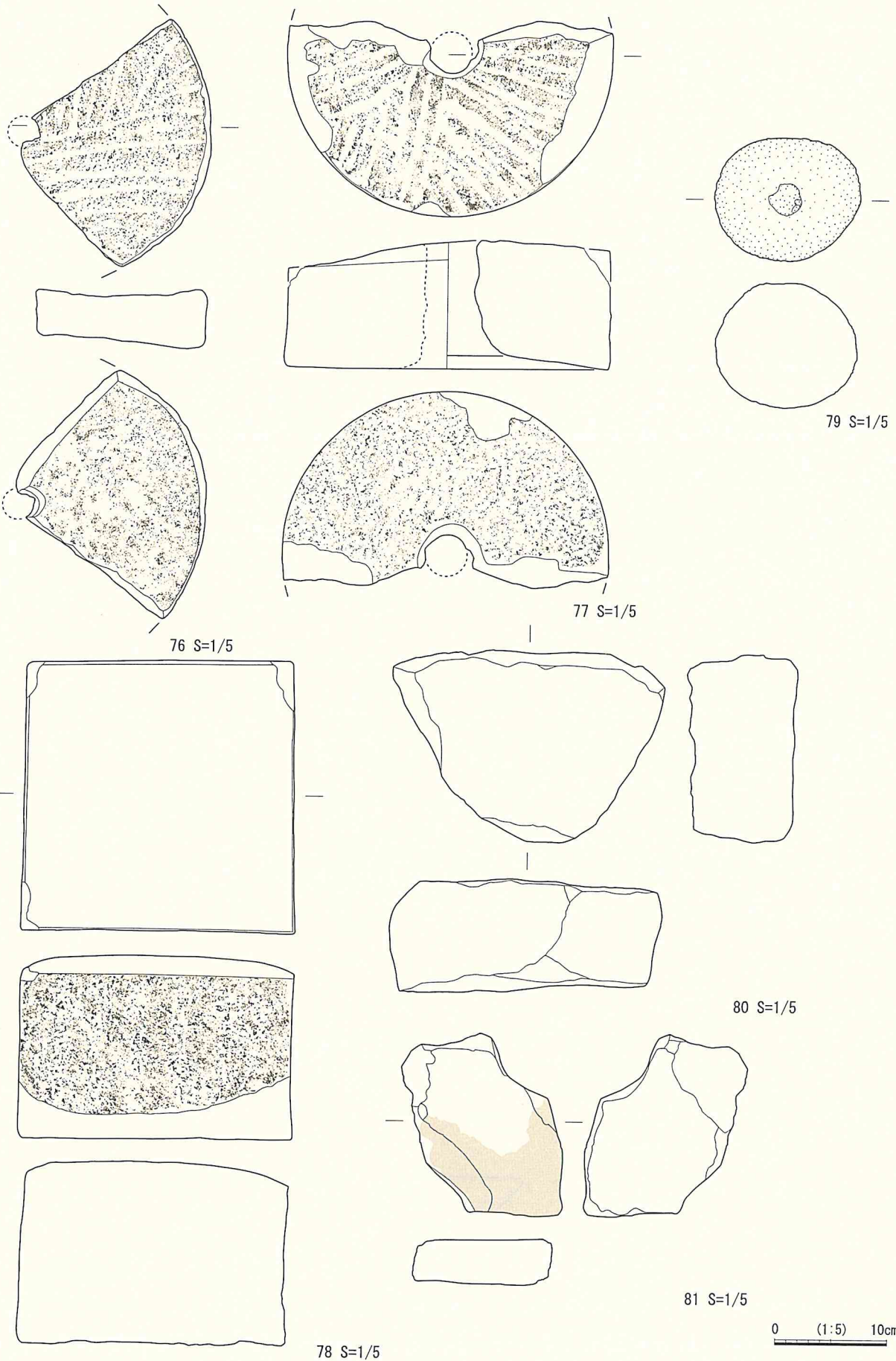
第 61 图 1~3号溝 遺物実測図



第 62 图 3号溝 遺物実測図

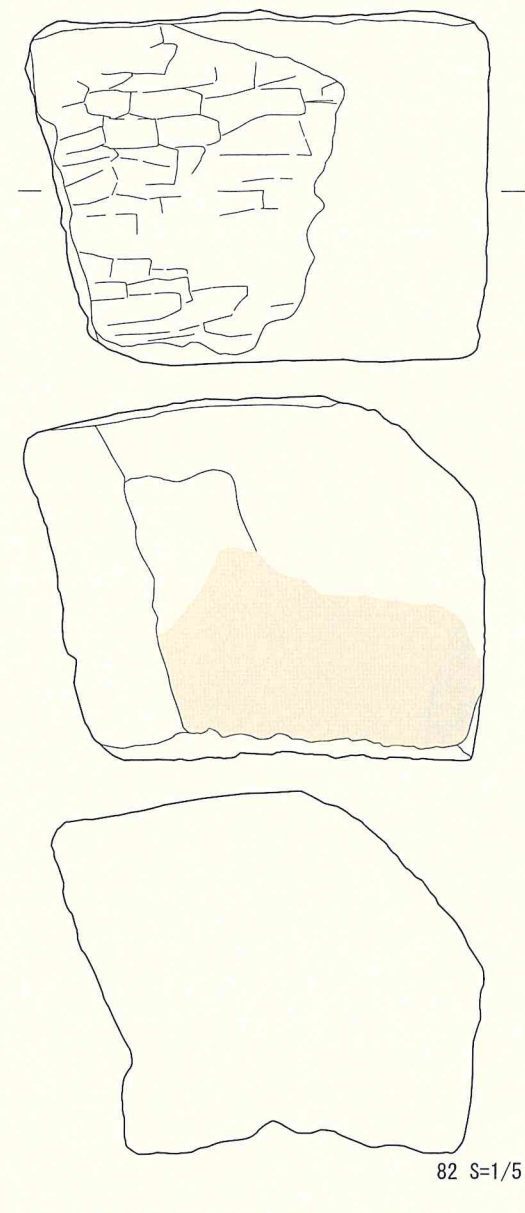


第 63 图 3 号沟 遗物实测图

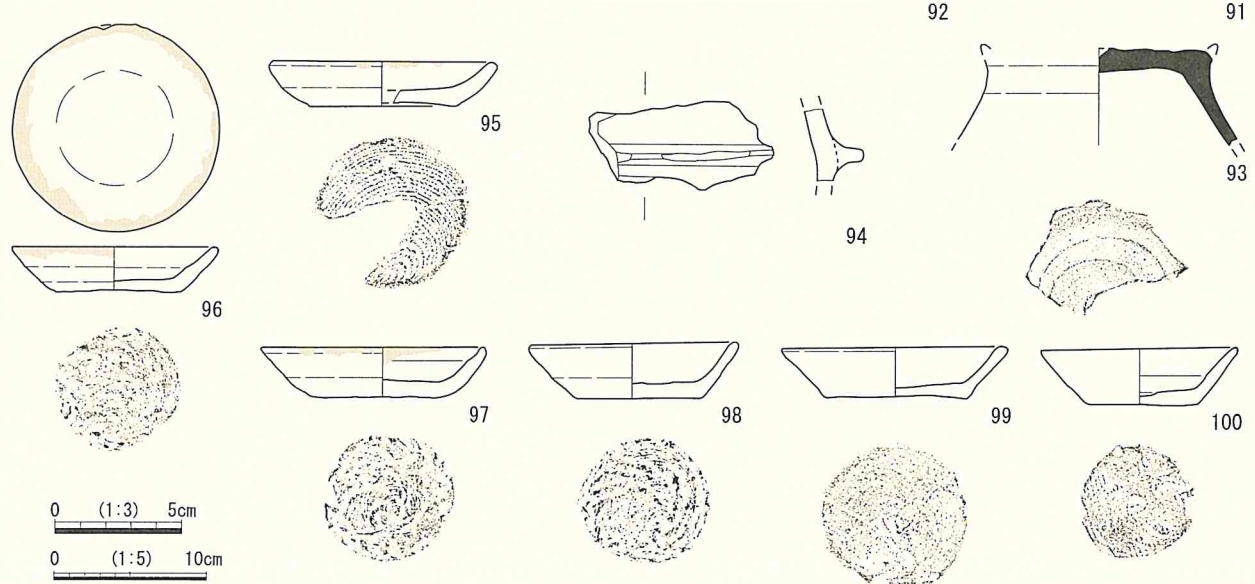
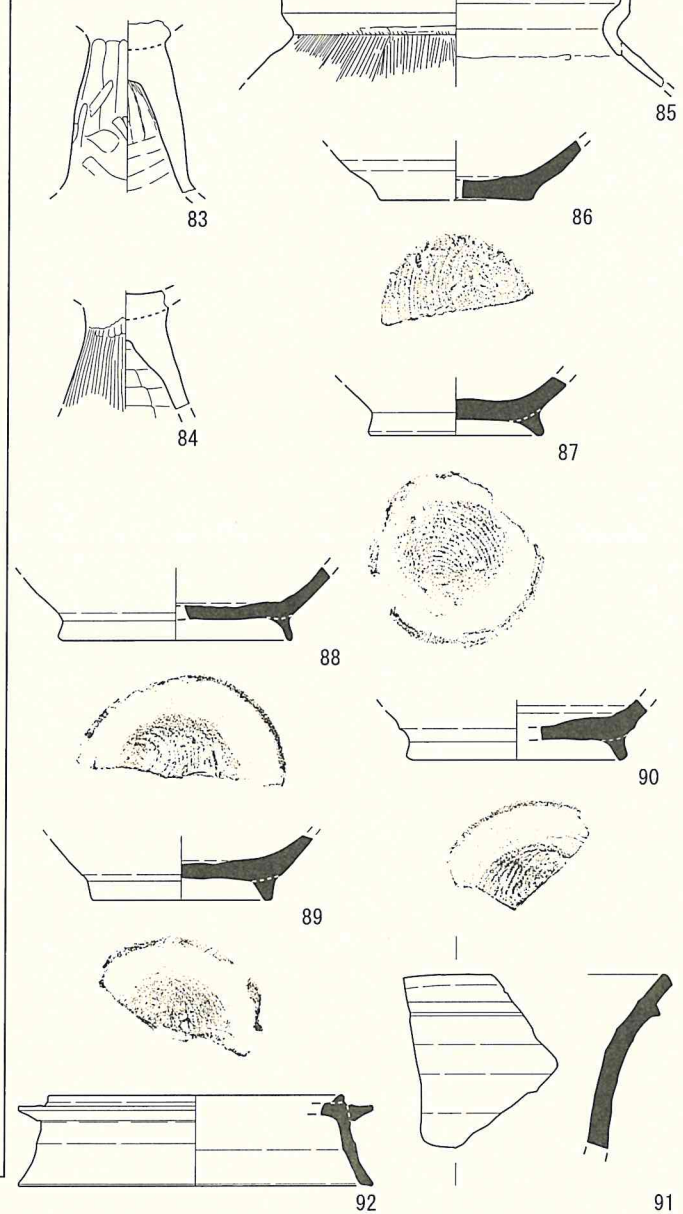


78 S=1/5

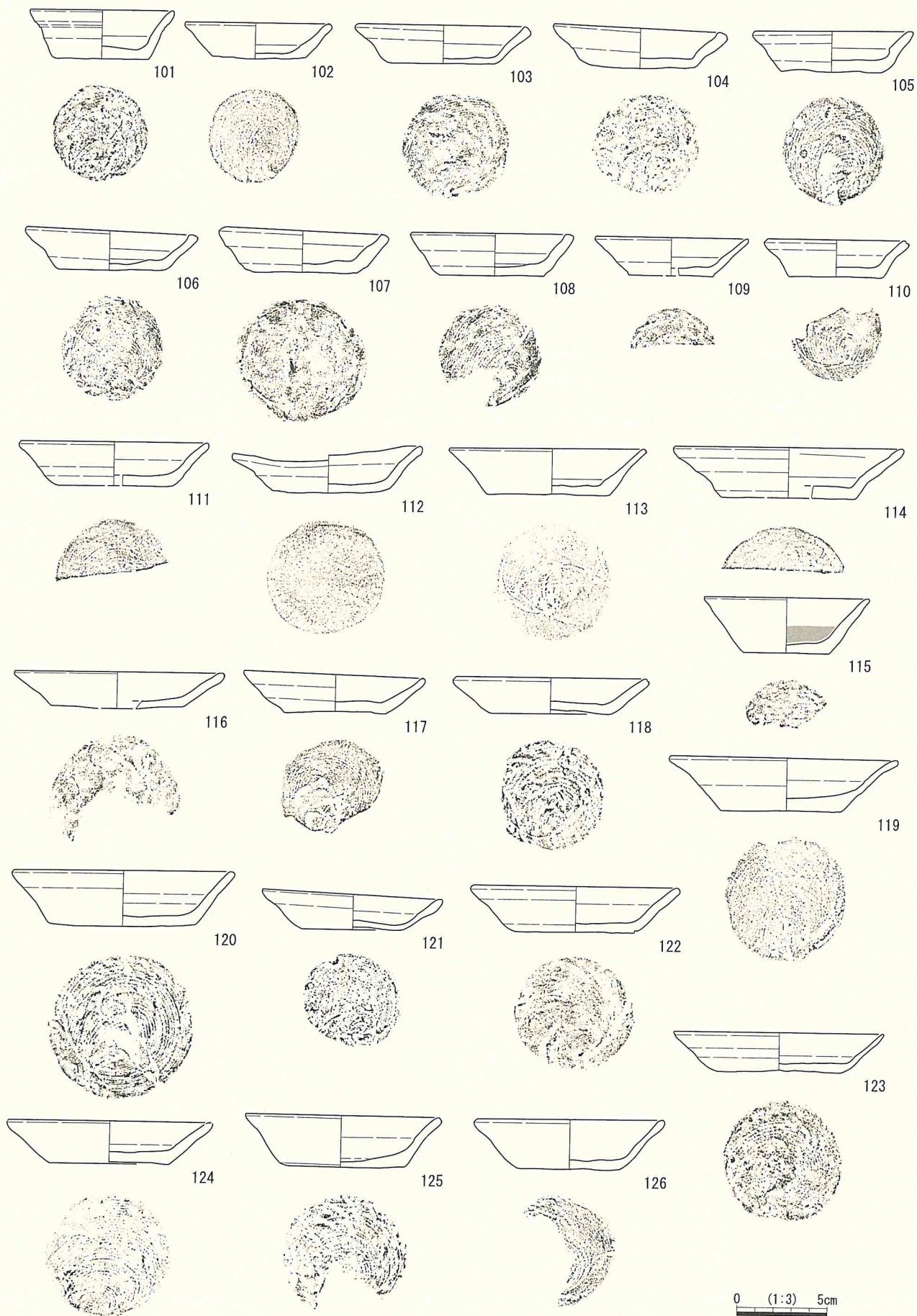
第 64 图 3号溝 遺物実測図



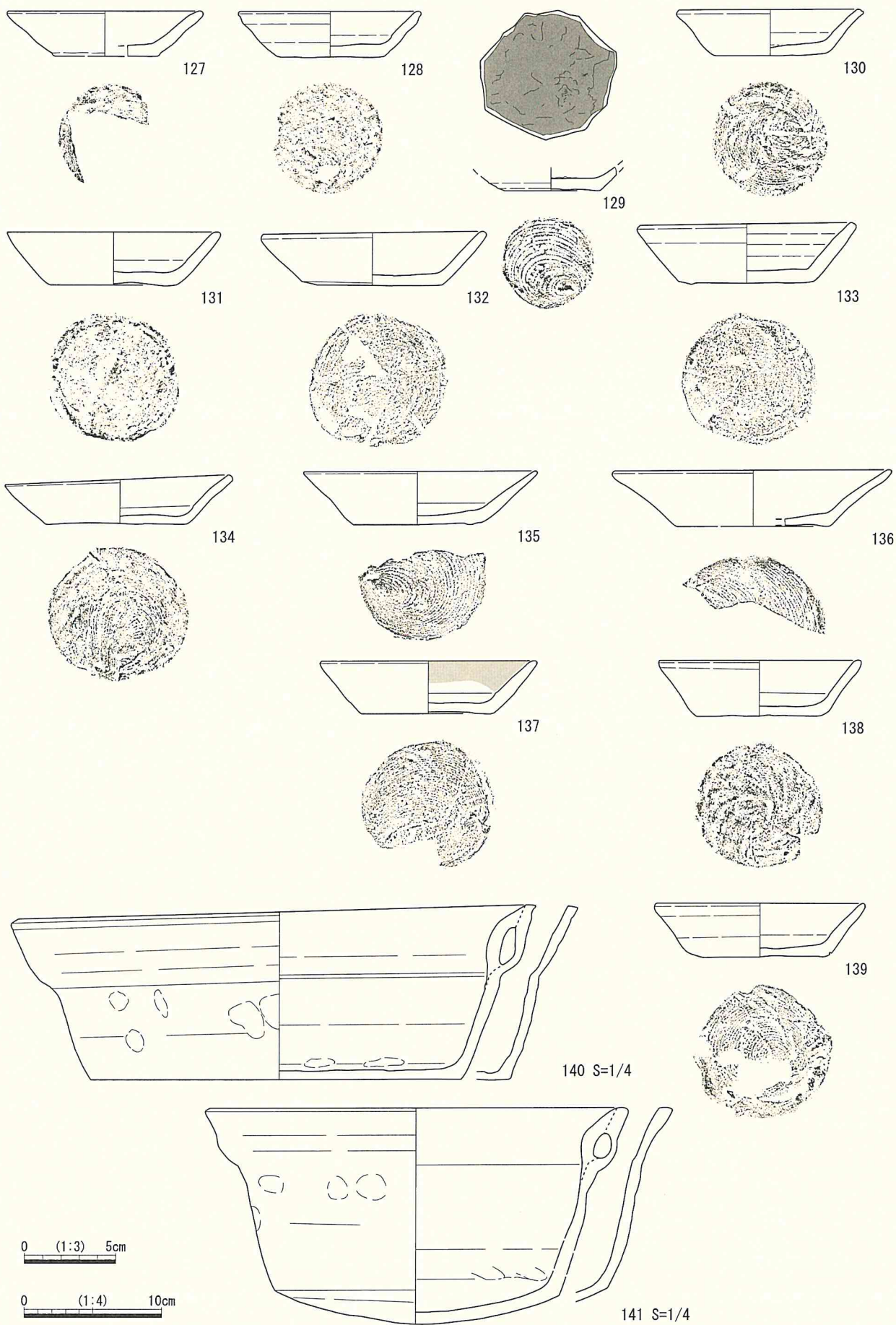
4号溝



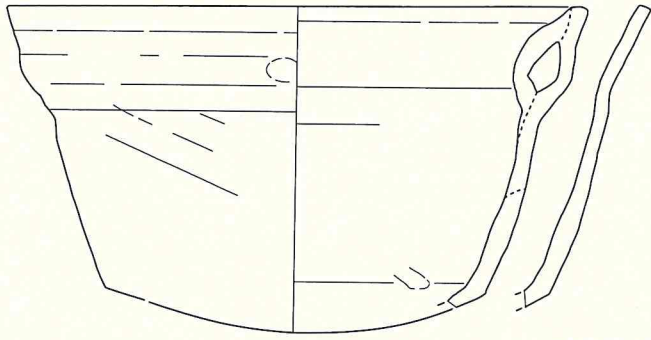
第 65 图 3·4号溝 遺物実測図



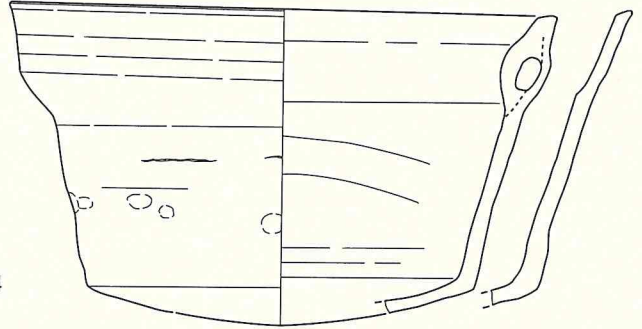
第 66 图 4 号沟 遺物実測図



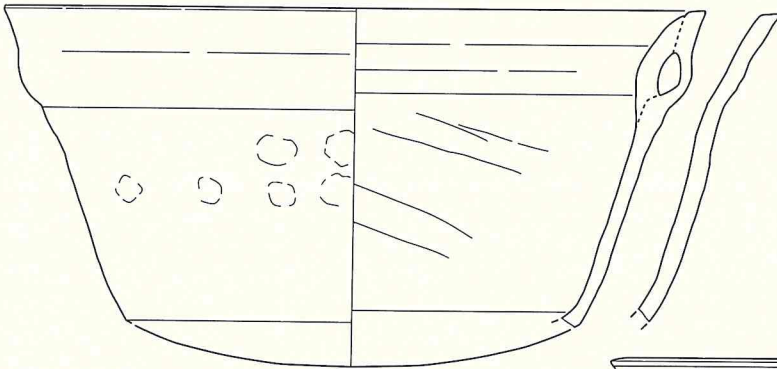
第 67 图 4 号沟 遺物実測図



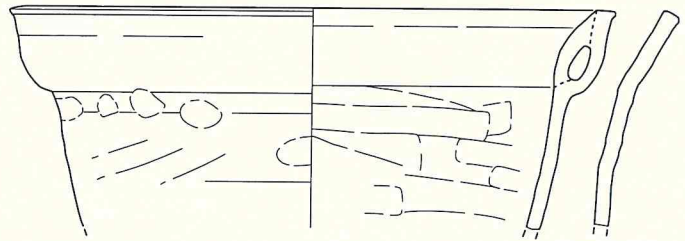
142 S=1/4



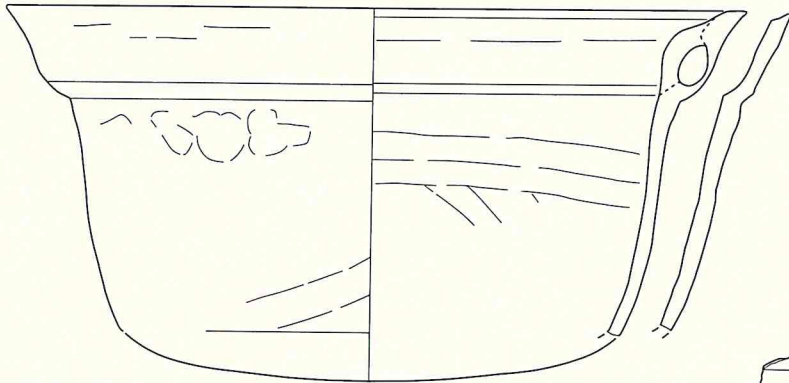
143 S=1/4



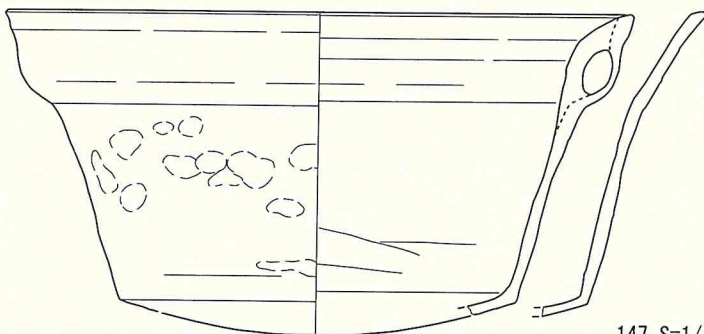
144 S=1/4



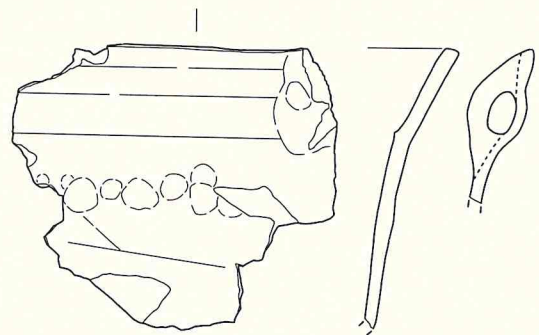
145 S=1/4



146 S=1/4



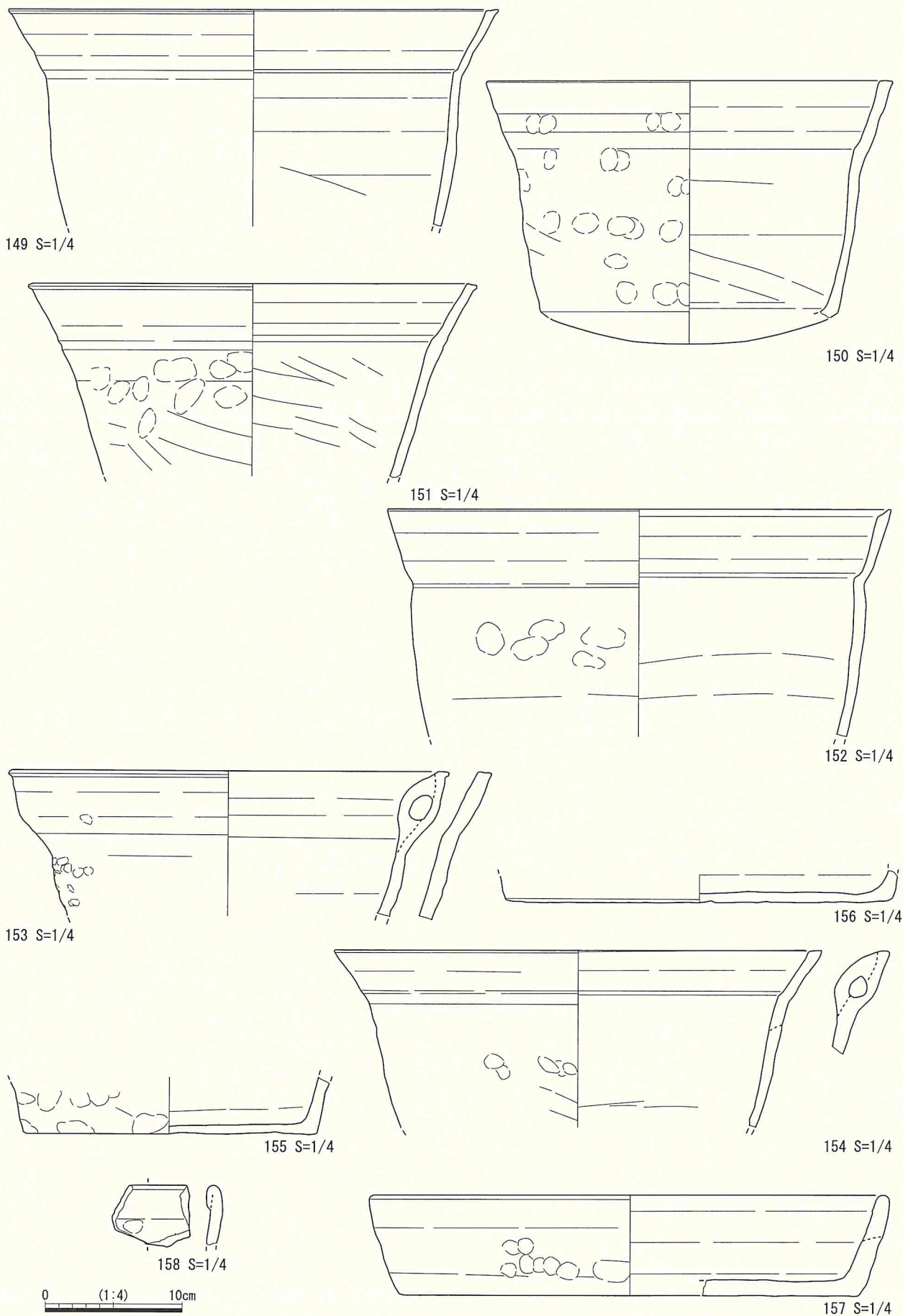
147 S=1/4



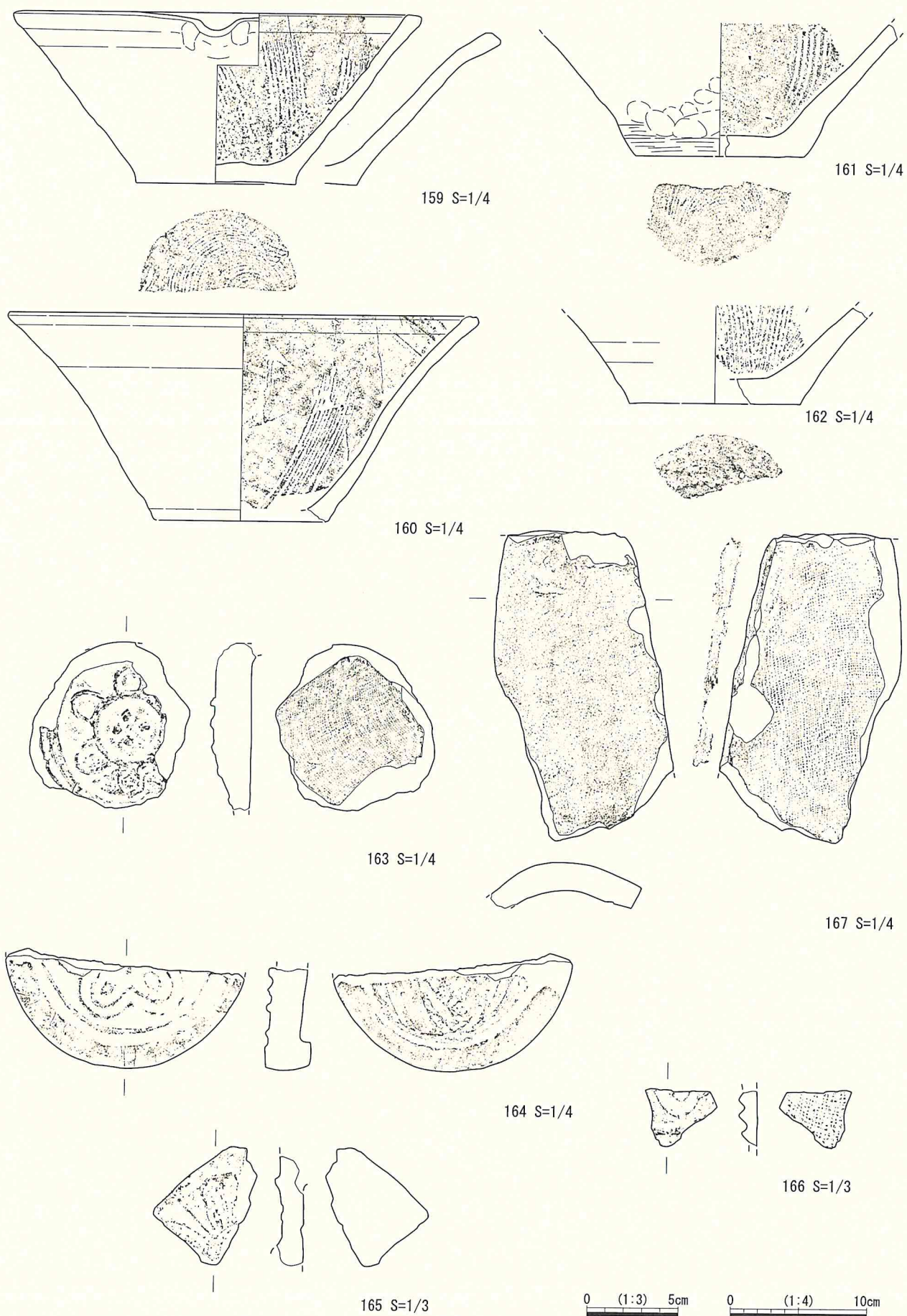
148 S=1/4

0 (1:4) 10cm

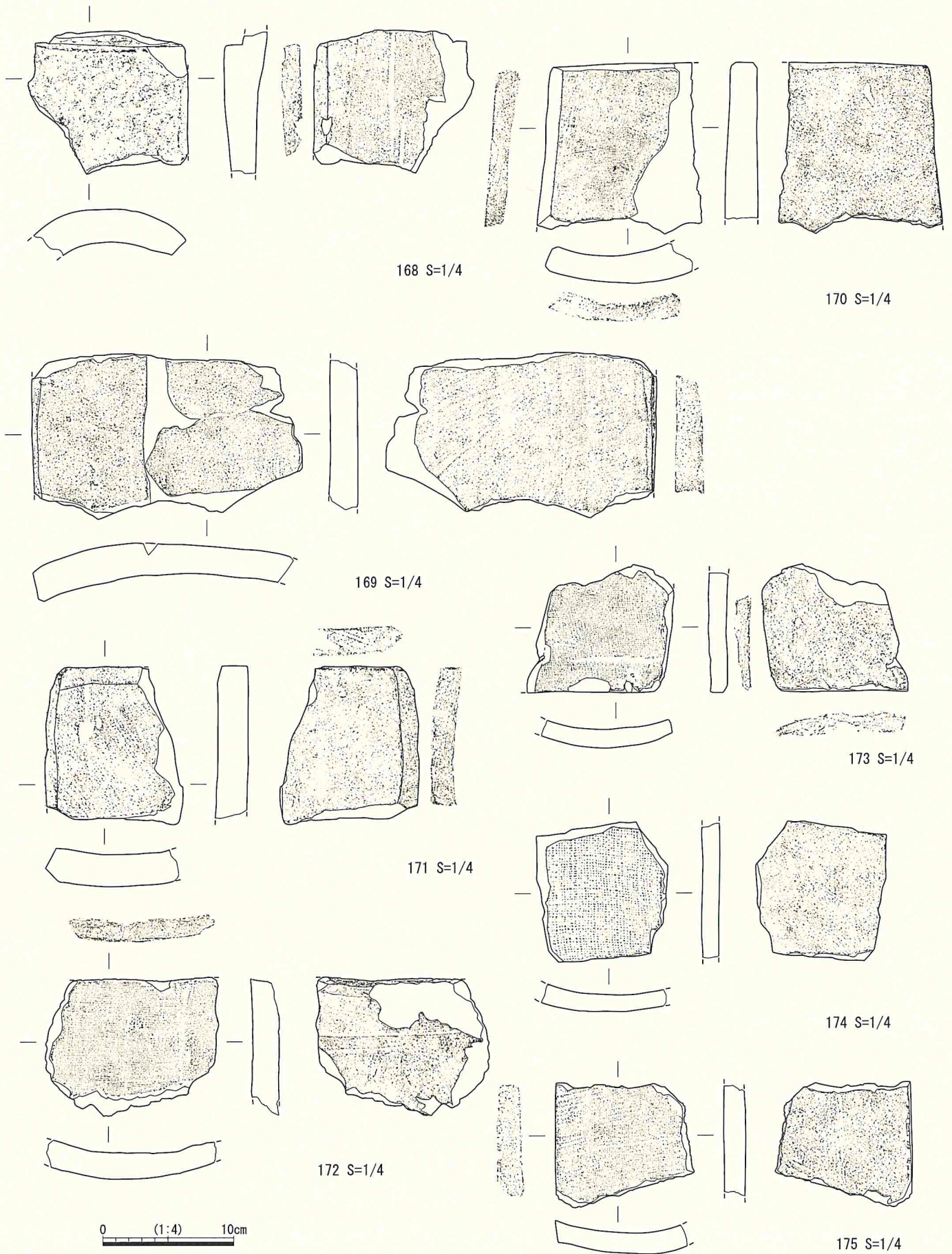
第 68 图 4 号沟 遺物実測図



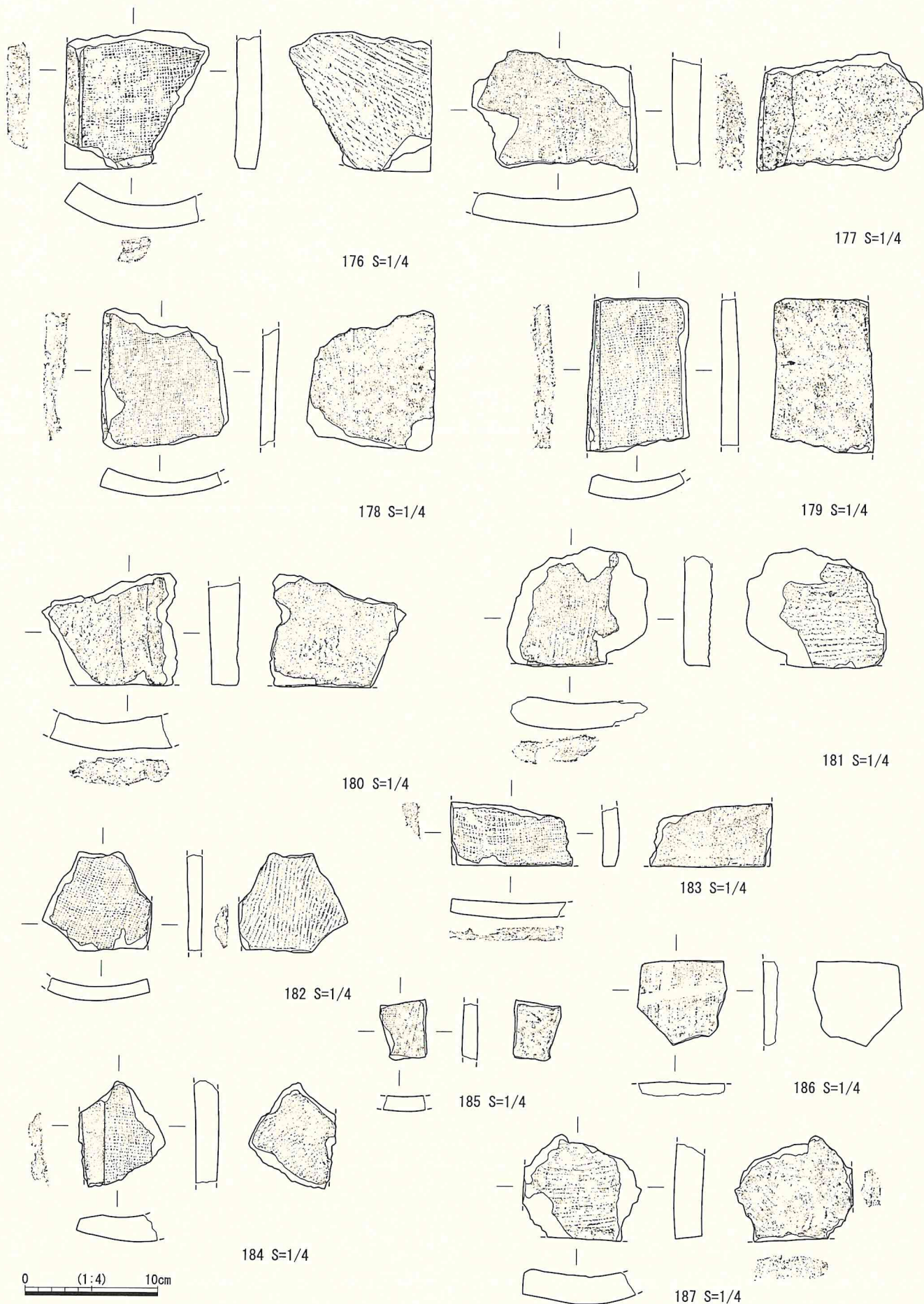
第 69 图 4 号溝 遺物実測図



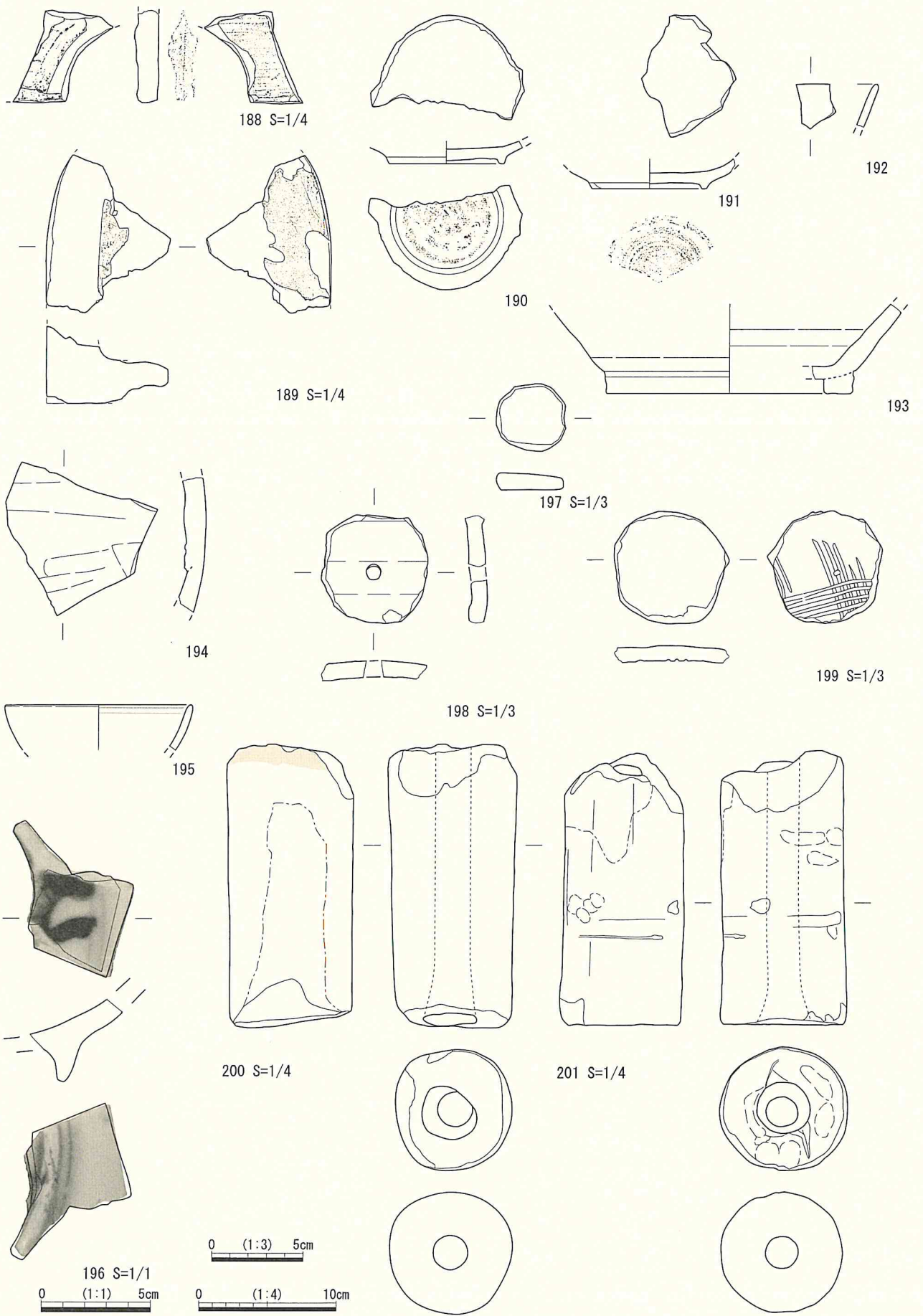
第70图 4号沟 遺物実測図



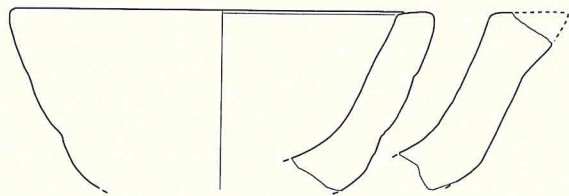
第71图 4号沟 遺物実測図



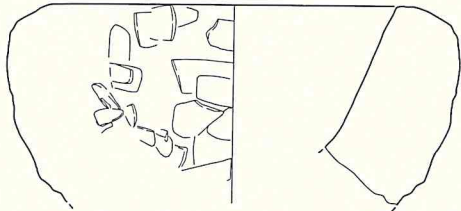
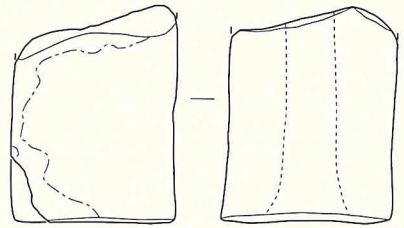
第 72 图 4 号沟 遺物実測図



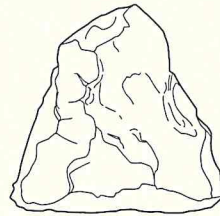
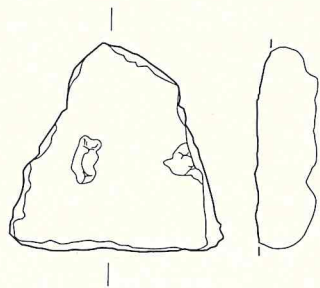
第73图 4号沟 遗物实测图



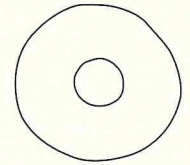
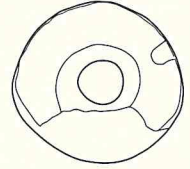
204 S=1/5



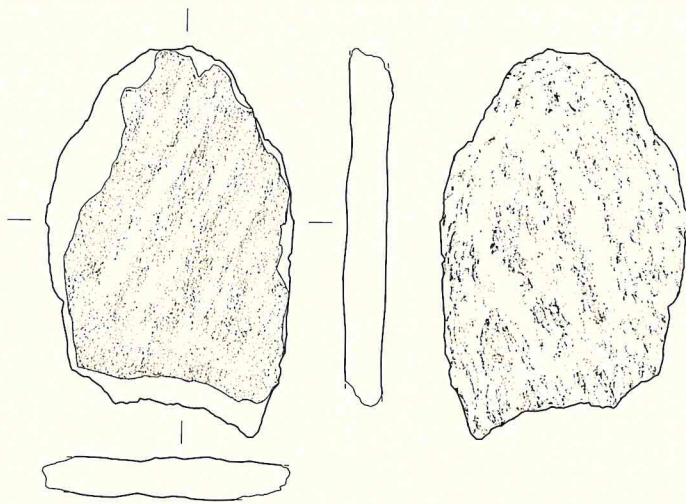
205 S=1/5



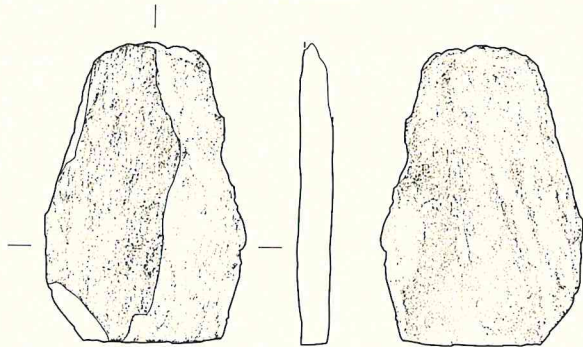
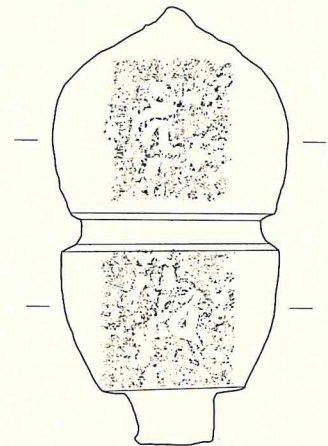
203 S=1/3



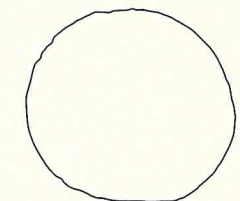
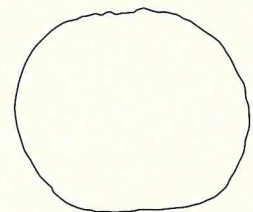
202 S=1/4



206 S=1/5



207 S=1/5

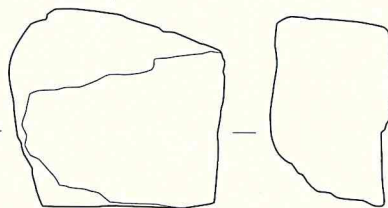


209 S=1/5

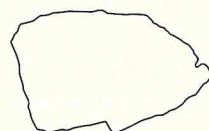
0 (1:3) 5cm

0 (1:4) 10cm

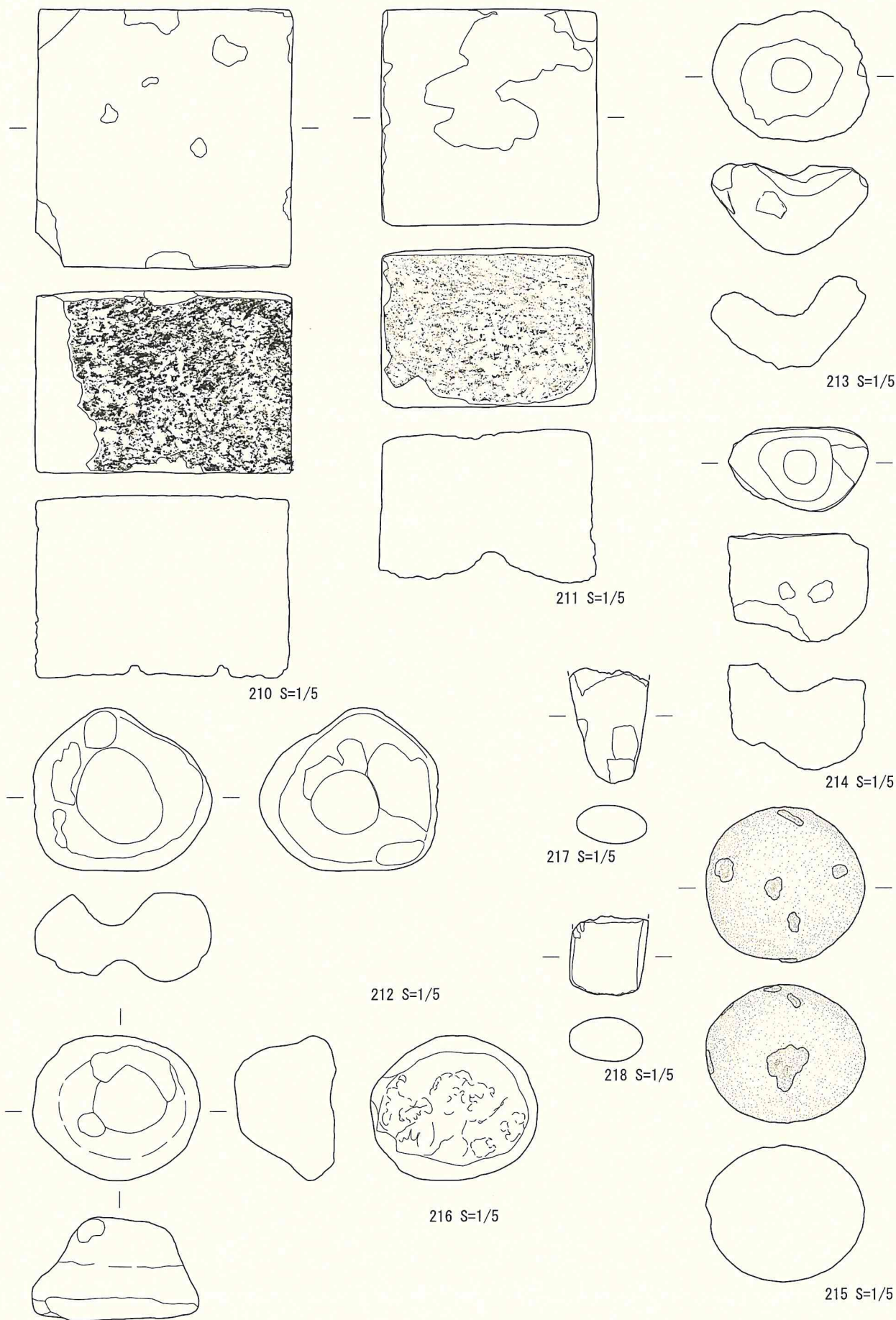
0 (1:5) 10cm



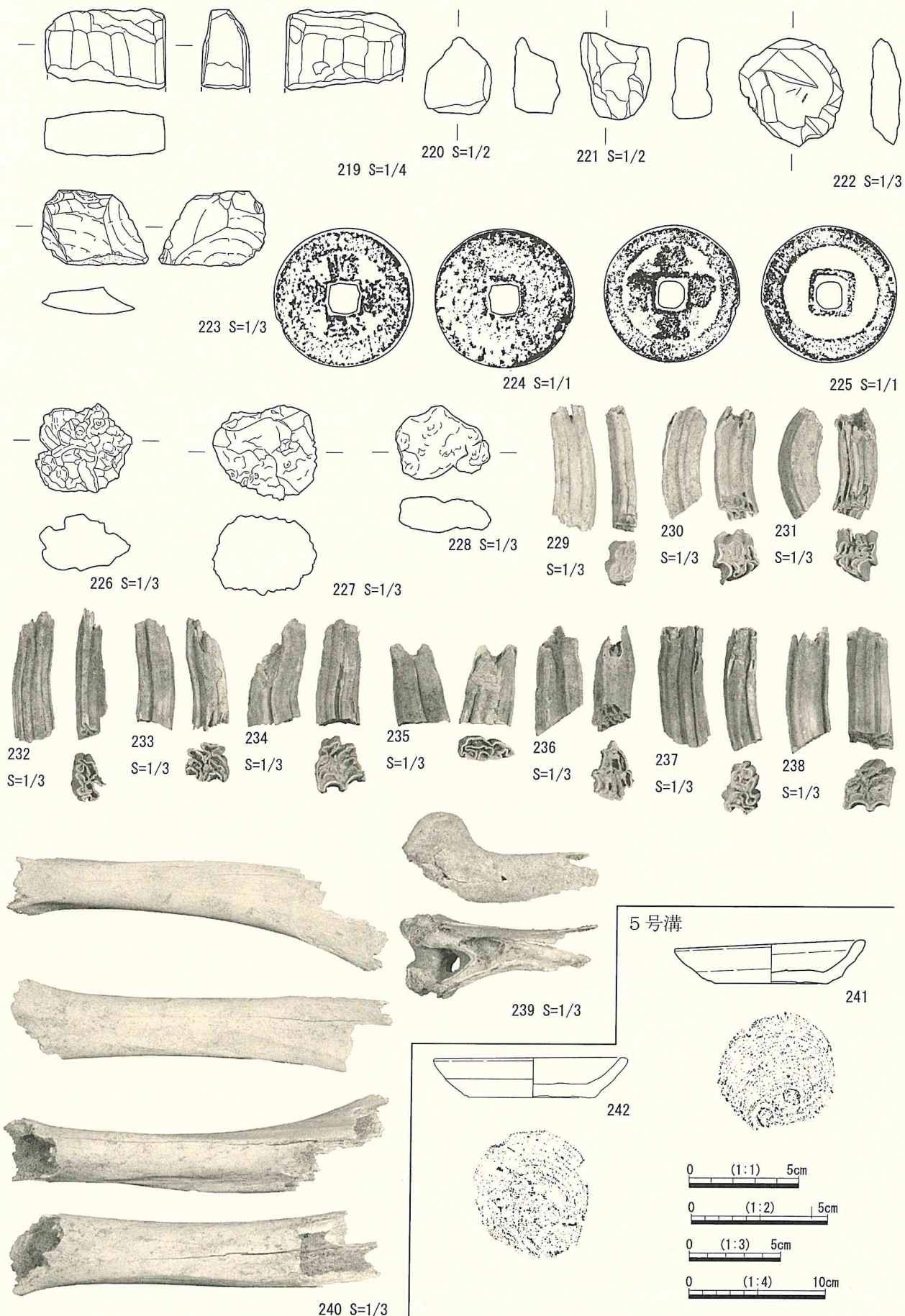
208 S=1/5



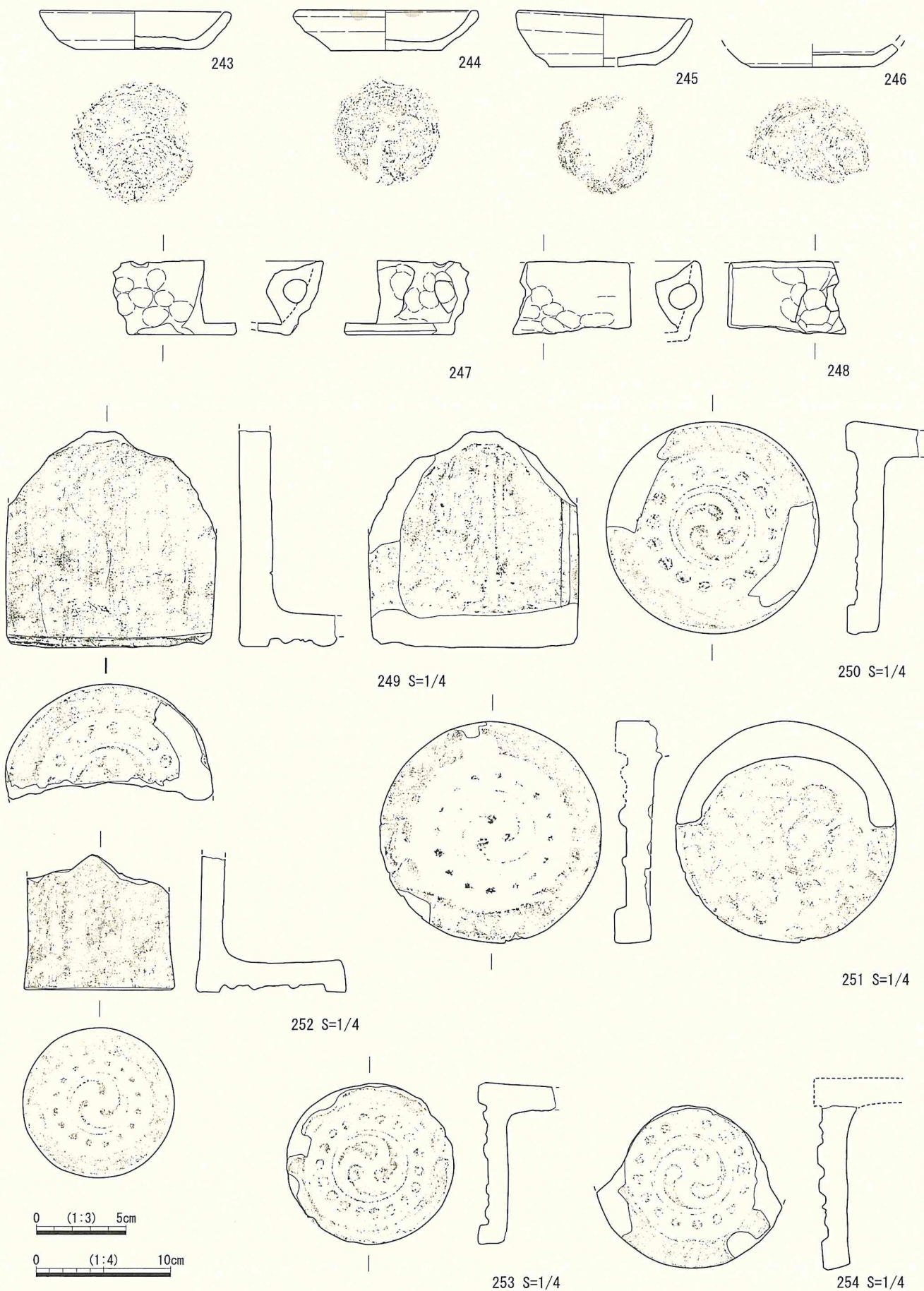
第 74 图 4 号沟 遺物実測図



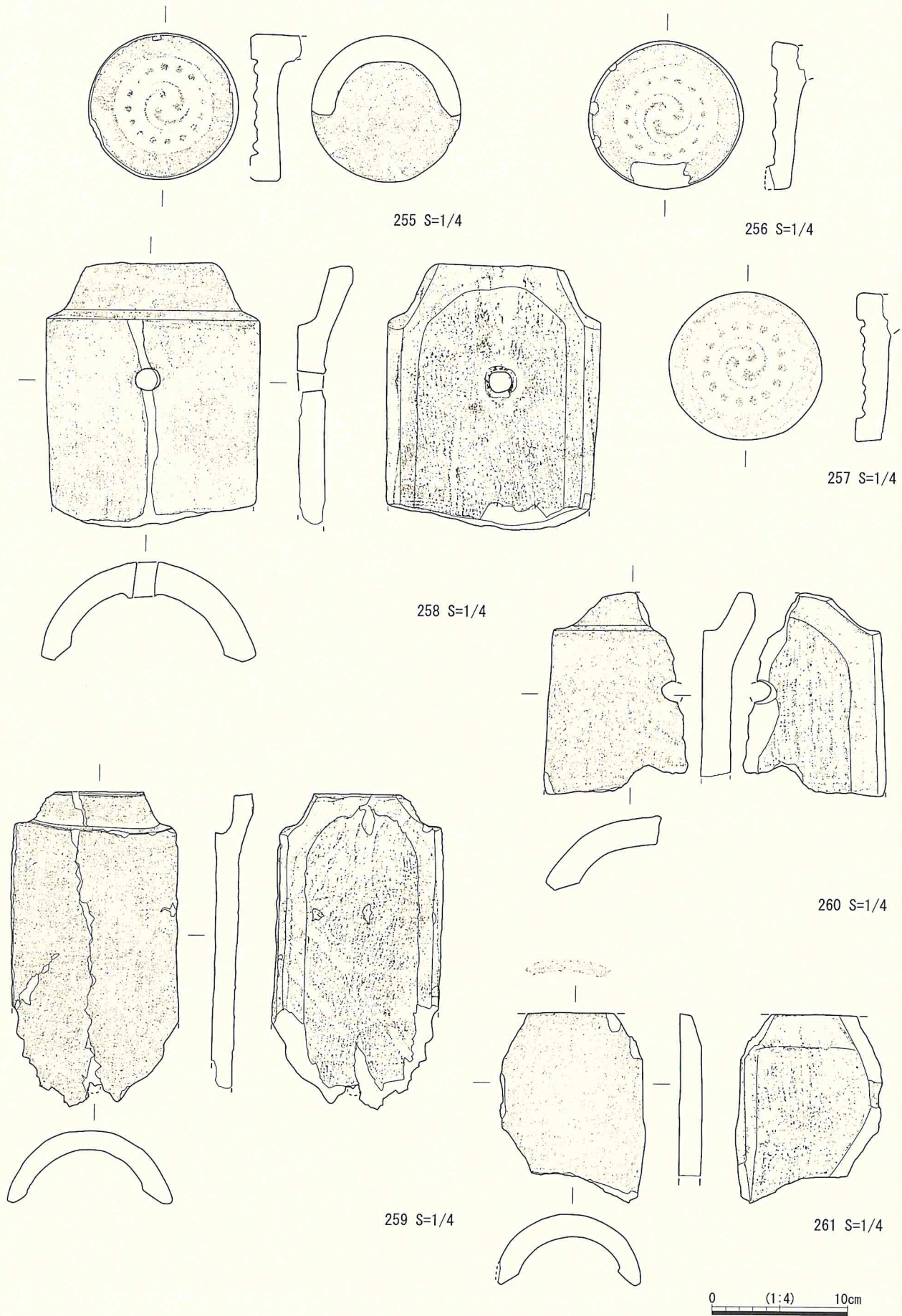
第75图 4号沟 遺物実測图



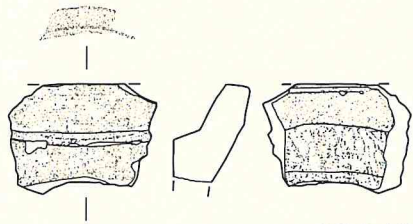
第 76 图 4 · 5号溝 遺物実測図



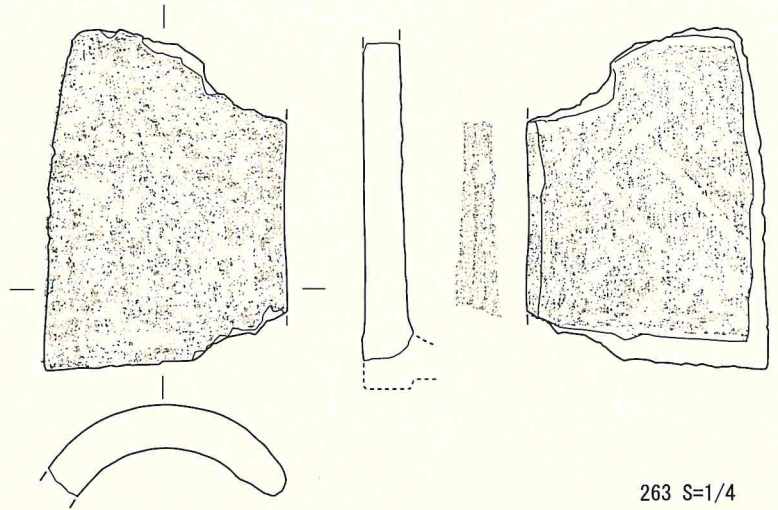
第 77 图 5 号沟 遺物実測図



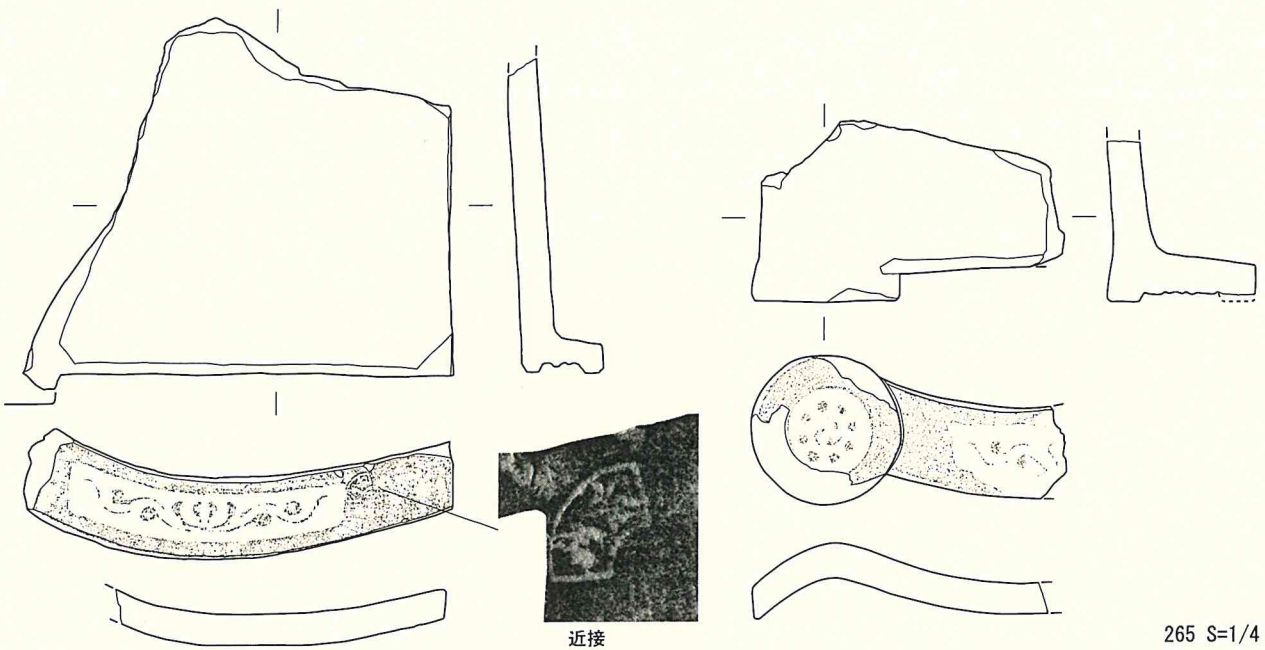
第 78 図 5 号溝 遺物実測図



262 S=1/4

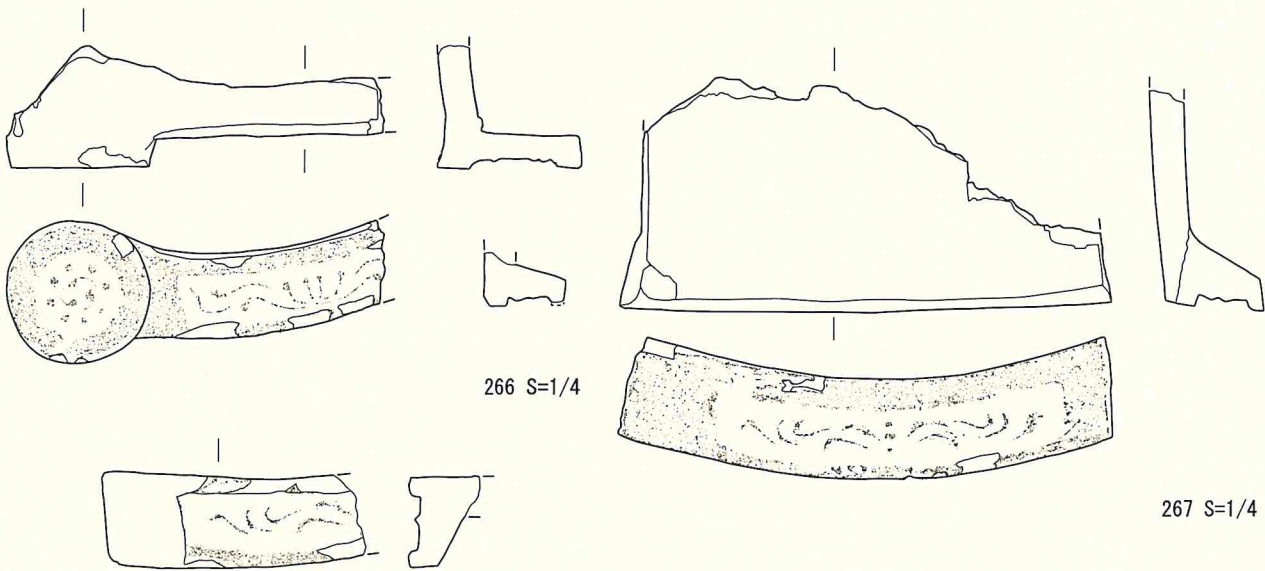


263 S=1/4

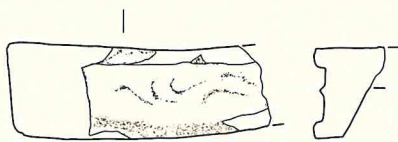


近接
264 S=1/4

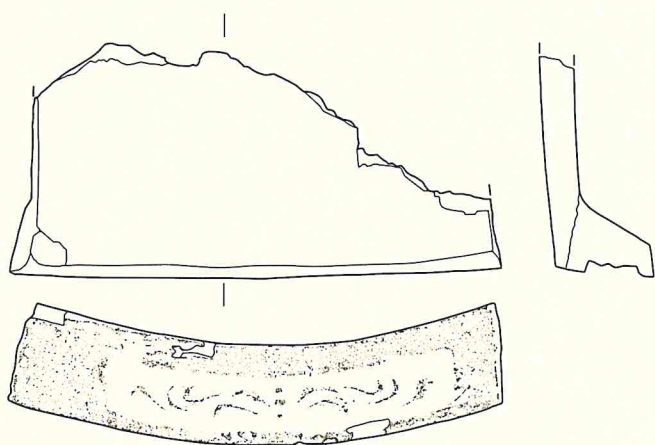
265 S=1/4



266 S=1/4



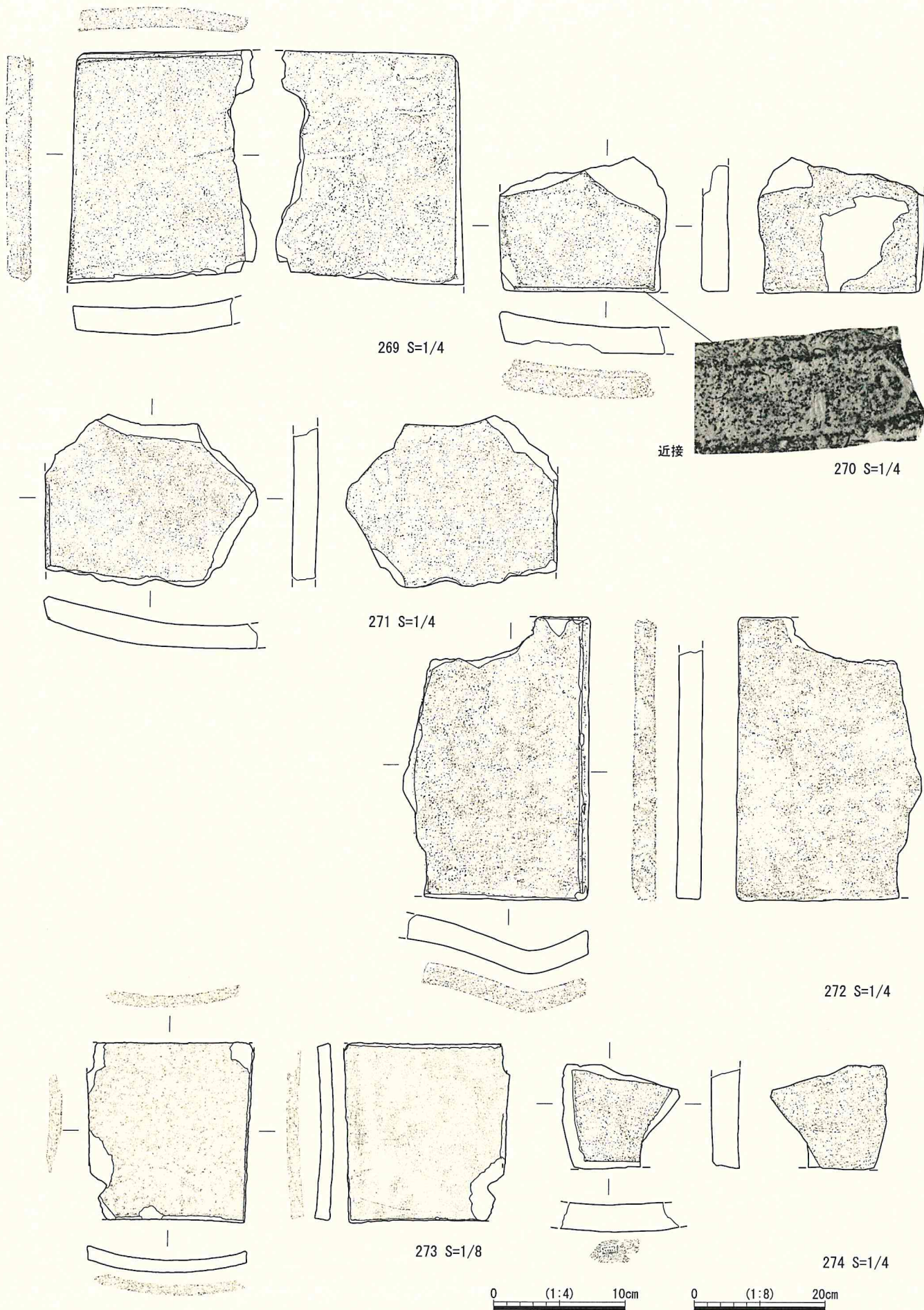
268 S=1/4



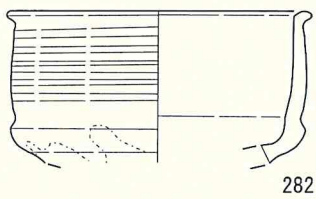
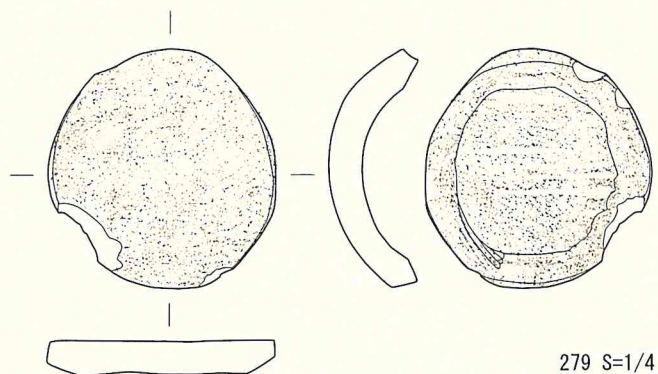
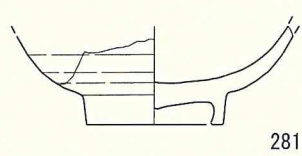
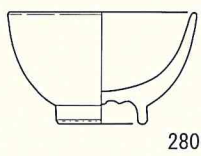
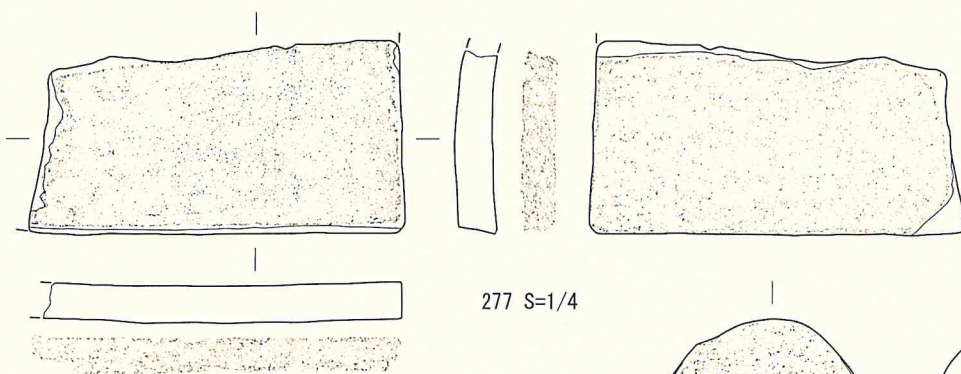
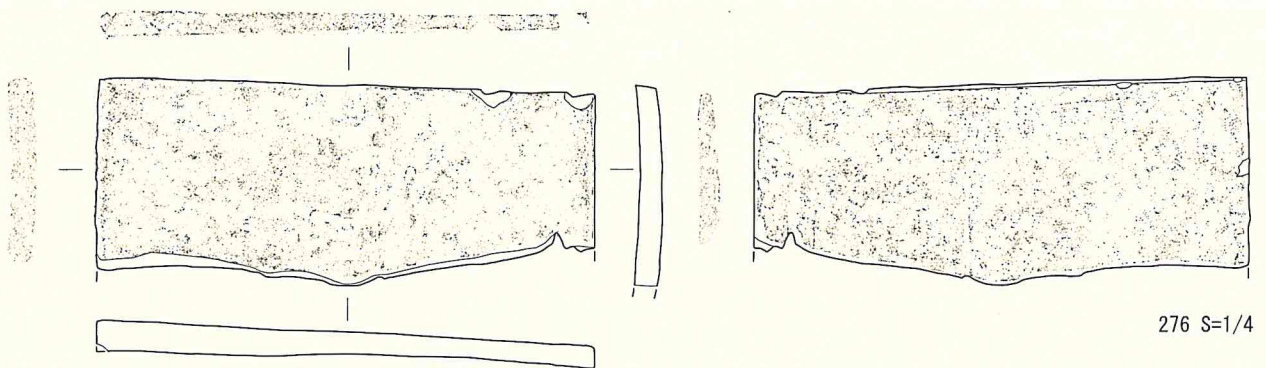
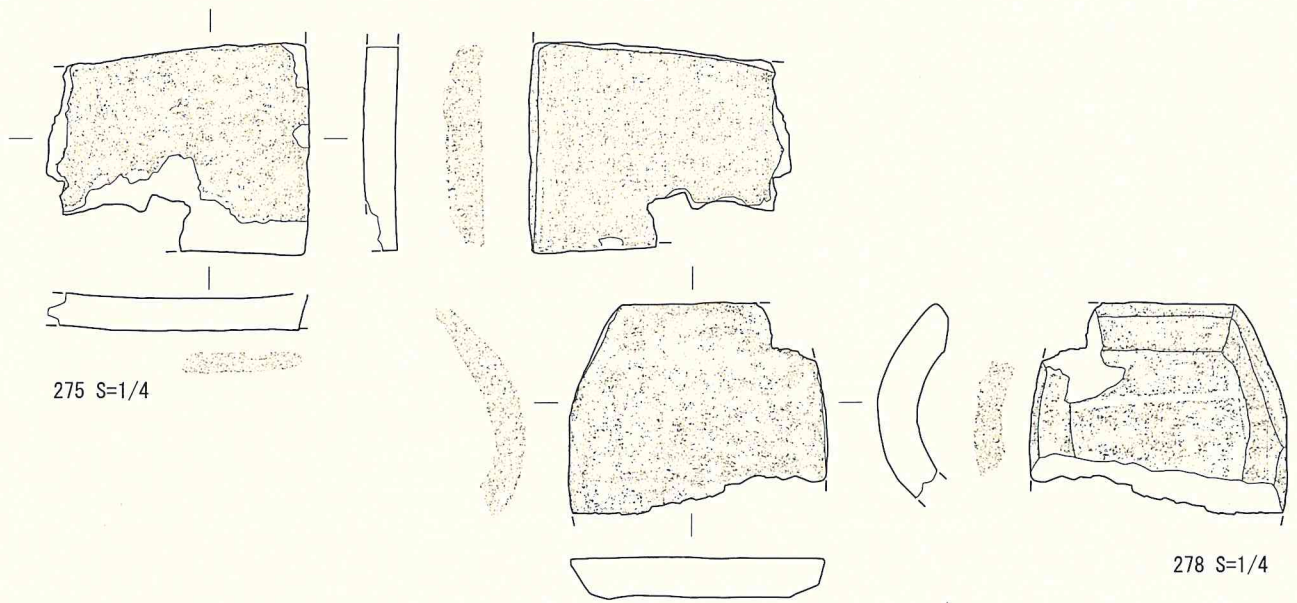
267 S=1/4

0 (1:4) 10cm

第 79 图 5 号沟 遺物実測図

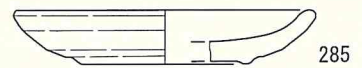
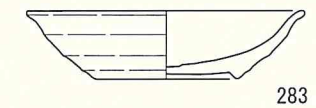
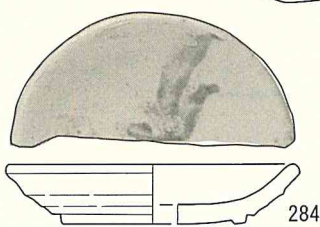


第 80 图 5 号沟 遺物実測図

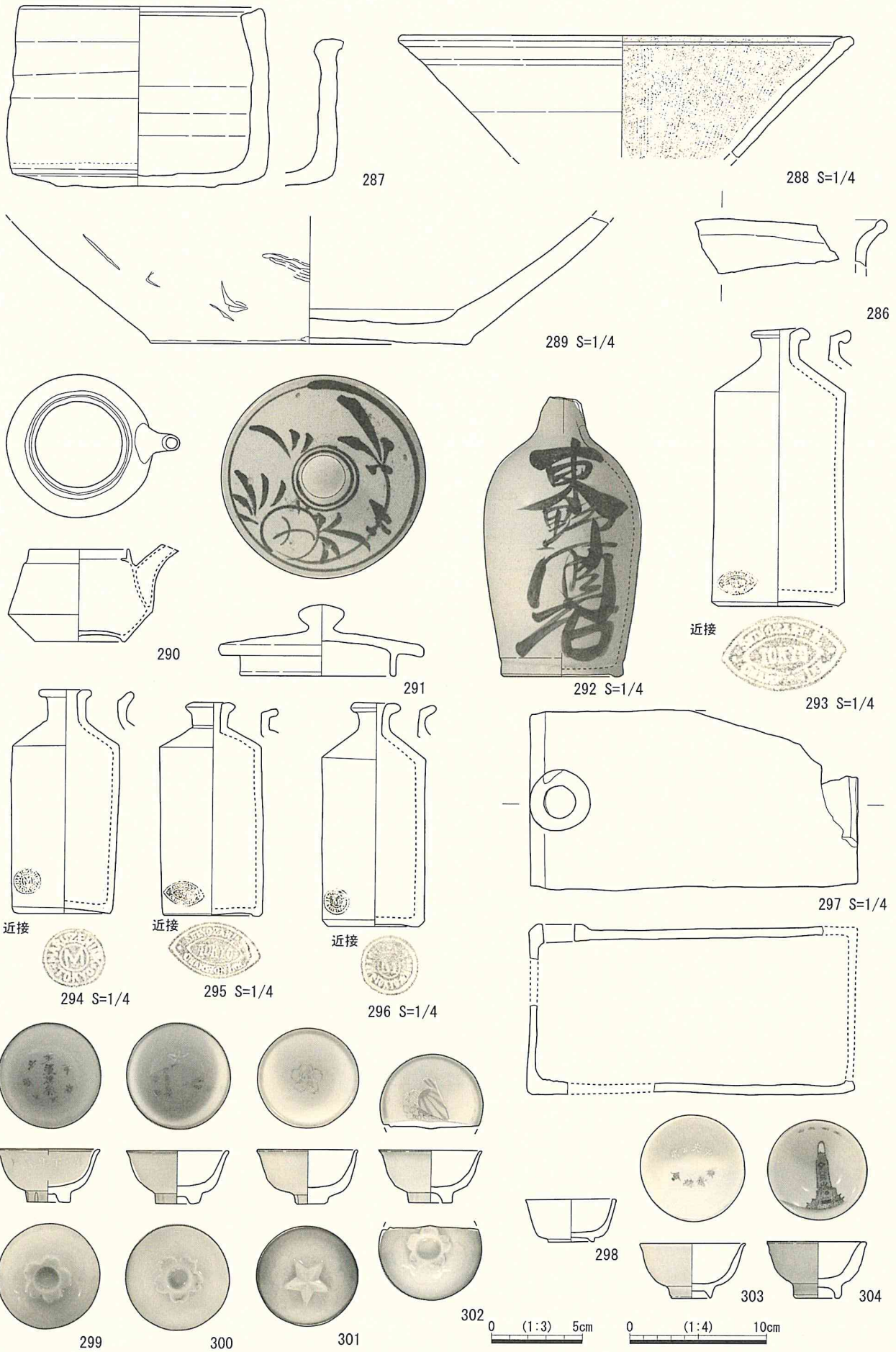


0 (1:3) 5cm

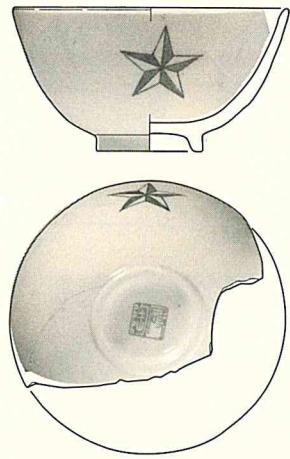
0 (1:4) 10cm



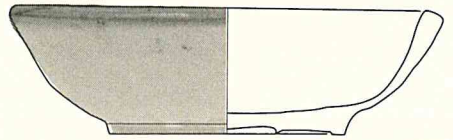
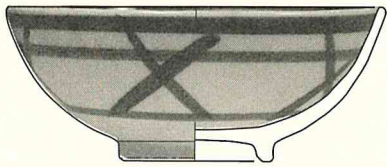
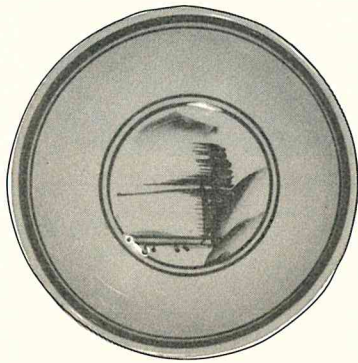
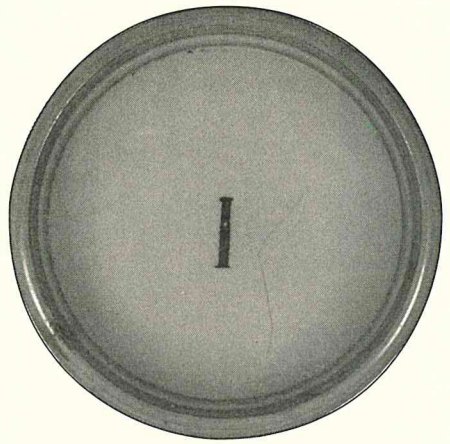
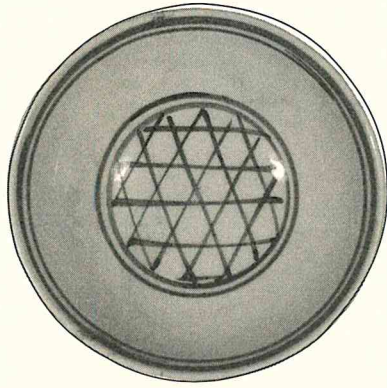
第81図 5号溝 遺物実測図



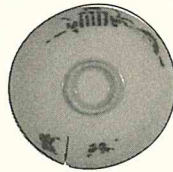
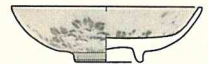
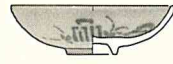
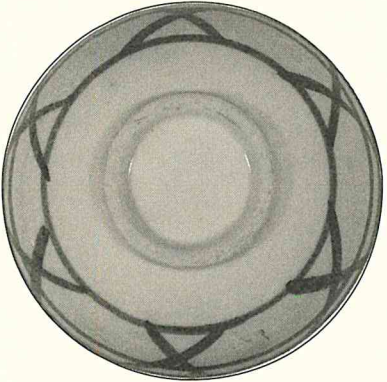
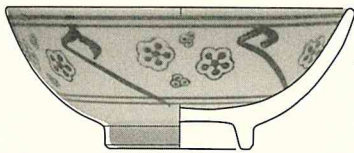
第 82 图 5号溝 遺物実測図



324



327

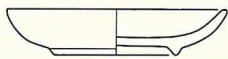
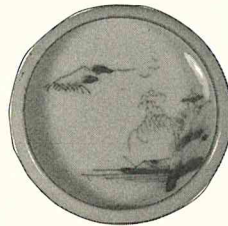
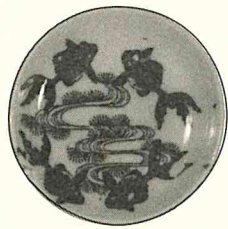


328

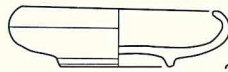
329



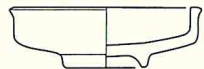
325



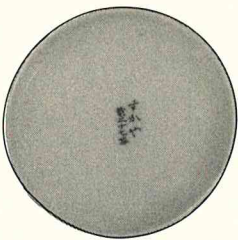
330



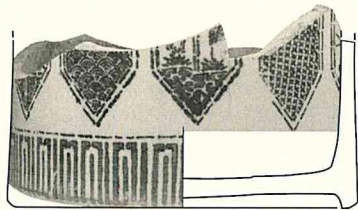
331



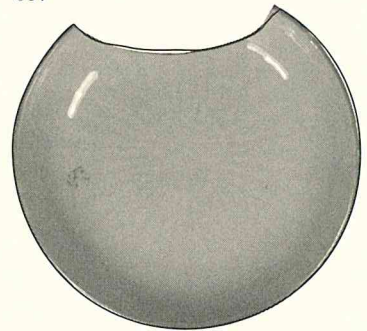
332



333

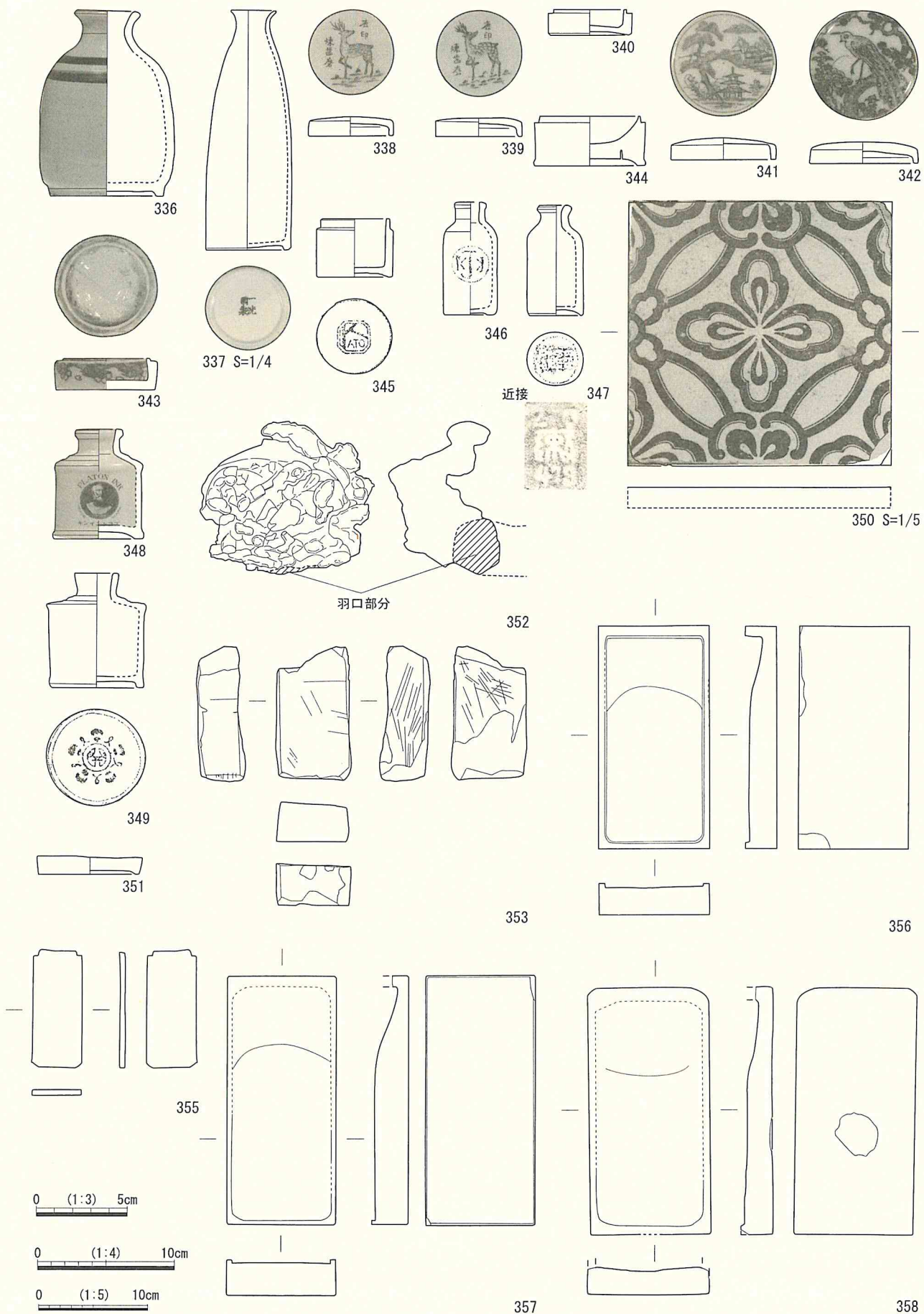


335 S=1/4



334

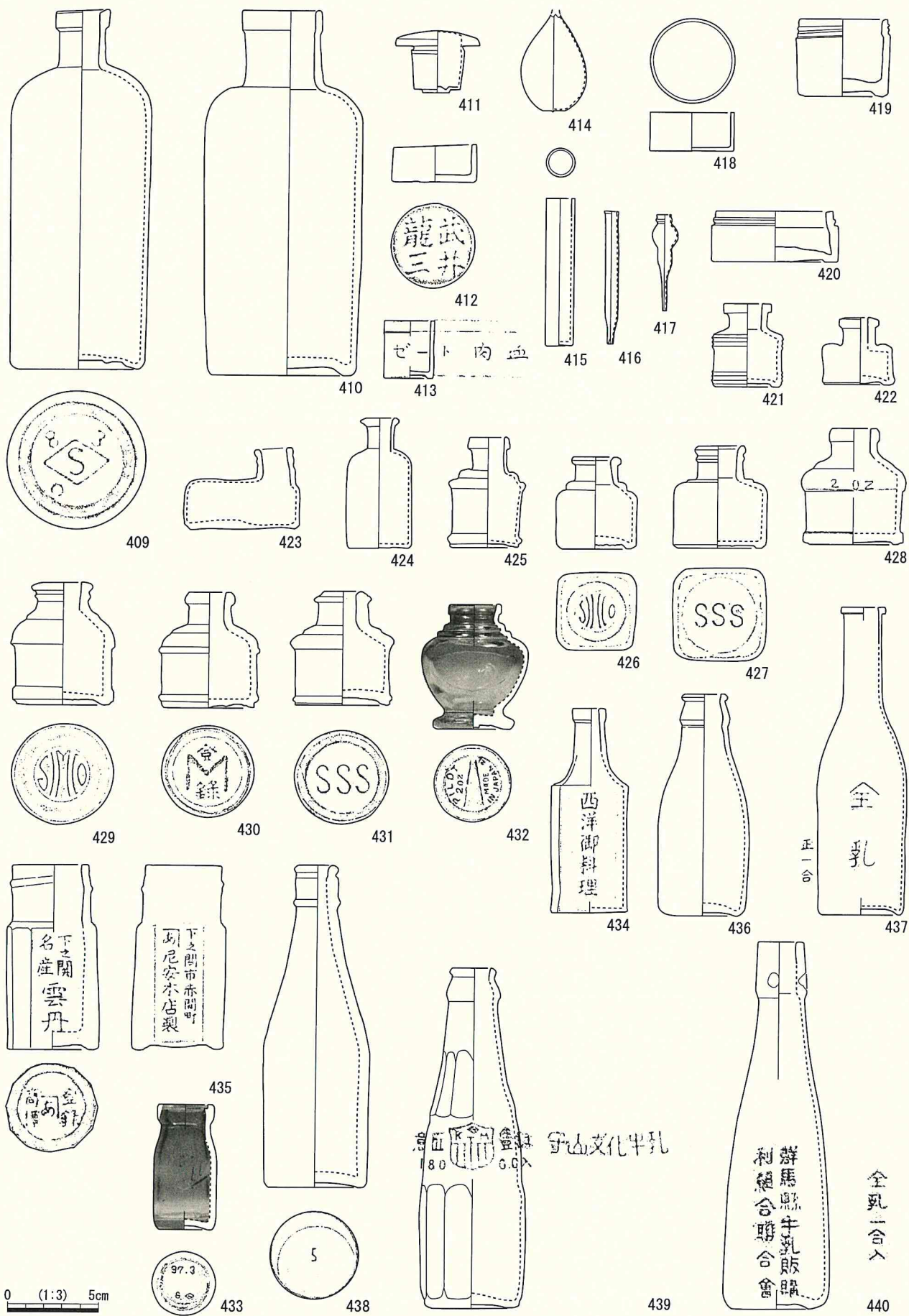
第 84 图 5 号沟 遺物実測图



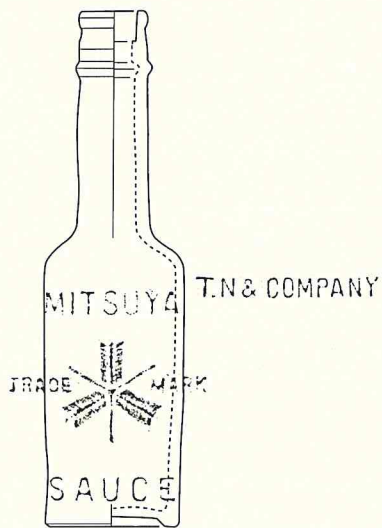
第 85 图 5号沟 遺物実測図



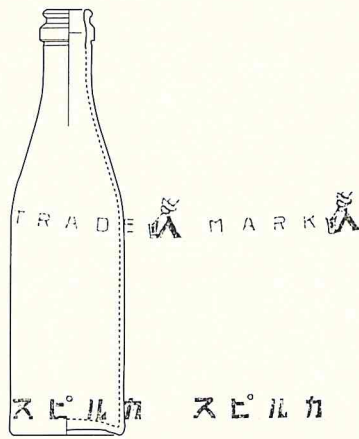
第 87 図 5 号溝 遺物実測図



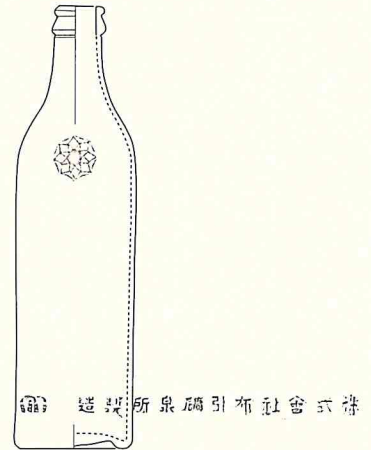
第 88 図 5 号溝 遺物実測図



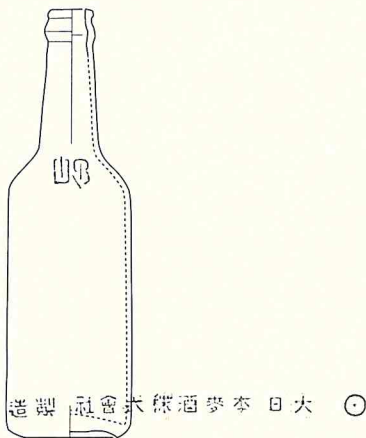
441



442 S=1/4



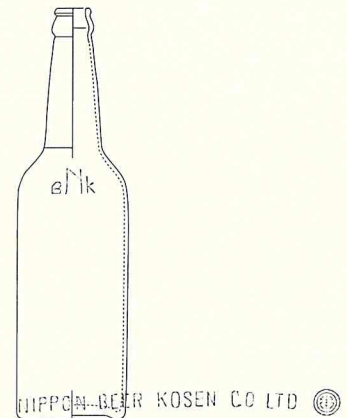
443 S=1/4



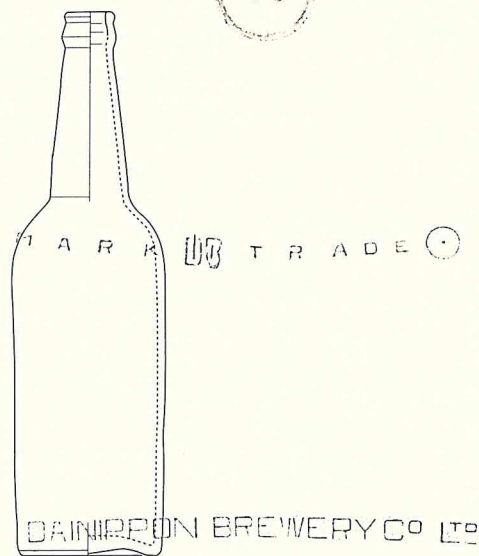
444 S=1/4



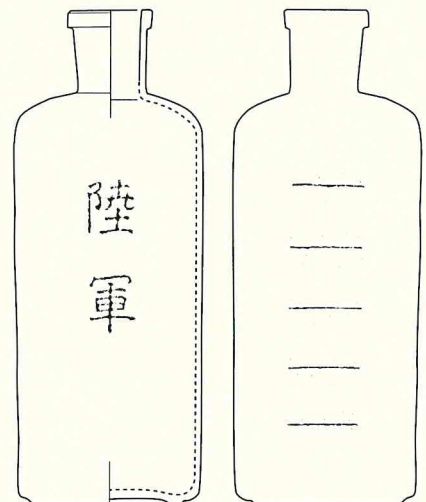
445 S=1/4



447 S=1/4



446 S=1/4

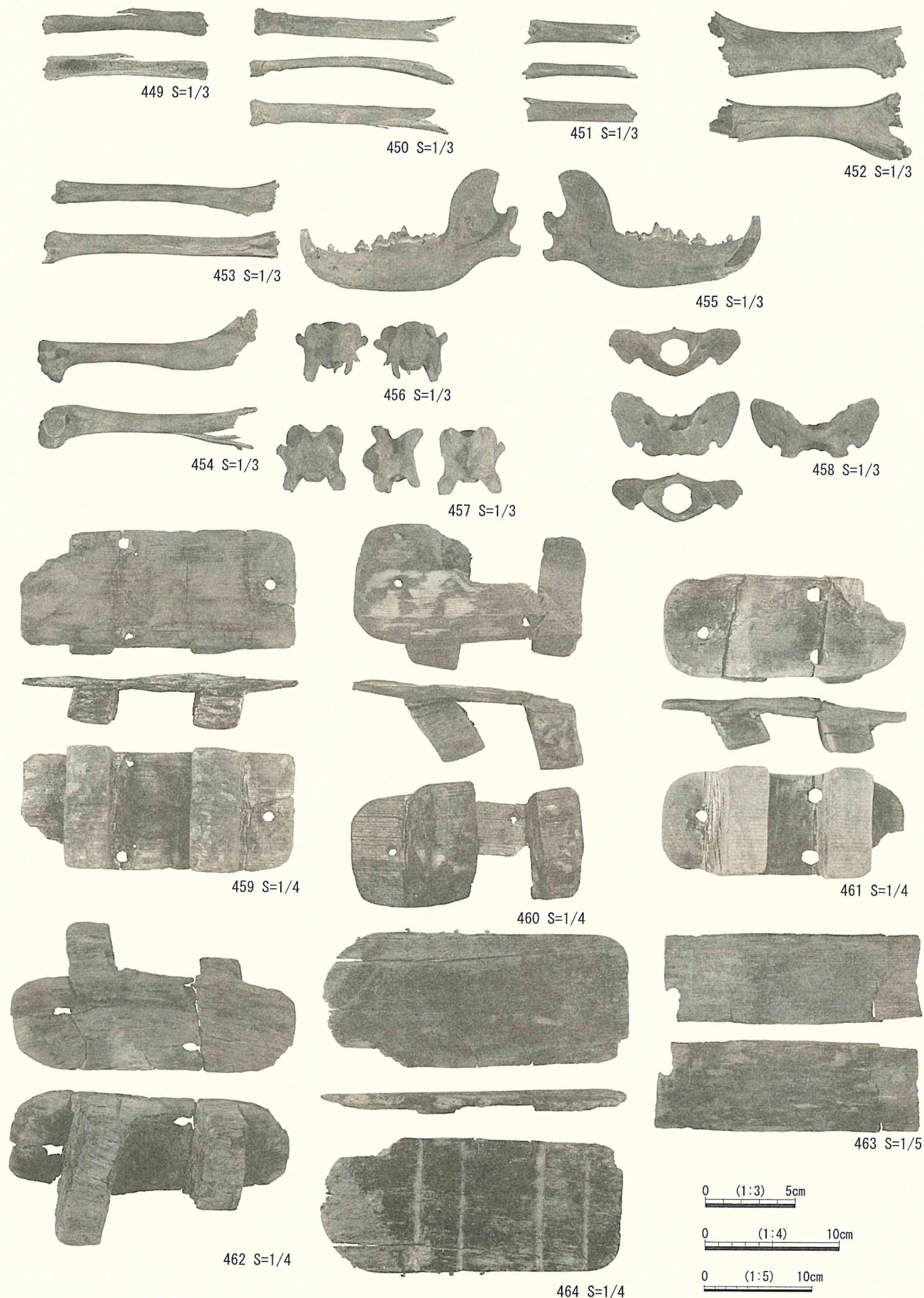


448

0 (1:3) 5cm

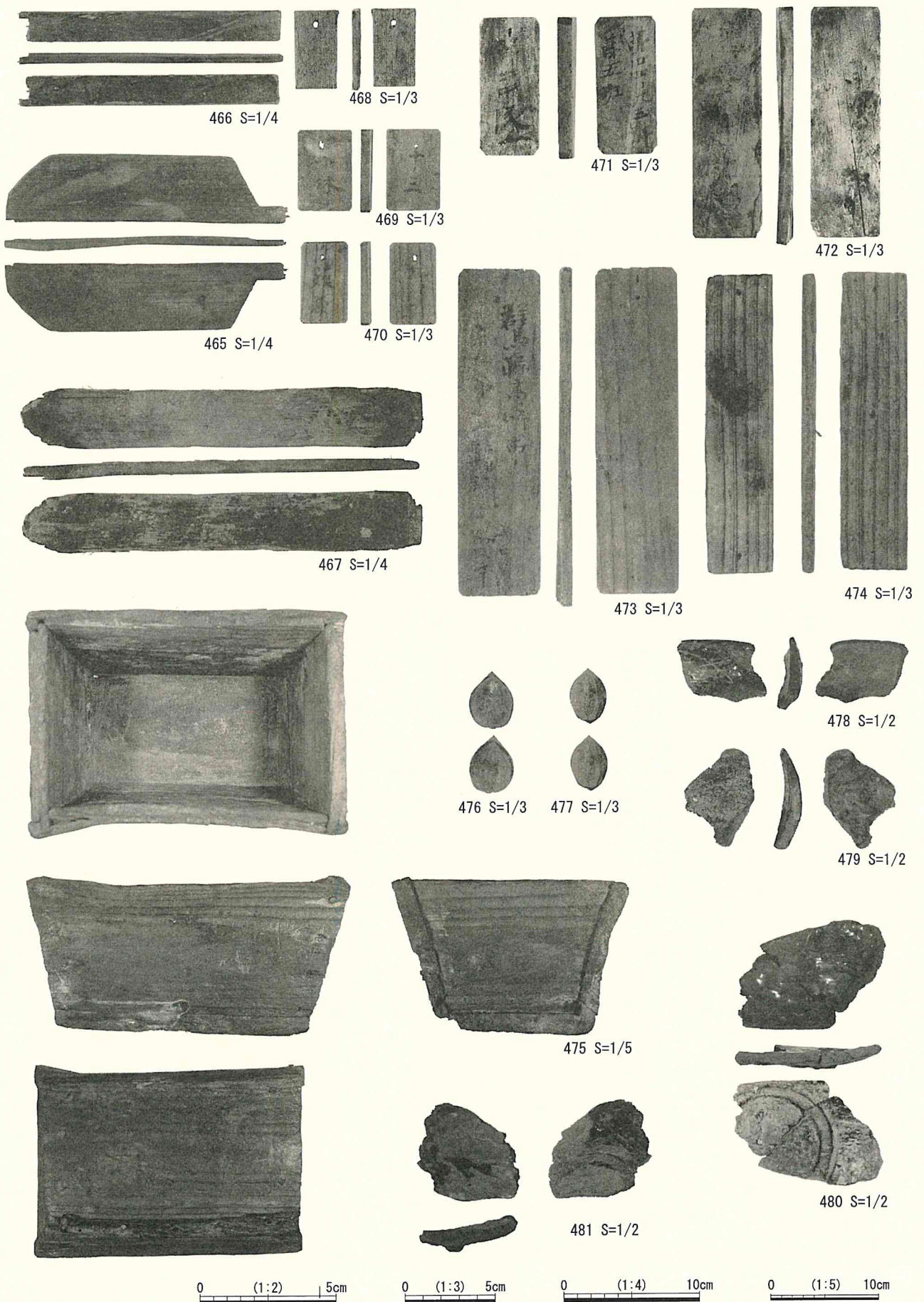
0 (1:4) 10cm





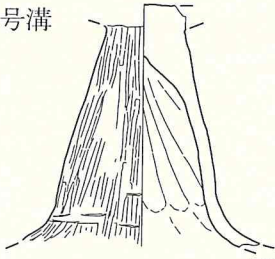
*遺物 No. 459 ~ 481 は、遺物写真の色調補正を行い墨書などがいないか確認した。

第 90 図 5号溝 遺物実測図

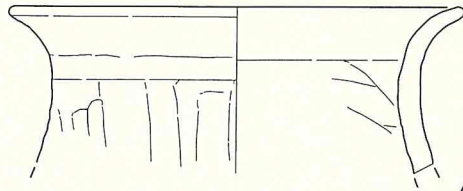


* 遺物 No. 459 ~ 481 は、遺物写真の色調補正を行い墨書などがいないか確認した。

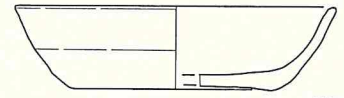
6号溝



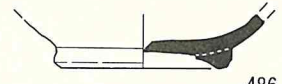
482



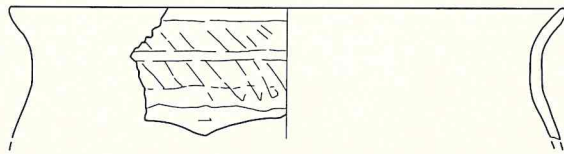
483



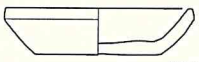
485



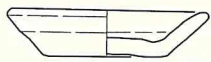
486



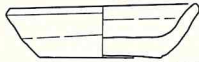
484



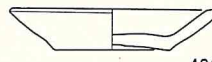
488



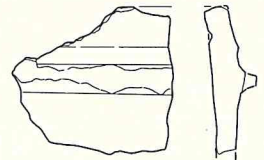
489



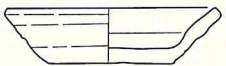
490



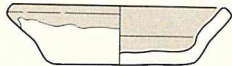
491



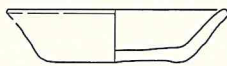
487



492



493



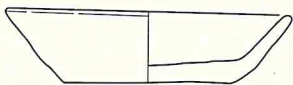
494



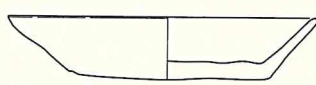
495



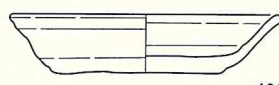
496



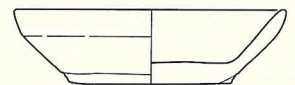
497



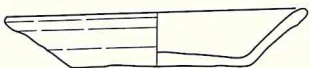
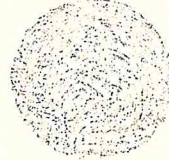
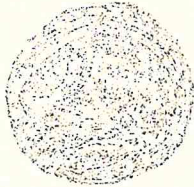
498



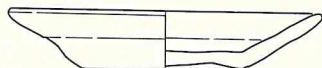
499



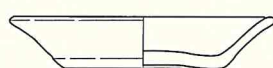
500



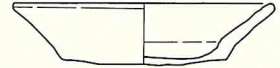
501



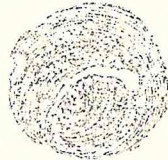
502



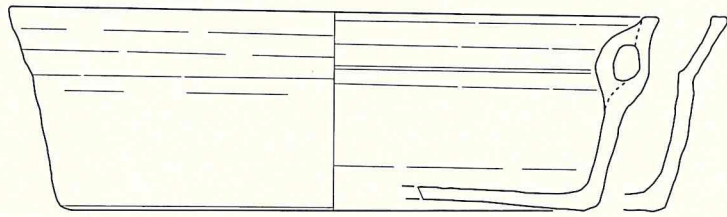
503



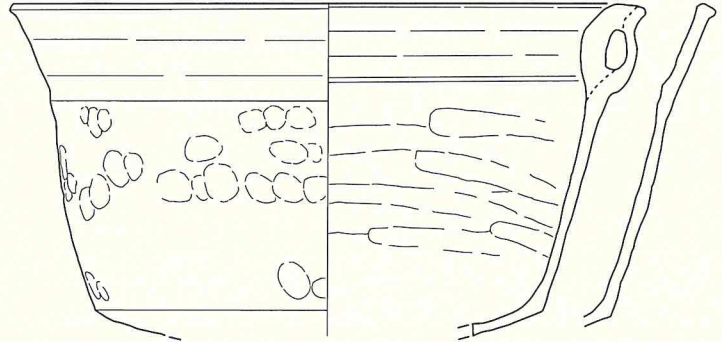
504



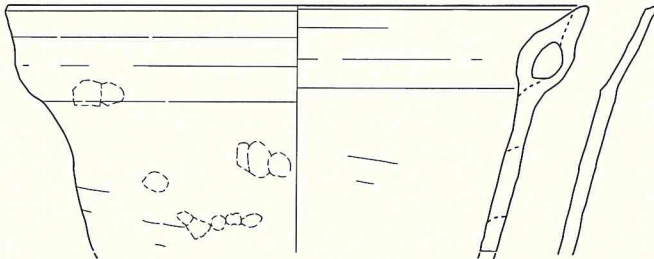
0 (1:3) 5cm



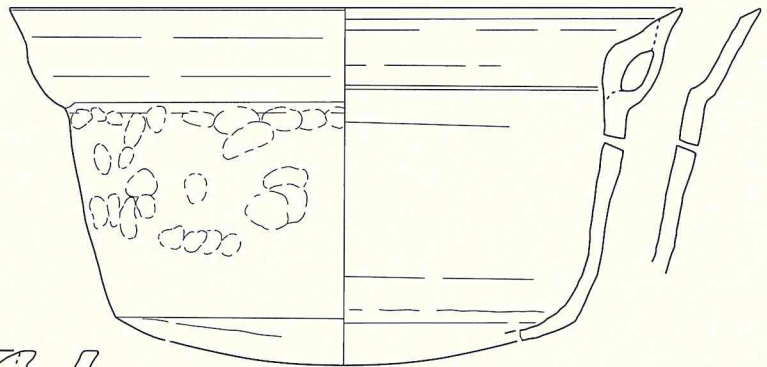
505 S=1/4



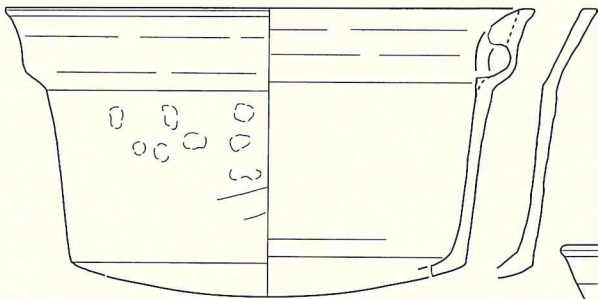
506 S=1/4



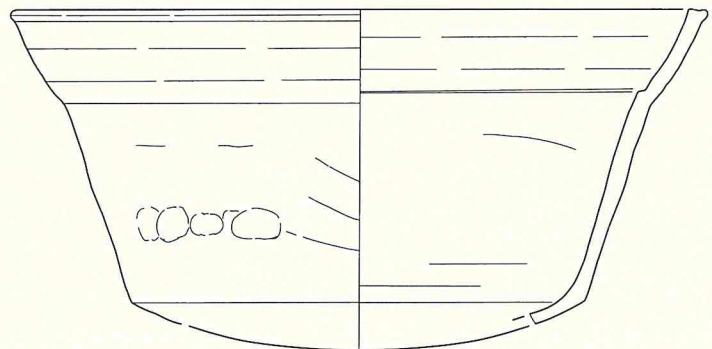
507 S=1/4



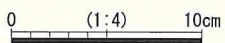
508 S=1/4



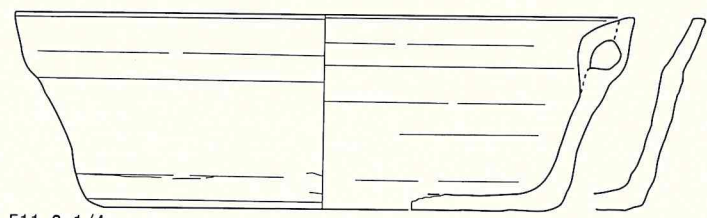
509 S=1/4



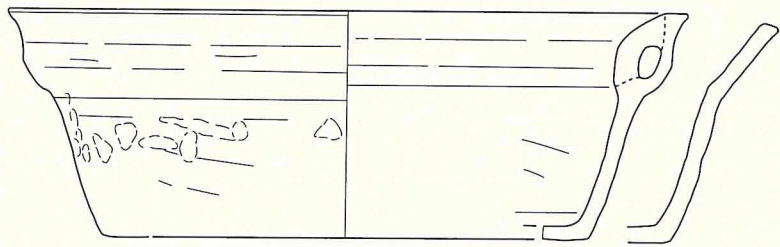
510 S=1/4



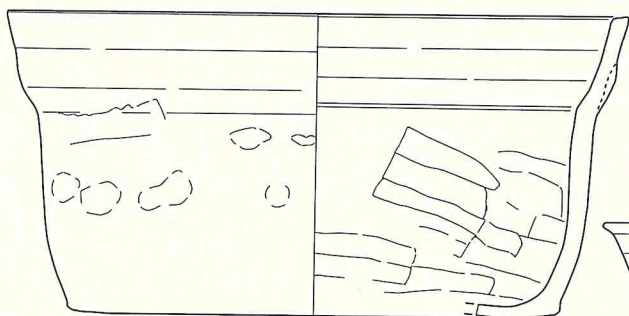
第 93 图 6号溝 遺物実測図



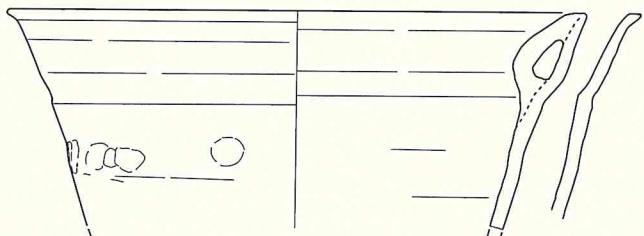
511 S=1/4



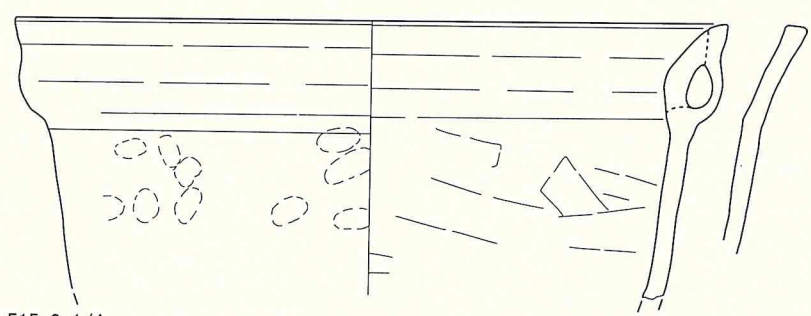
512 S=1/4



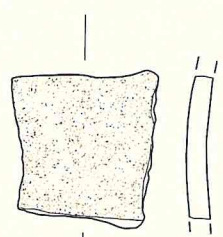
513 S=1/4



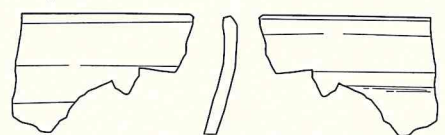
514 S=1/4



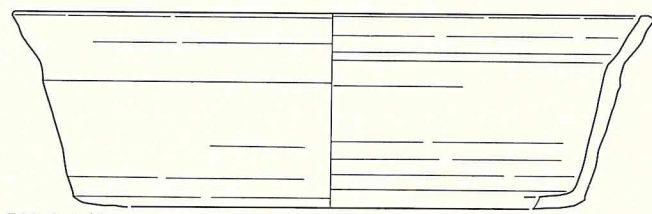
515 S=1/4



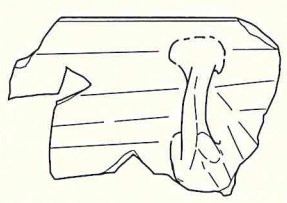
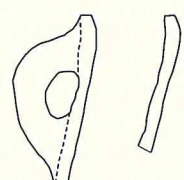
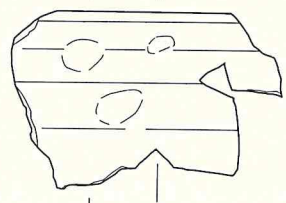
519 S=1/3



518 S=1/4



516 S=1/4

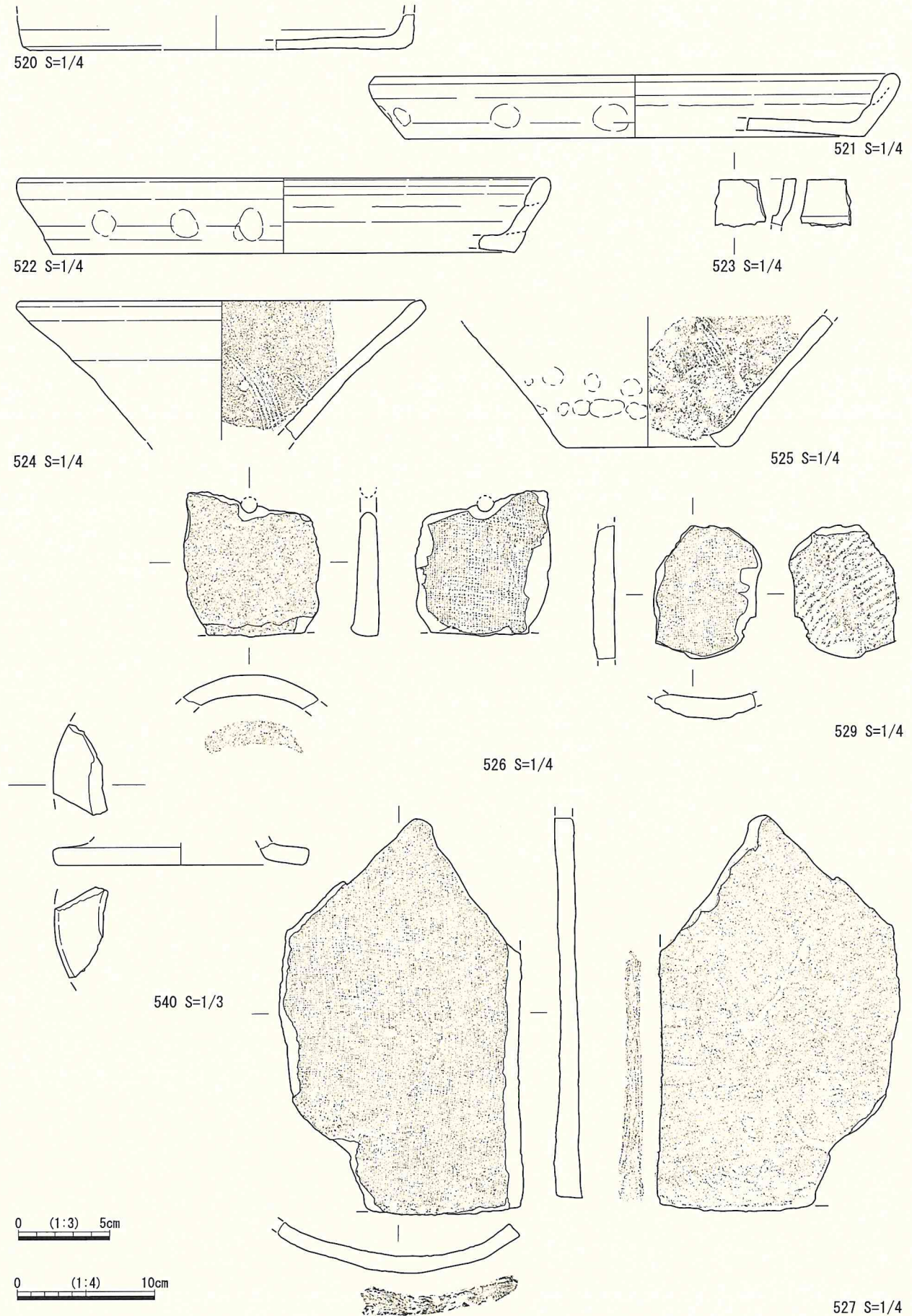


517 S=1/4

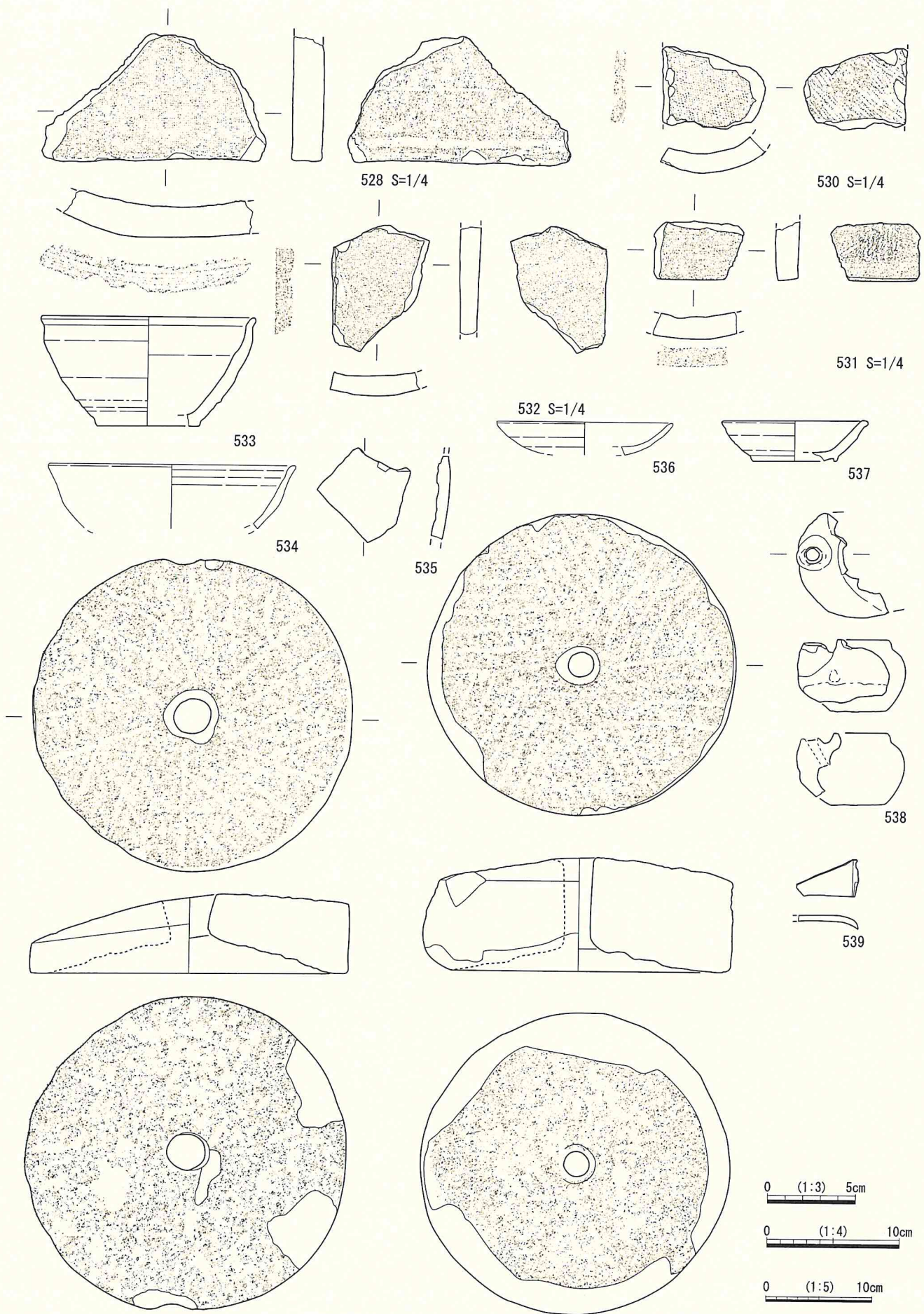
0 (1:3) 5cm

0 (1:4) 10cm

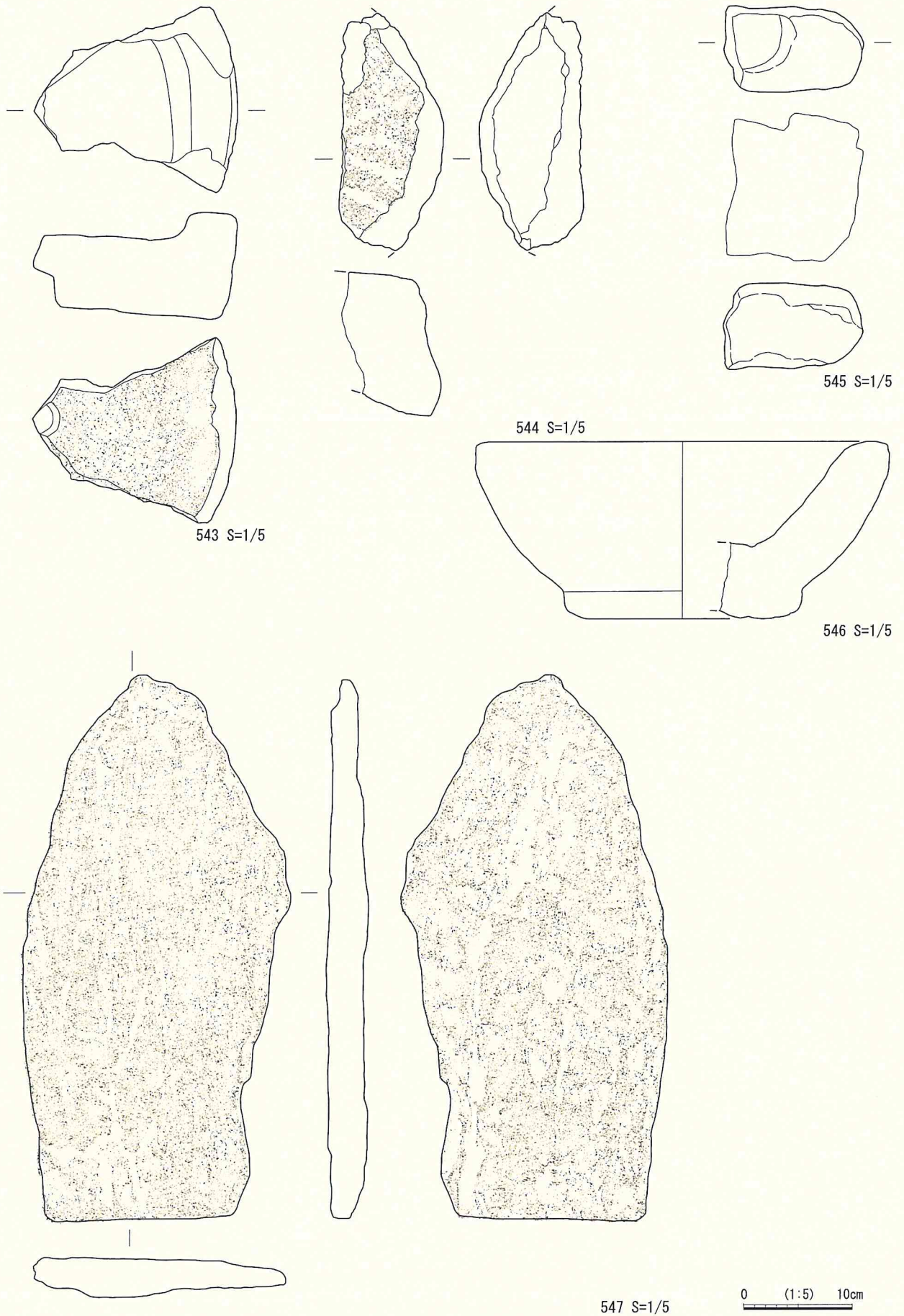
第 94 图 6 号沟 遺物実測図



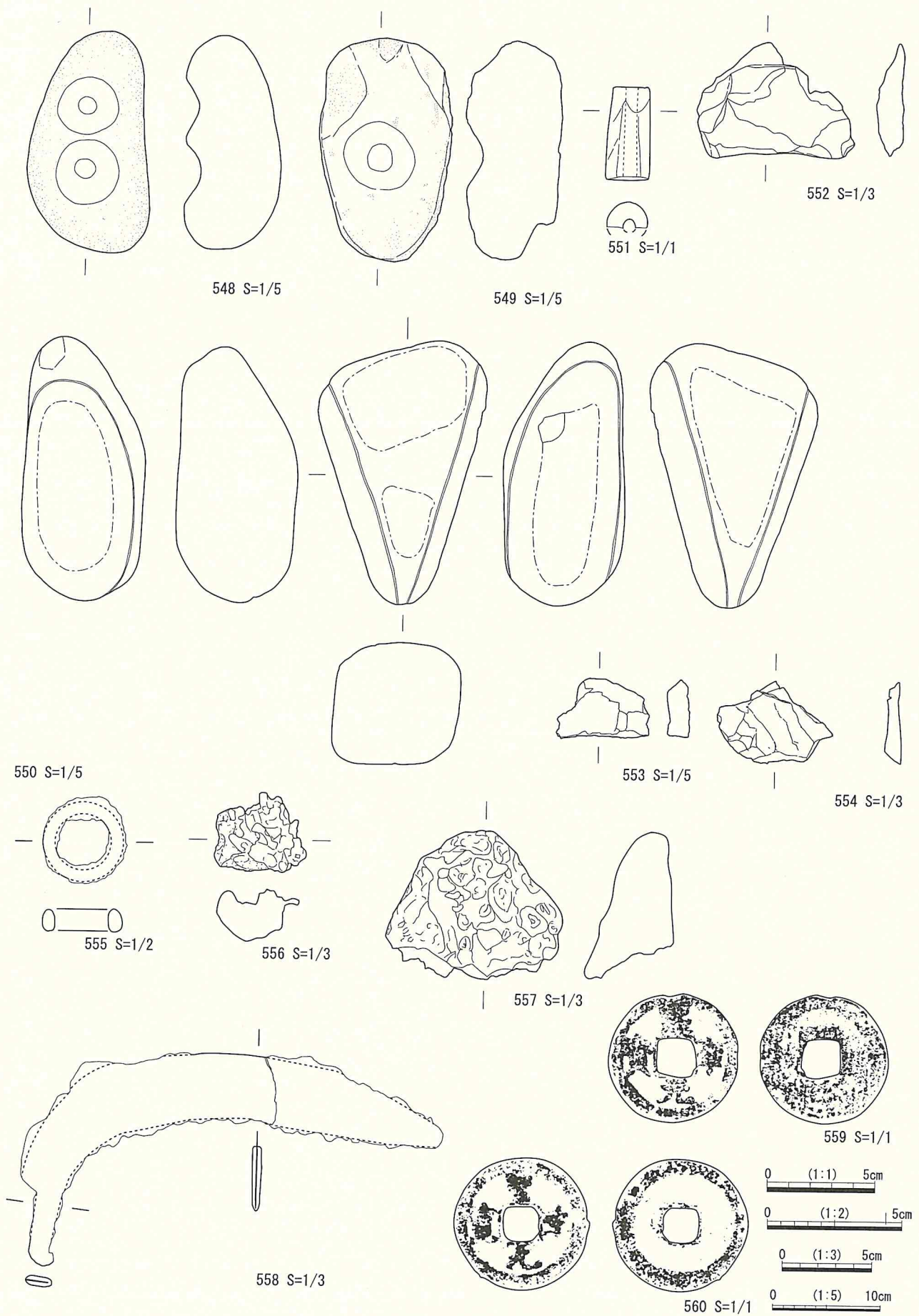
第95图 6号沟 遺物実測図



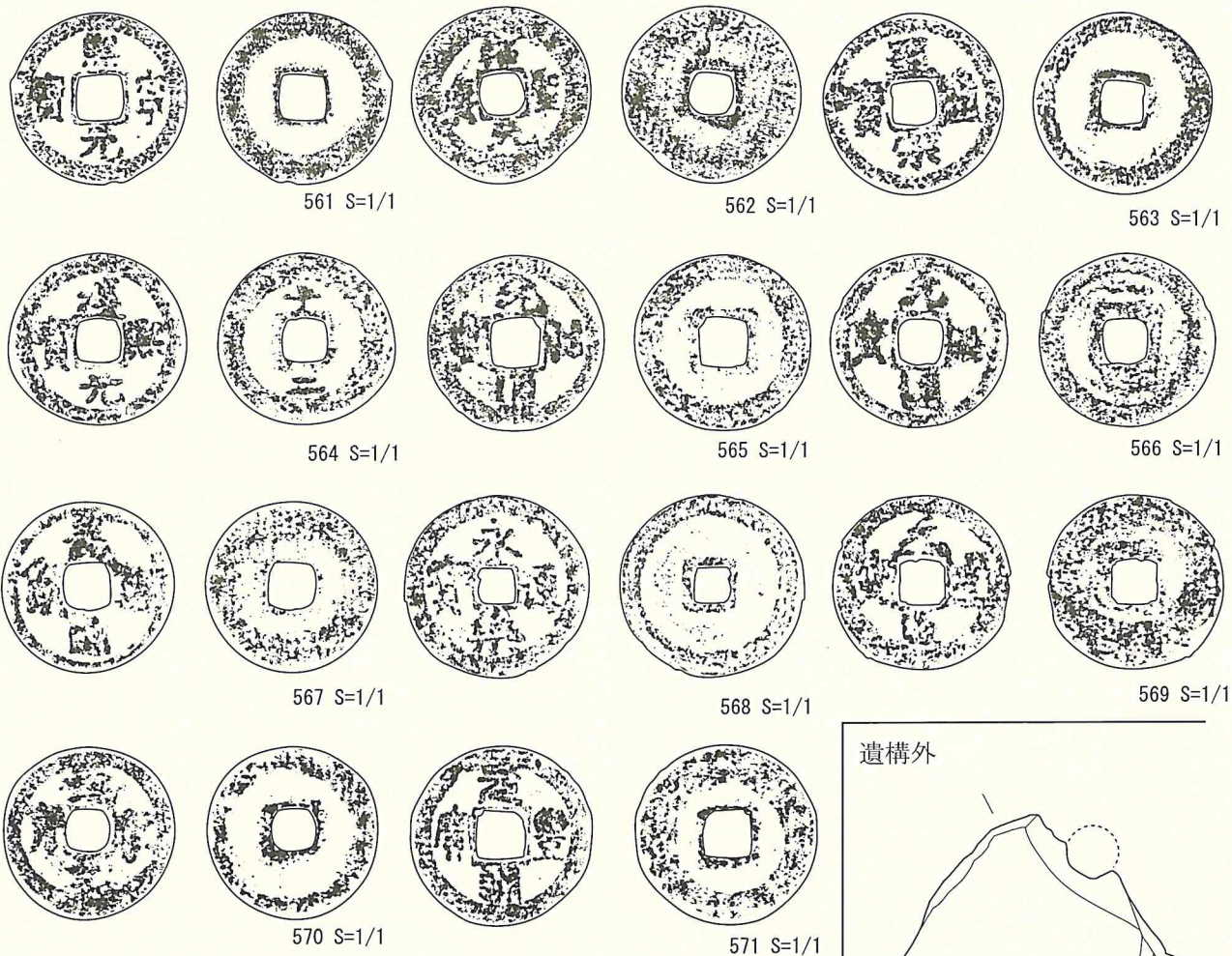
第 96 图 6 号沟 遗物实测图



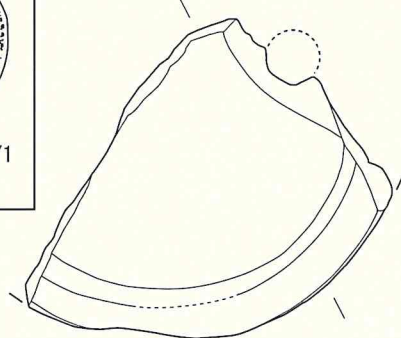
第97图 6号溝 遺物実測図



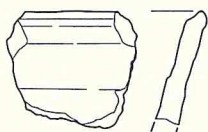
第 98 图 6 号沟 遗物实测图



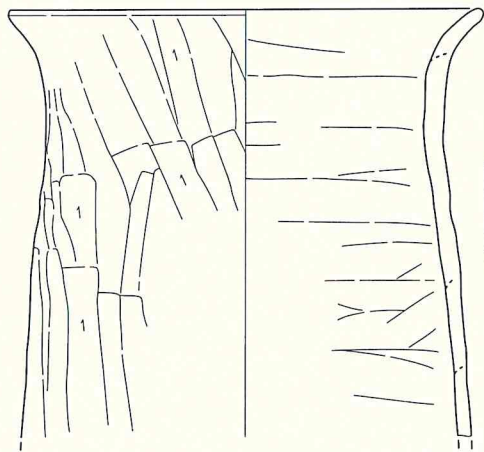
遺構外



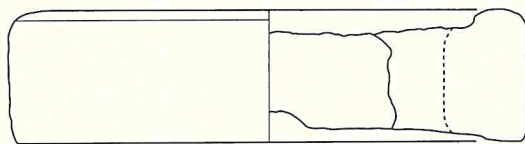
8号溝



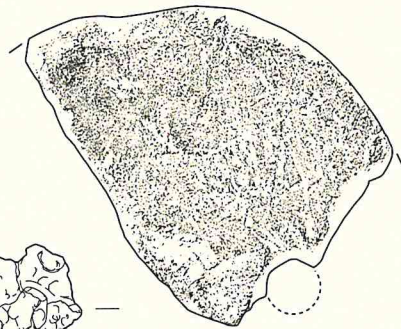
572 S=1/4



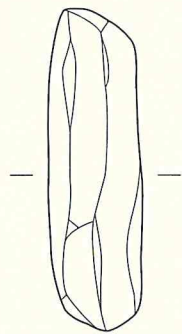
573



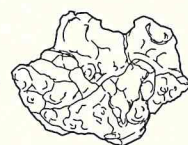
574



579 S=1/5



578 S=1/1



580 S=1/3

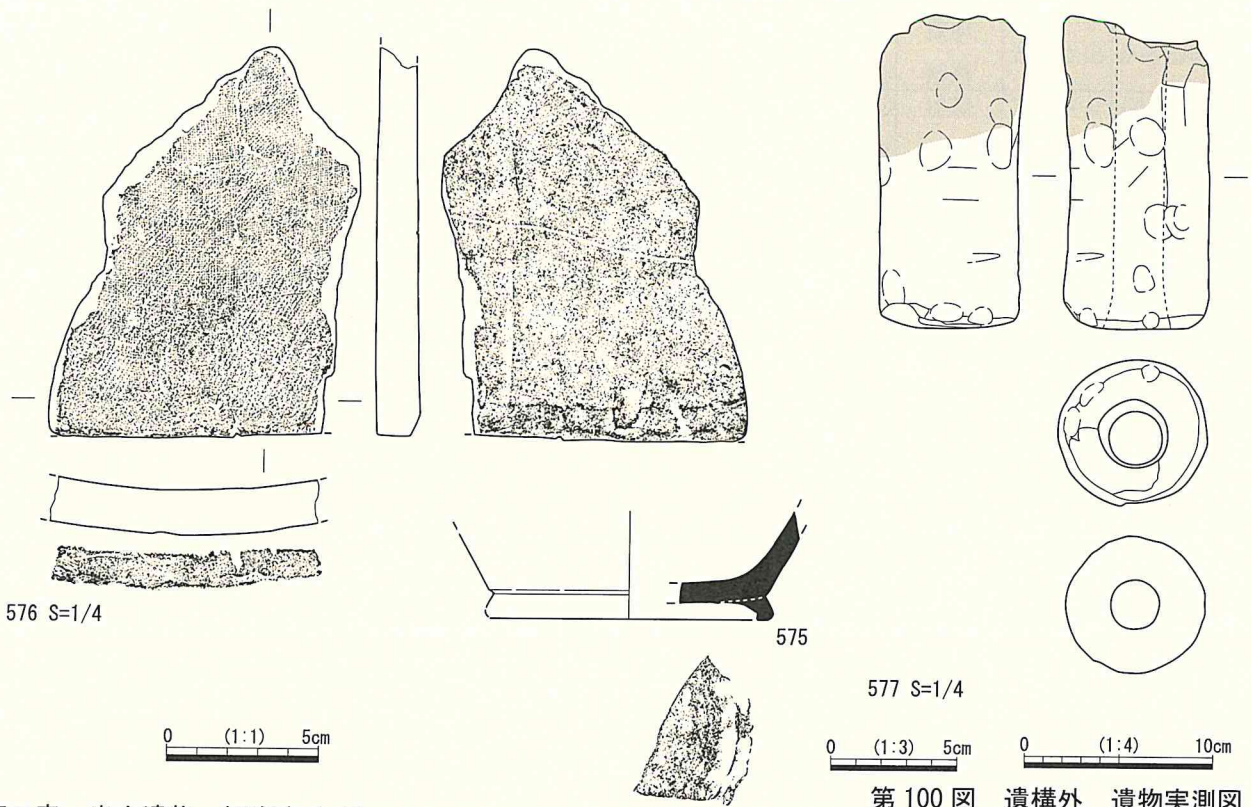
0 (1:1) 5cm

0 (1:3) 5cm

0 (1:5) 10cm

0 (1:4) 10cm

第99図 6・8号溝、遺構外 遺物実測図



第5表 出土遺物 観察表(1)

第100図 遺構外 遺物実測図

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
1	第57図 PL.15	1号竪穴 床下土	土師器 坏	①11.9②3.8 ③3.1	口縁部～ 底部	①白色粒、黒色粒子②普通 ③橙色④口縁部ヨコナデ	
2	第57図 PL.15	1号竪穴 96.40m	須恵器 蓋	①(15.0)②(3.5)	天井部～ 口唇部	①白色粒②還元・硬質③灰 ④ロクロ成形 篋削り	
3	第57図 PL.15	1号竪穴	須恵器 坏	①(11.0)②3.6 ③(4.6)	口縁部～ 底部	①白色粒②還元・硬質③灰 ④ロクロ成形 底部糸切り	
4	第57図 PL.15	1号竪穴 96.51m	灰釉陶器 壺	①(15.9)②(3.6)	口縁部～ 体部	①白色粒、石英②良好③褐灰 ④ロクロ成形 灰釉	
5	第57図 PL.15	1号竪穴 堀方	石製品 管玉	①2.35②1.1 ③(0.6)	60%	④滑石 両端に径3mmの穿孔 あり 未製品 重さ4g	
6	第57図 PL.15	2号竪穴 96.45m	土師器 甕	①(25.9)②6.1	破片	①白色粒、黒色粒子②普通 ③橙④口縁部ナデ 体部篋削り	
7	第57図 PL.15	2号竪穴	須恵器 蓋	①(17.7)②(3.7) ③天井部径(8.0)	破片	①白色粒②還元・硬質③黄灰 ④ロクロ成形 天井部糸切後篋削り	
8	第57図 PL.15	2号竪穴 96.51m	須恵器 壺	①15.5②5.6 ③9.7	ほぼ完形	①黒色粒②還元・硬質③褐灰 ④ロクロ成形 底部糸切後高台貼付	
9	第57図 PL.15	3号土坑	土器 カワラケ	①8.4②1.9 ③5.0	完形	①雲母②良好③橙④ロクロ成形 糸切り	左回転
10	第57図 PL.15	3号土坑	土器 カワラケ	①8.1②2.2 ③5.3	75%	①白・褐色粒②普通③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
11	第57図 PL.15	3号土坑 95.47m	土器 内耳鍋	①30.7②15.3	70%	①雲母・小礫②良好③黒褐 ④内外ユビオサエ後ヨコナデ	
12	第57図 PL.15	3号土坑	土器 播鉢	①(30.8)②13.7 ③11.0	60%	①雲母・白色粒②普通③黒褐④ 内面櫛目3～4本ロクロ成形 糸切り	
13	第57図 PL.15	3号土坑	瓦 平瓦	①6.6②11.4 ③1.5～1.7	小片	①石英・白色粒②軟質③灰④凸 面ナデ凹面粗い布目	

第6表 出土遺物 観察表(2)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
14	第57図 PL.15	3号土坑	磁器 —	①2.8②3.6 ③0.4	小片	①夾雑物なし②硬質④施釉	
15	第58図 PL.15	3号土坑 95.70m	石製品 五輪塔	①31.2②17.4	完形	④安山岩 重さ11Kg 水輪 石鉢を転用か 穿孔 径3.2 梵字四面あり	黒色染料 付着
16	第58図 PL.15	4号土坑	石製品 碾臼	①(30.6)②11.9	34%	④安山岩 軸受け穴径(4.0) 供給口径(3.6)横打込穴径3. 0重さ5.2kg	上白
17	第58図 PL.16	4号土坑	石製品 碾臼	①(35.6)②9.3	25%	④安山岩 軸受け穴径(4.3) 供給口径(5.3)重さ2.6kg	上白
18	第59図 PL.16	4号土坑 95.77m	石製品 碾臼	①(24.5)②15.8	20%	④安山岩 供給口径(3.4) 重さ5.0kg	上白
19	第59図 PL.16	5号土坑	土師器 坏	①(13.0)②3.7 ③(10.1)	25%	①白色粒・小礫②悪い③橙④口 縁ヨコナデ 体・底部へラ削り	
20	第59図 PL.16	5号土坑	須恵器 坏	①(11.9)②3.8	小片	①白色粒②還元・硬質③褐灰④ ロクロ成形	
21	第59図 PL.16	5号土坑	須恵器 坏	②1.0③6.6	小片	①白色粒・小礫②還元・硬質③ 灰黄褐④ロクロ成形 糸切り	
22	第59図 PL.16	8号土坑	石製品 碾臼	①(30.0)②11.7	25%	④安山岩 打込穴径(3.4) 重さ3.6kg	上白
23	第59図 PL.16	1号pit	土師器 高坏	②5.0	底～脚部 小片	①白色粒②良好③橙④内外ナデ	
24	第59図 PL.16	1号pit	土師器 坏	②2.9	小片	①白・黒色粒②普通③橙④内外 ヨコナデ	
25	第59図 PL.16	9号pit	石製品 —	①2.4②3.7 ③0.6	完形	④滑石 重さ9.43g	
26	第59図 PL.16	1号井戸	石製品 基石	①1.85②1.9 ③0.4	完形	④重さ 2.4g	
27	第59図 PL.16	2号井戸	瓦 丸瓦	①10.6②8.2 ③1.1	小片	①黒色粒・石英②硬質③灰 ④ナデ	
28	第59図 PL.16	3号井戸	土製品 内耳鍋	①4.7②3.9 ③0.9	口縁部 小片	①輝石・白色粒②良好③灰黄褐 ④ヨコナデ	
29	第59図 PL.16	3号井戸	陶器 小皿	①(12.0)②2.1 ③(7.9)	小片	①夾雑物少ない②良好④施釉	
30	第59図 PL.16	4号井戸	土師器 坏	①(10.9)②3.6	34%	①白色粒②普通③橙④ヨコナデ 底部へラ削り	
31	第59図 PL.16	4号井戸	須恵器 皿	①(13.0)②3.0 ③6.2	38%	①白・黒色粒・輝石②還元・悪 い③黄灰④ロクロ成形 底部糸 切り後高台貼付け	
32	第59図 PL.16	4号井戸	須恵器 坏	①(10.7)②3.8 ③5.0	25%	①白・黒色粒②還元・硬質③に ぶい黄橙④ロクロ成形 糸切り	右回転
33	第59図 PL.16	4号井戸	須恵器 碗	②3.1③(6.4)	20%	①白色粒・輝石②還元・普通③ にぶい黄橙④ロクロ成形	
34	第60図 PL.16	4号井戸	須恵器 羽釜	①6.1②6.1 ③0.7	小片	①白色粒②還元・硬質③黄灰④ ロクロ成形	
35	第60図 PL.16	4号井戸	土器 播鉢	②9.9③(12.4)	小片	①白色粒・石英②良好③暗灰④ 内面櫛目9本ロクロ成形	

第7表 出土遺物 観察表(3)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
36	第60図 PL.16	4号井戸	瓦 丸瓦	①9.3②11.3 ③2.5	小片	①白色粒・小礫②硬質③にぶい 黄褐④凸面ナデ凹面布目、側面 ・凹面面取り	
37	第60図 PL.16	4号井戸	瓦 平瓦	①20.5②16.9 ③1.9~2.9	34%	①白・黒粒②硬質③灰白④凸面 縄目タタキ後タテナデ凹面布目 凹面面取り	
38	第60図 PL.17	4号井戸	瓦 平瓦	①12.5②13.5 ③1.6	20%	①白色粒②硬質③褐灰④凸面タ タキ後ナデ凹面布目	
39	第60図 PL.17	4号井戸	瓦 平瓦	①7.4②9.2 ③1.7	小片	①白色粒・小礫②硬質③灰④凸 面ナデ凹面布目・タタキ、側面 下面取り	
40	第60図 PL.17	1号溝 95.79m	土師器 坏	①(12.2)②4.3	25%	①白色粒・小礫②良好③橙 ④ヨコナデ 底部ヘラ削り	
41	第60図 PL.17	1号溝 95.81m	土師器 坏	①5.0②4.4 ③0.5	小片	①白色粒②普通③黒褐④ヨコナ デ 内・外面油煙付着	
42	第60図 PL.17	1号溝 95.75m	須恵器 坏	②2.5③(7.0)	破片	①黒色粒②還元・硬質③明褐灰 ④ロクロ成形 底部糸切	
43	第61図 PL.17	1号溝	土器 内耳鍋	①(28.6)②14.7 ③(21.2)	口縁部~ 底部	①白色粒②普通③黒 ④内外オサエ後ナデ、 口縁部ヨコナデ 底部離れ砂	
44	第61図 PL.17	1号溝 95.64m	土器 播鉢	②7.5③(11.7)	破片	①白色粒②普通③黄灰④内面播 目7本 ヨコナデ 底部糸切り	
45	第61図 PL.17	1号溝 95.64m	陶器 徳利	②3.1 ③(10.0)	破片	①白色粒①普通③外 橙 内 暗 赤褐色④ロクロ成形後削高台	内面鉄釉
46	第61図 PL.17	2号溝	瓦 軒平瓦	①37.6②27.9 ③2.2	84%	①白色粒・雲母②硬質③オリ ブ灰④唐草文	近世
47	第61図 PL.17	2号溝 中層	陶器 小皿	①(12.2)②2.5 ③(6.0)	口縁部~ 底部	②普通③灰白④ロクロ成形後削 高台 内外面施釉	近世
48	第61図 PL.17	2号溝	陶器 徳利	②2.3 ③6.6	破片	②普通③にぶい橙 釉 にぶい 赤褐④ロクロ成形 底部削り	内外面施 釉 近世
49	第61図 PL.17	2号溝 上層	磁器 碗	①10.4②5.4 ③3.9	ほぼ完形	②良好③白④ロクロ成形 染め 付け	東京鎮台高 崎分営期
50	第61図 PL.17	2号溝	石製品 硯	①9.0②3.3 ③1.1	ほぼ完形	③灰赤④硯面摩耗少ない 重さ58g	歩兵第十五 連隊関連
51	第61図 PL.17	3号溝 溝底	須恵器 蓋	②3.2	摘~甲	①白色粒・小礫②還元・硬質③ 灰黄褐④ロクロ成形 ヘラナデ	
52	第61図 PL.17	3号溝 溝底	須恵器 甕	②8.6	頸部~ 胴部	①白色粒②還元・硬質③灰 ④波状文	
53	第61図 PL.17	3号溝	土器 カワラケ	①9.6②1.6 ③5.8	口縁部~ 底部	①白色粒②普通③浅黄橙 ④ロクロ成形 糸切り	
54	第61図 PL.17	3号溝 溝底	土器 カワラケ	①9.8②2.4 ③4.3	口縁部~ 底部	①白色粒②普通③にぶい褐 ④ロクロ成形 糸切り	内面凹線 あり
55	第62図 PL.17	3号溝 溝底	須恵器 羽釜	①(17.9)②4.0	口縁部~ 鏝	①白色粒②還元・硬質③明褐 ④ロクロ成形	表面に鉄 分付着
56	第62図 PL.17	3号溝	軟質陶器 鍋	①(33.9)②6.1 ③(31.1)	破片	①白色粒②悪い③黒 ④内外オサエ後ナデ	
57	第62図 PL.17	3号溝	土器 内耳鍋	②6.1	破片	①白色粒②普通③灰白 ④内外オサエ後ナデ	

第8表 出土遺物 観察表(4)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
58	第62図 PL.17	3号溝	土器 鉢	②3.5③(23.4)	破片	①褐色粒②悪い③黄橙 ④底部離れ砂か	
59	第62図 PL.17	3号溝	瓦 丸瓦	①6.8②9.6 ③1.5	破片	①白色粒②硬質③褐 ④凹面布目凸面布目・叩き	
60	第62図 PL.17	3号溝 溝底	瓦 平瓦	①15.0②15.0 ③2.4	破片	①石英・小礫②硬質③灰白 ④凹面布目凸面ヨコナデ	
61	第62図 PL.17	3号溝	瓦 文字平瓦	①11.1②15.5 ③1.9	破片	①石英・小礫②硬質③灰褐 ④凹面布目凸面タテナデ	凹面刻書
62	第62図 PL.17	3号溝 底	瓦 平瓦	①5.6②11.8 ③1.6	破片	①褐色粒・石英・小礫②硬質 ③灰白④凹面ナデ凸面布目	
63	第62図 PL.18	3号溝	陶器 皿	①(14.2)②2.7	破片	②普通③灰白 釉 浅黄 ④ロクロ成形	口縁部 緑釉
64	第62図 PL.18	3号溝	陶器 壺	①(12.3)②3.2	破片	②普通③普通④体部 黄褐 口縁部 浅黄 ④ロクロ成形	内外面施 釉 近世
65	第62図 PL.18	3号溝 底	灰釉陶器 壺	①(9.6)②3.5 ③(5.0)	口縁部～ 底部	①白色粒②良好③灰白 ④ロクロ成形	
66	第62図 PL.18	3号溝 底	石製品 砥石	①8.7②2.5 ③2.4	一部欠損	④重さ83g	表面に鉄 分付着
67	第62図 PL.18	3号溝 底	石製品 基石	①1.4②1.6 ③0.3	完形	③黒④重さ1g	
68	第63図 PL.18	3号溝 底	石製品 板碑	①18.9②10.8 ③2.1	破片	④緑泥片 岩 重さ540g	梵字
69	第63図 PL.18	3号溝	鉄製品 刀子?	①9.6②3.2 ③0.3	破片	④重さ35g	
70	第63図 PL.18	3号溝 底	銭貨	①2.3	完形	④重さ2g	治平元寶 か
71	第63図 PL.18	3号溝	銭貨	①2.5	完形	④重さ3g	永楽通寶
72	第63図 PL.18	3号溝	石製品 茶臼	①19.0②11.1	50%	④安山岩 横打込穴径2.5 重さ1.5kg	上白
73	第63図 PL.18	3号溝	石製品 礪臼	①(35.6)②3.8	30%	④安山岩 軸受け径(3.8) 縦打込穴径3.4重さ7.0kg	上白
74	第63図 PL.18	3号溝	石製品 礪臼	①(32.2)②10.0	25%	④安山岩 軸受け径(4.3) 重さ2.3kg	上白
75	第63図 PL.18	3号溝	石製品 礪臼	①(28.2)②14.1	36%	④安山岩 軸受け径3.4 横打込穴径5.1重さ4.0kg	上白
76	第64図 PL.19	3号溝	石製品 礪臼	①(33.0)②4.1	25%	④安山岩 軸穴径(2.8) 重さ1.5kg	下白
77	第64図 PL.19	3号溝	石製品 礪臼	①29.0②11.5	50%	④安山岩 軸穴径4.4 重さ5.13kg	下白
78	第64図 PL.19	3号溝	石製品 五輪塔	①24.3②24.4 ③16.4	ほぼ完形	④安山岩 重さ17.3kg	正面梵字 あり 地輪
79	第64図 PL.19	3号溝	石製品 丸石	①10.9②13.0 ③11.0	完形	④安山岩 中央に打痕あり 重さ2.0kg	
80	第64図 PL.19	3号溝	石製品 -	①17.1②24.0 ③9.7	破片	④安山岩 重さ6.4kg	礎石か
81	第64図 PL.19	3号溝	石製品 -	①16.3②14.4 ③4.2	破片	④砂岩 表面に被熱痕あり 重さ1.0kg	

第9表 出土遺物 観察表(5)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
82	第65図 PL.19	3号溝	石製品 礎石?	①23.6②30.6 ③24.2	ほぼ完形	④砂岩 削痕あり 重さ17.0kg	近代か
83	第65図 PL.19	4号溝	土師器 高坏	②6.8	脚部	①白色粒・輝石②良好③橙 ④外へラケズリ 内へラナデ	
84	第65図 PL.19	4号溝 中層	土師器 高坏	②4.8	脚部	①白色粒・小礫②良好③にぶい 橙④外へラミガキ内ヨコナデ	
85	第65図 PL.19	4号溝	土師器 台付甕	①(14.7)②4.3	破片	①白・黒色粒②やや悪い③にぶい 橙④ヨコナデ	
86	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 坏	②2.3③6.0	破片	①白色粒②還元・硬質③灰白 ④ロクロ成形 底部糸切り	
87	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 碗	②2.3③6.8	底部～ 高台部	①白色粒・小礫②還元・硬質 ③灰白④ロクロ成形 底部糸切り 後高台貼付	
88	第65図 PL.19	4号溝 95.06m	須恵器 碗	②2.9③9.0	体部～ 高台部	①黒色粒②還元・硬質③灰白④ ロクロ成形 底部糸切り後高台貼付	
89	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 碗	②2.5③(7.0)	破片	①雲母・小礫②還元・硬質③灰 黄④ロクロ成形 底部糸切り後高 台貼付	
90	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 碗	②2.4③(8.2)	破片	①黒色粒②還元・硬質③灰白④ ロクロ成形 底部糸切り後高台貼付	
91	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 甕	②6.9	破片	①白色粒②還元・硬質③灰 ④ロクロ成形	
92	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 円面硯	①(11.6)②3.6 ③(13.8)	破片	①白色粒②還元・硬質③灰白 ④ロクロ成形	
93	第65図 PL.19	4号溝	須恵器 円面硯?	②3.9	破片	①褐色粒②還元・硬質③橙 ④ロクロ成形	
94	第65図 PL.19	4号溝 95.05m	須恵器 羽釜	②2.9	破片	①白色粒・輝石②還元・硬質 ③灰④ロクロ成形	
95	第65図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①8.7②1.8 ③5.8	64%	①輝石・白色粒②良好③にぶい 橙④ロクロ成形 糸切り	油煙附着
96	第65図 PL.20	4号溝 95.07m	土器 カワラケ	①8.0②1.8 ③5.0	完形	①白・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	油煙附着 灯明皿
97	第65図 PL.20	4号溝 95.26m	土器 カワラケ	①8.7②2.0 ③5.2	完形	①白・黒色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	油煙附着 灯明皿
98	第65図 PL.20	4号溝 95.18m	土器 カワラケ	①8.0②2.2 ③4.8	完形	①雲母・白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	
99	第65図 PL.20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①8.6②2.0 ③5.5	75%	①雲母・白色粒②良好③橙④ ロクロ成形 糸切り後へラナデ	
100	第65図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①7.8②2.2 ③4.4	完形	①金雲母②良好③橙④ロクロ 成形段あり 糸切り後へラナデ	
101	第66図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①(7.8)②2.7 ③5.2	75%	①雲母・白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	左回転
102	第66図 PL.20	4号溝 95.10m	土器 カワラケ	①8.0②2.0 ③5.1	完形	①雲母②良好③にぶい赤褐 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	
103	第66図 PL.20	4号溝 95.29m	土器 カワラケ	①9.1②2.1 ③6.0	完形	①褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	

第10表 出土遺物 観察表(6)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
104	第66図 PL. 20	4号溝 95.34m	土器 カワラケ	①9.2②2.2 ③5.9	完形	①褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	
105	第66図 PL. 20	4号溝 No. 28	土器 カワラケ	①8.3②2.3 ③5.6	完形	①輝石・白色粒②良好③明赤褐 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	左回転
106	第66図 PL. 20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①9.1②2.2 ③5.7	ほぼ完形	①褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	左回転
107	第66図 PL. 20	4号溝 95.31m	土器 カワラケ	①8.4②2.4 ③5.8	75%	①輝石・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	左回転
108	第66図 PL. 20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①8.7②2.3 ③5.7	67%	①輝石・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 段あり 糸切り	左回転
109	第66図 PL. 20	4号溝	土器 カワラケ	①(8.4)②2.2 ③(4.6)	45%	①雲母・白色粒②良好③灰黄褐 ④ロクロ成形 糸切り後ナデ	
110	第66図 PL. 20	4号溝 95.19m	土器 カワラケ	①(7.5)②2.0 ③5.3	34%	①白色粒②良好③にぶい黄橙 ④ロクロ成形 糸切り	煤付着 左回転
111	第66図 PL. 20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①(10.3)②2.4 ③6.1	34%	①雲母・褐色粒②良好③にぶい 黄橙④ロクロ成形糸切り後ナデ	
112	第66図 PL. 20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①10.2②2.1 ③6.4	完形	①雲母②良好③橙④ロクロ成形 糸切り後ヘラ削り	
113	第66図 PL. 20	4号溝 94.76m	土器 カワラケ	①10.5②2.6 ③6.7	75%	①雲母・褐色粒②良好③にぶい 橙④ロクロ成形 糸切り後ヘラナデ	左回転
114	第66図 PL. 20	4号溝 中層	土器 カワラケ	①(12.4)②2.8 ③(7.4)	32%	①褐色粒②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	
115	第66図 PL. 20	4号溝	土器 カワラケ	①(9.0)②3.1 ③(4.7)	34%	①雲母②良好③灰褐④ロクロ 成形 糸切り後ナデ	内面 漆?付着
116	第66図 PL. 20	4号溝 95.09m	土器 カワラケ	①(11.4)②2.0 ③7.2	20%	①雲母・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り後ナデ	左回転
117	第66図 PL. 20	4号溝 95.08m	土器 カワラケ	①9.9②2.0 ③5.6	64%	①輝石・褐色粒②良好③明黄褐 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
118	第66図 PL. 20	4号溝 94.91m	土器 カワラケ	①10.4②2.0 ③6.4	50%	①輝石・白・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転 口唇部二重
119	第66図 PL. 20	4号溝 95.03m	土器 カワラケ	①12.3②3.0 ③6.7	ほぼ完形	①雲母・白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
120	第66図 PL. 20	4号溝 94.98m	土器 カワラケ	①12.0②3.1 ③8.0	80%	①雲母・白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	
121	第66図 PL. 20	4号溝 94.04m	土器 カワラケ	①9.8②1.9 ③5.4	75%	①雲母・白色粒②良好③明褐 ④ロクロ成形 糸切り	
122	第66図 PL. 20	4号溝 95.17m	土器 カワラケ	①(11.1)②2.5 ③6.6	64%	①雲母・褐色粒②良好③橙④ ロクロ成形 糸切り後ヘラナデ	左回転
123	第66図 PL. 20	4号溝	土器 カワラケ	①(11.5)②2.2 ③6.8	50%	①雲母・小礫②良好③にぶい 赤褐④ロクロ成形糸切り後ナデ	左回転
124	第66図 PL. 20	4号溝	土器 カワラケ	①(11.0)②2.4 ③6.5	50%	①雲母・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
125	第66図 PL. 20	4号溝 95.14m	土器 カワラケ	①10.5②2.8 ③6.4	62%	①輝石・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
126	第66図 PL. 20	4号溝 95.34m	土器 カワラケ	①(10.2)②2.7 ③5.6	20%	①輝石・白色粒②良好③明赤褐 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
127	第67図 PL. 20	4号溝 94.76m	土器 カワラケ	①10.6②2.5 ③5.6	50%	①黒・褐色粒②良好③浅黄橙 ④ロクロ成形 糸切り	

第11表 出土遺物 観察表(7)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
128	第67図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①(9.7)②2.5 ③6.0	75%	①輝石②良好③橙④ロクロ成形 糸切り後ヘラナデ	左回転
129	第67図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	②1.3③5.3	30%	①白色粒②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	内面 漆付着
130	第67図 PL.20	4号溝 95.32m	土器 カワラケ	①10.0②2.6 ③6.2	ほぼ完形	①輝石・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
131	第67図 PL.20	4号溝 95.31m	土器 カワラケ	①11.5②2.9 ③6.9	完形	①雲母・白色粒・小礫②良好 ③橙④ロクロ成形 糸切り	左回転
132	第67図 PL.20	4号溝 95.24m	土器 カワラケ	①12.0②2.9 ③7.7	完形	①雲母・白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
133	第67図 PL.20	4号溝 94.91m	土器 カワラケ	①11.7②3.3 ③7.5	完形	①雲母・白色粒・小礫③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
134	第67図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①12.3②2.4 ③7.7	75%	①雲母・白色粒②良好③明赤褐 ④ロクロ成形 糸切り	
135	第67図 PL.20	4号溝 95.05m	土器 カワラケ	①12.6②2.9 ③6.9	57%	①雲母・小礫②良好③明赤褐 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
136	第67図 PL.20	4号溝	土器 カワラケ	①(15.1)②3.1 ③(8.4)	25%	①雲母・褐色粒②良好③黄褐 ④ロクロ成形 糸切り	
137	第67図 PL.20	4号溝 95.45m	土器 カワラケ	①11.6②2.9 ③7.3	一部欠損	①雲母・小礫②良好③赤褐 ④ロクロ成形 糸切り	油煙付着 灯明皿
138	第67図 PL.20	4号溝 94.97m	土器 カワラケ	①11.0②3.1 ③6.9	80%	①雲母・白色粒②良好③明褐 ④ロクロ成形 糸切り	
139	第67図 PL.20	4号溝 94.96m	土器 カワラケ	①11.3②3.0 ③7.5	70%	①雲母②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	
140	第67図 PL.20	4号溝 95.52~ 95.59m	土製品 内耳鍋	①37.0②12.3 ③27.0	90%	①白・褐色粒②良好③にぶい橙 ④内外オサエ後ヨコナデ 底部 離れ砂後一部ナデ	
141	第67図 PL.20	4号溝 94.49~ 95.14m	土製品 内耳鍋	①30.0②15.9 ③20.7	80%	①白色粒②良好③黒褐④内外オ サエ後ヨコナデ 底部離れ砂後 一部ナデ	
142	第68図 PL.20	4号溝 94.98m	土製品 内耳鍋	①30.4②15.9 ③20.1	78%	①白色粒②良好③暗灰④内外オ サエ後ヨコ・ナナメナデ 底部 離れ砂後一部ナデ	
143	第68図 PL.21	4号溝 95.08~ 95.24m	土製品 内耳鍋	①28.8②16.2 ③20.5	67%	①輝石・小礫②良好③黒④内外 オサエ後ヨコナデ 底部離れ砂 後一部ナデ	
144	第68図 PL.21	4号溝 94.91~ 95.06m	土製品 内耳鍋	①36.8②16.8 ③(23.9)	34%	①白色粒・小礫②良好③黒④内 外オサエ後ヨコナデ 底部ナデ	
145	第68図 PL.21	4号溝 94.87~ 94.94m	土製品 内耳鍋	①(30.2)②11.7	33%	①白色粒②良好③黒④内外オサ エ後ヨコナデ	
146	第68図 PL.21	4号溝 95.37m	土製品 内耳鍋	①(38.8)②17.3	25%	①白色粒②良好③黒④内外オサ エ後ヨコ・ナナメナデ	
147	第68図 PL.21	4号溝 95.02m	土製品 内耳鍋	①(32.8)②16.0 ③(20.8)	25%	①白色粒②良好③黄灰④内外オ サエ後ヨコナデ 底部ナデ	

第12表 出土遺物 観察表(8)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
148	第68図 PL. 21	4号溝 94.95～ 95.04m	土製品 内耳鍋	②15.0	破片	①白色粒・小礫②良好③褐灰④ 内外オサエ後ヨコ・ナメナデ	
149	第69図 PI. 21	4号溝 95.20m	土製品 内耳鍋	①(35.6)②16.0	25%	①白色粒・小礫②良好③褐灰 ④内外オサエ後ヨコナデ	
150	第69図 PL. 21	4号溝 95.17m	土製品 内耳鍋	①(28.8)②17.4 ③(21.8)	17%	①白・褐色粒②良好③黒④内外 オサエ後ヨコナデ 底部ナデ	
151	第69図 PL. 21	4号溝 95.13m	土製品 内耳鍋	①(31.7)②14.2	破片	①白色粒子②良好③褐灰④内外 オサエ後ヨコナデ	
152	第69図 PL. 21	4号溝	土製品 内耳鍋	①(36.6)②16.7	破片	①雲母・白色粒②良好③内灰黄 褐外褐灰④内外オサエ後ヨコナデ	
153	第69図 PL. 21	4号溝 95.37m	土製品 内耳鍋	①(32.0)②15.7	破片	①白色粒②良好③黒褐④内外オ サエ後ヨコナデ	
154	第69図 PL. 21	4号溝 94.72m	土製品 内耳鍋	①(35.6)②13.1	破片	①白・褐色粒②良好③橙④内外 オサエ後ヨコナデ	
155	第69図 PL. 21	4号溝 94.94～ 95.45m	土製品 鍋	②4.2③20.8	破片	①白色粒・小礫②良好③褐灰④ 内外オサエ後ヨコナデ 底部離 れ砂	
156	第69図 PL. 21	4号溝	土製品 鍋	②2.3③(28.2)	破片	①白色粒・小礫②良好③灰黄④ 内外ヨコナデ 底部離れ砂	
157	第69図 PL. 21	4号溝	土製品 鍋	①(37.4)②7.3 ③(33.6)	破片	①白色粒・小礫②良好③にぶい 黄橙④内外オサエ後ヨコナデ 底部離れ砂	
158	第69図 PL. 21	4号溝	土製品 鍋	②4.3	破片	①雲母②良好③灰橙④内外ヨコ ナデ	口縁部内 側折返し
159	第70図 PL. 22	4号溝 95.15～ 95.19m	土器 播鉢	①(28.0)②12.6 ③11.7	34%	①白色粒・小礫②良好③にぶい 赤褐④内面櫛目8本ロクロ成形	糸切り 左回転
160	第70図 PL. 22	4号溝 95.63m	土器 播鉢	①(34.2)②15.2 ③(12.8)	23%	①白色粒②良好③灰黄褐④内面 櫛目6本 ロクロ成形	
161	第70図 PL. 22	4号溝	土器 播鉢	②9.8③(12.4)	破片	①白色粒・小礫②悪い③にぶい 橙④内面櫛目5本ロクロ成形	糸切り 左回転
162	第70図 PL. 22	4号溝	土器 播鉢	②7.2③(12.5)	破片	①輝石・白色粒・小礫②良好・ 硬質③明赤褐④内面櫛目7本 ロクロ成形 底部ナデ	
163	第70図 PL. 22	4号溝	瓦 軒丸瓦	①12.9②12.4 ③1.3～2.9	瓦当部	①雲母・白色粒・小礫②軟質③ 灰黄褐④凸面蓮華文凹面布目	
164	第70図 PL. 22	4号溝 94.91m	瓦 軒丸瓦	①8.8②17.5 ③3.3	瓦当部	①白色粒・小礫②軟質③にぶい 黄褐④凸面蓮華文凹面ナデ	
165	第70図 PL. 22	4号溝	瓦 軒丸瓦	①6.6②5.7 ③1.2	瓦当部	①白色粒②硬質③灰白④複弁蓮 華文	
166	第70図 PL. 22	4号溝	瓦 軒丸瓦	①3.2②3.9 ③0.4～0.7	瓦当部	①白・褐色粒・②軟質③にぶい 褐④蓮華文	
167	第70図 PL. 22	4号溝 94.66m	瓦 丸瓦	①22.9②13.2 ③2.1	丸瓦部	①白色粒・小礫②軟質③にぶい 橙④凸面ナデ凹面布目	
168	第71図 P. 22	4号溝 94.47m	瓦 丸瓦	①11.0②12.5 ③3.2	玉縁	①白色粒②硬質③褐灰④凸面布 目タタキ後ナデ凹面布目	

第13表 出土遺物 観察表(9)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
169	第71図 PL. 22	4号溝 中層	瓦 平瓦	①12.6②20.7 ③2.7	破片	①白色粒・小礫②硬質③灰④凸面ナデ凹面布目	
170	第71図 PL. 22	4号溝 94.58m	瓦 平瓦	①13.2②12.6 ③2.0~2.5	破片	①白色粒・小礫②硬質③灰④凸面ナメナデ凹面布目	
171	第71図 PL. 22	4号溝 94.74m	瓦 平瓦	①12.2②10.6 ③2.5	破片	①白色粒②硬質③灰④凸面縄目タタキ後ナデ凹面布目一部ナメナデ	
172	第71図 PL. 22	4号溝	瓦 平瓦	①10.7②13.3 ③2.0	破片	①白色粒・小礫②硬質③にぶい橙④凸面ヨコナデ凹面布目	
173	第71図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①9.8②11.3 ③1.2~1.4	破片	①白色粒・小礫②硬質③灰④凸面ナデ凹面布目	穴あり
174	第71図 PL. 23	4号溝 95.34m	瓦 平瓦	①10.8②10.0 ③1.3	破片	①白色粒②硬質③褐灰④凸面タタキ後ナデ凹面布目	
175	第71図 PL. 23	4号溝 95.22m	瓦 平瓦	①9.6②10.6 ③1.4~1.7	破片	①白色粒・小礫②硬質③灰④凸面縄目タタキ後ナデ凹面布目	
176	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①10.6②10.8 ③1.8	破片	①白色粒・小礫②硬質③褐灰④凸面タタキ凹面布目	
177	第72図 PL. 23	4号溝 95.32m	瓦 平瓦	①9.0②12.5 ③1.9~2.2	破片	①白色粒・小礫②硬質③黒④凸面ナデ凹面布目	
178	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①10.7②9.6 ③1.5	破片	①白色粒・小礫②硬質③褐灰④凸面ナデ凸面布目	
179	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①11.7②7.8 ③1.5	破片	①白色粒②硬質③灰④凸面ナデ凹面布目	
180	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①8.5②10.2 ③2.0~2.5	破片	①小礫②硬質③褐灰④凸面縄目タタキ後ナデ凹面布目一部ナデ	
181	第72図 PL. 23	4号溝 95.05m	瓦 平瓦	①9.1②10.6 ③2.1	破片	①褐色粒②硬質③灰黄褐④凸面縄目タタキ凹面布目	
182	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①7.5②8.2 ③1.0	破片	①白色粒②硬質③灰白④凸面タタキ凹面布目	
183	第72図 PL. 23	4号溝 94.51m	瓦 平瓦	①4.8②9.2 ③1.0~1.2	破片	①褐色粒②硬質③にぶい黄橙④凸面ナデ凹面布目	
184	第72図 PL. 23	4号溝 95.13m	瓦 平瓦	①8.0②6.6 ③1.0~2.0	破片	①輝石・小礫②硬質③灰④凸面縄目タタキ凹面布目	
185	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①4.6②3.6 ③1.1	破片	①白色粒②硬質③にぶい黄褐④凸面ナデ凹面布目一部ナデ	
186	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①6.4②6.7 ③1.0	破片	①黒色粒②硬質③灰黄褐④凹面布目一部ナデ	
187	第72図 PL. 23	4号溝	瓦 平瓦	①8.1②8.9 ③2.2	破片	①白色粒・小礫②硬質③灰白④凸面ナデ凹面ヘラナデ	
188	第73図 PL. 23	4号溝	陶器 皿	②1.2③6.8	底部	①夾雑物少ない②良好③灰オリーブ④内外面緑釉	底部重ね焼き痕あり
189	第73図 PL. 23	4号溝 中層	陶器 皿	②1.6③(6.4)	底部	①夾雑物なし②良好③灰オリーブ④内外面緑釉 削りだし高台	内面∞文
190	第73図 PL. 23	4号溝	青磁 碗	②2.4	破片	①夾雑物なし②良好③オリーブ灰④内外面施釉	
191	第73図 PL. 23	4号溝	陶器 壺	②5.0③(13.6)	破片	①夾雑物少ない②良好③にぶい橙④焼締め	常滑

第14表 出土遺物 観察表(10)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
192	第73図 PL.23	4号溝	青磁 碗	②2.4	破片	①夾雑物なし②良好③オリーブ 灰④内外面施釉	
193	第73図 PL.23	4号溝	陶器 壺	②5.0③(13.4)	破片	①夾雑物少ない②良好③にぶい 橙④焼締め	常滑
194	第73図 PL.23	4号溝 94.76m	陶器 甕	②8.5	小片	①夾雑物多い②良好③褐 ④焼締め	常滑
195	第73図 PL.23	4号溝	磁器 碗	①(10.2)②2.5	小片	①夾雑物なし②硬質③灰白 ④染付け	近代以降の 流れ込みか
196	第73図 PL.23	4号溝	磁器 碗	②1.5	小片	①夾雑物なし②硬質③明青灰 ④染付け	
197	第73図 PL.23	4号溝	土製品 紡錘車	①3.7②3.8 ③1.1	完形	①輝石②良好③黒褐 ⑤内耳鍋を転用 未製品	
198	第73図 PL.23	4号溝 西4面	土製品 紡錘車	①5.9②5.9 ③0.9	完形	①白色粒②良好③オリーブ黒 ④軸径0.7⑤内耳鍋を転用	
199	第73図 PL.23	4号溝	土製品 紡錘車	①6.2②6.3 ③0.9	完形	①白色粒②良好③暗灰④軸径 0.3⑤播鉢を転用 未製品	
200	第73図 PL.23	4号溝 95.11m	土製品 送風管	①21.0②8.5~9.5	小片	①白色粒・小礫②普通③橙 ④孔径2.6~3.7	
201	第73図 PL.24	4号溝 94.99m	土製品 送風管	①20.3②8.9	小片	①白色粒・小礫②普通③暗黄褐 ④孔径2.4~3.9	
202	第74図 PL.24	4号溝 94.86m	土製品 送風管	①11.4②8.4~8.7	小片	①白・褐色粒②普通③灰黄褐 ④孔径2.5	
203	第74図 PL.24	4号溝	土壁 -	①8.3②9.5 ③2.4	小片	①白色粒・小礫・スサ②軟質③ にぶい赤褐	鍛冶炉壁
204	第74図 PL.24	4号溝 95.12m	石製品 鉢	①(27.0)②11.9 ③(16.2)	34%	④安山岩 重さ2.1Kg	
205	第74図 PL.24	4号溝 94.65m	石製品 凹石	①(21.4)②13.2	20%	④角閃石安山岩 工具痕あり 重さ1.1Kg	
206	第74図 PL.24	4号溝	石製品 板碑	①25.8②16.4 ③2.8	小片	④緑泥片 岩 重さ1Kg	
207	第74図 PL.24	4号溝 95.44m	石製品 板碑	①19.9②13.2 ③2.2	小片	④緑泥片 岩 重さ8Kg	
208	第74図 PL.24	4号溝 94.75m	石製品 -	①10.5②11.3 ③6.5		④緑泥片岩 重さ1.1Kg	
209	第74図 PL.24	4号溝 94.66m	石製品 五輪塔	①15.6②15.4 ③13.3	完形	④角閃石安山岩 重さ5.0Kg ⑤空・風輪 梵字あり	
210	第75図 PL.24	4号溝 94.56m	石製品 五輪塔	①24.0②23.5 ③16.8	ほぼ完形	④角閃石安山岩重さ12.5Kg ⑤地輪 線刻文字あり判読出来ず	礎石とし て利用
211	第75図 PL.24	4号溝	石製品 五輪塔	①20.0②20.0 ③14.1	一部欠損	④角閃石安山岩 重さ8.0Kg ⑤地輪 梵字あり	
212	第75図 PL.25	4号溝 94.45m	石製品 凹石	①15.0②16.3 ③8.2	完形	④角閃石安山岩 重さ1.0Kg 上下両面凹	
213	第75図 PL.25	4号溝 95.19m	石製品 凹石	①12.1②14.4 ③5.0	完形	④角閃石安山岩 重さ0.5Kg	
214	第75図 PL.25	4号溝 94.74m	石製品 凹石	①10.0②12.8 ③8.0	完形	④角閃石安山岩 重さ0.5Kg	
215	第75図 PL.25	4号溝 94.95m	石製品 丸石	①1.4②14.6 ③12.6	完形	④安山岩 重さ2.7Kg 凹あり	

第15表 出土遺物 観察表(11)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
216	第75図 PL.25	4号溝 94.95m	石 台石	①13.4②15.3 ③9.5	完形	④砂岩 重さ2.0Kg 打痕?あり	
217	第75図 PL.25	4号溝	石製品 -	①8.5②5.8 ③2.8	小片	④緑石 重さ172g	
218	第75図 PL.25	4号溝	石製品 -	①5.8②5.8 ③3.2	小片	④重さ192g	
219	第76図 PL.25	4号溝	石製品 砥石	①5.8②8.8 ③3.4	小片	④重さ234g 表・裏面使用 痕多数	
220	第76図 PL.25	4号溝	石 火打ち石	①2.8②2.5 ③1.7	小片	④石英 重さ12.7g	
221	第76図 PL.25	4号溝	石 火打ち石	①3.2②2.5 ③1.6	小片	④石英 重さ17.0g	
222	第76図 PL.25	4号溝	石製品 紡錘車	①6.0②5.7 ③1.6	小片	④滑石 重さ68g 未製品	
223	第76図 PL.25	4号溝	石器 剥片	①4.2②5.9 ③1.5	小片	④重さ38g	
224	第76図 PL.25	4号溝 95.05m	銭貨	①2.5	完形	④重さ2.7g ●寶	
225	第76図 PL.25	4号溝	銭貨	①2.5	完形	④重さ5.8g 摩耗激く解読不明	
226	第76図 PL.25	4号溝 95.03m	鉄製品 鉄滓	①5.0②5.0 ③3.1	小片	④重さ71g	
227	第76図 PL.25	4号溝 95.04m	鉄製品 鉄滓	①5.2②5.5 ③4.4	小片	④重さ136g	
228	第76図 PL.25	4号溝	鉄製品 鉄滓	①4.0②5.0 ③1.9	小片	④重さ80.7g	
229	第76図 PL.25	4号溝 94.98m	獣骨 馬歯	①7.2②2.4 ③1.4	小片		
230	第76図 PL.25	4号溝 95.17m	獣骨 馬歯	①6.0②2.0 ③2.2	小片		
231	第76図 PL.25	4号溝 94.94m	獣骨 馬歯	①6.0②2.3 ③2.4	小片		
232	第76図 PL.25	4号溝 95.14m	獣骨 馬歯	①7.2②2.2 ③1.8	小片		
233	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①6.0②1.8 ③2.2	小片		
234	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①6.0②2.9 ③2.8	小片		分析 (附節1)
235	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①4.6②3.0 ③3.0	小片		分析 (附節1)
236	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①6.0②2.6 ③2.3	小片		分析 (附節1)
237	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①6.8②3.0 ③2.2	小片		分析 (附節1)
238	第76図 PL.25	4号溝	獣骨 馬歯	①6.9②2.6 ③2.8	小片		分析 (附節1)
239	第76図 PL.25	4号溝	猪 上腕骨	①10.8②4.8 ③2.3~4.8	小片		分析 (附節1)

第16表 出土遺物 観察表(12)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
240	第76図 PL. 25	4号溝	馬 脛骨	①20.2②4.5 ③3.2~4.8	50%		分析 (附節1)
241	第76図 PL. 25	5号溝 As-A下	土器 カワラケ	①10.5②2.5 ③6.2	完形	①褐・黒色粒子②良好③浅黄橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
242	第76図 PL. 25	5号溝 南面	土器 カワラケ	①10.2②2.2 ③6.9	75%	①白・黒色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
243	第77図 PL. 25	5号溝 As-A下	土器 カワラケ	①10.3②2.2 ③6.9	75%	①黒色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
244	第77図 PL. 25	5号溝 As-A下	土器 カワラケ	①(10.0)②2.3 ③6.2	60%	①黒色粒②普通③橙④ロクロ成 形 糸切り 口唇部油煙あり	左回転
245	第77図 PL. 25	5号溝 南面	土器 カワラケ	①9.7②3.2 ③6.1	54%	①輝石・黒色粒②普通③にぶい 黄橙④ロクロ成形 糸切り 口 唇部油煙あり	左回転
246	第77図 PL. 25	5号溝	土器 カワラケ	②1.3③7.0	24%	①雲母・黒色粒②良好③にぶい 黄橙④ロクロ成形 糸切り	左回転
247	第77図 PL. 25	5号溝 堀底	土器 内耳鍋	①5.5②6.7	小片	①褐色粒②良好③赤黒④内外 ユビオサエ後ナデ底部離れ砂	
248	第77図 PL. 25	5号溝 As-A下	土器 内耳鍋	①5.0②8.8	小片	①白色粒②良好③黄灰④内外ユ ビオサエ後ヨコナデ	
249	第77図 PL. 25	5号溝	瓦 軒丸瓦	①16.2③2.4	瓦当部~ 丸瓦部	①白色粒②硬質③灰④外区珠文 内区巴文(左回り)内外ヘラナデ	巴文+圏 線
250	第77図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①16.0③2.1	瓦当部~ 丸瓦部	①白色粒②硬質③暗灰④外区珠 文内区巴文(左回り)	巴文+圏 線
251	第77図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①16.5③2.7	瓦当部	①白色粒②硬質③暗灰④外区珠 文内区巴文(左回り)	巴文と圏線 が一体化
252	第77図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①11.2③1.6	瓦当部~ 丸瓦部	①黒色粒②硬質③暗灰④外区珠 文内区巴文(左回り)内外ヘラ ナデ 断面2層外面雲母塗布?	巴文と圏 線が一体 化
253	第77図 PL. 26	5号溝 As-A下	瓦 軒丸瓦	①12.1③1.9	瓦当部~ 丸瓦部	①白色粒②硬質③黄灰④外区珠 文内区巴文(左回り)瓦当部雲 母塗布?	巴文+圏 線
254	第77図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①12.5②13.7 ③2.4	瓦当部	①白色粒・雲母②硬質③暗青灰 ④外区珠文内区巴文(左回り) 巴文断面上部平坦	巴文と圏 線が一体 化
255	第78図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①11.0③2.2	瓦当部	①黒色粒②硬質③灰④外区珠文 内区巴文(右回り)外面雲母塗布	巴文+圏 線
256	第78図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①11.0③2.1	瓦当部	①雲母・黒色粒②硬質③灰④外 区珠文内区巴文(左回り)	巴文+圏 線
257	第78図 PL. 26	5号溝	瓦 軒丸瓦	①11.1③2.0	瓦当部	①雲母②硬質③灰④外区珠文内 区巴文(左回り)断面2層	巴文のみ
258	第78図 PL. 26	5号溝	瓦 丸瓦	①19.2②15.6 ③2.2	丸瓦部~ 玉縁	①雲母②硬質③暗灰④凸面ナデ 凹面布目一部ヘラ削り断面2層	留穴あり
259	第78図 PL. 26	5号溝 92.89m	瓦 丸瓦	①23.3②12.2 ③1.3	丸瓦部~ 玉縁	①白色粒②硬質③黒褐④凸面ナ デ凹面布目 ナデ	留穴あり?
260	第78図 PL. 26	5号溝 92.89m	瓦 丸瓦	①13.6②10.6 ③2.1	丸瓦部~ 玉縁	①黒色粒②硬質③暗灰④凸面ナ デ凹面布目 ナデ	留穴あり

第17表 出土遺物 観察表 (13)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
261	第78図 PL.26	5号溝	瓦 丸瓦	①14.0②10.8 ③1.7	丸瓦部～ 行基	①黒色粒②硬質③灰④凸面ナデ 凹面布目 ナデ	行基葺
262	第79図 PL.26	5号溝	瓦 丸瓦	①5.8②7.8 ③1.4～3.0	玉縁	①白色粒②硬質③灰白④凸面ナ デ凹面布目ナデ外面雲母塗布?	253と 同一系統
263	第79図 PL.26	5号溝	瓦 丸瓦	①18.0②12.8 ③2.0	丸瓦部	①雲母・白色粒②硬質③暗灰④ 凸面ナデ凹面布目 ナデ	
264	第79図 PL.26	5号溝	唐草文軒 棧瓦	①19.1②22.6 ③1.7	50%	①白色粒②硬質③灰④顎凸面・ 裏面ヨコナデ 瓦当外縁面取り	刻印あり 紗宏
265	第79図 PL.26	5号溝	唐草文軒 棧瓦	①9.5②16.4 ③1.6	軒丸部～ 平瓦部	①雲母・白色粒②硬質③灰④顎 凸面・裏面ヨコナデ 瓦当外縁 面取り 巴文(左回り)	巴文+珠 文
266	第79図 PL.26	5号溝	唐草文軒 棧瓦	①6.5②14.9 ③0.6～0.9	軒丸部～ 平瓦部	①雲母・白色粒②硬質③灰④顎 凸面・裏面ヨコナデ 瓦当外縁 面取り 巴文(右回り)	巴文+珠 文
267	第79図 PL.26	5号溝 92.91～ 93.04m	唐草文軒 平瓦	①12.0②26.0 ③1.7	瓦当部～ 平瓦	①雲母②軟質③褐灰④顎凸面・ 裏面ヨコナデ	
268	第79図 PL.26	5号溝 南面	唐草文軒 平瓦	①12.3②4.8 ③3.7	瓦当部	①輝石②軟質③暗灰黄④顎凸面 ・裏面ヨコナデ	
269	第80図 PL.27	5号溝 93.15～ 93.35m	平瓦	①17.8②14.4 ③2.0	25%	①白色粒②硬質③灰黄褐④ナデ ・離れ砂付着 凸側面・広端部 面取り	
270	第80図 PL.27	5号溝 As-A下	平瓦	①9.6②12.6 ③2.0	小片	①白色粒②軟質③暗灰黄④ヨコ ナデ 凹側面・広端部面取り	瓦当部 刻印あり
271	第80図 PL.27	5号溝	平瓦	①11.9②16.2 ③1.8	小片	①白色粒②硬質③にぶい黄褐④ タテ・ヨコナデ 側面 面取り	
272	第80図 PL.27	5号溝 As-A下	棧瓦	①21.8②14.7 ③1.7～1.9	50%	①白色粒②硬質③灰④タテ・ヨ コナデ離れ砂付着側面・広端部 ・狭端部面取り	
273	第80図 PL.27	5号溝 92.24m	平瓦	①27.1②24.1 ③1.8	ほぼ 完形	①白色粒②硬質③暗灰④タテ・ ヨコナデ線刻あり凹側面・広端 部面取り	凹面 線刻あり
274	第80図 PL.27	5号溝 As-A下	平瓦	①8.0②9.0 ③2.0	小片	①白色粒②硬質③灰④タテナデ 狭端部面取り	
275	第81図 PL.27	5号溝 As-A下	熨斗瓦	①13.4②10.8 ③1.7	小片	①褐色粒②軟質③明褐④タテ・ ヨコナデ 半截面未調整	
276	第81図 PL.27	5号溝 92.74～ 92.83m	熨斗瓦	①26.3②11.0 ③1.2～1.6	ほぼ完形	①黒色粒②軟質③黄灰④ナデ・ 離れ砂付着 凹側面・広端部面 取り半截面未調整	
277	第81図 PL.27	5号溝 92.96m	熨斗瓦	①19.8②9.6 ③2.0	80%	①白色粒②軟質③オリーブ黒④ タテナデ凹側面・広端部面取り	
278	第81図 PL.27	5号溝 As-A下	面戸瓦	①11.1②13.6 ③2.1	70%	①白色粒②硬質③灰④タテナデ 凹側面・狭端部面取り	
279	第81図 PL.27	5号溝 As-A下	面戸瓦	①12.7②12.0 ③1.6～1.8	ほぼ完形	①白色粒②硬質③灰④タテ・ヨ コナデ凹側面・狭端部面取り	
280	第81図 PL.28	5号溝	陶器 埴	①7.3②4.4 ③3.4	25%	①夾雑物少ない②硬質③灰白 ④ロクロ成形 施釉	鉄釉描画

第18表 出土遺物 観察表(14)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
281	第81図 PL.28	5号溝	陶器 壺	②3.9③5.4	小片	①夾雑物少ない②硬質③黒褐 ④ロクロ成形 施釉	鉄釉
282	第81図 PL.28	5号溝 As-A下	陶器 壺	①(11.8)②6.0	20%	①夾雑物なし②硬質③にぶい橙 釉オリーブ黒④ロクロ成形施釉	
283	第81図 PL.28	5号溝 南面	陶器 小皿	①10.9②2.7 ③5.7	34%	①夾雑物少ない②硬質③淡黄 ④ロクロ成形 削り高台 施釉	
284	第81図 PL.28	5号溝	陶器 小皿	①11.3②2.4 ③(7.1)	45%	①夾雑物あり②硬質③灰白④ ロクロ成形 削り高台 施釉	鉄釉描画
285	第81図 PL.28	5号溝 As-A下	陶器 小皿	①(11.6)②2.1 ③(6.6)	30%	①夾雑物多い②硬質③灰白④ ロクロ成形 削り高台 施釉	
286	第82図 PL.28	5号溝 南面	陶器	①3.1②7.9	小片	①夾雑物少ない②硬質③灰白 ④ロクロ成形 施釉	
287	第82図 PL.28	5号溝 89.75m	陶器 片口鉢	①13.0②10.0 ③8.7	ほぼ完形	①夾雑物多い②硬質③灰白 釉 赤黒④ロクロ成形後一部削り	削り高台 施釉
288	第82図 PL.28	5号溝 南面	陶器 播鉢	①(33.0)②8.9	小片	①夾雑物多い②硬質③赤黒④内 面櫛目7本	
289	第82図 PL.28	5号溝	陶器 大甕	②9.4③23.0	底部 50%	①夾雑物多い②軟質③赤褐 ④内外オサエ後ナゲ底部離れ砂	
290	第82図 PL.28	5号溝	陶器 急須	①4.9②5.4 ③5.0	ほぼ完形	①夾雑物なし②硬質③極暗赤褐 ④ロクロ成形 底部一部布目痕	取手欠損
291	第82図 PL.28	5号溝	陶器 土瓶	①11.2②3.9 ③8.6	蓋	①夾雑物なし②硬質③明黄褐 ④施釉	描画
292	第82図 PL.28	5号溝	陶器 徳利	①(3.1)②20.6 ③8.6	ほぼ完形	①夾雑物少ない②硬質③灰白 ④施釉	東野酒店 可
293	第82図 PL.28	5号溝	陶器 インク瓶	①3.4②20.4 ③9.8	完形	①夾雑物少ない②硬質③暗赤褐 ④施釉 刻印あり	SHINOZAKI'S CHAMPIONINK TOKYO
294	第82図 PL.28	5号溝	陶器 インク瓶	①3.3②16.6 ③7.0	完形	①夾雑物なし②硬質③褐④施釉 刻印あり 瓶内コルク栓あり	MARUZENINK TOKYO
295	第82図 PL.28	5号溝	陶器 インク瓶	①2.6②15.7 ③6.9	完形	①夾雑物少ない②硬質③暗褐④ 施釉 刻印あり	SHINOZAKI'S CHAMPIONINK TOKYO
296	第82図 PL.28	5号溝	陶器 インク瓶	①3.2②16.5 ③7.6	完形	①夾雑物なし②硬質③暗赤褐④ 施釉 体部・底部2ヶ所刻印	MARUZENINK TOKYO 底M
297	第82図 PL.28	5号溝	陶器 湯湯婆	①13.4②24.1 ③0.7	60%	①夾雑物少ない②硬質③暗赤褐 ④施釉	
298	第82図 PL.28	5号溝	陶器 坏	①4.9②2.3 ③2.6	完形	①夾雑物あり②硬質③褐④施釉 褐釉	
299	第82図 PL.28	5号溝	磁器 坏	①5.6②2.9 ③2.4	完形	①夾雑物なし②硬質④高台桜形 歩兵第十五連隊 軍旗祭	准・下集 会所
300	第82図 PL.28	5号溝	磁器 坏	①5.5②2.9 ③2.4	完形	①夾雑物なし②硬質④高台桜形 ☆ 歩十五除隊記念 園部	
301	第82図 PL.28	5号溝	磁器 坏	①5.4②3.0 ③1.5	完形	①夾雑物なし②硬質④高台星形 凱旋記念	
302	第82図 PL.28	5号溝	磁器 坏	①5.6②2.9 ③2.4	67%	①夾雑物なし②硬質④高台桜形 除隊記念 井上 日章旗・桜	
303	第82図 PL.28	5号溝	磁器 坏	①5.8②3.0 ③2.4	完形	①夾雑物なし②硬質④中央分会 春季總會	

第19表 出土遺物 観察表(15)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
304	第82図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①5.5②3.1 ③2.6	完形	①夾雑物なし②硬質④旅行記念 ●靈山	
305	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①5.3②3.0 ③2.3	完形	①夾雑物なし②硬質④群馬縣招 魂会	
306	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①5.6②3.0 ③1.7	80%	①夾雑物なし②硬質④酒保	描画
307	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①7.9②4.4 ③3.6	完形	①夾雑物なし②硬質④型造り 酒保	
308	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①6.1②2.5 ③2.7	完形	①夾雑物なし②硬質④標章 醬 油 最上 高	高崎高● 商店
309	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①6.9②2.9 ③3.1	完形	①夾雑物なし②硬質④印判	
310	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①7.0②2.8 ③2.6	完形	①夾雑物なし②硬質④施釉	
311	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①7.2②4.3 ③3.7	完形	①夾雑物なし②硬質④印判	
312	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①7.7②4.1 ③4.1	完形	①夾雑物なし②硬質④印判	
313	第83図 PL.29	5号溝	磁器 坏	①7.9②4.1 ③3.2	完形	①夾雑物なし②硬質④印判 型造り	
314	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①6.7②5.3 ③3.1	82%	①夾雑物なし②硬質④印判	
315	第83図 PL.29	5号溝	磁器 湯飲	①6.3②7.2 ③4.0	完形	①夾雑物なし②硬質④准士官下 士集会所	
316	第83図 PL.29	5号溝	磁器 湯飲	①6.3②7.4 ③3.7	完形	①夾雑物なし②硬質④陸軍病院	
317	第83図 PL.29	5号溝	磁器 湯飲	①6.3②7.2 ③3.8	完形	①夾雑物なし②硬質④☆	
318	第83図 PL.29	5号溝	磁器 湯飲	①6.3②7.3 ③3.6	80%	①夾雑物なし②硬質④峰守中尉 底部 峰守	
319	第83図 PL.29	5号溝	磁器 湯飲	①6.2②7.3 ③3.7	75%	①夾雑物少ない②硬質④☆ 高憲	
320	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①11.6②4.8 ③3.8	80%	①夾雑物なし②硬質④印判 一富士二鷹三茄子	
321	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①11.9②5.0 ③4.2	75%	①夾雑物なし②硬質④印判	
322	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①(12.2)②5.1 ③(4.2)	34%	①夾雑物少ない②硬質④染付け 鯉	
323	第83図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①12.0②4.7 ③4.0	75%	①夾雑物少ない②硬質④印判 日章旗・碇 帝國万歳	
324	第84図 PL.29	5号溝	陶器 埴	①(10.8)②5.7 ③4.2	54%	①夾雑物少ない②硬質④☆ 底部 陶石専	
325	第84図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①13.6②5.6 ③5.6	完形	①夾雑物なし②硬質④染付け 梅 底部 刻印 力	
326	第84図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①14.8②6.1 ③5.8	完形	①夾雑物なし②硬質④染付け	
327	第84図 PL.29	5号溝	磁器 碗	①16.3②5.1 ③9.4	完形	①夾雑物少ない②硬質④型造り 染付け I	

第20表 出土遺物 観察表(16)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
328	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①7.3②2.2 ③2.2	完形	①夾雑物なし②硬質④印判	
329	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①7.6②2.2 ③2.7	完形	①夾雑物なし②硬質④印判	
330	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①8.6②1.8 ③4.8	完形	①夾雑物なし②硬質④印判 金魚	
331	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①7.6②2.4 ③4.4	完形	①夾雑物なし②硬質④染付け	
332	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①7.3②2.4 ③3.2	完形	①夾雑物なし②硬質④施釉 一二三食堂 電七四	
333	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①9.2②2.5 ③4.0	完形	①夾雑物なし②硬質④すかや 電二十七番	
334	第84図 PL.30	5号溝	磁器 小皿	①13.8②3.1 ③6.1	90%	①夾雑物なし②硬質④型造り	
335	第84図 PL.30	5号溝	磁器 火鉢	②8.8③17.5	体部～ 底部	①夾雑物少ない②硬質④印判	
336	第85図 PL.30	5号溝	磁器 徳利	①3.2②10.3 ③6.2	完形	①夾雑物なし②硬質④施釉	
337	第85図 PL.30	5号溝	磁器 徳利	①3.1②17.7 ③5.9	ほぼ完形	①夾雑物なし②硬質 ④底部 一光園製	
338	第85図 PL.30	5号溝	磁器 蓋	②1.1③4.6	完形	①夾雑物なし②硬質④鹿印 煉 歯磨	340の蓋
339	第85図 PL.30	5号溝	磁器 蓋	②1.0③4.8	完形	①夾雑物なし②硬質④鹿印 煉 歯磨	
340	第85図 PL.30	5号溝	磁器 合子	①4.0②1.4 ③4.4	完形	①夾雑物なし②硬質	338の身
341	第85図 PL.30	5号溝	磁器 蓋	②1.2③5.8	完形	①夾雑物なし②硬質④染付けか	朱肉入れ
342	第85図 PL.30	5号溝	磁器 蓋	②1.2③6.0	完形	①夾雑物なし②硬質④染付けか 内側 朱付着	朱肉入れ
343	第85図 PL.30	5号溝	磁器 合子	①4.5②1.7 ③5.4	完形	①夾雑物なし②硬質④印判 内側 朱付着	朱肉入れ
344	第85図 PL.30	5号溝	磁器 合子	①5.5②2.8 ③6.0	完形	①夾雑物なし②硬質 ④口唇部朱付着 底部穿孔	朱肉入れ
345	第85図 PL.30	5号溝	磁器 合子	①3.7②3.2 ③4.2	完形	①夾雑物少ない②硬質④底部 押印 KATO	
346	第85図 PL.30	5号溝	磁器 小瓶	①1.8②6.3 ③2.7	完形	①夾雑物なし②硬質④体部 KJK 内側インク付着	インク瓶
347	第85図 PL.30	5号溝	磁器 小瓶	①1.9②6.1 ③2.9	完形	①夾雑物なし②硬質④底部 押印 478系東頁内側インク付着	インク瓶
348	第85図 PL.30	5号溝	磁器 小瓶	①2.5②6.1 ③4.9	完形	①夾雑物なし②硬質④ PLATON INK プラトンインキ	インク瓶
349	第85図 PL.30	5号溝	磁器 小瓶	①2.3②6.3 ③4.9	完形	①夾雑物なし②硬質④底部 押印 発 インク付着	インク瓶
350	第85図 PL.30	5号溝	磁器 タイル	①24.4②24.2 ③1.9	完形	①夾雑物あり②硬質④印判 モルタル付着	
351	第85図 PL.30	5号溝	土器 焼塩壺蓋	①5.9②1.0 ③5.5	完形	①白色粒②良好③橙	

第21表 出土遺物 観察表(17)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
352	第85図 PL.30	5号溝 As-A下	土製品 送風管	①8.5②9.5 ③6.1	小片	①白色粒②普通③灰	
353	第85図 PL.30	5号溝	石製品 砥石	①7.4②4.1 ③2.2		④重さ109.8g 5面使用	
354	第86図 PL.30	5号溝	石製品 砥石	①11.7②3.3 ③2.9	—	④重さ152g 3面使用	
355	第85図 PL.30	5号溝	石製品 硯	①6.5②2.7 ③0.3	完形	④重さ8.0g	携帯用硯
356	第85図 PL.30	5号溝	石製品 硯	①12.3②6.1 ③1.5	ほぼ完形	④重さ293g	
357	第85図 PL.30	5号溝	石製品 硯	①13.7②6.0 ③1.8	一部欠損	④重さ332g	
358	第85図 PL.31	5号溝	石製品 硯	①13.7②6.7 ③1.7	一部欠損	④重さ218g	
359	第86図 PL.31	5号溝	土製品 不明	①6.3②2.8 ③1.3	—	①白色粒②硬質③暗灰④焼成は 瓦に似るが用途不明 墨か	
360	第86図 PL.31	5号溝	土製品 煉瓦	①22.0②10.3 ③5.9	完形	①白色粒②硬質③暗赤④押印 上敷免製	
361	第86図 PL.31	5号溝	土製品 煉瓦	①11.2②13.9 ③5.3	50%	①白色粒・小礫②硬質③明赤褐 ④片面格子状 ● ADA	
362	第86図 PL.31	5号溝	土製品 煉瓦	①13.0②11.0 ③6.1	50%	①小礫②硬質③黄橙④両面格子 状 SH●●	SHINAGAWA 製
363	第86図 PL.31	5号溝	金属製品 煙管	①12.6②1.0 ③1.1	完形	④火皿幅10mm 穴8.5mm 口付 幅7mm 穴3mm	延べ煙管 真鍮製か
364	第86図 PL.31	5号溝 南壁面	銅製品 下ろし金	①19.9②8.6 ③0.2	完形	④塵取り形 表面 細(47行) 裏面 粗(18行)	
365	第86図 PL.31	5号溝	骨製品 歯ブラシ	①14.9②1.5 ③0.6	完形	④3列(穴24・25・24) 頭部側面 穴あり 握部線刻 SUPER FINE	
366	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.3②5.9 ③2.2	ほぼ完形	④青系 気泡あり	薬瓶
367	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.0②6.1 ③2.4	完形	④青系 気泡あり	薬瓶 神薬
368	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②7.3 ③3.3	完形	④薄青系 気泡少しあり	薬瓶 神薬
369	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	②5.8③2.0	一部欠損	④濃青系神薬 SHISEIDOTOKO 資生堂製 DISPENSARY	薬瓶 神薬
370	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.5②6.4 ③2.3	完形	④濃青系 ロート目薬 本舗 山田安民 底部・Y	薬瓶 目薬
371	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.9②5.3 ③3.0	ほぼ完形	④濃青系 目薬 一方水 田邑 資生堂 気泡少しあり	薬瓶 目薬
372	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.1②6.3 ③1.7	完形	④濃青系 一方水 IPOUSUI 資生堂 SHESEIDO	薬瓶 目薬
373	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	②4.2③2.1	ほぼ完形	④濃青系 目薬 一方水 邑田 資生堂	薬瓶 目薬
374	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.6②8.8 ③1.7	完形	④薄青系 EYE LOTION ROHTO 注口0.7mm	薬瓶 目薬
375	第86図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②4.2 ③2.5	完形	④濃青系 底部 文字?あり	薬瓶

第22表 出土遺物 観察表(18)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
376	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	②4.2③2.1	ほぼ完形	④白透明 文字ありバリカン油	
377	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①0.8②4.2 ③3.5	完形	④透明 気泡あり	薬瓶
378	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①0.8②6.0 ③1.6	完形	④透明 口縁部螺子山あり 気泡少しあり	薬瓶
379	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①0.8②6.8 ③1.2	完形	④白透明 口縁部螺子山あり	薬瓶
380	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.4②6.2 ③3.0	完形	④薄琥珀系 コルク栓 内部硝 子管あり 底部押印気泡あり	薬瓶
381	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.5②6.0 ③2.5	完形	④緑透明 気泡あり	薬瓶
382	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.9②4.4 ③2.5	完形	④白透明 気泡あり	薬瓶
383	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.7②8.7 ③3.5	完形	④薄青系 気泡あり	薬瓶
384	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②8.7 ③3.5	完形	④薄青系 気泡少しあり	薬瓶
385	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.4②7.7 ③3.4	完形	④透明 気泡少しあり	薬瓶
386	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②8.2 ③3.3	完形	④透明 気泡少しあり	薬瓶
387	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.7②7.8 ③2.9	完形	④緑透明 気泡少しあり	薬瓶
388	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.9②7.6 ③3.5	完形	④琥珀系 気泡少しあり	薬瓶
389	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②6.8 ③3.1	完形	④薄琥珀系 気泡・歪みあり	薬瓶
390	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.2②6.9 ③4.5	完形品	④薄琥珀系 底部 押印 高	薬瓶
391	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.3②7.7 ③3.2	完形品	④薄琥珀系 クロサワ薬局 気泡あり	薬瓶
392	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.1②7.5 ③3.4	完形	④緑透明 底部 押印 B☆B 内面インク?付着	インク瓶
393	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.1②7.4 ③2.6	完形	④透明 気泡あり	薬瓶
394	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.4②7.9 ③3.2	完形	④白透明 気泡少しあり	薬瓶
395	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.9②8.3 ③3.4	ほぼ完形	④透明 気泡あり	薬瓶?
396	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.6②7.1 ③2.6	完形	④透明 気泡少しあり	薬瓶
397	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.6②6.6 ③2.2	完形	④白透明 全治水 東京 尾澤製	薬瓶
398	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.3②6.0 ③1.9	完形	④透明 真妙水 ㊦製	薬瓶
399	第87図 PL.31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.4②8.9 ③3.4	完形	④薄琥珀系 底部押印あり	薬瓶

第23表 出土遺物 観察表(19)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
400	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.3②9.1 ③3.2	完形	④透明 気泡あり	薬瓶
401	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.8②9.6 ③3.3	完形	④白透明 山力製	薬瓶
402	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①3.0②10.6 ③4.8	完形	④透明 気泡少しあり	薬瓶
403	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.0②11.0 ③3.8	完形	④緑系 気泡少しあり	薬瓶
404	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.3②12.2 ③3.8	完形	④薄琥珀系 気泡少しあり 底部押印 ・◇82	薬瓶
405	第87図 PL. 31	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.7②11.7 ③4.2	完形	④薄琥珀系わかもと Wakamoto 底部 14 NAGA 10 g D	薬瓶
406	第87図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.4②17.7 ③6.3	完形	④青透明 気泡多い	薬瓶
407	第87図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶	①3.5②16.3 ③7.0	完形	④透明 気泡少しあり	薬瓶
408	第87図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶	①4.5②15.1 ③6.8	完形	④薄琥珀系 気泡あり	薬瓶
409	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.9②19.8 ③6.7	完形	④琥珀系 気泡少しあり 底部押印 83◇S。	薬瓶
410	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶	①4.3②20.2 ③7.8	完形	④青透明系 気泡あり	薬瓶
411	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 瓶蓋	①4.6②3.4 ③1.5	一部破損	④薄琥珀系 栓部磨りガラス	薬瓶蓋
412	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①4.6②2.1 ③4.5	完形	④透明 底部押印 武井龍三	シャーレ
413	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①2.7②3.2 ③2.7	完形	④透明 血肉トーゼ	シャーレ
414	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	②5.3③1.2	一部欠損	④薄琥珀系 無花果形	薬瓶か
415	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①1.6②8.2 ③1.4	完形	④透明	試験管
416	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 -	①0.7②7.4 ③0.3	一部欠損	④透明	スポイト状
417	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 -	①0.8②5.2 ③0.2	完形	④薄青系	スポイト
418	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①4.6②2.1 ③4.6	完形	④透明	シャーレ
419	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①4.8②4.3 ③4.3	完形	④緑透明系 気泡少しあり	
420	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 容器	①6.4②2.8 ③6.8	完形	④緑透明系 気泡少しあり	
421	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.6②4.6 ③3.5	完形	④透明 気泡少しあり	インク瓶
422	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.2②3.7 ③4.0	完形	④透明	インク瓶
423	第88図 PL. 32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.0②4.5 ③5.8	完形	④緑透明系 気泡少しあり	インク瓶

第24表 出土遺物 観察表(20)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
424	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.6②7.2 ③3.3	完形	④透明 内面インク付着	インク瓶
425	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.0②6.1 ③3.7	完形	④透明 内面インク付着 コルク栓残存	インク瓶
426	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.4②5.1 ③3.8	完形	④緑透明系 底部押印あり SIMCO	インク瓶
427	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.5②5.6 ③4.6	完形	④透明 気泡多い 底部押印 あり SSS	インク瓶
428	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.4②6.4 ③5.5	完形	④青透明系 気泡あり	インク瓶
429	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.1②6.8 ③5.5	完形	④透明 底部押印あり SIMCO	インク瓶
430	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.3②6.4 ③5.0	完形	④透明 気泡少しあり 底部押印 登録M	インク瓶
431	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.1②6.3 ③5.2	完形	④透明 気泡少しあり 底部押印 SSS	インク瓶
432	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①2.7②6.9 ③4.1	完形	④透明 底部押印 PILOT2oz MADE IN JAPAN	インク瓶
433	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①3.0②6.9 ③3.0	完形	④透明 クロレラ生菌ヤクルト 底部 37.3 6.◇	
434	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①1.8②11.3 ③6.2	完形	④透明 気泡あり 西洋御料理	調味料
435	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 小瓶	①4.1②10.2 ③5.0	完形	④透明 下之関名産雲丹 下之 関市赤間町 「あ尼安本店製 底部 登録商標「あ	食品
436	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.2②12.3 ③3.6	完形	④透明 気泡少しあり	
437	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.4②12.0 ③4.4	完形	④透明 全乳 正一合	牛乳瓶
438	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.4②17.8 ③5.2	完形	④青透明系	
439	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.2②18.8 ③4.4	完形	④緑透明系 守山文化牛乳 意匠 登録 180c.c入	牛乳瓶
440	第88図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.3②20.3 ③4.6	完形	④透明 群馬縣牛乳販購 利組 合聯合會	牛乳瓶
441	第89図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.4②20.5 ③4.9	完形	④緑透明系 MITSUYA SAUCE TRADE MARK T.N&COMPANY	炭酸飲料
442	第89図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.2②22.6 ③5.6	完形	④濃琥珀系 TRADE MARK カルピス	飲料
443	第89図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.2②23.5 ③5.6	完形	④透明 株式會社布引礦泉製造	
444	第89図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①1.8②22.7 ③4.8	完形	④緑透明系 大日本麥酒株式會 社 底部 8☆7	ビール瓶
445	第89図 PL.32	5号溝	硝子製品 瓶	①2.0②22.8 ③5.7	完形	④緑透明系 KINSEN 日本麥酒 鑛泉株式會社 底部 5・5	ビール瓶
446	第89図 PL.33	5号溝	硝子製品 瓶	①2.3②28.8 ③6.8	完形	④琥珀系 TRADE MARK DAINIPP ON BREWERYC.O.LTD 底部 3☆3	ビール瓶

第25表 出土遺物 観察表 (21)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
447	第 89 図 PL. 33	5号溝	硝子製品 瓶	①2.3②29.0 ③6.7	完形	④琥珀系 BNK NIPPON BEER KOSEN CO LTD 底部 2NKB 2	ビール瓶
448	第 89 図 PL. 33	5号溝	硝子製品 瓶	①3.1②19.6 ③5.7	完形	④透明 気泡あり 口縁内側 磨りガラス 陸軍	薬瓶
449	第 90 図 PL. 33	5号溝	獣骨	①9.2②1.5 ③1.3	小片		
450	第 90 図 PL. 33	5号溝	獣骨	①11.2②1.5 ③0.9	小片		
451	第 90 図 PL. 33	5号溝	獣骨	①5.2②1.3 ③0.8	小片		
452	第 90 図 PL. 33	5号溝	猪 上腕骨	①11.0②4.5 ③1.6~3.6	小片		分析 (附節1)
453	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 脛骨	①12.6②1.3 ③1.8	ほぼ完形		分析 (附節1)
454	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 上腕骨	①12.2②4.2 ③2.4	ほぼ完形		分析 (附節1)
455	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 下顎骨	①12.3②7.2	20%		分析 (附節1)
456	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 脛骨	①3.3②4.0 ③	ほぼ完形		分析 (附節1)
457	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 脛骨	①3.9②3.4 ③3.2	ほぼ完形		分析 (附節1)
458	第 90 図 PL. 33	5号溝	犬 第一脛骨	①3.5②7.2 ③2.8	完形		分析 (附節1)
459	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 下駄	①20.1②9.1 ③1.0~3.7	ほぼ完形	④連歯下駄(角型)	
460	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 下駄	①17.0②8.8 ③0.4~3.0	70%	④連歯下駄(角型)	
461	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 下駄	①17.2②8.2 ③0.4~3.6	一部欠損	④連歯下駄(丸型か)	
462	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 下駄	①21.4②11.5 ③1.3~5.1	ほぼ完形	④連歯下駄(丸型か)	
463	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 -	①8.8②24.5 ③0.2	小片	④曲物か	
464	第 90 図 PL. 33	5号溝	木製品 下駄	①22.5②10.3 ③0.7~1.4	50%	④連歯下駄(角型) 側面釘打ち付けあり	近代
465	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 -	①5.8②21.2 ③0.4	小片	④底板か	
466	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 箱	①2.3②19.4 ③0.5	小片	④漆塗り	
467	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 箱	①4.7②28.9 ③1.0	小片	④漆塗り	
468	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 札	①4.4②2.3 ③0.3	完形	④小穴あり	近代
469	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 札	①4.6②3.1 ③0.5	完形	④墨書 表 小林 裏 十ノ三	近代
470	第 91 図 PL. 33	5号溝	木製品 札	①4.6②3.5 ③0.4	完形	④墨書 表 荻原 裏 ●二か	近代

*遺物 No. 459 ~ 481 は、遺物写真の色調補正を行い墨書などがいないか確認した。

第26表 出土遺物 観察表(22)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
471	第91図 PL.33	5号溝	木製品 札	①7.7②3.4 ③0.8	完形	④墨書 表 第二中隊 裏 第 四号九三●	近代
472	第91図 PL.34	5号溝	木製品 札	①12.9②3.7 ③0.8	完形	④墨書 表 歩●●●	近代
473	第91図 PL.34	5号溝	木製品 札	①18.2②4.6 ③0.8	完形	④墨書 表 群馬県高崎市歩兵 第●五●隊●	近代
474	第91図 PL.34	5号溝	木製品 札	①16.8②3.9 ③0.7	完形	④墨書 摩耗が激しく判読でき ず	近代
475	第91図 PL.34	5号溝	木製品 箱	①24.3~29.3②14.6~ 15.0③1.5④21.0(奥行)	ほぼ完形	④逆台形 出土時、底に灰が 沈殿	近代
476	第91図 PL.34	5号溝	胡桃 種子	①3.2②2.5 ③2.3	完形		近世
477	第91図 PL.34	5号溝	胡桃 種子	①3.2②2.2 ③1.8	完形		近世
478	第91図 PL.34	5号溝	木製品 漆器椀	①2.4②3.5 ③0.4	小片	④外 黒漆 線描あり 内 赤漆	近世
479	第91図 PL.34	5号溝	木製品 漆器椀	①3.5②2.6 ③0.4	小片	④外 黒漆 内 赤漆	近世
480	第91図 PL.34	5号溝	木製品 漆器椀	①4.2②5.5 ③0.4	小片	④外 黒漆 内 赤漆	近世
481	第91図 PL.34	5号溝	木製品 漆器椀	①3.5②3.9 ③0.4	小片	④外 黒漆 内 赤漆	近世
482	第92図 PL.34	6号溝 95.48m	土師器 高坏	②9.6③(9.3)	25%	①白・黒粒②良好③にぶい赤褐 ④外へラミガキ内ヨコナデ	
483	第92図 PL.34	6号溝	土師器 甕	①(18.1)②6.6	小片	①黒色粒・輝石②良好③にぶい 橙④篋削り内面ヨコナデ	
484	第92図 PL.34	6号溝	土師器 甕	①(21.9)②5.2	小片	①白・黒色粒・輝石②良好③橙 ④篋削り内面ヨコナデ	
485	第92図 PL.34	6号溝	須恵器 坏	①(12.6)②3.3 ③(8.0)	25%	①黒色粒②還元・硬質③黄灰 ④ロクロ成形 底部糸切	
486	第92図 PL.34	6号溝 カクラン	須恵器 碗	②2.1③6.5	小片	①白色粒②還元・硬質③灰黄褐 ④ロクロ成形底部糸切後高台貼 り付け	
487	第92図 PL.34	6号溝	須恵器 羽釜	②5.8	小片	①白色粒・石英・輝石②還元・ やや軟質③褐灰④ロクロ成形	
488	第92図 PL.34	6号溝 94.78m	土器 カワラケ	①7.4②1.9 ③5.0	完形	①褐色粒・雲母②良好③にぶい 橙④ロクロ成形 糸切り	左回転糸 切 黒斑
489	第92図 PL.34	6号溝 95.37m	土器 カワラケ	①7.7②1.9 ③4.8	完形	①金雲母②良好③明赤褐 ④ロクロ成形 糸切り	
490	第92図 PL.34	6号溝 94.74	土器 カワラケ	①7.4②2.1 ③4.8	完形	①白色粒・小礫②良好③にぶい 橙④ロクロ成形 糸切り	左回転糸 切
491	第92図 PL.34	6号溝 95.73m	土器 カワラケ	①8.0②1.6 ③4.6	完形	①雲母②良好③褐④ロクロ成形 糸切り	左回転糸 切
492	第92図 PL.34	6号溝 95.37m	土器 カワラケ	①8.2②2.2 ③4.8	完形	①金雲母②良好③明赤褐 ④ロクロ成形糸切後一部ナデ	左回転糸 切
493	第92図 PL.34	6号溝 95.46m	土器 カワラケ	①8.4②2.3 ③5.3	67%	①褐色粒・輝石②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転 灯明皿

*遺物 No. 459 ~ 481 は、遺物写真の色調補正を行い墨書などがいないか確認した。

第27表 出土遺物 観察表(23)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
494	第92図 PL.34	6号溝 95.22m	土器 カワラケ	①(8.6)②2.1 ③5.4	80%	①白色粒・輝石②良好③黒 ④ロクロ成形 糸切り	外面油煙 左回転
495	第92図 PL.34	6号溝 95.91m	土器 カワラケ	①8.4②1.8 ③5.2	89%	①雲母・輝石②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
496	第92図 PL.34	6号溝	土器 カワラケ	①(8.6)②1.8 ③(5.0)	32%	①雲母・褐色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	
497	第92図 PL.34	6号溝 94.71m	土器 カワラケ	①11.1②2.9 ③6.6	完形	①褐色粒②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転糸切
498	第92図 PL.34	6号溝 96.07m	土器 カワラケ	①12.1②2.5 ③7.5	80%	①白・褐色粒②良好内面悪い ③橙④ロクロ成形 糸切り	外面油煙 左回転
499	第92図 PL.34	6号溝 94.97m	土器 カワラケ	①(10.5)②2.3 ③6.4	75%	①褐色粒・小礫②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
500	第92図 PL.34	6号溝 95.25～ 95.32m	土器 カワラケ	①10.6②3.0 ③6.4	74%	①雲母・小礫②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
501	第92図 PL.34	6号溝 カクラン	土器 カワラケ	①(11.7)②2.4 ③7.0	70%	①褐色粒②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
502	第92図 PL.34	6号溝	土器 カワラケ	①12.1②2.3 ③6.3	64%	①白・黒色粒②良好③にぶい橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
503	第92図 PL.34	6号溝 95.38m	土器 カワラケ	①(10.2)②2.1 ③6.2	40%	①白色粒②良好③橙 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
504	第92図 PL.34	6号溝	土器 カワラケ	①(10.2)②2.4 ③6.5	47%	①白・褐色粒②良好③明黄褐 ④ロクロ成形 糸切り	左回転
505	第93図 PL.34	6号溝 95.22～ 95.28m	土器 内耳鍋	①34.2②10.6 ③28.3	76%	①雲母②普通③黒褐色④内外 オサエ後ヨコナデ 底部離れ砂	
506	第93図 PL.34	6号溝 95.61～ 95.74m	土器 内耳鍋	①33.3②17.6 ③(23.6)	80%	①輝石・白色粒②良好③暗赤褐 ④内外オサエ後ヨコナデ 底部 離れ砂	
507	第93図 PL.35	6号溝 94.93～ 94.99m	土器 内耳鍋	①30.7②13.1	50%	①白・褐色粒②良好③橙④内外 オサエ後ヨコナデ	
508	第93図 PL.35	6号溝 94.93～ 95.58m	土器 内耳鍋	①35.4②17.6 ③24.2	60%	①雲母・小礫②良好③外黒褐色 内褐灰④内外オサエ後ヨコナデ 底部離れ砂 修理穴2ヶ所あり	
509	第93図 PL.35	6号溝 94.79～ 95.91m	土器 内耳鍋	①27.7②14.2 ③(20.7)	48%	①輝石・小礫②良好③外褐灰 内にぶい橙④内外オサエ後ヨコ ナデ底部離れ砂	
510	第93図 PL.35	6号溝 95.06～ 95.07	土器 内耳鍋	①(36.3)②16.6 ③(23.8)	25%	①雲母・小礫②良好③黒褐④内 外オサエ後ヨコナデ底部離れ砂	
511	第94図 PL.35	6号溝 95.32m	土器 内耳鍋	①(32.6)②10.3 ③(23.2)	25%	①雲母②良好③褐灰④内外オサ エ後ヨコナデ底部離れ砂	
512	第94図 PL.35	6号溝 94.92～ 95.12m	土器 内耳鍋	①35.9②12.0 ③(25.6)	25%	①雲母・白色粒②良好③黒④内 外オサエ後ヨコナデ底部離れ砂	

第28表 出土遺物 観察表 (24)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
513	第94図 PL.35	6号溝 94.70~ 95.30m	土器 内耳鍋	①(32.4)②16.0 ③(25.9)	25%	①雲母・小礫②良好③外褐灰 内にぶい橙④内外オサエ後ヨコ ナデ底部離れ砂	
514	第94図 PL.35	6号溝 94.94~ 95.88m	土器 内耳鍋	①(30.5)②11.5	24%	①雲母・白色粒②良好③黒褐 ④内外ユビオサエ後ヨコナデ	
515	第94図 PL.35	6号溝 95.30m	土器 内耳鍋	①(37.4)②14.5	25%	①雲母②良好③にぶい赤褐 ④内外ユビオサエ後ヨコナデ	
516	第94図 PL.35	6号溝 95.30m	土器 内耳鍋	①(33.4)②10.3 ③(27.0)	20%	①雲母②良好③黒④内外オサエ 後ヨコナデ底部離れ砂	
517	第94図 PL.35	6号溝 95.32m	土器 内耳鍋	①13.4②9.2	内耳部 小片	①金雲母②良好③外黒褐 内橙 ④内外ユビオサエ後ヨコナデ	搬入品
518	第94図 PL.35	6号溝	土器 内耳鍋	①9.2②6.3	小片	①金雲母良好③外灰褐 内明褐 ④内外ユビオサエ後ヨコナデ	搬入品
519	第94図 PL.35	6号溝	土器 内耳鍋	①6.3②6.3	小片	①雲母・黒色粒②良好③黒褐 ④ヨコナデ	
520	第96図 PL.35	6号溝 95.26~ 95.47m	土器 鍋	②2.5③(28.5)	小片	①雲母②良好③にぶい褐④内外 オサエ後ヨコナデ底部離れ砂	
521	第96図 PL.35	6号溝 94.58~ 94.72m	土器 鍋	①(38.3)②4.6 ③(33.8)	34%	①輝石・小礫②普通③暗褐④内 外オサエ後ヨコナデ一部輪積痕 を残す 底部離れ砂	
522	第96図 PL.35	6号溝 95.01m	土器 鍋	①(38.4)②5.6 ③(33.8)	小片	①輝石・小礫②普通③暗褐④内 外オサエ後ヨコナデ一部輪積痕 を残す 底部離れ砂	
523	第96図 PL.35	6号溝	土器 鍋	②3.5	小片	①白色粒②良好③褐灰④ヨコナ デ	
524	第96図 PL.36	6号溝 95.22m	土器 播鉢	①(29.4)②10.3	小片	①白色粒・小礫②普通③にぶい 褐④内面櫛目6本	
525	第96図 PL.36	6号溝 95.11m	土器 播鉢	②9.6③(12.3)	小片	①白色粒②悪い③灰褐④内面櫛 目3本	
526	第96図 PL.36	6号溝 95.01m	瓦 丸瓦	①10.6②10.0 ③1.5	小片	①白色粒・小礫②硬質③褐灰 ④凸面ナデ凹面布目	
527	第95図 PL.36	6号溝 95.20m	瓦 平瓦	①29.1②17.5 ③1.3	小片	①白色粒②硬質③明赤褐 ④凸面タタキ後ナデ凹面布目	
528	第96図 PL.36	6号溝	瓦 平瓦	①9.3②16.8 ③2.3	小片	①白色粒・小礫②硬質③褐灰 ④凸面ヨコナデ凹面布目	
529	第95図 PL.36	6号溝	瓦 平瓦	①9.7②8.0 ③1.5	小片	①小礫②悪い③黄灰④凸面縄目 タタキ一部ナデ凹面布目	
530	第96図 PL.36	6号溝	瓦 平瓦	①6.2②7.8 ③1.6	小片	①白色粒・小礫②硬質③灰 ④凸面タタキ凹面布目	
531	第96図 PL.36	6号溝 95.10m	瓦 平瓦	①4.5②6.8 ③1.7	小片	①黒色粒②硬質③灰白 ④凸面縄目タタキ一部ナデ凹面 布目一部ナデ	
532	第96図 PL.36	6号溝	瓦 平瓦	①9.6②7.3 ③1.5	小片	①白色粒②硬質③黄灰 ④凸面ナデ凹面布目	
533	第96図 PL.36	6号溝 95.67m	陶器 天目茶碗	①(12.0)②6.2 ③	小片	①夾雑物少ない②良好③にぶい 赤褐 釉黒褐④ロクロ成形	施釉

第29表 出土遺物 観察表 (25)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
534	第96図 PL.36	6号溝 95.35m	灰釉陶器 壺	①(13.9)②3.7	小片	①夾雑物なし②良好③灰白 ④ロクロ成形	
535	第96図 PL.36	6号溝	陶器 壺か	①5.4②5.3	小片	①夾雑物多い②普通③灰白④ロ クロ成形 外面施釉	
536	第96図 PL.36	6号溝	磁器 小皿	①(10.0)②1.8	小片	①夾雑物少ない②良好③灰白④ ロクロ成形 施釉	
537	第96図 PL.36	6号溝	陶器 小皿	①(8.3)②2.3 ③(4.7)	小片	①夾雑物多い②普通③灰白④ロ クロ成形削り高台 施釉	
538	第96図 PL.36	6号溝 95.58m	陶器 水滴	①2.5②3.5	34%	①夾雑物少ない②良好③灰黄 釉黒④施釉	
539	第96図 PL.36	6号溝 95.48m	磁器 -	①2.1②3.5 ③0.7	小片	夾雑物少ない②良好③灰白 ④施釉	
540	第95図 PL.36	6号溝	土製品 燭台	②2.6 ③(14.2)	小片	①白色粒・雲母②良好③暗灰④ ナデ	
541	第96図 PL.36	6号溝 96.01m	石製品 礪白	①29.5②30.0 ③7.6	完形	④安山岩 軸受け穴径(4.0 ~5.1)重さ6.0Kg	下白
542	第96図 PL.37	6号溝 95.10m	石製品 礪白	①28.4②29.0 ③10.7	ほぼ完形	④安山岩 軸受け穴径(2.4) 重さ11.0Kg	下白
543	第97図 PL.37	6号溝 95.68m	石製品 礪白	①17.1②18.6 ③9.8	20%	④安山岩 重さ2.7Kg	上白
544	第97図 PL.37	6号溝 95.87m	石製品 礪白	①21.8②9.6 ③12.6	20%	④安山岩 重さ2.3Kg	下白
545	第97図 PL.37	6号溝 95.11m	石製品 台石	①8.0②13.0 ③14.7	小片	④安山岩 上部段状に凹む 重さ2.0Kg	
546	第97図 PL.37	6号溝 95.33m	石製品 鉢	①(28.0)②13.0 ③(13.4)	25%	④安山岩 重さ1.5Kg	
547	第97図 PL.37	6号溝 94.73m	石製品 板碑	①50.0②24.5 ③3.5	-	④緑泥片岩 重さ7.2Kg	
548	第98図 PL.37	6号溝 95.83m	石 くぼみ石	①20.6②11.4 ③8.9	完形	④安山岩 2ヶ所円形 状に凹む 重さ2.4Kg	
549	第98図 PL.37	6号溝 96.04m	石 くぼみ石	①20.4②12.2 ③8.9	完形	④角閃石安山岩 重さ2.0Kg	
550	第98図 PL.38	6号溝 96.05m	石 -	①24.6②15.5 ③11.2	完形	④2ヶ所朱線あり 重さ5.6Kg	2面朱色 付着
551	第98図 PL.38	6号溝	石製品 管玉	①1.7②0.8 ③0.5	50%	④滑石 径2mmの穿孔あり 未製品 重さ1.2g	
552	第98図 PL.38	6号溝	石 -	①② ③	小片	④滑石 重さg	石材
553	第98図 PL.38	6号溝	石 -	①5.5②8.6 ③2.0	小片	④滑石 重さ154.5g	石材
554	第98図 PL.38	6号溝	石 -	①4.6②6.4 ③0.9	小片	④滑石 重さ29.1g	石材
555	第98図 PL.38	6号溝 95.23m	鉄製品 輪	①外径3.0②内径2.1 ③0.8	完形	④重さ10.3g	
556	第98図 PL.38	6号溝	鉄製品 鉄滓	①4.4②5.1 ③2.9	小片	④重さ55.5g	
557	第98図 PL.38	6号溝	鉄製品 鉄滓	①8.3②9.8 ③4.9	小片	④重さ317.0g	

第30表 出土遺物 観察表 (26)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
558	第98図 PL.38	6号溝 95.60m	鉄製品 鎌	①12.1②23.4 ③2.3~3.0	ほぼ完形	④刃部逆方向に湾曲	
559	第98図 PL.38	6号溝 95.62m	銭貨	①2.4	完形	④2.2g	熙寧元寶
560	第98図 PL.38	6号溝 95.24m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.8g	聖宋元寶
561	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.5g	熙寧元寶
562	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.4g	紹聖元寶
563	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.5	完形	④重さ3.4g	皇宋通寶
564	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.1g	淳熙元寶
565	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.2g	元祐通寶
566	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ2.3g	元祐通寶
567	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.3	完形	④重さ3.2g	摩耗激く 解読不明
568	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.5	完形	④重さ2.7g	永樂通寶
569	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.4	完形	④重さ3.7g	元豐通寶
570	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.3	完形	④重さ3.2g	摩耗激く 解読不明
571	第99図 PL.38	6号溝 95.11m	銭貨	①2.5	完形	④重さ3.9g	元豐通寶
572	第99図 PL.38	8号溝	土器 内耳鍋	②6.0	破片	①白色粒・雲母②普通③黒褐 ④内外オサエ後ナデ	
573	第99図 PL.38	カクラン	土師器 甕	①(18.6)②17.0	20%	①白・黒色粒、小礫②普通 ③にぶい赤褐④体部篋削り 内 面ヨコナデ	
574	第99図 PL.38	カクラン	土師器 甕	②(7.6)③6.8	破片	①白・黒色粒、小礫②普通③に ぶい赤褐④篋削り内面ヨコナデ	573と同一 個体か
575	第100図 PL.38	遺構外	須恵器 瓶類	②4.3③(11.0)	破片	①白色粒②還元・普通③黄灰④ ロクロ成形 底部糸切後高台貼付	
576	第100図 PL.38	遺構外	瓦 平瓦	①20.7②16.3 ③2.3	破片	①白色粒②良好③灰④凹面布目 一部刷毛目●凸面削り	
577	第100図 PL.38	遺構外	土製品 送風管	①16.5②6.4	破片		
578	第99図 PL.38	遺構外	石製品 管玉	①4.3②1.2 ③1.1	ほぼ完形	④滑石 未製品 重さ10g	
579	第99図 PL.38	遺構外	石製品 礪臼	①(34.2)③8.7	25%	④安山岩 軸受け穴径(4.8) 供給口径(3.6)重さ5.0kg	上臼
580	第99図 PL.38	遺構外	鉄滓	①4.8②7.1 ③3.9		④重さ 114g	

第2章 成果と問題点

第1節 古墳時代

1・9号ピットから、土師器坏・石製模造品が出土している。このほか、遺構に伴わないが3号溝からS字台付甕、6号溝から高坏・未製品の石製模造品が出土している。高崎城16次・20次から6世紀後半～7世紀前半の竪穴住居が確認されている事から、1・9号ピットは同時期と考えられる。また、本遺跡の南西に位置する高崎城14次からは、大量の石製模造品が出土しており、近隣に石製品の製作工房があったと考えられる。

第2節 古代

本遺跡の1・2号竪穴住居は、出土した遺物から7世紀後半～8世紀前半と考えられる。このほか、4号井戸、3・6号溝から、羽釜が出土しており、10世紀後半～11世紀前半と考えられる。このほか、和田城や高崎城築城時に入り込んだと考えられる多量の瓦が出土した(1・2・4号井戸、3・4・6号溝)。これらは、瓦の特徴から8世紀後半～9世紀前半で、4号溝からは鬼瓦が出土している。高崎城20次からも鬼瓦が出土していることから、周辺地に古代寺院があった可能性は高いといえよう。

第3節 中世

この時期の遺構は3・4・8号土坑、1～4号井戸、1・3・4・6・7号溝を確認している。3号井戸は、和田城堀(3号溝)に壊されていることから中世でも古い時期と考えられる。3・4・6号溝は和田城に伴う堀と考えられ、高崎城築城時に埋め戻されている。3号溝南側は、調査区拡張のためはトレンチ調査による形状把握にとどめた。3号溝は上幅6.7m、下幅2.5～2.8mを測り、南北に走行している。3号溝底面から幅40cmの南北に走る溝を検出した。底面から25cm程礫層を確認している。出土遺物は角がとれ、丸みを帯びていることから烏川から水を引き込んでいた推測される。また、障子掘りのような性格のものか判断は出来ないが、底面の一部を掘りのこしている(SD3 EPA～EPC)。遺物はカワラケや土製鍋・瓦が出土している。底面礫層上からは、礎石に使われたと推測される石が出土した。3号溝南側で、溝幅が16.4mに広がり、高崎城14次の堀に続いている。また、高崎城16次の1号溝(東西方向)と合流していると考えられる(第101図)。4号溝は上幅2.95m下幅0.5mを測る薬研堀で、東西に走行し3号溝に繋がる。西側で一段高くなる場所があり橋の基礎と考えられる(4号溝1号ピット・遺物No.210)。大量のカワラケ・内耳鍋が出土している。輸入陶器(No.196)から16世紀後半の時期が考えられる。6号溝は上幅3.6m下幅0.8mを測る薬研堀で、南北に走行する。5号溝に壊されているが、4号溝とT字状に繋がると考えられる。カワラケや内耳鍋、天目茶碗、水差し、熙寧元寶などの銭貨が出土している。高崎城15次からも16世紀後半頃の水差しが出土している。

和田城には絵図等の記録は少なく、第103図『高崎繁昌記』和田古城之図(上)、興禅寺絵図の描き起し図 大江1996(下)が残るのみである。今回の調査により和田城堀の一部を知ることができ、今まで高崎城堀と考えられてきた堀が和田城堀の可能性がでてきた。

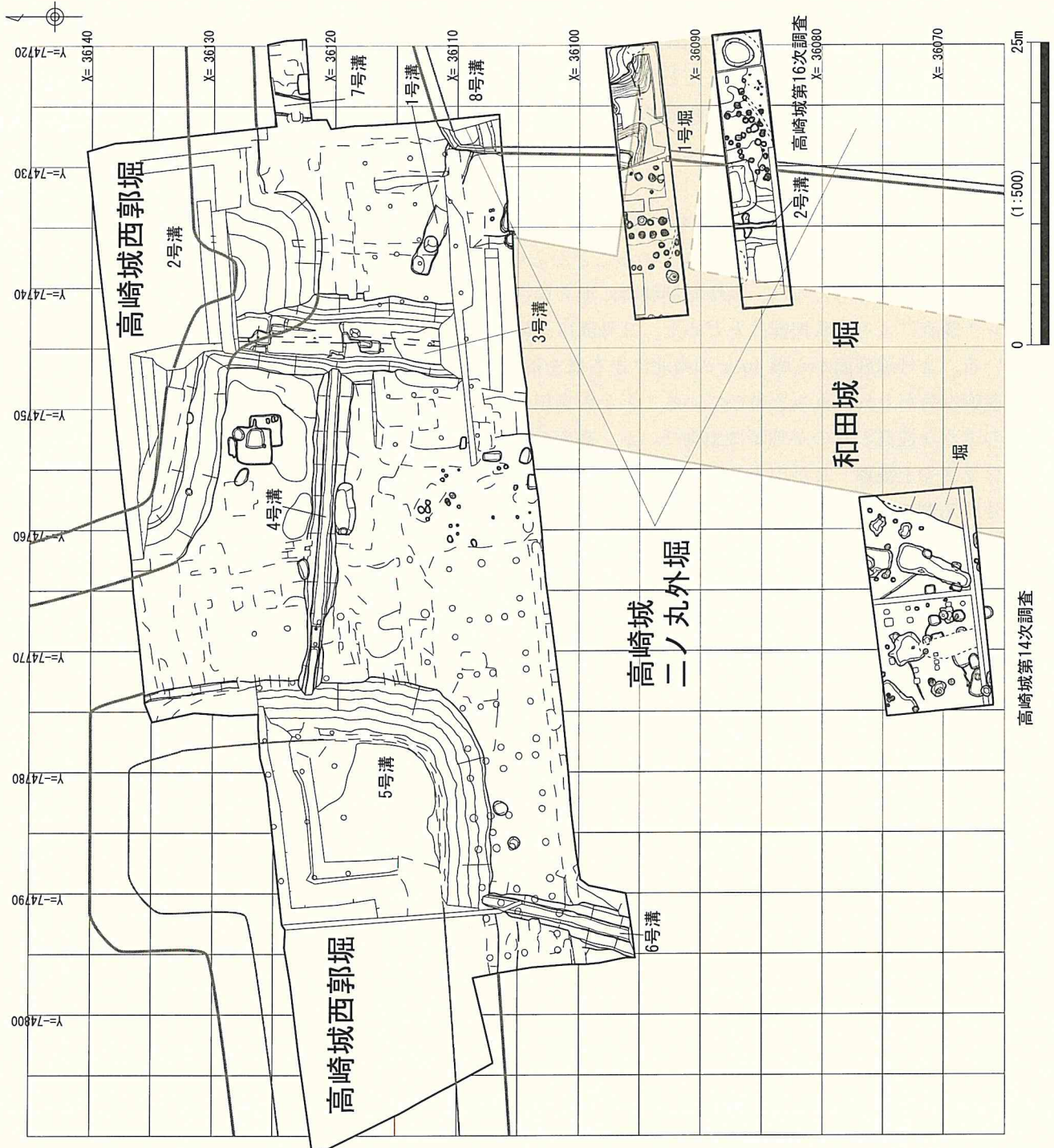
第4節 近世

2・5号溝は高崎城西郭堀、8号溝は二ノ丸外堀に該当する。調査区拡張のため、2号溝北・コーナー、5号溝北・西側は一部を除き遺構確認にとどめた。今回の調査により2・5号溝から西郭門が西に位置していたと考えられる。2号溝は、北側で深さ4.85mを測る。2号溝北の南斜面から柱穴と考えられる11号土坑を確認した。5号溝は深さ7.18mあり、旧烏川河床面まで掘削していた。このとき大量の礫が排出したが、3号溝を埋め戻すのに利用されている(SD3 SPB-B')。5号溝底面から下駄や漆器椀・箱などの木製品や片口鉢が出土している。また、東斜面壁直上でまとまった瓦片が検出され、南斜面壁から下ろし金・カワラケが出土している。5号溝北では北側のコーナーを確認出来なかったが、埋没土

の堆積状況から鋭角に曲がることが予測される（第101図）。調査区南東で、二ノ丸外堀北西コーナーの一部を確認した（8号溝）。8号溝は、高崎城16次の1号溝の一部（南北方向）に続いている。二ノ丸外堀は、高崎城16次の1号溝から高崎城14次の堀に続くと考えられたが、今回の調査で当初の位置より東側にあることが確認出来た。

第5節 近代

近代の遺構は10号土坑、2・5号溝が確認されている。10号土坑は歩兵十五連隊関連の建物基礎で、粒子の細かい砂の上に煉瓦が並べられていた。この事から建物自体も大きいものでなく、小型の建物と推測され、高崎城3・4・5次調査報告書第50図管内図にも洗面所と考えられる図が記されている。2号溝上面2.5m、5号溝上面6.2mは、終戦時に埋め戻されたものであり、覆土中から多くの陶磁器



第101図 和田城・高崎城 堀 推測図

・硝子製品が出土している。このほか、第二中隊など墨書された木札が出土している。出土した遺物をおおまかに分けると、インク瓶・硯などの筆記類、湯飲み・皿・杯のどの日常雑器、薬瓶などの医療薬品に分けられる。このほか、記念杯(299～203)など軍事祭関連の遺物も出土している。当遺跡の北に弾薬庫、東に兵舎、南東に軍病院等が建てられていた。覆土中には、終戦時に建物等を焼却したときの灰が大量に含まれており、当時の一端を伺い知ることができる。

第6節 出土遺物について

古代瓦4号溝から、3点の軒丸瓦瓦当部が出土している。No. 165は小片で全体を知ることはできないが、複弁六弁蓮華文軒丸瓦で蓮弁は界線により画された中に棒状の子葉を2つおき、間弁はT字状をなし中房に届く。No. 163は単弁六弁蓮華文軒丸瓦で、子葉はなく、中心に4つの蓮子がつく。瓦当裏面に無絞りの布目痕がつく。No. 164は素文縁の重弁五葉蓮華文で蓮弁が互いに接し、その中に大きさの異なる子葉がつく。No. 166は小片で1条の圏線と蓮弁の一部が分かる。No. 164より蓮弁が尖っていることから重弁四葉蓮華文と考えられる。No. 165は8世紀前半に(註1)、No. 164は黒熊中西遺跡のG類の同範品で8世紀末に相当する(註2)。

中世・近世瓦5号溝から巴文軒丸瓦・唐草文軒平瓦などの近世瓦が多く出土した。巴文軒丸瓦は瓦当径11～12cmと15～16cmの2つがあり、巴文の形状から巴文尾部が圏線と接しないもの(A類)、巴文尾部が圏線に接するもの(B類)、巴文のまわりに圏線がないもの(C類)に分けられる。軒平瓦には均整唐草文様などがある(第102図)。No. 267は瓦当貼り付け技法で造られており、古い時期と考えられる。丸瓦には、釘穴があるもの、釘穴がないものがあり、凹面には吊り紐痕は確認できない。軒棧瓦は、左巴の均整唐草模様で珠玉は8個ある。No. 276の熨斗瓦は、凹側面・広端面取り半截面未調整で離れ砂が付着している。この他に2点の面戸瓦が出土している。No. 278はタテナデ凹側面・狭端面取り、No. 279はタテ・ヨコナデ凹側面・狭端面取りの丸型があり、丸瓦を転用している。今回出土した瓦には、4種類の押印が確認でき、同様の印は高崎城9次でも確認されている(第102図)。No. 260・267・269・273・276・277は、出土状況から18世紀前半頃と推測される。

カワラケ・内耳土器4・6号溝から多くのカワラケ・内耳型土器が出土している。おおまかに分けると、カワラケには、径8cm、10cm、12cmの3種類があり、断面形状から底部から直線にたちあがり、口縁部がゆるやかに外反するもの(A類)、体部下位に丸みを持ち、口縁部がゆるやかに外反するもの(B類)、底部から直線にたちあがり口縁部上半が外反し、口唇部がうすいもの(C類)の3種類に分けられる(第102図)。

内耳型土器は、径30cm、34cm、38cmの3種類があり、底の形状が丸くなるもの(A類)、平なもの(B類)、があり、口唇部の形状が、平らなものと同凹むものがある。また、器高が口径の1/2以上、1/2・1/3以下、1/5以上、1/5以下に分けられる(第102図)。

土器の特徴から16世紀後半～17世紀初頭と考えられ(註3)、4号溝からは、16世紀後半 青花皿E群の遺物(No. 196)が出土している(註4)。

註1 手島英実子(2011)「雑木味遺跡の出土瓦」『吉井・雑木味遺跡』高崎市教育委員会

註2 手島英実子(2011)「1号住居跡出土軒丸瓦について『黒熊・徳山遺跡 黒熊・中原遺跡』高崎市教育委員会

註3 秋本太郎(2010)「第4章第3節中世」『高崎城遺跡』第19次調査 高崎市教育委員会

註4 小野正敏(1982)「15～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁器研究NO.2』

参考文献

中村茂・黒沢元夫(1994)『高崎城三ノ丸遺跡』高崎市教育委員会

秋本太郎・星野守弘 (2008) 『箕輪城跡Ⅷ』 高崎市教育委員会

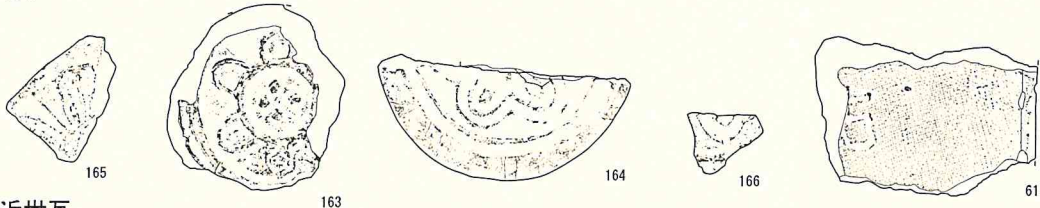
黒田晃・山本ジェームズ・秋本太郎・滝沢匡・田口一郎 (2010) 『高崎城遺跡』 第19次調査

高崎市教育委員会

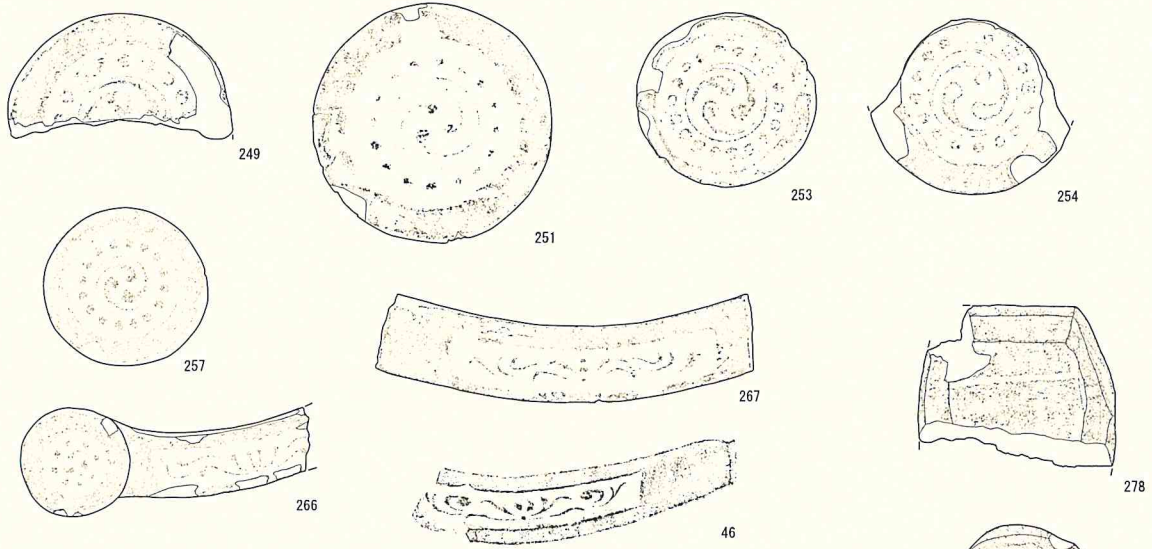
秋本太郎・大野義人・滝沢匡 (2011) 『高崎城遺跡』 第18次調査 高崎市教育委員会

清水豊 (2010) 『高崎城遺跡』 第20次調査 高崎市教育委員会

古代瓦



中・近世瓦



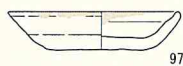
高崎城三ノ丸遺跡

押印

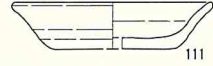


カワラケ

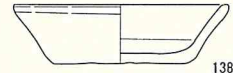
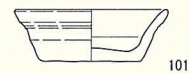
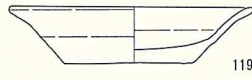
A類



B類

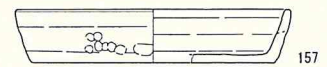
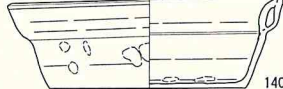
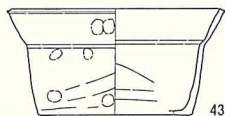
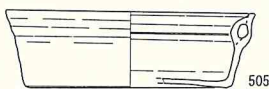


C類

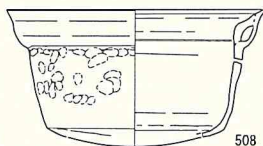
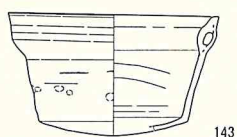


内耳型土器

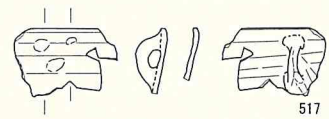
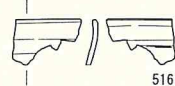
A類



B類



搬入品



第7節 6号溝跡出土の信濃型内耳土器について

6号溝跡より多量の在出土器（カワラケ・内耳土器）が出土した。このなかに、「上野・武蔵型内耳土器」の特徴をもたない個体を3点抽出できた。その形状はいわゆる「桶型」で、大きくしっかりした内耳部をもつ。これは、「信濃型」に分類される。その形状は口縁部の高さが低く、その端部を面取る。このことから、16世紀後半に時期設定できよう。ただし、耳部が丁寧でしっかり製作される印象があり、やや前出する手法を残したといえる（佐々木氏ご教示）。また破片資料ながら、口径・器高からそれほど大きな個体ではない。土器の胎土には微量の金ウンモを含み、この地域で製作された個体ではないことが解る。調査地は、近世「高崎城」の絵地図を参照すると、二の丸から西の丸への通路、または、瓦小屋に相当する場所である。さらに周辺地域の調査成果から、この地はまたその前身である「和田城」の城域と想定される（清水 2011）。その構造は不明な点が多いが、周辺の調査で検出された堀跡・溝跡の規模や、興禅寺に残る地図から、烏川沿いとなる近世高崎城跡の「西郭」周辺にその中核施設が存在する可能性が高い。築城時期を正確に示した史料はない。江戸時代の文献資料となるが、『和田記*1』には、上野国の国衆である和田氏の義信が正長元（1428）年に築いたとある。また『上毛伝記雑記*2』は、義信の嫡男である信忠が応永25（1418）年に築城と記す。

次に戦国期における和田氏の政治的動向を見てみたい。その初見は永禄4（1561）年頃作成の史料となる。和田氏は、西上野地域の旗頭であった箕輪城主である長野氏の「同心」であり、山内上杉氏に属していた。その前後の史料から、天文21（1552）年相模後北条氏の進攻で山内上杉氏が没落し、後北条氏の従属となり、永禄3（1560）年8月、越後の長尾景虎が上野へ進攻すると、長尾氏の従属下となったことが判る。また、『関東幕注文』をみると、「和田八郎 ひ扇」とある。さらに、永禄4（1561）年に甲斐武田氏による西上野進攻が行われ、その過程において和田城主であった和田業繁は、「永禄5（1562）年6月からさほど下らない時期」に武田氏へ従属したとする（黒田 1996）。

その後の動向で和田氏と甲斐武田氏に関連する史料を抽出してみる。

【史料1・高崎市史 309】（永禄6（1563）12月17日か）

- ・武田信玄へ従属するにあたり、和田業繁が「甲府へ参上」した。
- ・山宮は、昼夜問わず「和田本城へ在陣」する。跡部信秋・板垣信安に対し、上杉氏来襲の際は本城へ在陣することを指示。

【史料2・武田信玄書状「円満寺文書」御坊市史 3 129頁】（年未詳 2月10日付け）

「和田之普請未熟候所候、一段窮屈候条、寔雖当手之衆勞兵沙汰之限候、重而為普請人衆過半差越候」⇒和田城の普請が武田氏によって行われた。

【史料3・上杉謙信書状写「三州寺社古文書」高崎市史 626】（年次不詳）

「和田小地二候得共、晴信年（念）を入いかにも堅固ニしらわれ候間、落居さうなくつき堅候」
⇒武田氏が、念入りに和田城を普請し、堅固になったため落城することができない。

上記の史料から、和田氏が甲斐武田氏への従属をした後、譜代家臣が本城（和田城）に在陣、または、武田氏による普請が行われたことがわかる。また、信繁の婿養子となった和田信業は、永禄3（1560）年、甲斐武田氏の譜代家臣である跡部勝資の子として生まれ、天正3（1575）年の長篠の戦で戦死した信繁の家督を継いだ人物である。このように、16世紀後半において、和田氏と甲斐武田氏との関連が史料から指摘できる。今回出土した信濃型内耳土器は、出土品総量からみれば、きわめて客体的な分量ながら、このことを物質的に示唆する資料の可能性があるだろう。今後胎土分析等を試みたくうえで、さらに検討を進めたい。

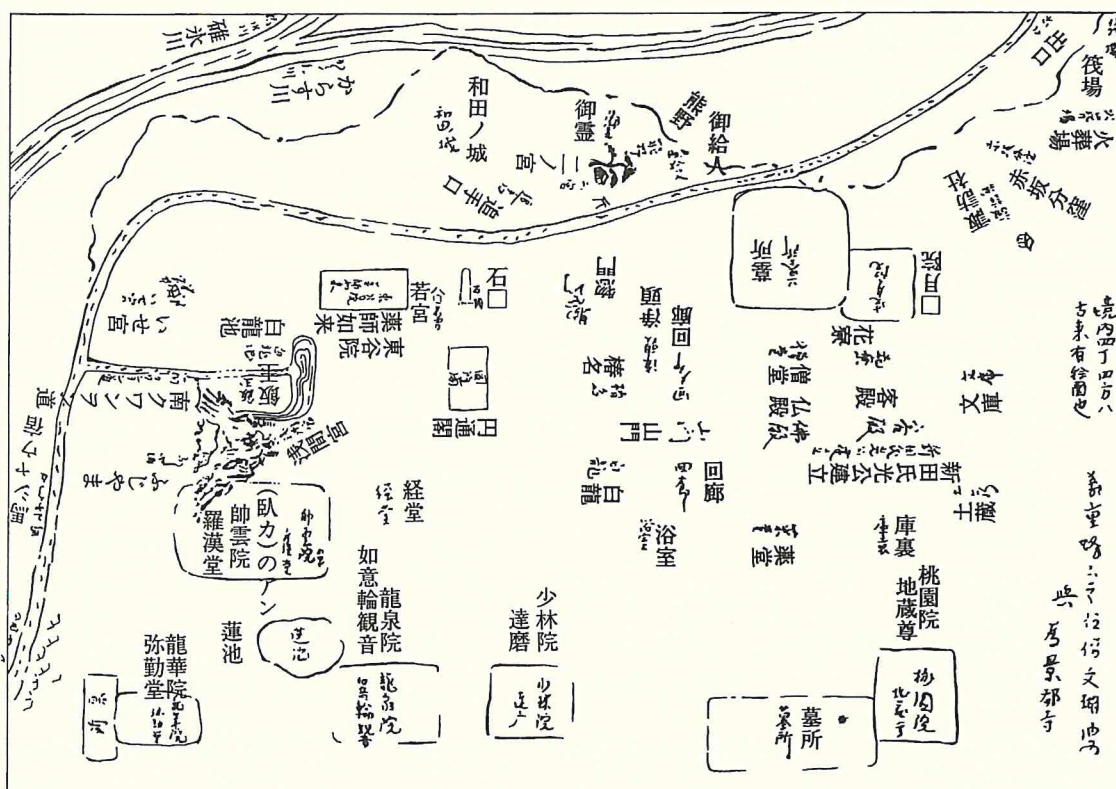
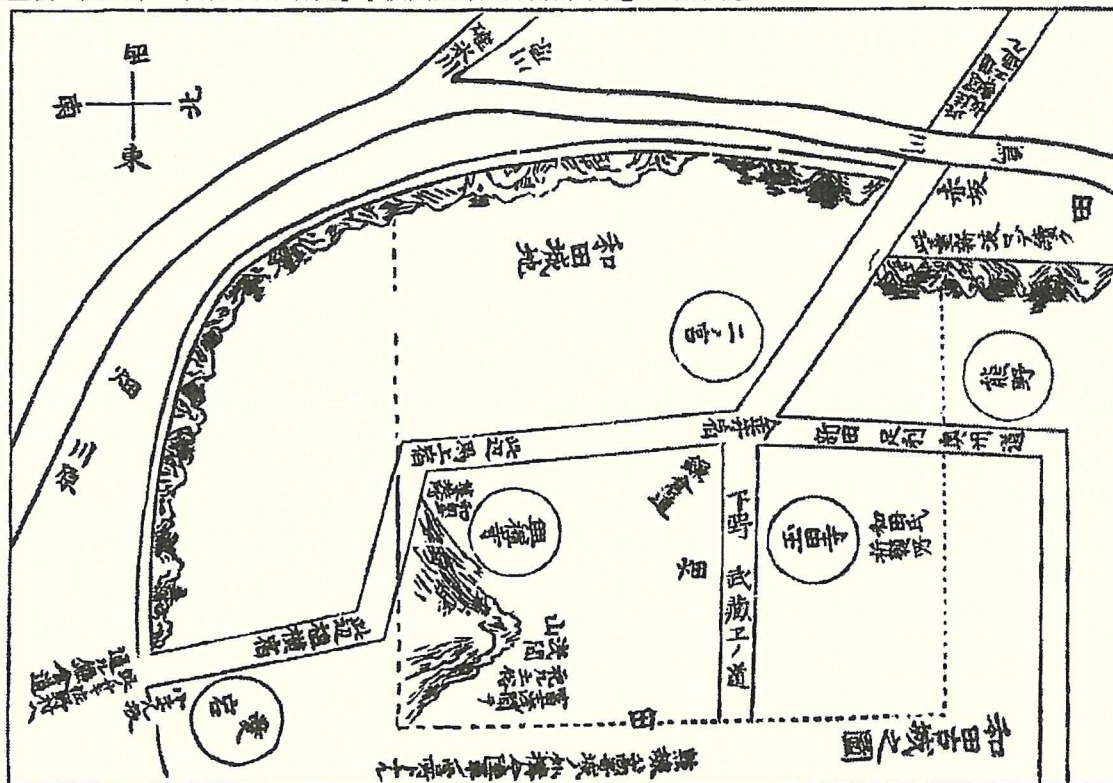
*1 江戸時代に、興禅寺の僧が記す。

* 2 18世紀後半に記された。

【参考文献】

清水豊 (2013) 『高崎城遺跡』第20次調査 高崎市教育委員会

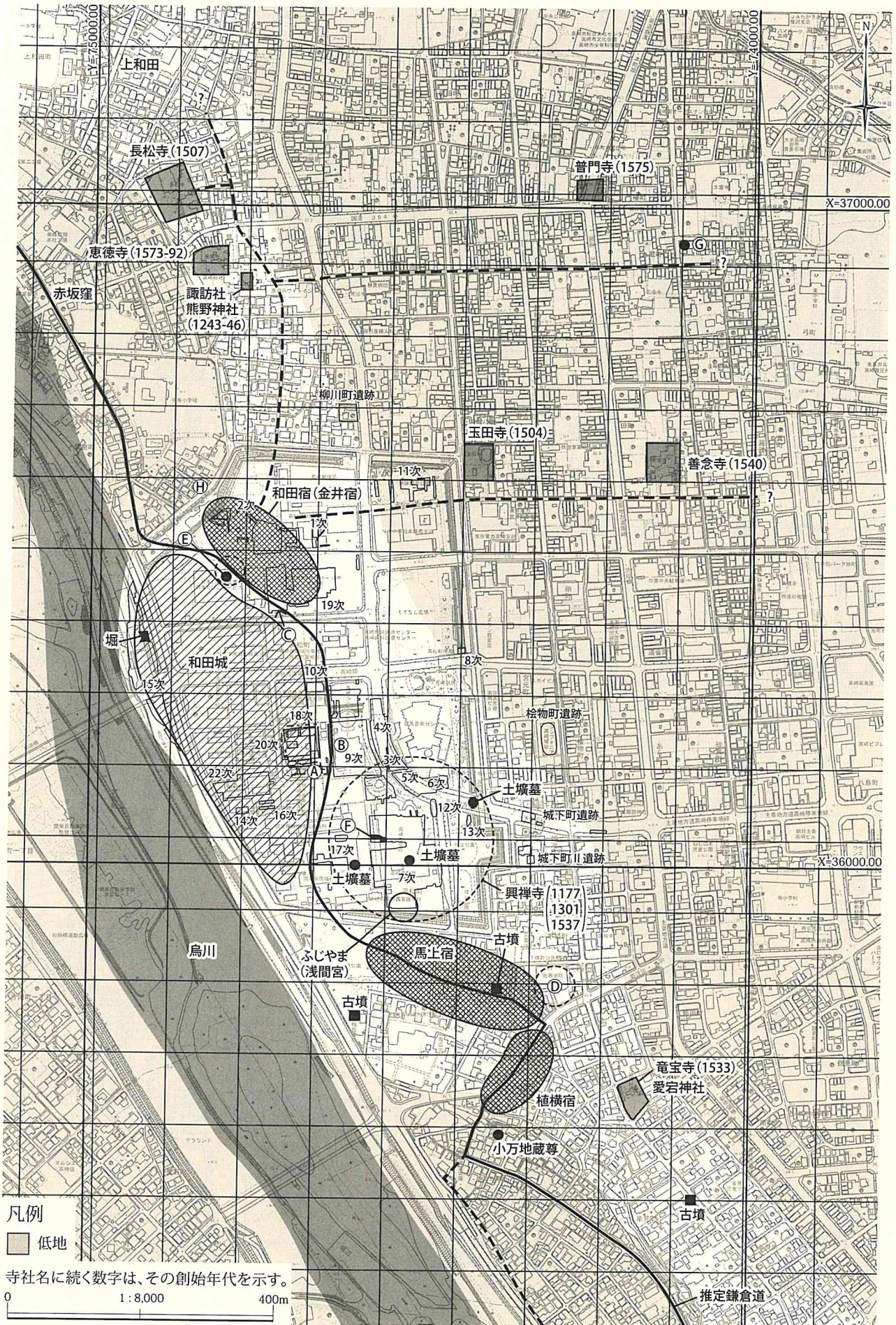
黒田基樹 (1996) 「和田氏の研究」『戦国大名と外様国衆』文献出版

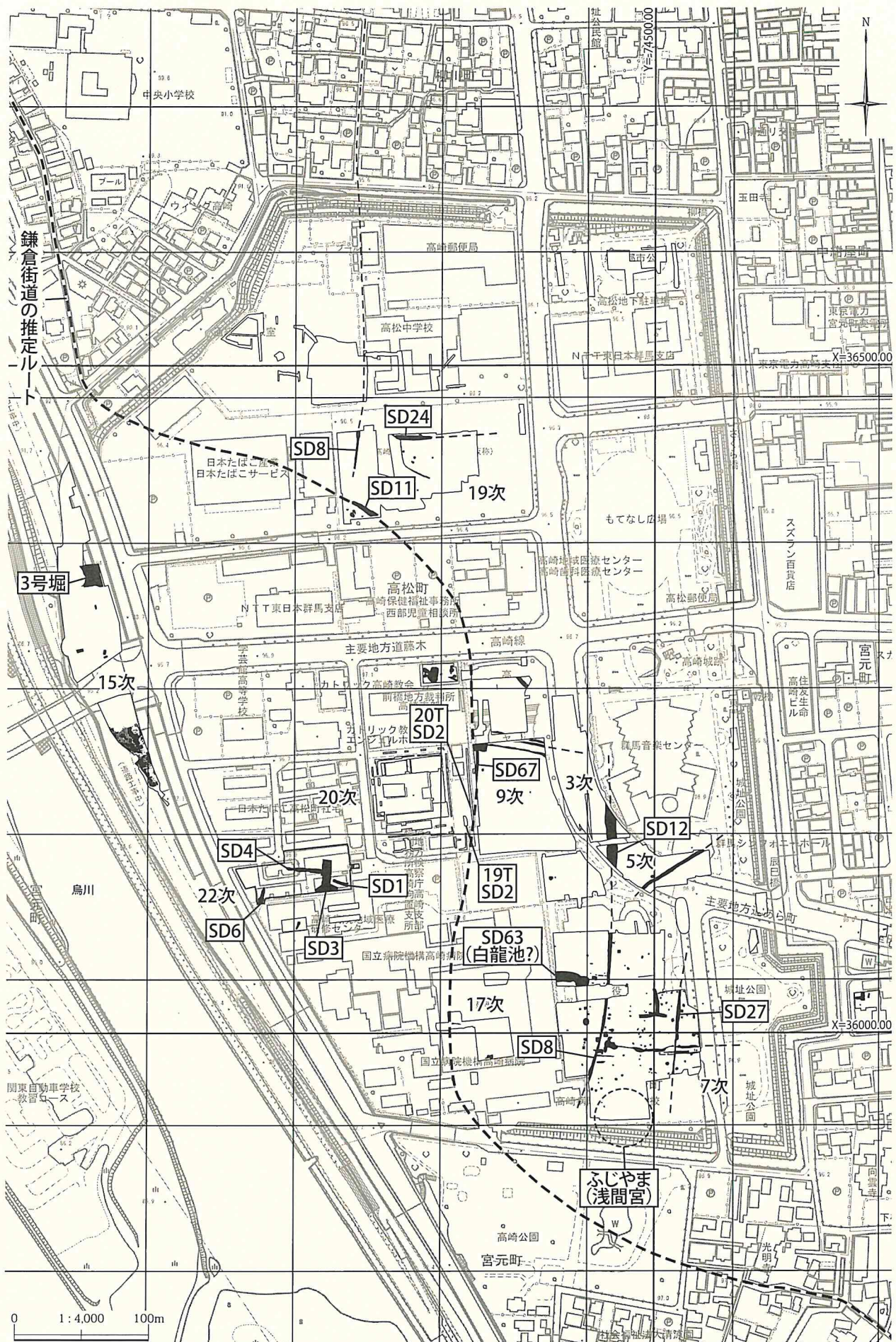


境内四丁四方ハ
古来有絵図也

義重峰下之任僧文瑚
與 為景都寺

第103図 和田古城之圖『高崎繁昌記』(上)、興禅寺絵図の描き起し図 大江1996(下)





第 105 図 高崎城遺跡で検出した中世期の主な溝

附節 1 高崎城遺跡 22 出土獣骨同定報告

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

高崎城跡（群馬県高崎市高松町）は、高崎台地西縁に位置しており、西側を烏川が流れ、残る三方が土塁と堀によって画された囲郭式の城跡である。高崎城遺跡 22 の発掘調査では、高崎城跡に伴う堀跡が 2 条（SD-4、SD-5）検出されており、調査所見などから SD-4 が 16 世紀後半から末頃、SD-5 が 17 世紀頃と推定されている。

本報告では、上記した堀跡（SD-4、SD-5）より出土した獣骨類について、その種類や部位などを明らかとするため、骨同定を実施した。

1. 試料

分析に供された獣骨類は、SD-4 より出土した 7 試料（B-1 ①～⑤、B-2、B-3）と、SD-5 より出土した 7 試料（B-4～10）の、計 14 試料である。これらの試料は、いずれもクリーニング済みの状態にあり、1 試料中に複数の破片が含まれるものもある。試料の詳細は、同定結果とともに表 2 に示したので、参照されたい。

2. 分析方法

試料を肉眼で観察し、その形態的特徴から種と部位の同定を行う。計測は、デジタルノギスを用いて測定する。

3. 結果

確認された種類は、哺乳綱のイヌ、ウマおよびイノシシ属の 3 種類である（表 1）。同定結果を表 2 に示す。以下、試料ごとに結果を記す。

(1) SD-4

・ B-1

ウマの歯牙である。①が右上顎第 3 前臼歯、②が左下顎第 2 前臼歯、③が右上顎第 2 前臼歯、④が右下顎第 4 前臼歯、⑤が右上顎第 4 前臼歯である。臼歯高は、左下顎第 2 前臼歯が 37.35mm、右下顎第 4 前臼歯が 59.7mm 前後、右上顎第 4 前臼歯が 54mm 前後である。

・ B-2

イノシシ属の右上腕骨である。骨体部が破片となり、遠位端部のみが残る。遠位端幅 42.8mm 前後を測る。

・ B-3

ウマの右脛骨である。両端が欠損する。

(2) SD-5

・ B-4

イノシシ属の右上腕骨である。近位端が欠損し、遠位端部が破損する。

第 31 表 検出動物分類群の一覧

脊椎動物門	Phylum Vertebrata
哺乳綱	Class Mammalia
ネコ目（食肉目）	Order Carnivora
ネコ亜目	Suborder Fissipedia
イヌ科	Family Canidae
イヌ	Canis familiaris
ウマ目（奇蹄目）	Order Perissodactyla
ウマ科	Family Equidae
ウマ	Equus caballus
ウシ目（偶蹄目）	Order Artiodactyla
イノシシ科	Family Suidae
イノシシ	Sus scrofa

・ B-5

イヌの右で脛骨である。近位端が欠損する。

・ B-6

イヌの右上腕骨である。近位端が欠損する。

・ B-7

イヌの左下顎骨である。第1前臼歯、第4前臼歯、第1後臼歯、第2後臼歯が植立する。犬歯は、歯槽部が破損し、遊離した状態である。

・ B-8

イヌの頸椎である。ほぼ完存する。

・ B-9

イヌの頸椎である。一部が破損する。

・ B-10

イヌの第1頸椎である。ほぼ完存する。この他、B-9の頸椎と接合関係にある骨片が検出される。

4. 考察

堀跡 (SD-4,5) より出土した獣骨類の同定の結果、ウマ、イヌおよびイノシシ属の3種類が確認された。以下に、種類毎に所見を記す。

イヌは、いずれもSD-5より出土しており、左下顎骨、第1頸椎、頸椎、右上腕骨、右脛骨が認められた。骨格は、全て揃っていないものの、頭蓋・前肢・後肢がみられることから、堀跡内には1個体が存在していたと考えられる。イヌは家畜等としての利用の可能性があるものの、出土状況が明らかでないため遺棄や廃棄、埋葬については不明である。なお、SD-5より出土したイヌについて、斉藤(1963)に基づく各部位の計測結果(表3)と長谷部の報告例(1952)とを比較すると、下顎臼歯列長が74mm前後を測ることから、中大型犬クラスの大きさと言える。また、上記した表3に併記した近世江戸遺跡の調査事例(表3)との比較では、全体的に小型であり、下顎骨の咬筋窩深が浅い傾向にあることから、雌個体の可能性もある。

ウマは、いずれもSD-4より出土しており、右上顎第2～4前臼歯、左下顎第2前臼歯、右下顎第4前臼歯および右脛骨が認められた。歯牙類(B-1①～⑤)は調査所見から同一個体とされており、同定においても重なる部位が認められなかったことから、およそ一個体に由来する可能性がある。また、SD-4では別地点より右脛骨(B-3)も出土しているが、出土歯牙との関連については今後の課題である。なお、西中川ほか(1991)を参考とすると、歯牙計測値からみた年齢は6～7歳程度と考えられる。また、ウマは、運搬や農耕などの使役、軍事さらに犠牲祭祀としての利用が考えられるが、その評価についてはさらに詳細な出土状況や他の部位の有無などの検討が望まれる。

イノシシ属は、出土骨からはイノシシ、ブタの判断が不可能であったため、イノシシ属にとどめた。イノシシ属は、SD-4およびSD-5の双方よりそれぞれ右上腕骨が認められた。異なる遺構よりそれぞれ右上腕骨が出土することから、少なくとも2個体の存在が考えられ、食料資源等として利用されていたものが廃棄された可能性がある。

引用文献

長谷部言人, 1952, 犬骨. 埋蔵文化財発掘調査報告第一, 吉胡貝塚, 文化財保護委員会, 146-150.

加藤久雄・阿部常樹, 2001, 動物遺存体. 千代田区文化財調査報告書 13 東京都千代田区 岩本町二丁目遺跡, 千代田区教育委員会, 142-147.

茂原信生, 1995, 飯田町遺跡出土の江戸時代犬骨. 飯田町遺跡, 飯田町遺跡調査会, 433-437.

茂原信夫・芹澤雅夫, 1989, 38号遺構出土の犬骨. 西新橋二丁目港区No. 19遺跡, 港区西新橋二丁目遺跡調査会,

267-272.

中村若枝, 2004, 外神田四丁目遺跡出土の動物遺存体. 東京都埋蔵文化財センター発掘調査報告書第147集, 千代田区外神田四丁目遺跡—秋葉原駅付近土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査—, 第4分冊, 東京都埋蔵文化財センター, 166-206.

西中川 駿・本田道輝・松元光春, 1991, 古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究. 平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書, 99p.

パリノ・サーヴェイ株式会社, 2006, 千代田区富士見二丁目遺跡の自然科学分析. 東京都千代田区富士見二丁目遺跡—武蔵金沢藩米倉家上屋敷跡の発掘調査報告書—, 富士見二丁目北部地区市街地再開発組合・株式会社武蔵文化財研究所, 181-190.

斎藤弘吉, 1963, 犬科動物骨格計測法. 138p.

第32表 骨同定結果

番号	出土位置	掲載番号	種類	部位	左右		部分	数量		備考
B-1 ①	SD-4	No. 234	ウマ	上顎第3前臼 歯		右	破片	1	+	
B-1 ②	SD-4	No. 235	ウマ	下顎第2前臼 歯	左		破損	1		h37.35
B-1 ③	SD-4	No. 236	ウマ	上顎第2前臼 歯		右	破損	1		
B-1 ④	SD-4	No. 237	ウマ	下顎第4前臼 歯		右	破損	1		h59.7 ±
B-1 ⑤	SD-4	No. 238	ウマ	上顎第4前臼 歯		右	破損	1		h54 ±
B-2	SD-4	No. 239	イノシシ属	上腕骨		右	遠位端	1	+	Bd42.8 ±
B-3	SD-4	No. 240	ウマ	脛骨		右	両端欠	1	+	
B-4	SD-5	No. 452	イノシシ属	上腕骨		右	両端欠	1	+	
B-5	SD-5	No. 453	イヌ	脛骨		右	近位端欠	1	+	
B-6	SD-5	No. 454	イヌ	上腕骨		右	近位端欠	1	+	
B-7	SD-5	No. 455	イヌ	下顎骨	左		破損	1	+	
B-8	SD-5 堀底	No. 456	イヌ	頸椎			ほぼ完存	1		
B-9	SD-5 堀底	No. 457	イヌ	頸椎			破損	1		
B-10	SD-5 堀底	No. 458	イヌ	第1頸椎			ほぼ完存	1		
B-10	SD-5 堀底	No. 458	イヌ	頸椎			破片	1		B-9と接合
h: 臼歯高.										
Bd: 遠位端幅.										

第 33表 イ又計測値

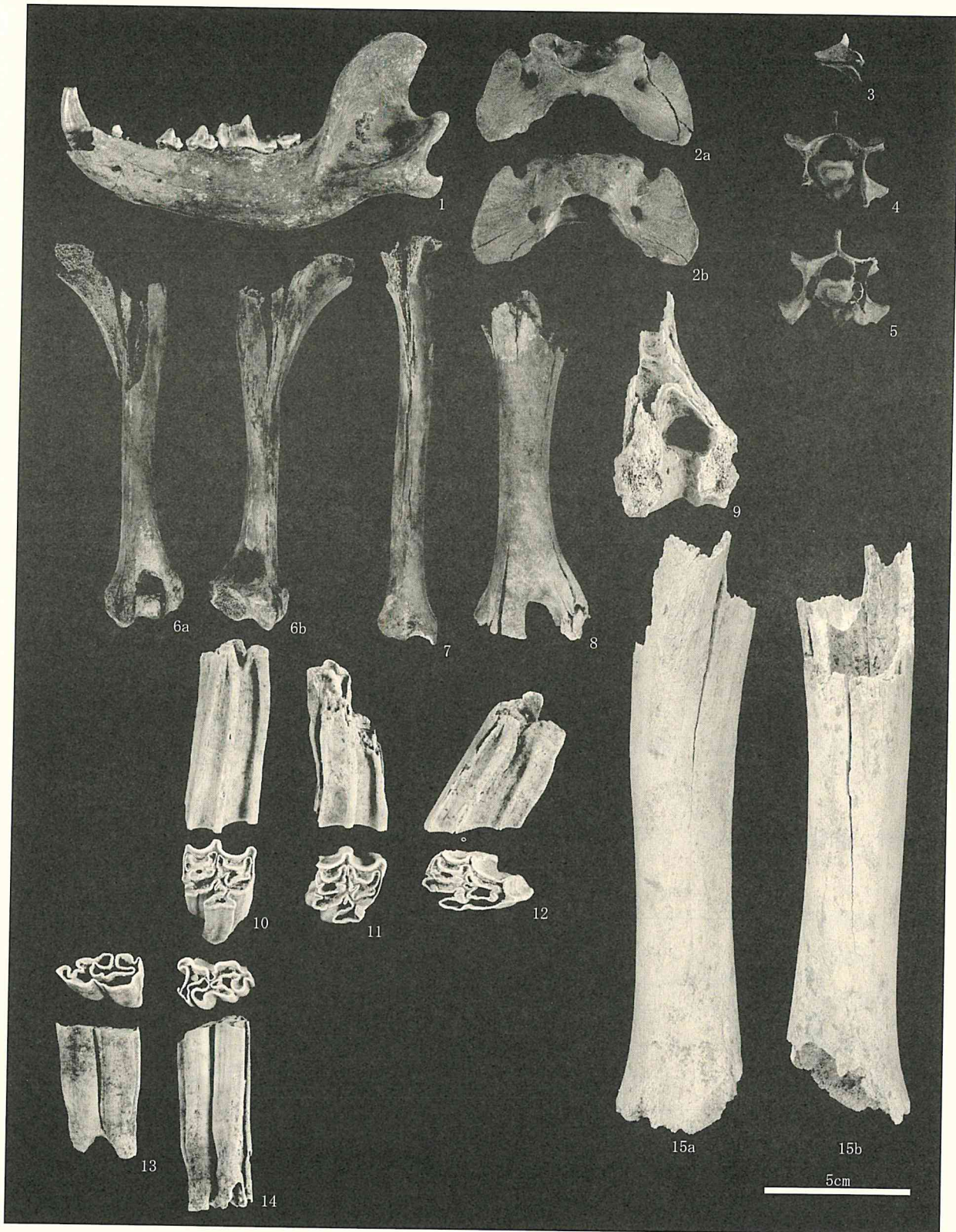
	群馬県	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
	高崎市	千代田区	千代田区			千代田区	千代田区
	高崎城跡	富士見	外神田	西新橋	江戸城	飯田町	岩本町
		二丁目	四丁目		三の丸		二丁目
	(本報告)	文献1)	文献2)	文献3)	文献3)	文献4)	文献5)
		雄		雄	雄	雄	
下顎骨	左	左	平均值				
下顎骨全長 1(id-goc)		152.13	(*13)	138.8	133.5	140.6	135.8
下顎骨全長 2(id-c.mid(cp))		152.90	(*142.9)	127.6	132.5		137.0
下顎より P1 前縁までの距離 (goc-P1al 前)	118.66						
下顎体長 (M3al 後縁-id)							
下顎枝長 (Cm-M3al 後縁)	43.50						
下顎枝高 1(goc-cr)	59.85		(*55.27)				58.1
下顎枝高 2(goc- 筋肉突起広報突起端)	52.99						
髁高	30.62						
関節髁より筋突起頂点まで	32.26						
下顎枝幅 (最小幅)	38.64	4	1.01	*35.51	33.3	33.3	39.3
筋突起幅	29.54						
関節髁長	23.35						
関節髁厚	7.21						
下顎体高 (M1 中央)	29.70	28.66	-	23.6	24.9		26.7
下顎体高 (M1 後部)	28.14		*24.47				
下顎体厚 (M1 中央下方)	14.02	10.05	*10.72	10.7	11.3		12.5
咬筋窩深	7.52	9.68	*8.40	7.2	8.5		8.5
歯牙	下顎犬歯頸最大長	9.82					
	下顎犬歯横径	5.82					
	下顎犬歯歯冠高	17 ±					
	下顎犬歯歯根最大幅	10.53					
	下顎犬歯歯根長	25.17					
	下顎犬歯全長	42 ±					
	下顎前臼歯列全長	38.05					
	下顎後臼歯列全長	34.9 ±					
	下顎臼歯列長	74 ±					
上腕骨	右						
	全長	164.22	151.7	142.6	162.5		
	近位端幅	32.08	28	23.5	-		
	中央最小幅	(11.13)	16.80	-	12.0	13.7	
	中央最大幅	(13.88)	18.01	15.0	17.1	17.1	
	遠位端幅	28.55	35.05	30.8	26.5	-	
	* 中央頑丈示数 (中央最大幅 / 全長)	10.97	10.6	12.0	-		
脛骨	右						
	全長		(164.5)	164.3		158.6	
	近位端幅		(32.5)	30.0		30.6	
	近位端最大矢状径			33.4		32.8	
	中央横径	(11.75)	13.5	12.1		11.6	
	中央矢状径	(11.43)	12.4	12.0		11.9	
	遠位端幅	20.79	(21.7)	20.8		20.5	
	* 上端示数 (近位端幅 / 近位端最大矢状径)			89.8		92.7	
	* 中央断面示数 (中央矢状径 / 中央横径)	97.3	93.5	100.8		97.5	
	* 中央頑丈示数 (中央最大幅 / 全長)		8.1	7.4		7.3	

註 1) 括弧内の数値は推定値を示す。

註 2) 外神田四丁目遺跡 (中村, 2004) は平均値。

註 3) 「*」はデータ値より計算した数値。

[文献] 1) パリノ・サーヴェイ株式会社 (2006), 2) 中村 (2004), 3) 茂原・芹澤 (1989), 4) 茂原 (1995)



- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 1. イヌ 左下顎骨 (SD-5;B-7) | 2. イヌ 第1頸椎 (SD-5;B-10) | 3. イヌ 頸椎 (SD-5;B-10) |
| 4. イヌ 頸椎 (SD-5;B-9) | 5. イヌ 頸椎 (SD-5;B-8) | 6. イヌ 右上腕骨 (SD-5;B-6) |
| 7. イヌ 右脛骨 (SD-5;B-5) | 8. イノシシ属 右上腕骨 (SD-5;B-4) | 9. イノシシ属 右上腕骨 (SD-4;B-2) |
| 10. ウマ 右上顎第4前臼歯 (SD-4;B-1⑤) | 11. ウマ 右上顎第3前臼歯 (SD-4;B-1①) | |
| 12. ウマ 右上顎第2前臼歯 (SD-4;B-1③) | 13. ウマ 左下顎第2前臼歯 (SD-4;B-1②) | |
| 14. ウマ 右下顎第4前臼歯 (SD-4;B-1④) | 15. ウマ 右脛骨 (SD-4;B-3) | |

第 106 図 出土骨

附節 2 平成 26 年度高崎城発掘調査区で採取した泥流堆積物直下腐植質堆積物の放射性炭素 (^{14}C) 年代測定

早田 勉(火山灰考古学研究所)・若井明彦(群馬大学大学院理工学府)

1. 測定試料と測定方法

高崎城の基盤となっている、比較的細粒の軽石を多く含む灰黄色泥流堆積物(層厚約 6 m, 軽石の最大径 29mm)の直下の黒色の腐植質堆積物(層厚 2 cm, TNH-195TJ)の年代を明らかにした。泥流堆積物の直下に降下テフラ層は認められなかった。調査区南壁から採取した試料(乾燥前重量: 約 29.7g)を酸洗浄した後に、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を行った。測定は米国の Beta Analytic Inc. で実施し、測定には 3MV HVEE タンデトロン加速器を使用した。

2. 測定結果

試料 TNH-195TJ の補正 ^{14}C 年代は、 12350 ± 40 y. BP (Beta-401076) である。また、暦年較正曲線に基づいて較正された暦年較正年代値は、確率 95% で BC12590 ~ BC12205 年、確率 68% で BC12390 ~ BC12245 年、交点で BC12305 年となる(下図)。約 1.4 万年前となるこの年代は、腐植質堆積物を覆う泥流堆積物が、約 1.5 ~ 1.65 万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 町田・新井, 2011 など)の噴火よりも新しいことを示している。

文献

町田 洋・新井房夫(2011)「新編火山灰アトラス 第2刷」, 東京大学出版会, 336p.

第 34 表 高崎城で得られた ^{14}C 年代の暦年較正曲線

